国立国語研究所学術情報リポジトリ

A morphological analysis of verbs, adjectives and predicative nouns in children's speech from 3 to 6

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001298

国立国語研究所報告 55

幼児語の形態論的な分析

—動詞・形容詞・述語名詞—

高橋　太郎

国 立 国 語 研 究 所

1 9 7 5

刊行のことば

当研究所では，さきに昭和48年，国立国語研究所報告50として大久保愛「幼児の文構造の発達——3歳～6歳児の場合——」を出したが，本書は，それと同じ幼児の話しことば資料に基づいて行った形態論的な分析の結果を記述したものである。この二つの報告書は，幼児語に対する文法的な分析の視点を明らかにするために，構文論と形態論とに分けて刊行したものである。

動詞，形容詞，述語名詞などの形態論的な研究は，わが国における文法研究としても，立ち遅れの見られる分野であり，この報告書では，幼児語の分析とあわせて，いくつかの文法論上の問題を提出している。その意味で，単に幼児語研究の面だけからでなく，文法研究の面からも批判をあおぐことができればさいわいである。

当研究所は，昭和49年4月に研究部の組織を改めたが，この研究は，旧第二研究部言語効果研究室において進められ，資料は研究員大久保愛が採集し，形態論的な分析は室長高橋太郎が担当した。本報告書の執筆は，改組後に高橋が言語体系研究部第一研究室において行った。また，鈴木美都代がこの研究に協力した。

さきに報告50でも述べたが，幼児の話しことばの採集にあたって，東京自由保育園，赤いとり幼稚園，小川幼稚園，神谷保育園の先生がたにご協力をいただいたことを記して，心からのお礼を申しあげる。

昭和50年2月

国立国語研究所長　岩淵悦太郎

もくじ

第Ⅰ部　この研究について …… 1
1.1　この研究と報告書 …… 3
1.2　資料の作成 …… 4
1.3　分析，記述のしかた …… 8
第II部　幼児の所有する動詞の形態 …… 9
第1章　動詞の体系 …… 11
1.1　動詞の基本的な活用 …… 11
1.11　基本的な活用表 …… 11
1.12　機能 …… 11
1.13　ムード …… 13
1.14　テンス …… 13
1.15　ていねいさとみとめかた …… 13
1.16　語形のなまえと用法 …… 13
1.2　文法的な派生動詞 …… 14
1.21　文法的な派生動詞のつくりかた …… 14
1.22　ボイス …… 15
1.23　やりもらい …… 15
1.24　アスペクト …… 15
1.3　文法的な派生形容詞 …… 16
1.4　くみたて動詞 …… 16
1.5　形容詞派生のコピュラとくみあわさったもの …… 17
1.6　コピュラのついたもの …… 18
1.7　とりたてのかたち …… 19
第2章　いいおわり形 …… 20
2.1　幼児の使用した語形 …… 20
2.2　終助詞のついたもの …… 25
2.3　接続助詞のついたもの …… 37
2.4　現在形の用法 …… 41
2.41　現在形の用法 …… 41
2.42　幼児の使用した現在形の用法 …… 42
2.5　過去形の用法 …… 46
2.51　過去形の用法 …… 46
2.52　幼児の使用した過去形の用法 …… 46
2.6　意志形の用法 …… 49
2.61　意志形の用法 …… 49
2.62　幼児の使用した意志形の用法 …… 50
第3章　連体形 …… 52
3.1　幼児の使用した語形 …… 52

3.2 連体形の用法 …… 53
3.21 連体形動詞の形態論的な性格…… 53
3.22 幼児の使用した連体形の用法…… 54
3.221 幼児の使用した連体現在形 …… 54
3.222 幼児の使用した連体過去形 …… 56
3.223 幼児のあやまり …… 58
3.224 内容規定の連体形 …… 58
3.3 形式名詞にかかるもの …… 59
3.31 「もの」「こと」にかかるもの…… 59
3.32 「ところ（とこ）」にかかるもの…… 60
3.33 「ほう」にかかるもの…… 62
3.34 「とき」にかかるもの…… 63
3.35 「ころ」「あいだ」「うち」「まえ」「あと」「たび」にかかるもの…… 67
3.36 「ため」「わけ」「つもり」にかかるもの…… 68
3.37 「きり」「まま」「まで」にかかるもの …… 69
第4章 名詞形…… …… 70
4.1 幼児の使用した語形 …… 70
4.2 名詞形の用法 …… 71
第5章 中止形…… 73
5.1 幼児の使用した語形 …… 73
5.2 第二中止形の用法 …… 75
5.21 単純文のなかでつかわれるばあい…… 75
5.22 複合文を構成するばあい…… 79
5.23 幼児の使用する中止形の問題…… 81
5.3 幼児の使用した例示形 …… 82
5.31 幼児の使用したいろいろな形式…… 82
5.32 いろいろなあやまりの形式…… 83
5.33 例示形の用法…… 84
第6章 副詞形…… 87
6.1 幼児の使用した語形 …… 87
6.2 副詞形の用法 …… 89
第7章 条件形…… 90
7.1 幼児の使用した語形 …… 90
7.2 「するなら」のかたち …… 92
7.3 「したら」のかたち …… 93
7.31 「したら」のかたちの用法…… 93
7.32 「したら」のかたちの問題例…… 96
7.4 「すると」のかたち …… 97
7.5 「すれば」のかたち …… 99
7.6 「よんだとおもったら」と「よんだとしたら」 …… 100
7.7 幼児と動詞の条件形 …… 101

第８章　ゆずり形…… 102
8.1　幼児の使用した語形 …… 102
8.2　ゆずり形の用法 …… 103
第９章　ボイス…… 105
9.1　幼児の使用したボイス動詞 …… 105
9.2　語形のバリエーション …… 105
9.3　かたちくずれ …… 108
9.31　うけみ動詞のばあい…… 108
9.32　使役動詞のばあい…… 109
9.33　可能動詞のばあい…… 110
9.4　うけみ動詞の用法 …… 111
9.5　使役動詞の用法 …… 113
9.6　可能動詞の用法 …… 114
第10章　やりもらい …… 117
10.1　幼児の使用したやりもらい動詞…… 117
10.2　「してやる」の用法…… 119
第11章　アスペクト …… 121
11.1　幼児の使用したアスペクト動詞…… 121
11.2　持続動詞の用法…… 126
11.21　持続動詞の用法 …… 126
11.22　幼児の使用した持続動詞 …… 127
11.3　結果動詞の用法…… 128
11.31　結果動詞の用法 …… 128
11.32　幼児の使用した結果動詞 …… 129
11.4　処置動詞の用法…… 130
11.41　処置動詞の用法 …… 130
11.42　幼児の使用した処置動詞…… 131
11.5　終結動詞の用法…… 132
11.51　終結動詞の用法 …… 132
11.52　幼児の使用した終結動詞 …… 133
11.6　ちかづき動詞ととおのき動詞の用法…… 134
11.61　ちかづき動詞ととおのき動詞の用法 …… 134
11.62　幼児の使用したちかづき動詞 …… 137
11.63　幼児の使用したとおのき動詞 …… 139
11.7　実現動詞の用法…… 141
11.71　実現動詞の用法 …… 141
11.72　幼児の使用した実現動詞 …… 142
11.8　幼児の使用するアスペクト動詞の問題点…… 142
第12章　文法的な派生形容詞 …… 144
12.1　幼児の使用した派生形容詞…… 144
12.2　「よみたい」の用法…… 144

12.21 他動詞のばあいの格支配 …… 144
12.22 「よみたい」の問題例 …… 146
12.3 「よみそうだ」の用法 …… 146
第13章 くみたて動詞 …… 148
13.1 幼児の使用したくみたて動詞 …… 148
13.2 「よむことができる」 …… 148
13.3 「よむことがある」「よむときがある」 …… 149
13.4 「よんだことがある」「よんだときがある」 …… 150
13.5 「よまなくなる」「よむようになる」など …… 152
13.6 「よまなくする」「よむことにする」 …… 154
13.7 「よむとする」「よんだとする」 …… 155
13.8 「よもうとする」 …… 155
第14章 形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの …… 157
14.1 幼児の使用した形式 …… 157
14.2 「いい」とくみあわさるもの …… 157
14.3 「いけない」とくみあわさるもの …… 158
14.4 「だめ」とくみあわさるもの …… 159
14.5 「ならない」とくみあわさるもの …… 160
14.6 その他 …… 160
第15章 推量・比況コピュラのついたもの …… 162
15.1 幼児の使用した例 …… 162
15.2 「よう」「ふう」「みたい」の用法 …… 163
第16章 とりたてのかたち …… 165
16.1 幼児の使用したとりたて語形 …… 165
16.2 第二中止形，例示形などのとりたて …… 165
16.3 名詞形のとりたて …… 166
16.4 連体形と「だけ」「ばかり」のくみあわせ …… 167
第17章 幼児と動詞の形態 …… 168

第III部 幼児の所有する形容詞の形態 …… 171

第1章 形容詞の体系 …… 173
1.1 形容詞の範囲 …… 173
1.2 基本的な活用表 …… 174
1.3 文法的な派生形容詞 …… 175
1.4 くみたて動詞 …… 175
1.5 形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの …… 176
1.6 形容詞とコピュラ …… 176
1.7 とりたて形式 …… 176
第2章 いいおわり形 …… 177
2.1 幼児の使用した語形 …… 177

2.2 終助詞のついたもの …… 182
2.3 接続助詞のついたもの …… 190
第3章 連体形 …… 196
3.1 幼児の使用した語形 …… 196
3.2 連体形の用法 …… 197
3.3 形式名詞にかかるもの …… 199
第4章 名詞形 …… 202
第5章 中止形 …… 204
5.1 幼児の使用した語形 …… 204
5.2 中止形の用法 …… 205
第6章 条件形とゆずり形 …… 207
第7章 文法的な派生形容詞 …… 209
第8章 くみたて動詞 …… 210
第9章 コピュラとくみあわさるもの …… 212
第10章 とりたてのかたち …… 214
第11章 幼児と形容詞の形態 …… 215
第Ⅳ部 幼児の所有する述語名詞の形態 …… 217
第1章 述語名詞の体系 …… 219
1.1 名詞が述語になるとき …… 219
1.2 基本的な活用表 …… 219
1.3 当為，推量・比況のコピュラとくみあわさるもの …… 220
第2章 いいおわり形 …… 221
2.1 幼児の使用した語形 …… 221
2.2 終助詞のついたもの …… 223
2.3 接続助詞のついたもの …… 230
第3章 連体形 …… 233
第4章 中止形 …… 234
第5章 条件形とゆずり形 …… 236
第6章 形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの …… 238
第7章 推量・比況のコピュラのついたもの …… 239
第8章 幼児と述語名詞の形態 …… 241
引用文献 …… 242

第Ⅰ部　この研究について

1.1　この研究と報告書

（内容）　この研究は，３～６才の幼児が会話のなかで使用した動詞，形容詞，ならびに述語につかわれた名詞について，形態論の面から分析したものである。

（資料）　資料は，1.2でのべるように，大久保愛が東京都内の幼稚園，保育園において，計約300人の子どもとひとりずつあって，一定の話題について，はなしあってつくった録音資料を文字化してカードにしたものを使用した。

（目的と結果）　この研究の目的は，はじめ，幼児の文法能力の発達過程をみることにあった。われわれのはじめの予想では，３才～４才～５才と年をかさねるごとに，こどもは文法能力を発達させていく，したがって，資料をあつめれば各年齢間の差ももとめることができるはずであった。ところが，実際にしらべてみると，形態論的な事項は，その基本的なものが年少児（３～４才児）においてすでにだいたい身につけられていることがわかった。もちろん個人差があって，年少児のすべてがそうであるわけではないが，今回の方法では，個人については短時間の資料なので，総体として問題にすることしかできなかった。つまり，あるこどもがＡの面ですぐれ，他のこどもがＢの面ですぐれ……ということをよせあつめると，総体としては，年少児も，全体にわたって文法能力を所有しているということになるのである。したがって，この研究は，「３～４才児でも，すでにこれだけの文法形式をつかいこなすことができています」ということを報告する結果となってしまった。

（成果）　この研究の目的が，ただ発達過程をとらえることだけにあったとすれば，この研究はあきらかに失敗だったということになる。しかし，この研究は，やはり，つぎの二点において成果をえたとかんがえられる。

第一は，はなしことば資料の使用によってえられた成果である。いま，年少児においてすでに基本的なものが身につけられているとのべたが，これは，現実の使用状況を対象とすることによってわかったことであり，言語テストのような方法でえられるものではない。一般的にいえば，意識化しないで使用できる能力は，意識的に使用する能力よりはるかに先んじて発達する。そのことについては，たとえば来年度出版される予定の天野清の幼児の文法能力の発達についての実験調査的な研究の報告を本書とならべて，おなじ項目のところをつきあわせれば，はっきりするだろう。この研究の結果には，意識化されていない言語使用の実態がうつしだされているのである。

第二は，分析の方法によってえられた成果である。従来からも幼児のはなしたことばの文法的な分析はあった。しかし，それらはおおむね学校文法のわく内にとどまり，品詞別，あるいは，助詞・助動詞の初出状況をしらべるていどであった。しかし，助詞や助動詞は名詞や動詞とはなれがたくむすびついたものであり，そのような，むすびついたかたちで分析するのでなければ，名詞や動詞などをシステムとしてとらえることができない。この研究では，幼児の使用した動詞，形容詞，述語名詞などを，その形態論的なシステムのなかでとらえ，また，かなり精密にしらべた。「年少児ですでにこれだけのことばがつかえます」あるいは，「この点はまだよわいとおもわれます」などということは，実は，このようにしらべてみて，はじめてわかることである。それがいえたということは，この研究の成果だといえよう。

（この報告書のねらい） この報告書は，以上のような観点から研究の結果を報告するとともに，形態論的な，分析の方法を提示することをもねらいとしている。(しかし，本書は，文法研究を目的としていないので，文法的な記述は，最少限にとどめたが。)

この研究で最初に意図した発達の過程はもとめられなかった。これをとらえるためには，1.5才から4才にいたる個人の言語習得過程をおわなければならないだろう。もしそのようにして採集された言語資料が，本書のような方法で分析されるならば，すくなくとも，形態論の範囲のなかでは，子どもによって，文法形式のどのような部分からどのような過程で習得されていくかがとらえられるだろう。そのような研究を期待して，本書では，今回の資料にあらわれなかった形式や用法についても，必要に応じてかきそえておいた。

1.2 資料の作成

この研究は，旧言語効果研究室において1965年から1973年にかけておこなわれたものである。その録音資料は1965～1970年のあいだに大久保愛によってつくられた。この資料による文論的な分析の報告は，すでに大久保愛「幼児の文構造の発達—3歳～6歳児の場合—」によって1973年に出版されている。

この録音資料の採集および「幼児のことばカード集」およびカードの作成については，前記の大久保愛1973の4～8ページにくわしくのべられているので，ここでは，それを引用する。

録音資料の採集

以下の方法で，幼児の話しことばの採集を行なった。

(1)場面——大きく(a)つくられた場面，(b)自然の場面が考えられる。(b)の自然の場面で話しことばの採集をするのができれば理想的であるが，録音機の性能とか，採集の場所などを考え，また分析の目的が文構造ということなどのため，(a)の場面で採集することにした。(a)の中でも，幼児同士の対話をとることもできるが，場面を固定してやれる利点から，調査者のいる別室に幼児を招き，調査者と幼児である被験者との問答形式で話しことばをとることを採用した。(以下この調査を「問答式」と略称する）結論的には，文の構造の分析には，この方法が自由の場より整った文形式がとれたのではないかという意味で有効であったと思っている。ただ，伝達機能の面の調査としては，この「問答式」では不十分である。そのためには，たとえば「役割遊び」などの場面を設定しての調査も考えられる。しかし，こんどの場合は行なわなかった。補充資料としては，自由の場での幼児の話しことばの一つとして，幼児をもつ3家庭に委託して採集してもらい，この欠を補った。(「自由の場」と略称する）

「問答式」の間に当る部分については，前もって検討した。幼児の生活を観察して，幼児の生活場面の全体がおおえるように努めた。

(2)話題について——10の問を用意した。以下のようである。

(a)本人（幼児）の名まえと年齢
(b)家族について（構成メンバー，だれが好きか，両親の仕事など）
(c)新しい，あるいは印象深い経験（運動会，お祭，夏休み，旅行，休日など）
(d)園や家庭での生活（昨日何をしたか，どういう遊びをするか，幼稚園での生活，友だちのこと，趣味，夢など）
(e)園へ，あるいは家への道順
(f)両親から聞いた話や自分で読んだ本
(g)テレビで見た漫画，その他の筋や感想
(h)社会的話題（ニュースその他）
(i)筋のある絵を見せて話を作らせる
(j)その他

これらを幼児に質問することによって，文構造の形態ばかりでなく，幼児の精神的傾向もあわせて見られるようにした。すなわち，経験したものの再生力や，他人に筋道をたてて話す能力や，話を作り構成する創作力，構成力などもみられたり，幼児が何に関心をもっているかの興味のありかたもわかるようになっている。これら資料は，「幼児のことばカード集」として印刷した。印刷の面では，文の分析用としても使用するため，カードに裁断できるように組んだ。のちに見本を示す。

(3)時間について――時間は制限せず，できるだけたくさんしゃべらせるようにした。それは何分間に何文字，あるいは何文節しゃべるかを調査するのを目的とせず，どのような文構造を使用するかをみるためだからである。(長くしゃべった子で30分，平均10分前後だった。)

調査園および幼児数

この調査には，次の園の先生がたにお世話になった。

東京板橋区，東京自由保育園（1965，66，70年各9月）

東京北区，赤羽台幼稚園（現在，「赤いとり幼稚園」と改称）（1965，66，70年各9月）

東京千代田区，小川幼稚園（1968年6月）

東京北区，神谷保育園（1968年5月）

園児の人数は次表のとおり。

調査園および人数　　＊　年中，年長が同一幼児の人数，男22，女16，計38名

	年　長(5：5～6：6)			年　中(4：1～5：6)			年　少(3：3～4：4)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
T園	30名 ＊12	23名 ＊ 8	53 ＊20	14 ＊12	8 ＊ 8	22 ＊20	7	5	12
A園	35 ＊10	27 ＊ 8	62 ＊18	12 ＊10	12 ＊ 8	24 ＊18	16	6	22
K園				17	14	31	12	8	20
O園				31	13	44	10	5	15
計	65	50	115	74	47	121	45	24	69

この中には1965年に年中児だったものが1966年に年長児になって，同じ質問に答えたものがいる。＊で示した。男22名，女16名である。これで同一児の場合の発達もみられる。

これら園児の家庭の職業，兄弟関係の記録もある。おおざっぱな職業分布は，東京自由保育園は，商人，小企業の工場主などが中心で，赤羽台幼稚園はホワイトカラー，小川幼稚園は小企業，商人，公務員，神谷保育園はブルーカラーのニュアンスがある。

「幼児のことばカード集」およびカードの作成

前にのべた話題を中心に，一人の幼児と別室で向い合って，調査者が質問するという問答形式で，幼児の話しことばを録音テープに採集する。そのテープを文節分かち書き，かな表記で文字化する。それをのちにのべる形式で「幼児のことばカード集」と分析用カードにしたものが，この研究の資料となっている。以後用例としてあげるときの理解のため，少しくわしく述べる。

7ページの表は「幼児のことばカード集」の一ページを縮めたものである。これを八つに裁断すると分析用カードができる。カード集各70部カード1枚について80枚ずつをつくった。分析用カードの見本は6ページにある(現寸)。カード集の最初にあげた凡例から関係のあるところを述べる。

凡　例

1　カード毎に園名，幼児略名，性別，年齢，幼児毎のカードナンバー，採集年を，この順で入れた。また，環境とことばの関係もみたいと思い，その一つの方法として兄弟姉妹の記入をした。「本」は被験者本人の意である。

赤＝赤羽台幼稚園　自＝東京自由保育園　小＝小川幼稚園　神＝神谷保育園　長＝年長児　中＝年中児　少＝年少児　a・b・c……，A・B・C……，a′・b′・c′……＝幼児名のかわりに用いた記号である。(本人の名一字をとり漢字で示したカード集もある。)

2　カードのはじまりに前のカードのあと二行を繰返し，そのカードだけでも文脈がわかるようにし

た。長い点線で区別した。

3　発話者のうち，対象になる幼児の発話をかたかな，調査者の発話を漢字まじりひらなが，外来語をかたかな書き，横書きとした。

4　幼児の発話にかぎり文節分かち書きを用い，文節毎に一字あけた。(発話のとぎれた場合は文節中でも一字あけた。)

5　表記は現代かなづかいとし，長音符号は，語をのばして発音している場合と外来語のみにつかった。「ネー」「ナーニ」「ジェッター」など。

6　一枚のカードに幼児のことばをなるべくたくさん入れたいため，調査者の発話は，必要最少限にとどめた。録音のとおりでない。

7　幼児の発音はできるだけ忠実に写すよう心がけたが，アクセント，イントネーションは記録されていない。

8　以下に，使用した記号の説明をする。

○＝幼児の発話のはじまりを示す

。＝ふつうの文末

；＝倒置あるいは補足文

，＝長文での句末，文の中断，文節中のとぎれ

？＝疑問文

！＝感嘆

(　)＝発話の不明瞭　　{　}＝二様にきこえるばあい

……＝間（ポーズ）

＃＝調査者の合づち「うん」「ん」の略

然＝調査者の応答「そう」「そうね」などの略

$\frac{\text{ことば}}{\text{ことば}}$＝同時発言

〔　〕＝ことばや状況の注釈

／／＝文中に別の発話者のことばが入ってきたばあい

「　」＝直接話法ほか

神少一寺男(４：４)－２　　1968　　兄

おとうさんは？

○イナイ。オツトメ　ミンナ。然

……どこいって……

○(モウ　シュグノ)　オニイチャンモ　ガッコ(オ)。然　ウン。

おうち何人いるの？みんなで。

○ワカンナイ。然　アッ　ウ　ウシロニ　ナンカ　キレノ　＃　アイダヘ。

これあとで見せてあげるわ。ぼくのおとうさんのお仕事しってる？

○シラナイ。

どこいってるのか。

○オツトメダヨ。＃

行ったことある？おとうさんと一緒に。

赤少－a女(３：10)－1　1970　本　妹

お名前何て言うの？／○Ｓ・Ｙ。／年いくつ？／○……／それ，いくつって言うの？(笑)これは？いくつ？／○ヒトツ。／ひとつねー。それから？／○フタツ。／それから？／○ミッツ。／Ｙちゃんの年は？／○ミッツ。／よく知ってるわねー。／○ウン。／これは数えられる？／○イチ　ニー　サン……

おうち誰と誰います？／○ウントネー　＃　エッ／おうちには？／○ヨシエチャントネー　＃　ノリコチャン　ヒッコシチャッタケドネー，セエコチャンモ　アソンデイル。／お友だちね。／○ウン。／おうちではおかあさんと誰がいる？／○オトウ(サン)＃　パパ。／お母さんとパパ？／○ウン。／お母さんは何て言うの？／○Ｓ・Ｔ。／お父さんの名前は？／○ウントネー　Ｓ・Ｓ。／Ｙちゃんひ

赤少－a女(３：10)－2　1970　本　妹

／お母さんとパパ？／○ウン。／お母さんは何て言うの？／○Ｓ・Ｔ。／お父さんの名前は？／○ウントネー　Ｓ・Ｓ。／Ｙちゃんひとりっ子？／○ウウン。／赤ちゃんいるの？／○ウン。／誰いるの？／○マサコチャン。然　ウン。／二人？／○ウン。／妹さんね。／○ウン。／誰一番好き？／○ウントネ　パパ。／どうして？／○ワカンナイ。／ん？／○ナンデモ　カッテクレルカラ。／何買ってもらった？／○アイストカネーエー　＃　ソレカラ　ガムトカネーエ　＃　ソレカラ　(アイ)　ソレカラ　アイスクリームトネー　＃　ソレカラネー　ケーキ。／何一番好き？その中で。／○ウントネーマル。／まるって何？／○(パツ)　ツケル　モノ。／ばつつけるもの？何でしょう？／○パツ　マル　パツ　マル　パツ　マル　マ

赤少－a女(３：10)－3　1970　本　妹

マル。／まるって何？／○(パツ)　ツケル　モノ。／ばつつけるもの？何でしょう？／○パツ　マル　パツ　マル　パツ　マル　マル　パツ　マル。／お父さんがお仕事していらっしゃる所いったことある？／○ウン。／お父さんはどんなお仕事しているの？／○ウントネー　＃　エッ，カミニネー　＃　ナンカ　カク　オシゴトシテル。／どんなとこ？／○ウントネー　＃　ソレカラ　イナカノオバアチャント　イナカノ　オバチャン　キタ　コト　アルンダヨ。／何しに来たの？／○ントネ　トマリニ　キタノ。然　モウ　カエッチャッタヨ。／いつきたの？／○ウント　ワカンナイ。／わからないよね。／○ウン。／お母さんはいつも何してらっしゃる？／○パパノ　ゴハン　チュクッテル。／然　Ｙちゃんのためには何してる

赤少－a女(３：10)－4　1970　本　妹

ないよね。／○ウン。／お母さんはいつも何してらっしゃる？／○パパノ　ゴハン　チュクッテル。／然　Ｙちゃんのためには何してる？／○ウントネー　＃　アタシハ　オチャワン　アラウンダヨ。／ほんと？／○ウン。／へーえ。／○セッケンデ　キレエニ。／然石鹸で洗うの？おちゃわん。／○ウン。／お手伝いよくできるのね。／○ウン。／それから何するの？お手伝いは。／○ウントネー　ソレ……　パパ　オコスノ。(笑)／なかなか起きないの？／○ウン。　ダッテ　カイシャヘ　イク　イク　イクッテ……　然　アー。／きのうは何した？／○エッ？／Ｙちゃんは？／○ウントネー　キノウネー　＃　ヨルノ？　＃　ヨルネー　＃　アタシネ　スイカタベテネー　＃　ブクブクシテネー　＃　ソレデ　ネチャッタ。／

赤少－a女(３：10)－5　1970　本　妹

ノウネー　＃　ヨルノ？　＃　ヨルネー　＃　アタシネ　スイカタベテネー　＃　ブクブクシテネー　＃　ソレデ　ネチャッタ。／ぶくぶくって何？／○……ハヲ　ミガクノ。／然それからねー，きのうお昼は何した？／○ゴハン　タベタ。／幼稚園来ては何した？／○オベントウ　タベタ。／お弁当なかったよ，きのう。何した？／○ウントネー。／おぼえてないね。／○ウン。／あのね，遠くに行ったことある？／○ナイ。／あの汽車や電車で。／○オオモリノオバアチャンチネ　＃　イッタ　コト　アルヨ。然　コウソクドウロ　トオッテ。パパガ　ウンテンシテ。ソイデ　キュウネー　＃　パパネー　＃　ブツカッチャッタンダヨ。／きょう？／○ウン。／どこで？／○ウントネー　＃　ワカンナイ。／帰って来たの？／○

赤少－a女(３：10)－6　1970　本　妹

パパネー　＃　ブツカッチャッタンダヨ。／きょう？／○ウン。／どこで？／○ウントネー　＃　ワカンナイ。／帰って来たの？／○ウン　＃　ソシタラネー　オカイモノカラ　カエッテキタラネー　＃　ケガシチャッテンダヨ。／誰が？／○パパ。／へーえ。／○ダカラネー　＃　キュウ　パパ　オウチニ　イノ。／どこ怪我したの？／○フタツ。ココ。／いつも自動車で会社行ってるの？／○ソウ。／じゃ困るね。早く帰らないといけないわね。／○ウン。ダッテサー　＃　パパサー　＃　カエッタリ　イッタリ　スルンダモン。　＃　ヨソミ　シテ　ウンテンシタカラ。(笑)／お医者さんに行ったの？／○ウン　イッタ。キュウ　イッタヨ。然　キノウ　イッタケド。／じゃ怪我したのもっと前？／○ウン。／日曜日なんかね，

赤少－a女(３：10)－7　1970　本　妹

たの？／○ウン、イッタ。キュウ　イッタヨ。然　キノウ　イッタケド。／じゃ怪我したのもっと前？／○ウン。／日曜日なんかね，／○ウン。／幼稚園お休みだよね。何する？／○オモチャデ　アソンデル。／どんなおもちゃ持ってんの？／○ウントネー　＃　トラック。ウチ　ナインダヨ。／あるの？／○ナイヨ。然　ヨシノリチャンチハ　アル。然　トラック；トラック　イッパイ　アルンダヨ。ヨシノリチャンチ；／Ｙちゃんは女の子だからないのかな？／○ソウ。然　ケエコチャンハ　オンナノ　コデネー　＃　ヨシノリチャンハ　オトコ。／どうしてわかる？男と女って。／○ダッテサー　＃　アタシ　(マキ)コチャンノ　トナリニ　イルモン，ワカルヨ。／じゃねー動物園なんか行ったことある？／○アルヨ。／

赤少－a女(３：10)－8　1970　本　妹

サー　＃　アタシ　(マキ)コチャンノ　トナリニ　イルモン，ワカルヨ。／じゃねー動物園なんか行ったことある？／○アルヨ。／何がいた？／○ウントネー　ゾウサントネー　ライオンサントネー　カバサントネー　キリンサントネー　ソレカラネー　ウントー　ウサギサントネー　＃　ラクダサン　イタ。／すいぶん知ってるのねー。デパートに行ったことある？／○アル。／何がある？デパートっていうとこは。／○ママノネ　＃　ケショウヒンヤラ　アル。(笑)ソレバッカリ　アンダヨ。／それればっかり？／○ウン。／そんなことないでしょう。Ｙちゃんが買うものだってあるんじゃない？／○チガウヨ。／どうして？／○ジャー　オオクポセンセエモ　イッテミテ　ミテ(ゴラン)ヨ。／洋服だって売ってるじゃない？デパー

1.3 分析，記述のしかた

本書では，各部ごと，あるいは，各章，各節ごとに，はじめにその分野についての文法的な記述をかんたんにおこない，ついで，それにしたがって幼児の使用例をかきならべていく。そして，そのあと，幼児の使用例にあらわれた特徴をのべることにした。

最初にものべたように，この研究は，はじめ幼児の文法能力の発達過程をみるつもりであったが，年少児でもすでに基本的なものを身につけており，また資料収集の方法による制約もあって個人の発達をおうこともできず，そのため，年少――年中――年長のあいだにはっきりした発達差をみいだすことができなかったので，発達法則の追求よりも，幼児の使用した例の忠実な記述に重点をおくことになった。したがって，ときに発達過程について発言するとしても，それは感想のていどであって，体系的なものではない。

つぎに，この研究での単語のみとめかたや分析のたちばなどに，ごくかんたんにふれておく。

1) この研究では，動詞，形容詞，名詞などから助動詞や助詞をきりはなさず，それらのくっついたものを単語とみた。つまり，ここでいう単語は，現象的には，いわゆる文節にちかい。

2) この研究では，いわゆる形容動詞を形容詞の一種としてあつかった。

3) 第II部～第IV部で，幼児の使用した動詞，形容詞，述語名詞を，形態論のたちばから分析した。

第II部　幼児の所有する動詞の形態

第1章　動詞の体系

1．1 動詞の基本的な活用

1.11 基本的な活用表

動詞は，その文法的な機能と意味によって，いろいろにかたちをかえる。そして，そのいろいろなかたちは，せまい意味の語形と，一定の文法的なてつづきによって二次的につくられる派生動詞との，ふたつの軸によって整理することができる。たとえば，「よむ」「よんだ」「よもう」「よめ」「よんで」「よめば」などは，動詞「よむ」のせまい意味の語形であり，「よまない」「よみます」などは，もとの動詞「よむ」の文法的な派生動詞である。文法的な派生動詞は，もとの動詞とおなじように，せまい意味の語形をもつ。たとえば，「よまない」は，「よまない」「よまなかった」「よむまい」「よむな」「よまないで」「よまなければ」のような，せまい意味の語形をもつ。

このようにして整理すると，動詞の基本的な語形[注1)]は，つぎのページの表のようにまとめることができる。この表において，たて軸はせまい意味の語形，よこ軸は文法的な派生動詞である。

1.12 機能

動詞の語形は，機能によって，いいおわり形，連体形，名詞形，中止形，副詞形，条件・ゆずり形にわけられる。機能というのは，その単語の文中におけるはたらきのことである。つまり，語形のもつ統語論的な側面である。

（いいおわり形）　いいおわり形は文のいいおわりにつかわれる語形である。[注2)]

（連体形）　連体形は，名詞をかざるときの語形である。

（名詞形）　名詞形は，名詞とおなじように，格変化の体系をもつ語形である。うえに対しては動詞としてはたらき，したに対しては，名詞としてはたらく。「動名詞」として，基本的な活用表からはずしてもよいのだが，連体形とにた面があるので，いちおうここにおいた。

（中止形）　中止形は，文をとちゅうでとめるときの語形である。

（副詞形）　副詞形は，副詞的な用法につかわれる語形である。中止形が述語になりうるのに対して，このかたちは述語になることができない。また，主語をともなってクローズをつくることができない点でも，中止形とことなっている。基本的な副詞形の基本的な用法は，うちけしにならない。以上の点は副詞ににているが，格支配の機能をもつ点において，動詞である。

（条件・ゆずり形）　条件・ゆずり形は，述語でしめされることがらがなりたつための条件をしめすときにつかわれる語形である。

注1)　この「語形」はひろい意味の語形である。本書では，以後おおくのばあい，ひろい意味とせまい意味の区別について，いちいちことわることなく，ただ「語形」または「かたち」とかく。

注2)　これを「終止形」といってもよいのであるが，学校文法の「終止形」がべつの意味につかわれるので，誤解をさけるために，この用語をつかうことにした。

幼児の使用した動詞の形式(1)——動詞の基本的な諸語形

機能	ムード		テンス	（その他）	ていねいさ	ふつう			ていねい		
					みとめかた	みとめ		うちけし	みとめ		うちけし
					幼児の使用例		年年年 長中少			年年年 長中少		年年年 長中少
いいおわり形	伝達形	断定形	現在形 過去形			よむ よんだ	○○○ ○○○	よまない よまなかった	○○○ ○○○	よみます よみました	○○○ ○○○	よみません よみませんでした よまなかったです	○○○ ×
		推量形	現在形 過去形			よむだろう よんだだろう	○○ ○	よまないだろう よまなかっただろう	○　○	よむでしょう よんだでしょう	○○○ ○○○	よまないでしょう よまなかったでしょう	○ ○
	意志形 命令形 依頼形					よもう よめ よみな よんで（くれ）	○○○ ○○○ ○ ○○○	（よむまい） よむな よまないで	 ○○	よみましょう よみなさい およみなさい およみ よんでください	○○ ○○○ ○ ○○○ ○○△	（よみますまい） よまないでください	
連体形			現在形 過去形			よむ よんだ	○○○ ○○○	よまない よまなかった	○○○ ○　○	よみます よみました		よみません よみませんでした	
名詞形			現在形 過去形			よむの よんだの よむに（は・も）	○○○ ○○○ ○○	よまないの よまなかったの	○○	よみますの よみましたの		よみませんの よみませんでしたの	
中止形				第一 第二 してから 例示形		よみ よんで よんでから よんだり	△△ ○○○ ○○○ ○○○	よまず（に） よまないで よまなくて よまなかったり	○○ ○○○ ○○	 よみまして よみましてから よみましたり		よみませず よみませんで よみませんでしたり	
副詞形				しながら しいしい しつつ しに しようと		よみながら よみよみ よみつつ よみに よもうと	○○○ ○ ○○○ ○　△	（よまないながら） よむまいと					
条件一 ゆずり形	条件形			するなら したなら したら したらば すると すれば（すりゃ） しては（しちゃ）		よむなら よんだなら よんだら よんだらば よむと よめば（よみゃ） よんでは（よんじゃ）	○○ ○○○ ○ ○○○ ○○○ △△△	よまないなら よまなかったなら よまなかったら よまないと よまなければ（よまなきゃ） よまなくては（よまなくちゃ）	 ○○○ ○○○ ○○○ ○○	よみますなら よみましたなら よみましたら よみますと （よみますれば） よみましては	 ○ 	よみませんなら よみませんでしたなら よみませんでしたら よみませんと よみませんでしては	
	ゆずり形			しても したって しようと（・が）		よんでも よんだって よもうと（・が）	○○○ ○○○ ○	よまなくても よまなくたって （よむまいと・が）	○ ○	よみましても （よみましたって） よみましょうと（・が）		よみませんでしても （よみませんでしたって） よみますまいと（・が）	

1.13 ムード

いいおわり形はムードによって，伝達形，意志形，命令形，依頼形にわけられる。ムードというのは，現実に対する態度を語形によってあらわすことである。

（伝達形） 伝達形は，ものごとをあいてにつたえたり，文章に客観的にのべたりするのにつかわれる語形である。伝達形は，さらに，断定形と推量形にわけられる。

（断定形） 断定形は，いいきるときにつかわれる語形である。

（推量形） 推量形は，おしはかるときにつかわれる語形である。なお，このかたちをつくっている形態素「だろう」が接辞であるかコピュラであるかについては，現在のところ結論がだしがたく，問題としてのこされている。もしそれがコピュラであれば，基本的な語形からはずさなければならない。

（意志形） 意志形は，はなしての意志，または，ききてへのさそいかけをあらわす語形である。意志とさそいかけは，ともにこの語形の甲乙をつけがたい基本的な用法である。したがって，このかたちは，「さそいかけ形」ともよばれる。

（命令形） 命令形は，めいれいするときにつかわれる語形である。

（依頼形） 依頼形は，たのむときにつかわれる語形である。なお，この語形は，やりもらい動詞のなかの「よんでくれる」の命令形とホモニムであり，意味のうえでも，きれめなくつながっているので，依頼形としてあげることをやめて，「よんでくれる」の命令形の一用法として処理することもかんがえられる。

1.14 テンス

伝達形，連体形，名詞形は，テンスによって現在形と過去形にわけられる。テンスというのは，動作や状態のなりたつときを，発言時等を基準にして語形にあらわすことである。

（現在形） 現在形は，そのことがおこるのが過去でないこと，つまり，現在または未来におこることをあらわす。

（過去形） 過去形は，そのことが過去におこったことをあらわす。

1.15 ていねいさとみとめかた

動詞は，ていねいさ，みとめかたによって，文法的な派生動詞を分出している。

動詞は，ていねいさによって，ふつう動詞とていねい動詞にわかれる。またみとめかたによって，みとめ動詞とうちけし動詞にわかれる。

1.16 語形のなまえと用法

以上，基本的な語形について，それぞれのなまえと基本的な用法をしめしたが，これは，その名づけの理由となった用法についてのみのべたのであって，それらがそれぞれその語形の唯一の用法ではない。たとえば，意志形は，推量をあらわす用法をもっているし，未来のことを過去形であらわすこともある。それぞれの語形のさまざまな用法については，それぞれの語形について記述する箇所でのべることにする。

1.2 文法的な派生動詞

1.21 文法的な派生動詞のつくりかた

文法的な派生動詞は，ていねいさやみとめかたによってつくられるほか，つぎの表のように，ボイス，やりもらい，アスペクトなどによってもつくられる。このような文法的な派生動詞は，それぞれが，もとの動詞のように，基本的な活用表をもっている。たとえば，「よまれる」は「よまれる――よまれない――よまれます――よまれました」のように，「よんでいる」は「よんでいる――よんでいない――よんでいます――よんでいません」のようになって，さらに，それぞれがせまい意味の語形にかわることができる。

文法的な派生動詞のつくりかたには，二種類のものがある。一つは，アスペクト動詞の一部「よみかける」「よみだす」やボイス動詞のように，接尾辞をつけて派生させるものであり，もう一つは，アスペクト動詞の大部分ややりもらい動詞のように，補助動詞（「いる」「しまう」「やる」「くれる」など）とくみあわせるものである。

また，「よんでる」や「よんじゃう」のように，補助動詞とのくみあわせがさらにつづまって，補助動詞が接尾辞のようになっているものがある。

幼児の使用した動詞の形式(2)―文法的な派生動詞

			年長	年中	年少
ボイス	うけみ	よまれる	○	○	○
	使役	よませる	○	○	○
	使役―うけみ	よまされる	○	○	○
	可能	よめる	○	○	○
		よまれる	○	○	○
やりもらい	やり	よんでやる	○	○	○
		よんであげる	○	○	○
	もらい	よんでもらう	○	○	○
		よんでいただく			
	くれ	よんでくれる	○	○	○
		よんでくださる	○	○	
アスペクト	持続	よんでいる	○	○	○
		よんでる	○	○	○
	結果	よんである	○	○	○
	処置	よんでおく	○	○	○
		よんどく	○	○	○
	終結	よんでしまう	○	○	○
		よんじゃう	○	○	○
	ちかづき	よんでくる	○	○	○
	とおのき	よんでいく	○	○	○
		よんでく	○	○	○
	実現	よんでみる	○	○	○
	実演	よんでみせる			
	その他	よみかける		○	
		よみだす	○		○
		よみおわる		○	
		よみきる	○		

文法的な派生動詞には，ボイス，やりもらい，アスペクトのほかに，敬語に関するものがある。

敬語動詞には，「よまれる」のように接尾辞をつけて派生させるもののほか，接頭辞「お」をつけるものがある。「およみする」「およみ申しあげる」などは，接頭辞「お」と接尾辞をつけて派生させたものであり，「およみになる」は，さらに補助動詞をくみあわせたものである。

また，やりもらい動詞は，補助動詞にふつうのもの「やる」「もらう」「くれる」と敬語のもの「あげる」「いただく」「くださる」とがあって，後者をつかうと敬語動詞になる。

今回の幼児の使用した動詞のなかには，敬語動詞がひじょうにすくなく，やりもらい動詞のなかに少々の「よんでくださる」があったていどである。(なお「よんであげる」は現在ではほとんど敬語性がないので，敬語動詞としてあつかう必要はないかもしれない。) したがって，この研究では，敬語動詞をとりあげて分析することはしなかった。

1.22 ボイス

ボイスには，うけみ，使役，可能などがある。ボイスというのは，どのたちばのものを主語にしてあらわすかということに関するカテゴリーである。

(うけみ) うけみは，もとの動詞であらわす動作の対象を主語にしたときのいいあらわしかたである。

(使役) 使役は，もとの動詞であらわす動作をひきおこすものを主語にしたときのいいあらわしかたである。

(可能) 可能は，もとの動詞であらわす動作の可能性や能力をもつものを主語にしたときのいいあらわしかたである。外国語では可能はふつうムードのカテゴリーにいれられるが，日本語の可能は，もともと，うけみと未分化のかたちで発生し，現代語でも，対象をガ格であらわしたり，もとの動作の対象を主語にしてあらわしたりするので，ボイスのなかにいれられている。

○アタイハ ジガネ ヨメルノ。 (赤－f女 5－9)

○バーラガ サイタ ケーキ。バラダッテ タベラレルンダヨ。 (神－三男 4－0)

1.23 やりもらい

やりもらいには，「してやる」「してもらう」「してくれる」などがある。やりもらいは，だれのために動作をおこなうかをあらわすことに関するカテゴリーである。

(してやる)(してくれる) 「してやる」と「してくれる」は，サービスの主体を主語にしたときのいいあらわしかたである。「してやる」は，サービスの主体が一人称または主人公であるばあいにもちいられ，「してくれる」は，サービスのうけてが一人称または主人公であるばあいにつかわれる。

(してもらう) 「してもらう」は，サービスのうけてを主語にしたときのいいあらわしかたである。このサービスのうけては，いつも一人称か主人公である。

1.24 アスペクト

アスペクトには，持続，結果，処置，終結，ちかづき，とおのきなどがある。アスペクトというのは，動詞のあらわす動作がどの過程にあるかをいいあらわすことに関するカテゴリーである。

(持続) 「している」は，動作または動作結果が持続している状態にあることをあらわす。

(結果) 「してある」は，動作結果としての動作対象の状態が持続していることをあらわす。

（処置）「しておく」は，一定の状態をつくりだすこと，あるいは，一定の状態を持続させることをあらわす。

（終結）「してしまう」は，ある動作をおわりまでおこなうこと，あるいは，一定の状態がおわったり，その状態をおわらせたりすることをあらわす。また，期待しなかったことや期待に反することがおこることをあらわす。「しちゃう」は，そのほかに，動作が成立することをあらわす。

（ちかづき）と（とおのき）「してくる」と「していく」は，動作や状態の変化が進行することをあらわす。「してくる」と「していく」とは，おなじことをもあらわしうるが，発生，発展の方向にあるばあいには前者が，終了，消滅の方向にあるばあいには後者がつかわれることがおおい。また，現在までの進行や持続を前者が，現在からのそれを後者がうけもつという分担もある。

「してくる」と「していく」には，アスペクトに関係なく，「いく」「くる」などの本動詞としての意味がいきたまま，一定の移動動作のしかたをあらわしているばあいがある。実際には，むしろ，この用法のほうがおおくつかわれる。この研究では，そのような用法についても，あわせて記述した。

（実現）「してみる」は，動作を実際におこなうことをあらわす。条件形または他の語形で条件の意味をあらわすばあいには，無意志的な動作や非情物の動作もこれになることができ，それは，主語または主人公の認識内容をあらわす。

（実演）「してみせる」は，ひとまえで実際に動作をおこなうことをあらわす。

「してみる」や「してみせる」をアスペクトのなかにふくめることには問題があるが，いちおうここでのべることにした。

（派生のてつづきによるアスペクト動詞）「よみかける」「よみだす」「よみおわる」「よみきる」「よみつづける」などは，接尾辞をつけてつくるアスペクト動詞である。

1.3 文法的な派生形容詞

もとの動詞は，形容詞的な接辞をつけて，文法的な派生形容詞をつくることができる。派生形容詞は，形容詞とおなじような，せまい意味の語形をもつ。

（希望）「したい」は希望をあらわす。

（様態）「しそうだ」は，動作や状態がなりたつけはいのあることをあらわす。

幼児の使用した動詞の形式(3)——文法的派生形容詞

	年長	年中	年少
よみたい	○	○	○
よみそうだ	○	○	○

1.4 くみたて動詞

文法的な派生動詞とくらべると，その構成要素のあいだのむすびつきはよわいが，それかといって，統語論のなかにすっかり解消してしまうためにはあまりにもむすびつきのつよすぎるものを，「くみたて動詞」とよんで，つぎの表のように一括した。これらは，形態論と統語論のあいだ

の中間的な単位をなしている。「くみたて動詞」というまとめかたは，文法論の世界でまだ承認をえていないが，幼児によって実際に使用されたこれらの形式をそのまますててておくわけにいかないので，いちおうここにまとめたわけである。

これをここにあつめたのは，構成要素である単語間のむすびつきかたのつよさという単位構成上の特徴によってであって，それのもつ文法的な意味によってではない。もし，このような単位が形態論的なものとして承認されれば，この表で小分けしたグループごとに別々に位置づけられるはずである。各グループや各形式の性格については，各論のところでのべる。

幼児の使用した動詞の形式(4)——くみたて動詞

	年長	年中	年少
よむことができる	○	○	
よむことがある	○	○	○
よまないことがある	○	○	○
よむときがある	○	○	○
よまないときがある	○		
よんだことがある	○	○	○
よんだときがある	○	○	○
よまなくなる	○	○	○
よみたくなる	○	○	○
よみそうになる	○	○	○
よむようになる	○	○	
よんだみたいになる	○	○	
こういうふうになる			○
よむことになる	○	○	
よまなくする	○		
よむようにする	○	○	
よむことにする	○		
よむとする	○	○	
よんだとする	○		
よもうとする	○	○	○

1.5 形容詞派生のコピュラとくみあわさったもの

動詞の条件形，ゆずり形，中止形と形容詞派生のコピュラとがむすびついて，一定のモーダルな意味をあらわしているものをここでとりあげる。これらは，あるいは，コピュラの形態論としてとりあげるべきで，動詞の形態論としては，条件形などのところで，コピュラとくみあわさる用法とだけしておけばよいのかもしれない。しかし，すくなくとも，これらは，くみあわさったかたちで一定のモーダルな意味をあらわしているので，ここでとりあげることにする。

つぎの表のようなものが幼児によって使用された。それぞれの意味・用法については各論でのべる。

幼児の使用した動詞の形式(5)——形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの

	年長	年中	年少
よめばいい	○	○	○
よめばよかった	○	○	
よんでいい	○	○	○
よんでもいい	○	○	
よんだっていい	○		○
よむほうがいい	○		
よんだほうがいい	○		
よむといけない		○	
よまないといけない	○	○	
よんだらいけない	○		
よんじゃいけない	○	○	○
よまなくちゃいけない			○
よまないとだめ	○	○	
よんだらだめ	○	○	
よんじゃだめ	○	○	○
よまなくちゃだめ			○
よまなきゃだめ	○		
よまなければならない			○
よまないとならない	○		
よまなくちゃならない		○	
よんでもへいき		○	
よみたくてしょうがない		○	

1.6 コピュラのついたもの

動詞のいいおわり形または連体形に推量・比況コピュラがついて，一定のモーダルな意味をあらわしているものをここでとりあげる。これらも，あるいは，コピュラ論としてとりあげるべきものかもしれない。つぎの表のようなものが，幼児に使用された。

幼児の使用した動詞の形式(6)——コピュラのついたもの

	年長	年中	年少
よむだろう	○	○	○
よむでしょう	○	○	○
よむらしい	○		
よむようだ	○		
よむみたいだ	○	○	○
よむそうだ			○
よむかもしれない	○	○	
よむにちがいない			
よむにきまってる	○		

「だろう」「でしょう」をコピュラとするか接辞とするかは，問題のあるところであり，この報告では，動詞の基本的な活用表のなかにも，これのついたものを「推量形」としていれておいた。

また，これが念おしにつかわれるばあいには，終助詞相当になるが，その用法についても，推量形のところでのべることにする。

1.7 とりたてのかたち

動詞は，とりたて助詞をつかって，とりたてのかたちにすることができる。幼児の使用するとりたてのかたちはひじょうにすくないが，使用したのは，つぎの諸形式である。このなかには，動詞のとりたてとはいいがたいものもあるが，とりたて助詞のつかわれたものをいちおうあげておく。

幼児の使用した動詞の形式(7)——とりたてのかたち

	年長	年中	年少
よんでばかり	○		
よんでばかりいる	○		
よんだりなんかする	○	○	○
よむのは	○	○	○
よむのも	○	○	○
よむのだけ	○		
よむのしか	○		
よんだばかり			○
よむしかない	○		
よむだけ	○	○	○
よむばかり	○	○	

第2章　いいおわり形

2.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した動詞のいいおわり形はつぎのとおりである。

ムード	テンス	ていねいさ / みとめかた / 幼児の使用例	ふつう・みとめ	年年年長中少	ふつう・うちけし	年年年長中少	ていねい・みとめ	年年年長中少	ていねい・うちけし	年年年長中少	備考
伝達形	断定形	現在形	よむ	○○○	よまない	○○○	よみます	○○○	よみません	○○○	
		過去形	よんだ	○○○	よまなかった	○○○	よみました	○○○	よみませんでした よまなかったです	×	×シナイデシタ
	推量形	現在形	よむだろう	⊙⊙	よまないだろう	⊙　○	よむでしょう	○○○	よまないでしょう	○	
		過去形	よんだだろう	○	よまなかっただろう		よんだでしょう	○○○	よまなかったでしょう	○	
意志形			よもう	○○○	(よむまい)		よみましょう	○○	(よみますまい)		
命令形			よめ	○○○	よむな		よみなさい	○○○			
			よみな	○			おとみなさい	○			
							およみ	○○○			
依頼形			よんで(くれ)	○○○	よまないで	○○	よんでください	○○△	よまないでください		△ーチョウダイ

この表からわかるように，幼児は，ふつう体・ていねい体にかかわらず，みとめの動詞は，すべてのいいおわり語形をつかっている。しかし，推量形のところの例をみると，ふつう体の現在形のところ（⊙印のもの）をのぞいて，すべて，ねんおしをあらわしているので，その分を終助詞相当としてはぶいてみると，推量過去形にあながあくことになる。そして，年少児の使用例からは推量形が完全にきえてしまうことになる。年長児・年中児につかわれた推量形のおしはかりの用法は，ウサギとカメのはなしのなかの「カメハ　コナイダロウ」という判断にかぎられていた。このようにみると，幼児には，推量形はよわいようにおもわれる。ただし，あとであげるように「よむんだろ」のかたちは，おしはかりの意味でもつかわれている。

ていねい体の動詞は，みとめの動詞として全語形にわたっているが，推量形は，いまのべたように，ぜんぶねんおしである。「よみなさい」のかたちは，母おやの自分に対することばをつたえたものが多い。ていねい体のうちけしの動詞は，コピュラ「でしょう」のつくもの以外は，現在形しかなかった。「よみませんでした」がひとつもなかったことは，あるいは，ひとつの特徴といえるかもしれない。なお，ていねい体の動詞は，いいおわり形以外では，条件形に「カゴデ　イキマシタラ　ツナガ　キレテ　イソノマロハ　シンデ　シマイマシタ」というおはなしの例がひとつあるだけだった。

ここに「およみ」となっているものは，すべて，「おいで」であり，また，「よみなさい」のなかには「ください」「いらっしゃい」がふくまれている。それらは，いずれも，つぎにあげる文例のなかで，わかるようになっている。「よんでください」の例は，やりもらいの章にあげた。

ここで，幼児につかわれたいいおわり形の例をあげることにする。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
〔ふつう体〕 **みとめの動詞** 断定現在形	○マンガヤナンカ　ミル。(赤－h女6－6) ○オトウチャン　イル。(自－B男5－7) ○ソレガ　オワッタラ　モクヨウビニ　ナル。(赤－s男6－6)	○デンシャガ　アル。(神－井男5－0) ○……　アルイテ　イッタラオウチ　ツク。(神－師女4－11) ○イツモ　ツイテ　イク。(小－山女4－5)	○ホンダケ　ヨム。(神－大男3－11) ○ソレカラ　カエル。(赤－q男4－1) ○カンガエテ　オハナチスル。(赤－v女4－0)
断定過去形	○ソイデネ　ジドウシャニブツカッタ。(赤－k女5－8) ○ブタガ　イタ。(自－f女5－8) ○オナカ　スイタ。(赤－o女6－1)	○アッ　ワスレター。(赤－i女5－3) ○ジテンシャデ　アソンダ。(小－上男4－7) ○カメサンガ　イットウニナッタ。(赤－c男5－3)	○オベントウ　タベタ。(赤－a女3－10) ○ライオンガ　デタ。(小－岸男3－11) ○ワンワンガ　イタ。(小－原女3－7)
推量現在形 (推量)	ドウセネ　ヨ　オソイカラヨルマデ　カカルダロウットオモッテネ　ウサギガ　ヒトネムリシテテネ(赤－k女5－8)	○「ユウガタマデ　カカルダロ」ッテ　ユッテ　シトヤスミシテネ(赤－s男5－6)	
(念おし)		○コレ　ミズ　ヤルダロウ？(赤－d男5－4)	
推量過去形 (念おし)		○どういうの？　ぼくのお仕事って？　サンリンシャトサイマ　ユッタダロ？(小－永男4－4)	
意志形	○ソレ　ツカマエヨウト　オモッタラ　ニゲチャッタノネ。(赤－o女6－1) ○ヨルダカラ　カエロウッテカエッチャッタノ。(自－l男5－7) ○「オヤ　アノ　オヤマノテッペンマデネ　カケッコシヨウ」ッテネ　イッテ，ヤッタノネ。(赤－f女5－9)	○……　ニゲヨウト　オモッタラ，ネー　ダイオンガ　イタカラネ(神－山男4－9) ○ブタヲ　フンヅケヨウトオモッタンダ。(小－足男5－0) ○ライオンガ　ウーントネーアショボウテ　イッテモ，アショバナイカラ(自－i男5－5)	○ヒダリガワニ　ニゲヨウトオモッタラ　ソシテ　ソシテブツカッタノ。(神－佐女3－7) ○カミツコウト　オモッテネ(神－三男4－0) ○アソボッテ　イッタノ。(自－l女3－3)
命令形	○ソシテ　ニンゲンガネ「ライオン　ガンバレ」ッテイッタノ。(赤－K男5－11) ○クルマガ「ドケ　ドケ」ッテ　イッタノ。(自－m女6－4) ○「リュウセイゴウ　ントオウトウセヨ」テ　イウトハシンノ。(自－c男6－3) ○「マズイ　モモハ　ムコウ	○ウサギガネー「マテー」ッテ　ユッテ　コウシテネ(神－鎌女4－5) ○オミズ　カケルノ，「オハナ　オオキク　ナーレ」ッテ。(小－足男5－0) ○「リュウセイゴウ　オウトウセヨ」(小－有男4－7) ○ガムダケ　タベナッ　チュッタカラネ　タベタノ。(自	○キイロハ　ススメ。(自－d男3－10) ○「ヤッツケロー」ッテ　イウトネ　ヤッツケチャウノ。(小－佐男4－3) ○「トットト　キエウセロー」トロロガ　イイマシタ。(神－古男4－5)〔注)1時間まえにきいた話をそのまま。〕

	ニ イキナ。 オイシイ モモハ コッチニ キナ」ッテネ ユッタンダヨネ。(自－A女6－5) ○「オキナ オキナ」ッテモネボウシチャウノ。(赤－n男6－2)	－j女4－7)	
依頼形	○イモウトガネ 「コレ ヨンデ」ッテ イウトネ(赤－g男5－10) ○「ママト オンナジノ ツクッテ」ッテ イウトネ(自－o女6－1) ○「タスケテー」ッテネ(自－p女6－1)	○コンド ナカマニ イレテッテ オトモダチガ キタラ(小－久女4－7) ○チョット ミセテ。(小－窪女4－8) ○ハヤク シテー。(小－原男5－0)	○チョット マッテ。(赤－t女4－4) ○ネ センセー センセーガネ ジブンデ スキナ ジカイテ。ボクガ アノネ オナジ ジ カクカラ。(赤－d男4－2)
うちけしの動詞 断定現在形	○テレビ見ます？ アンマリミナイ。(赤－h女6－6) ○ダケド ゴメスダケガ タリナイ。(赤－v男6－1) ○ンー ヨク シラナイ。(自－p女6－1)	○デモネ，ミタク ナイ モノハ ミナイ。(小－篤女4－7) ○どこか行った？ イカナイ。(小－海男4－3) ○ナンダカ ヨク ワカラナイ。(神－織男4－4)	○虫いる？ イナイ。(赤－u女3－7) ○ユメ ミナイ。(神－三男4－0) ○ドコニモ イカナイ。(小－原女3－7)
断定過去形	○ハンブンシカ コナカッタ。(赤－l男6－3) ○シンブンモ ミナカッタ。(赤－b男6－5) ○ドッコモ イカナカッタ。(赤－N女5－7)	○ソノ トキモネー ボクフットバナカッタ。(自－c男4－7) ○これ注射？ いたかった？ ナカナカッタ。ないた子いた？ イナカッタ。(小－嘉女4－7)	○キョウハ ヤンナカッタ。(小－福男4－2) ○ナンニモ ミナカッタ。(神－古男4－5) ○オテテ カマナカッタ。(自－b女3－10)
推量現在形 （推量）	○ウサギハネ カメクンハ コナイダロウト オモッテネ，(自－i男6－5) ○カメノ ホウ マケテテネモウ コナイダロウッテネ(赤－g男5－10)		
（念おし）			○アノネ オツキサマハ アメ デナイダロウ ダカラ…(赤－d男4－2)〔雨をふらせないの意。〕
依頼形	○モウネ ウントー イジメナイデネ(赤－u女5－11)	○「コワイカラ イカナイデー」ッテ ナイチャウノ。(小－押女5－1)	
〔ていねい体〕 **みとめの動詞** 断定現在形	○トキドキ オウチデ ヤリマス。(赤－m女6－3)	○パパト ママト オニイチャン イマス。(赤－p女5－	○アブラガ ミテカラ オウチニ イレマス。(神－玉男

	○ドアガ　アルカラ，ソコントコ　ハイリマス。(自－t女6－9) ○「モモチャン　アイスクリーム　アゲマス」ッテ　ユッタラ(自－o女6－1)	2) ○「キビダンゴ　ヒトチュクダシャイ。オトモシマス」ッテ　ユッタノ。(神－山男4－9) ○「ワタシガ　ス，スキナモノヲ　ハヤク　トッテ　キテ　クレタ　ヒトト　ケッコンシマス」ト　カグヤヒメハユイマシタ。(神－桑女4－10)	4－0) ○「キョウハ　ウンドウカイヲ　ハジメマス」ッテ。(小－佐男4－3)
断定過去形	○キノウ　アノネ　トモダチト　アソビマシタ。(赤－x女5－7) ○ネズミハ　ビックリシテトビアガリマシタ。(赤－s男6－6) ○ウサギト　カメガ　キョウソウシマシタ。(赤－p女6－2)	○ハリーハ……ブラシヲクワエテ　ニゲダシマシタ。(神－規男4－6) ○オママゴトシマシタ。(赤－i女5－3) ○「オマエ　ヨク　タベ　タベルヨウニ」ッテ　イイマシタ。(神－金女5－0)	○ムカシムカシ　アル　トコロニ　サンビキノ　ヤギガイマシタ。(神－高男4－4) ○ソイデ　ニバンメノ　ヤギノ　ガラガラドンガ　イキマシタ。(神－寺男4－4) ○ウサギサンガ　キノ　ウエニ　ノリマシタ。(小－佐男4－3)
推量現在形(念おし)	○パパハ　ビョウインニ　イルデショウ。(赤－x女6－2) ○アノ　マッスグノ　ミチアルデショウ(自－a男5－11) ○バットマンハ　ハチデ　ヤルデショ。(赤－F男5－9)	○ソシテサ　ココニサ　コノクライ　ミチ　アルデショ。ココカラ　センセイト　ナランデ　クルノ。(赤－w男5－3) ○ヨウチエン　カエル　トキ，コッチ　イクデショウ。(自－u女5－5) ○アノネ　エノ　ホン　アルデショ。アレネ　ヨンダラ(小－窪女4－8)	○ソイデネ　マタ　オリルトコガ　アルデショウ。アソコナノ。(赤－b男4－0) ○オマツリン　トキハ　ジュースヤナンカ　クレルデショウ。ダカラ(神－三男4－0) ○ウン　センセイノ　オウチノ　ヤオヤヲ　マガルデショウ。(神－鈴男3－6)
推量過去形(念おし)	○イマサッキ　ヤッタ　ユッタデショウ(赤－F男5－9) ○キノウネー　ビッグエックスガ　アッタデショウ。(自－h男5－7) ○カゴニ　ナンカ　ハナヲツンダデショウ。ダカラ(赤－s女5－8)	○イチュカ　イッタデショ。(自－p男4－7) ○ハナガ　サイタカラ　ミズヲ　ヤッタデショ。(小－窪女4－8) ○カメサンハ　ハタケヘ　デカケタデショ。(神－遠男5－1)	○オカワリッテ　イッタデショ。(赤－q男4－1)
意志形	○オテンキノ　イイ　アサヒトリノ　ボウヤガ　「ミズヲ　オハナニ　カケマショウ」ト　ユッテ　カケマシタ。(赤－s男6－6) ○「キビダンゴ　アゲマショウ」ッテ　イッテ　(赤－E女5－8) ○「アソビマショ」ッテ　キタ	○「アタシヲ　ダマスナラカケッコヲ　シマショウ」ッテ　(赤－l男4－8) ○……ソレヲ　ハヤク　モッテ　キタ　ヒトト　ケッコンシマショウ」ト　ユイマシタ。(神－桑女4－10)	

	カラ(自－e女5－7)		
命令形	○「モウ ネナサイ」ッテ ユッタカラ ウ ネルノ。(自－i男6－4) ○「ズーット イナサイ」ッテ オカアサンガ イッタンダケドネ(赤－h女6－6) ○「ジブンデ ヨミナサイ」ッテ イウカラ ジブンデヨンデルノ。(赤－J女5－8)	○「ハヤク ネナサイ」ッテ イウ トキニ。(小－押女5－1) ○「ミンナデネー オウチヲツクッテ クラシナサイ」ッツッテネ(小－岡女4－8) ○「オイシク ナッタラ タベナサイ」ッテ イウ。(神－桑女4－10)	○ママ「ネナサイ」ッテ(赤－v女4－0) ○「アラッテ イキナサイ」ッテ イッテンノ。(小－原女3－7) ○「アトデ テレビ ミ ソシテ イキナサイ」ッテ イッタノ。(神－佐女3－7)
	○ニッポンイチノ キビダンゴ ヒトツ ワタシニ クダサイ。(自－A女6－5) ○「スコシ オジカンヲ クダサイ」ッテ イッタラネ,(赤－E女5－8)	○キビダンゴ ヒトチュ クダサイ。 オトモ シマシュ。(神－山男4－9) ○「オヨメニ クダサイ。オヨメニ クダサイ」ト タノミニ キマシタ。(神－桑女4－10) ○「ウチニモ アソビニ イラッシャイ」ッテ(神－桑女4－10)	
	○「ジュウエン チョウダイ」ッテ ユッテモ クレナイカラ。(自－1男5－7) ○「コレヲ オノミナサイ」ッテネ クスリノ ビンガネニネ(赤－1女5－8)	○オサルサンネー ウント「ナンカ チョウダイ」ッテ イッテタ。(神－鎌女4－5)	○チーグサ イッテル トキハ「チョーダイ」チュッタケドネ。(神－三男4－0)
	○「コッチ オイデ」ッユッタラ,(自－i男6－4) ○「ヒツジガ イルカラネ ハウ ハヤク オイデー」チュッタラネ(自－m女6－4)	○マホウツカイガ「コッチ オイデ」ナンテ ユッタカラネ(自－h女4－7)	○カメサンガネ「ココマデ オイデ」ッテ マタ ユッタノ。(赤－f女4－2)
うちけしの動詞 断定現在形	○ママガ「イキマセン」テイッタカラ(赤－C男5－6) ○ニュース見ますか？ ミマセン。(赤－m女6－3)	○コンドハ スニ ツバメガイルト キイテ,ツバメヲトリニ イキマシタラ ハシゴヲ カケマシタガ トドキマセン。(神－桑女4－10)	○サッキノ ヤギノ コエジャー アリマシェン。(神－古男4－5)〔注〕コピュラ〕 ○ハシヲ ワタリ イケマセン。(神－佐女3－7)〔注〕可能動詞〕
推量現在形(念おし)		○ロンパールーム ミナイデショ コノゴロ。(小－久女4－7)	
推量過去形(念おし)	○ソノ トキニ アタシ デキナカッタデショ。ダカラネ,(赤－L女5－9)		

2.2 終助詞のついたもの

いいおわり形には，終助詞がつくことがおおい。幼児の使用例はつぎの表のとおりである。

ここに終助詞としてあげてあるものについては，若干の注釈が必要である。

1) 「な」は発見・確認・詠嘆などの「な」であって，禁止ではない。いわゆる「禁止の終助詞」は，それのついたかたち，つまり「よむな」をいいおわり語形のひとつとしているので，ここでは，あげていない。

2) 「っけ」は本来語尾であり，東北弁などでは，現在でも語尾としてはたらいているものがあるが，ここでは，いちおう終助詞のなかへいれた。これは，いちおうの処置であって，問題をのこしている。

3) 「か」「の(ん)」へは，連体形からつづくという説のほうが，現在はつよいとおもわれるが，終助詞「の」へつづく動詞のテンス・アスペクト的な性格がいいおわり形のばあいとおなじであること，名詞にかからない「です」があらわれること，その他の理由によって，いいおわり形に接続するものとしてあつかった。[注1)] 「よむかわからない」の「か」が終助詞かどうかは問題であるが，いちおうここにいれておいた。

4) 「んだろう」「んでしょう」「んじゃない」は「の」がつかわれているのでここにあげた。

5) 「だろう」「でしょう」のうちの，念おしに属するものは，その用法が終助詞「ね」などとにているので，この表にも登録した。(例文は推量形のところにある。)なお，これが終助詞化していることは「かもしれないでしょう？」のように推量形式にもついて，推量の「だろう」「でしょう」とは，形式的にことなった面をもつことによってもあきらかだろう。

6) 「じゃない(か)」は，動詞や第一形容詞につくばあいは，終助詞的な用法しかないので，ここにあげた。

7) 「んです」「でしょう」などは，カテゴリカルには，「よみます」「よみなさい」など，ていねい形式のほうにまわるべきであるが，ここでは表を単純にするため，「んだ」「だろう」などと並列した。

この表から，つぎのことがわかる。

1) 幼児は，終助詞をだいたい使用できる。このことは，当然のことのようにもおもえるが，外国人が日本語を習得するさいには，終助詞の習得がかなりおくれるので，そのこととくらべてかんがえると，将来研究されるべき，幼児の言語獲得過程の質の問題に，一定の資料を提供したことになるとおもう。

2) ていねい体の動詞に終助詞がつくことは，ふつう体のばあいとくらべて，かなりすくない。なお，この表に，「よみました」「よみましょう」「よみませんでした」がないのは，それらのかたちに終助詞がつく例がなかったからである。

幼児において，ていねい体の動詞に終助詞がつきにくいことは，ていねい体の動詞そのものの使用頻度がすくないことと関係している。しかし，それにしても，「よみます」や「よみました」などはかなりつかわれているのであるから，それらのかたちに「よ」や「か」

注1)このことについては，高橋太郎 1974にくわしくのべた。

		よね よ	さ	わいわよ わ	ねな	もんやぞい	つけなっけ	かよかいか	かなかね	とさとか	の	のよねのよ	のさのねのね	のかしらのかなのか	んだ	んだよねんだよ	んだなんだねんだぞ	んだもん	んだったたっけんだっけ	んだってねんだってさんだって	んですかんですよんです	んでしょうだろう	んでしょうんだろう	んじゃない(か)じゃない(か)
よむ	年長	○		○	○○	○○		○○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○○	○	○	○
	年中	○		○○	○○	○○○		○	○		○○	○○	○○	○○	○○	○○	○	○○	○	○○	○	○○	○○	○○
	年少	○○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
よんだ	年長	○			○○	○	○	○	○		○○	○	○	○	○○	○○	○	○○	○	○○	○	○	○	○
	年中	○○			○○	○		○	○		○○	○○	○	○○○	○○	○○		○○	○	○	○	○○	○○	○
	年少	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
よもう	年長	○			○			○	○															
	年中	○			○○			○	○															
	年少							○	○															
よめ	年長	○																						
	年中																							
	年少																							
よんで	年長	○			○																			
	年中																							
	年少																							
よまない	年長	○○			○○	○○		○○	○		○		○	○	○	○		○		○				
	年中	○○		○	○○	○○○		○○	○		○○	○			○○	○○		○○				○		○
	年少	○			○○	○					○				○	○		○				○		○
よまなかった	年長	○				○					○					○○				○				
	年中	○			○	○					○○		○			○						○		
	年少	○									○				○	○								
よみます	年長							○																
	年中																							
	年少																							
よみなさい	年長	○			○																			
	年中	○																						
	年少																							
よみません	年長	○																						
	年中	○																						
	年少																							

のついたものがほとんどないことは，一定の意味をもつとかんがえるべきであろう。これは，幼児においては，ていねい体が日常化していないことの証拠であるといえるであろう。

3) しかし，「だろう」と「でしょう」をくらべると,「でしょう」がだんぜん優勢である。これはおそらく，ねんおしの用法で使われるかぎり,「でしょう」はていねい体というよりは，幼児文体に属するのだということをものがたっているのだろう。

いいおわり形に終助詞のついた例を，つぎにしめそう。

種類	年長児	年中児	年少児
よ 現在形	○「アソコニ　イルヨ」ッテユッタ。(自－k男5－8) ○トオマデ　カゾエラエレバサ　ミンナ　デキルヨ。(赤－t男6－0) ○カナブンハ　ナカナイヨ。(自－s男5－9) ○ナンカ　ヘンナ　コエダカラ　ワカンナイヨ。(赤－m男5－10) ○ナンニモ　イマセンヨ。(赤－o男6－2)	○チガウヨ。(小－志男4－2) ○リュウセイッテ　ニチヨウヤルヨ。(小－有男4－7) ○ダレモ　イナイヨ。(神－島男4－4) ○どういうおはなし？　シラナイヨ。(小－伊男4－3) ○ウチニハ　コ　ニコ　アリマセンヨ。(神－大女4－6)	○ぼくもできる？　デキルヨ。(神－宮男3－8) ○ニバンノ　ヤギノ　ガラガラドンガ　クルヨ。(神－高男4－4) ○ユメ？　ミナイヨ。(小－佐男4－3) ○どうしてかしらね。ワカンナイヨ。(神－三男4－0)
過去形	○ウントネ　ナツヤスミニネオエカキシタヨ。(赤－M男5－8) ○アト　カプセルモ　アッタヨ。(自－e男6－1) ○ウンドーカイ　デナカッタヨー，オヤスミシテ　(赤－a男5－11) ○ミナカッタヨ。(自－v男5－7)	○キンギョハ　オレンジイロニ　ミエタヨ。(小－安男4－2) ○シログミガ　カッタヨー。(小－川男4－10) ○ダケド　ナカナカッタヨ。(小－藤男4－9) ○パピーッテネ　マケナカッタヨ。(自－s男4－10)	○どっか遠い所行った？ウン，イッタヨ。(赤－r男3－8) ○ボート　アッタヨ。(小－福男4－2) ○デモ　ノンナカッタヨ。(赤－b男4－0) ○ダケドネ　コロバナカッタヨ。(赤－d男4－2)
意志形	○「オマツリ　イコウヨ」ッテユッタカラ　イッタノ。(自－w女6－5) ○「トッカエコショウヨ」ッテサル　サルガ　イッテネ(赤－g男5－10)	○「ウンドウカイ　シヨウヨ」ッテ　イウノ。(赤－b男5－6)	
命令形	○カッチャン　オキロヨ(自－k男5－8) ○「ヒトツ　オクレヨ」ッタカラネ「オニセイバツニ　イクカ」ッテ　キイタノ。(自－o男6－3) ○「キュウコチャン，キュウコチャン　オキナサイヨ」ッテ　(赤－E女5－8)	○「キヲ　ツケテ　イキナサイヨ」チュッタノ。(神－鎌女4－5)	

依頼形	○「モット　オソク　イッテヨ」ッテ　イッテモネ,(赤－h女6－6)		
よ　ね			
現在形	○パパ　アンナ　コト　シナイヨネ。(自－g女5－11)	○ウン　デモ　ニンギョウノカメ　イナイヨネ。(神－桑女4－10)	○チガウ　チガウヨネ。(赤－i男4－2)
過去形		○タッチャン　オエカキ　ジョウズニ　カイタヨネ。(小－伊男4－3)	
わ			
現在形		○ソウネー　ママゴトデモスルワ。(赤－p女5－2) ○ソコマデシカ　ワカンナイワ。(赤－p女5－2)	○アッ　マタ　イクワ。(自－k男3－4)
わ　よ			
現在形	○テレビ　ミルワヨ。(自－A女6－5)	○コッチカラ　イクワヨ。(小－伊男4－3)	
ね			
現在形	○ウ？　オトナノ？　スコシハ　ミルネ。(赤－a男5－11) ○ガイシャノ　ホウガネ　ウント　チッチャイ　クルマヨリ　タクサン　アルネ。ダカラ　ボク　(赤－t男6－0) ○ニュースなんか　ききますか。キカナイネ。(赤－c男6－3)	○ライオンガ　コレダケ　イルネー，ライオンガ　コレダケ。(神－永男4－1) ○シマウマ　イルネー。(小－樋男4－3) ○アレ　タタナイネ，ゼンゼン。(小－樋男4－3)	○ケンカ？　シナイネー。(赤－d男4－2) ○シラナイネー。(小－岸男3－11)
過去形	○ネ　シマウマネ　ミツカッタネ。ソレデネ。(赤－J女5－7)	○ソンカラネー　オンマ　イタネー，ブウント　アカチャンウマモ。(小－端男4－2)	
意志形	○オジサン　ノボロウネ。(赤－E女5－8) ○ヨシヨシ　ヒトツ　アゲヨウネ。(赤－L女5－9)	○ドッカヘ　ユクカラ　コレモッテ　イコウネッ　チュッテネ(自－j女4－7)	
な			
現在形	○ネンドナンカガ　イチバンオモシロイト　オモウナ。(赤－a男5－11) ○「マダ　アソコニ　イルナ」ッ　チュッテ　シルネ　シテタラ(赤－f男6－3) ○「カメハ　マダ　コナイナ」ッテ　オモッテネ　(赤－w男6－3) ○ソレシカ　ワカンナイナ。(赤－A女6－1)	○ダカラ　ヤッパシ　チガウナト　オモッテタンダケドネ　(赤－q女5－2) ○どんな道とおっていく？　ヘンナ　ミチ　トオッテイクナ。　(小－足男5－0) ○どんな　お話きいた？　シラナイナ。　(小－永男4－4) ○こっちからこういうふうにやるの？　ワカンナイナ	○どんなお話？　ワカンナイナー。(赤－a女3－10) ○どうしたの？　シラナイナ。(小－竹男4－1)

		ー。（小－足男５－０）	
過去形	○「チビコウガ　キタナ」ッテ（自－ｐ女６－１）	○オジサンガ「コマッタナー」ッテ　ユッテ（小－小島女４－２）	
	○アト　アレシカ　ミナカッタナー（赤－Ｇ男６－１）		
意志形		○クマガ「タベヨウナ」チタンダ。（小－永男４－４）	
命令形	○ヒトツ　キビダンゴヲ　クダサイナ。（赤－Ｌ女５－９）		
ぞ			
現在形	○「ソノ　ワケヲ　イワナイト　タイホスルゾ」ッテ　ユッタノ。（自－ｘ女５－６） ○「ヘン　ヘンナ　ニオイガスルゾ」ッテ　イッテネ（赤－ｙ男５－７） ○コドモハ　イナイゾ。（赤－Ｋ男５－11）	○ヒビヤコウエンハ　ハトポッポ　イルゾ。（小－有男４－７） ○〔ねこはさかなを〕タベルゾ。（小－中男４－７） ○ワカンナイゾー。ダッテイマ　ヤッテナインダモン。（小－上男４－７）	
過去形		○「イッタゾー。イッタゾー」ッテネ（神－松女４－８）	○ソレデ　オワッタジョ。（小－金男４－１）
や			
現在形	○ア　チガウヤ。（自－ｐ女６－１）	○アト　オジイサン　イルヤオジイチャン。（自－ｎ男５－５） ○……チガウヤ。アノネーウント（自－ｓ男４－10）	
	○アッ　キノウ　ヤスマナイヤ。（自－ｖ女５－10）	○おとうさんのお仕事なんか知ってる？　シラナイヤ。（神－伊男４－１）	
	○コレ　イヌカ　クマカ　ワカラナイヤ。（赤－ａ男５－９）	○ボク　ワカンナイヤ。（赤－ｂ男５－６）	
もの（もん）			
現在形	○ボクノ　コエト　チョットチガウモノ。（赤－ｍ男５－10）	○ダッテ　オテツダイスルモン。（小－谷男４－11）	○ダッテサー　アタシ　マキコチャンノ　トナリニ　イルモン。（赤－ａ女３－10）
	○ネンド　ボクンチ　アンモン。（自－ｙ男６－０）	○ダッテ　オトウサンサ　オカンネ　マイニチニ　スコシウン　クレルモン。（神－桑女４－10）	○ニゲルモン。（神－高男４－４）
	○オバアサン　イナイモン。（自－ｐ男５－６）	○ワカラナイモノ，ママジャナイト。（自－ｈ女４－７）	○ワカンナイモン。（神－狗女４－３）
	○ワカンナイモン。キイタコト　ナイカラ。（赤－ｖ男６－１）	○ダッテ　ホントニ　ナイモン。（小－海男４－３）	○ハインナイモン。（神－高男４－４）
過去形	○ダッテ　トンボヤ　タクサン　イタモン。（赤－ｕ男６－５）		

	○コナイダ　ヤッタモン。（自－d 男６－１） ○キノウハ　ミナカッタモノ。（自－e 男６－１）	○シラナイナー。ミナカッタモン。（神－伊男４－１）	
つ　け			
現在形			○エート　ドウブツエンッテ　ライオンダッテ　シマウマダッテ　イルッケ。（小－矢女４－０） ○ウーン　キノウ？　ナニシタッケ。（赤－d 男４－２）
過去形	○ジャングルタイテイ　テツジン　キンヨウビモ　アッタッケ。（赤－a 男５－９） ○アノネ　ウサギガ　イウッテ　イッタッケ。（自－d 女５－11）		
か			
現在形	○「オニセイバツニ　イクカ」ッテ　キイタノ。（自－o 男６－３） ○ドッチニ　アゲルカ」ッテユッテネ（自－d 女５－11）	○キシャハネー　ドウシテハシルト　オモウカ。（神－村男４－３） ○オトウバンネ　キュウショクガ　ナニヲ　ナニ　ツクルカ　オシエンノトネ,（神－井男５－０）	○センセイハ　ミニ　キタノ，ワルイ　コガ　ドコニ　イルカッテ。（神－三男４－０）
	○「ブタ　シラナイカ」ッテイッテネ（自－m 女６－４） ○カメガネ　マダ　コナイカト　オモウ。（自－b 男６－０） ○「カメサン　ボクトネ　カケッコシナイカ」ッテ　イッテネ（赤－N 女５－７） ○「ドウイウ　ナマエニ　シマスカ」ッテ　オバアサンユッタンダ。（自－u 女６－5）	○オダンゴパンヲ　ツクッテクレナイカ。（神－大女４－６）	
過去形	○アトハ　ナンカ　ヤッタカワスレタ。（赤－Q 男６－４） ○ソシテ　ウサギサンガ「ネスギタカ」ッテ　クヤシガッタノ。（赤－m 女６－３）	○ナニ　カッタカ　ワカンナイ。（自－u 女５－５） ○アノネ　ドウシテ　オヤスミシタカッテ　イウトネ（赤－q 女５－２）	○ドッチガ　マケタカ　シッテンノ。（赤－b 男４－０） ○ドウシテ　コウ　ナッタカッ　チュウトネ,（神－三男４－０）
意志形	○ドレニ　キメヨウカ　ワカンナイ。（自－b 男６－０） ○「ソレトネー　トリカエヨウカ」ッテ　ユッタラネー（自－r 女５－８）	○ウンー　マナ　ナガ　トマロウカ［注）発音のまま］（神－永男４－１） ○カケッコヲ　シヨウカ。（赤－i 女５－３）	○ナニ　カコウカ。（赤－d 男４－２）
か　い			
現在形	○オダンゴ　クレルカイ。（自－D 女５－11） ○ソノカワリ　オニタイジニユクカイ。（自－u 女６－５）		

	○「ウチヘ　コナイカイ」ッテ　ユッタカラネ（自－t男6－2） ○「キョウソウシナイカイ」ッテ　イッテネ（赤－o男5－10）	○「ボクト　イッショニ　ネー　ンート　キョウソシナイカイ」ッテ　ユッテネ（赤－s男5－6）	
か　な			
現在形	○「ホイクエンニ　イルカナ」ッテ　ミニ　クル　トキ。（自－g男5－8） ○アノネ　ワカンナイカナ。（自－m女6－4）	○モウ　イチド　イクカナ。（小－市男4－5） ○「ハヤク　コナイカナー」ッテ　マッテ　ネムッテ　マッテタラ（神－松女4－8）	
過去形	○ソレカラ　アト　ナニヲヤッタカナー。（赤－o男6－2）	○キノウ　ナニ　シタカナ。（小－森男4－6） ○オフネ　ツクッタカナ。（小－市男4－5）	
意志形	○ナニ　シヨウカナ。（自－k男5－8） ○ゴホンノ　オハナシ　シヨウカナ（赤－L女5－9）	○エート　ドウシヨウカナ。（小－弘女5－1） ○ナニ　ミヨウカナ。（神－山男4－9）	○ナニ　タベヨウカナ。（自－h男3－5） ○ドンナ　オハナチ　シヨウカナ。（赤－v女4－0）
の			
現在形	○オネエチャンガネ　サンニン　イルノ。（自－l男6－0） ○キョウガネ　オトウトノタンジョウビデ、コンド　ヨッツニ　ナルノ。（赤－f男5－9） ○ソイカラ　テツボウデネサカアガリ　ヤルノ。（自－i男6－4）	○ココニ　ナンカ　アルノ。（小－小男4－3） ○ヨウチエンデハ　ウーンジテンシャ　ノルノ。（小－中男4－6） ○マタ　マガッテ　マッスグイクノ。（自－a男4－9）	○キョウ　パパ　オウチニインノ。（赤－a女3－10） ○アシタ　ドウブツエン　イクノ。（自－m女3－10） ○アノネー　オニモツ　ツンデネ　ジドウシャッテネ　カイシャ　イクノ。（神－秋男3－11）
	○ナニ　ヤンノ？（赤－u男6－5） ○コレ　ヨムノ？（赤－o男6－2）	○ドッチカラ　ヤンノ？（自－o男5－4） ○コウ　イクノ？（小－大男4－6）	○アトハ　ドノ　ジ　カクノ？（赤－d男4－2） ○ジャ　ナニガ　シムノ？［注）死ぬの？］（小－佐男4－3）
	○オメメガ　ワルクッテ　オシゴト　マダ　デキナイノ。（自－y男6－0）	○ナンニモ　イワナイノ。（自－c男4－7）	○オバチャンハ　ヒトリシカイナイノ。（赤－a女3－10） ○ワタシネ　カイゴクミコチャンノ　オウチ　ワカンナイノ。（赤－v女4－0） ［注）年少は疑問みつからず］
	○ナンデ　ジャ　キコエナイノ？（赤－M男5－8）	○アト　ミンナ　マチガエナイノ？（神－規男4－6）	
過去形	○ウントネー　ダレカガネーワルモンヲネ　ヤッツケタノ。（自－h男5－7） ○オカアサンタチガ　ミタラ	○ボク　イッチャクン　ナッタノ。（赤－t男5－1） ○ビョウインニ　ニュウインシテ　モウ　ナオッタノ。	○ヨルネー　アタシ　ゴハンタベテカラ　ネタノ。（赤－a女3－10） ○ウー　ネコト　アルイテタ

	ベッドノ シタニ イタノ。(赤－j女6－6)	(神－北男4－11)	ラ ヒヨコガ イタノ。(小－相男4－4)
	○マエニ ヨンダノ？(赤－q男5－11)	○コレハ ドウシタノ，コレガ？(小－樋男4－3)	○コレ カッタノ？(小－佐男4－3)
	○オカアサンモ イナカッタノ。(自－C男5－11)	○ニチヨウビニハ イカナカッタノ。(自－g女5－0)	○オレソウデネ オレナカッタノ。(神－高男4－4)
	○モウネ オイツカナカッタノ。(自－B男5－7)	○ジブンデ ヨム ツモリダッタンダケド マダ ヨマナカッタノ。(自－d女4－11)	○キノウハネ ナンニモ ミナカッタノ。(神－古男4－5)
の よ			
現在形	○「エエ ビョウキノ オバアサンニ アゲンノヨ」ッテ(赤－s女5－8)	○アタシタチハ ダンスパーティーニ イクノヨ。(赤－p女5－2)	
	○ソシテ アノー マガルトコ アルノヨ。(自－p女6－1)	○ココニ アル シーソートチガウノヨ。(赤－f女4－10)	
		○オカアサン イツモネー「ドロンコ シナイノヨ」ッテ(神－鎌女4－5)	
		○「ハルチャンヲ イジメナイノヨ」ッテ ダッテ。(小－伊男4－3)	
過去形	○ネコガネ シャベッタノヨ。(自－m女6－4)		
のよね			
現在形	○ヨンジュウゴウカント ヨンジュウニゴウカンノ アイダニ ヨンジュウイチゴウカンガ アルノヨネ。(赤－w男6－3)	○ソレデネ フンスイガ アルノヨネ。(赤－f女4－10)	
過去形	○ムカシムカシネ アル トコロニネ オジイサント オバアサンガ イタノヨネ。(赤－N女5－7)	○シンデレラノ オネエサンガ フタリ イッタノヨネ。(赤－p女5－2)	
の ね			
現在形	○ウント トガ アルノネ。ソコヲネ (自－m女6－4)	○ジャングルノネ ナカニイルネ ライオンノネ エートー オウサマガ イルノネ。(赤－q女5－2)	○ダイオンハネ シマウマノネ アッチニ イクノネ。(赤－p男3－7)
	○ウチニネー イモウトネ ナナガ イルノネー。ソレデネー (赤－x女6－2)	○コンナ キガ アンノネ。(赤－s男5－6)	
	○オヒルネノ トキ デキナイノネ，(自－D女5－11)		
過去形	○コレハ マズネ ネズミナンカ イタノネ。(赤－Q男6－4)	○ライオンガ シマウマントコ イッタノネ。(赤－q女5－2)	○イナカッテネ トオイ イナカ イッタノネ。(神－折女4－3)
	○ウント モモタロウ コウイッタノネ。(赤－E女5－	○クマガ ネズミヲ ミテネ ソシテ オイカケタノ	

	8） ○アサン　ナッチャウカラ　イカナカッタノネ。（自－d女5－11）	ネ。（赤－u男5－6）	
の　さ			
現在形		○ドコニ　インノサ。（小－海男4－3）	
の　か			
現在形		○「ドウヤッテ　ハイルノカ」ッテ　（赤－i女5－3）	○ジャマシトッテ　イクンカ。〔注）原文のまま〕（神－佐女3－7）
過去形		○ドッチガ　カッタノカ　ワカンナイ。（赤－h女4－7）	
のかな			
現在形	○ドウ　ナンノカナ　（自－t女6－4） ○マダ　コナイノカナー（自－r女5－8）	○コッチカラ　ヤルノカナ。（赤－m男4－10）	
過去形	○ソコニ　シマウマガ　イテサー　ナンカ　ユッタノカナー。（赤－w男6－3）	○ライオンハ　ハコカラ　トビダシタノカナ。（神－渡男4－6）	
のかしら			
過去形		○コンド　ウサギサンガ　オキテカラネ　「バイバイ」ッテ「ヤッホー」ッテ　ユッタノカシラ。（赤－p女5－2）	
ん　だ			
現在形	○オニガシマヘ　オニヲ　タイジニ　イクンダ。（自－A女6－5） ○エート　モウ　シトーツアルンダ。（赤－N女5－7）	○モスコシ　オッキク　ナッタラサー　アノサー　オコヅカイ　タメルンダ。（自－f女4－9） ○オバアサンモ　インダ。（赤－u男5－6）	○ウチニネー　オカシ　アルンダ。（小－神女4－1） ○ヨルン　ナッテ　ハナビミルンダ。（神－寺男4－4）
	○デモ　ココマデシカ　ハインナインダ。（赤－D男5－11） ○アト　ワカンナインダ。（赤－B女5－8）	○ソレハ　ワカンナインダ。（赤－u男5－6） ○ナン　ナンノ　マンガデモシラナインダ。（自－r女4－8）	○オニイチャン　フジパンヤサン　イッテテ　コンドハズット　コナインダ。（神－三男4－0） ○ソレハ　チョット　シラナインダ。（赤－b男4－0）
過去形	○ロクサイニ　ナッタンダ。（赤－i男6－2） ○ソシテ　マタネ　アシデケトバシタンダ。（赤－L女5－9）	○クミチャン　ホン　ヨンダンダ，ヒトリデ　キノウ。（小－山中女5－0） ○コ　コノ　ライオン　ドウシタンダ。（小－永男4－4）	○モウ　オワッタンダ。（赤－g男3－5） ○ボク　ハナビ　ヤッタンダ。（自－h男3－5） ○トオク？　イカナカッタンダ。（赤－d男4－2）

んだよ

現在形

○クサガ ハエテ イテネ ウント ソコニ カエルガ イルンダヨ。(自－k男5－8)

○オニタイジニ イクンダヨ。(赤－e女4－9)

○エムゼーゴウッテネ イロンナ モンガ デルンダヨ。(小－福男4－2)

○ヒダリカ ミギカ ワカンナインダヨ。(自－t男6－2)

○コレハネ ヨク トバナインダヨ。(小－永男4－4)

○ダッテ カメ ヒトー タカクナイモン。ダカラ コロバナインダヨ。(自－d男3－10)

過去形

○ダカラ ワカッタンダヨ。(赤－c男5－10)

○ノブオチャン チ イッタンダヨ。(赤－a男4－11)

○ソレカラネー テレビ ミタンダヨ。(小－岸男3－11)

○コレ ナニッテ キカレルトネ ホントハ シラナカッタンダヨ モウ。(自－o女6－1)

○ウチュウセン ナカカラデナカッタンダヨ。(小－横男4－4)

○ボクハネ アシタノ ヨウチエンニ イッタ トキネ ナカナカッタンダヨ。(赤－q男4－1)

んだよね

現在形

○ウントネ ウシロニ プロペラミタイノガ アンダヨネ。(自－b男6－0)

過去形

○オジイサンハネ ント ヤマニ シバカリ イッタンダヨネ。(自－A女6－5)

○フミキリニ タクシーガ キタンダヨネ。(自－t男5－3)

んだぞ

現在形

○オウトウスルノ ココニ アンダゾ。(小－有男4－7)

んだね

過去形

○〔きびだんごを〕アゲタンダネ。(自－A女6－5)

んだな

過去形

○コダマト ヒカリ ノッタンダナ。(神－井男5－0)

んだもの(ん)

現在形

○オトウト イツモ イジメンダモン。(赤－m女6－3)

○ダッテ カエルガ ウンコスルンダモン。(小－藤男4－9)

○ダッテ，シャー ヨルンナルト ホタル クルンダモン。(神－宮男3－8)

○ボクモ シラナインダモノ。(自－c男6－3)

○ダッテ ホンガ ナイト ワカンナインダモン。(赤－s男5－6)

○ダッテサ ボクニ オトモダチダケド ワカンナインダモノ。(赤－d男4－2)

過去形

○シャシン トッタンダモノ。(自－g女5－11)

○ダッテ フザケッコシタンダモン。(自－k男4－8)

○コドモノ トキ シェンショウ ミタンダモン。(神－高男4－4)

んだっけ(な)

現在形

○ドウイウンダッケナ。ワスレチャッタ。(小－久女4－7)

○ココデ オハナシ スルンダッケ (神－d男4－2)

過去形

○ナニヲ シテ アソンダンダッケー。(自－i男6－5)

○アノネー ナニ シタンダッケナ。(自－e女3－9)

んだったっけ			
現在形	○アトハ ナニ アンダッタッケ キノウ。(自－e男6－1)		
過去形		○デ ナンカ カッタンダッタッケ。(自－n男5－5)	
んだって			
現在形	○ソレデー ンートネー ドングリサガシヤネ イロンナコトネ シテネ アソブンダッテ。(自－t女6－4) ○レンガノ オウチハネ フレンガノ オウチヲネ フート フコウトモ ビクトモ シナインダッテ。(赤－J女5－8)	○ナンダッケナ キッサテンネ ヒラクンダッテ。(赤－q女5－2)	○モウ シュグニ ニバンメノ ヤギガ クンダッテ。(神－狗女4－3)
過去形	○ソイデ オオドオリニ デタンダッテサ。(自－d女5－11) ○ナンニモ ミエナカッタンダッテ。(自－e女5－7)	○ソシタラ ネズミハ トビアガッテ ビックリシタンダッテ。(赤－q女5－2)	○ソシタラ オヤマガ アッタンダッテ。(自－b女3－10)
んだってね			
現在形		○オトモダチネ エート イルンダッテネ。(赤－q女5－2)	
過去形		○マエ イナカニ イタンダッテネ。(小－大男4－6)	
んだってさ			
過去形	○オカアサンガ チュウイシタンダッテサ。(自－h女5－7)		
んです			
現在形	○カブトムシガ キノ ウエニ イルンデス。(自－s男5－9) ○モモタロウサン モモタロウサン ドコヘ イクンデス。(赤－L女5－9)		○「マダ ヨウジュ」ジャ ナクテ 「マダ ヨウズ」ト ナルンデス。(小－原女3－7)
過去形	○ソイデネ プールノ エモカイテ，エニッキニ カイタンデス。(自－a男5－8)	○マタ ヒガ テッテ キテピーント ナッタンデス。(赤－p女5－2)	
んですよ			
現在形	○ワタシモ オニセイバツヘ イクンデスヨ。(赤－E女5－8)		
んですか			
現在形	○モモタロウサン モモタロ	○モモタロウサン モモタロ	

	ウサン　ドコヘ　イクンデスカ。（自－A女6－5）	ウサン　ドコニ　イクンデスカ。（赤－e女4－9）	
んだろう			
現在形（推量）	○スコシハ　ワカルンダロウヨ。（赤－g男5－10） ○コン　ドッチ　マガルンダロ。（自－t男6－2）		○ホカニ　ダレガ　ミエルンダロウネ。（赤－q男4－1）
過去形（推量）		○カメ　ドウシタンダロウ。（小－永男4－4）	
んでしょう			
現在形（念おし）	○セイノ　ジュンニ　ナラブンデショウ。（赤－D男5－11） ○ウント　ジヲ　ミナガ　ミナガラ　チュー　ヨムンデショウ。（自－b男6－0）	○マイクナラ　コウスルンデショウ？（小－川男4－10） ○ダッテサ　アッチカラ　アッチ　イッテ　カエンデショ。（小－海男4－3）	○アカガ　トマルンデショ。（自－d男3－10）
過去形（念おし）	○コレ　カレタンデショ。（赤－e男5－10） ○ソイデ　モウ　サンジニナッテ　カイッタンデショ。（赤－B女5－8）	○コレ　カレタンデショ。（赤－o女5－1） ○ウサギト　カメト　カケッコシタンデショ。（赤－e女4－9）	
じゃない			
現在形	○アノ　ブタイノ　ウエデサナンカ　ヤンジャナイ。（自－e男6－1） ○ソイデサ　ズ　ズット　イッタラ　ウント　デグチガアンジャナイ。（自－c男6－3）	○カタツムリ　ガッコウニアンジャナイ。（小－海男4－3） ○ロケットテネ（ホウボウ）デルジャナイ。（小－窪女4－8） ○ホンモノ　イナイジャナイ。（小－海男4－3）	○オンナジノガ　アルジャナイ。（小－福男4－2） ○チャント　シテアルジャナイ。（自－d男3－10） ○オワンナイジャナイ。（小－佐男4－3）
過去形	○ウント　フタツノ　ミチガアッタジャナイ。（自－c男6－3）		○キノウ　ミタジャナイカ。（小－加男4－1）
んじゃない			
現在形		○ダッテ　ドロボウ　イッテコロスンジャナイ。（赤－m男4－10） ○デン　デンチャデ　イクンジャナイノ。（小－成男4－3）	
過去形		○ソシテ　コッチ　ズーットイッタンジャナイ。（自－s男4－10）	○ココノ　エイガデ　ミタンジャナイノ。（神－折女4－3）

2.3 接続助詞のついたもの

接続助詞のあらわれかたは，右の表のとおりである。[注1)] このことから，つぎのようなことがわかる。「の」や「もん」に接続助詞がついたものも，いっしょにあげておく。

1) 「から」「けど」はよくつかわれる。

2) 「ので」「のに」「し」は，それよりもつかわれない。

3) 「が」はあまりつかわれない。

4) ていねい動詞から接続助詞へつづくことはほとんどない。ここにあがっているのは，いずれも，おはなしのなかにあるものである。この傾向は，終助詞のばあいと同様であり，幼児においては，ていねい動詞の使用が日常的になっていないことをものがたる。

		から	ので・し	が	けど（も）・のに	んだから	んだけど・んだが	もんで	もんだから
よむ	年長	○	○ ○		○	○	○		
	年中	○	○ ○		○	○	○		
	年少	○	○		○	○			
よんだ	年長	○	○ ○	○	○	○	○	○	
	年中	○	○		○		○ ○		○
	年少	○	○		○	○			
よまない	年長	○			○		○		
	年中	○	○		○		○		
	年少	○			○	○			
よまなかった	年長	○	○		○		○		
	年中	○			○				
	年少	○			○				
よみます	年長	○							
	年中								
	年少								
よみません	年長	○							
	年中								
	年少								

幼児の使用した例は，つぎのとおりである。

種類	年長児	年中児	年少児
から 現在形	○クマガ イッパイ イルカラ ビックリシチャッテ(赤－ｘ女６－２) ○オオドオリガ アルカラ ソコヲ マガッテ(赤－Ａ女６－１) ○ハヤク ニゲナイカラ クルマガ ドケドケッテ イッタノ。(自－ｍ女６－４) ○ゴハン タケナイカラネー イッツモ パン カッテ キテネ，(自－ｆ男５－５) ○ニッポンイチノ キミダンゴ ヒトツ ワタシニ クダサイ。ナカマニ ナリマスカラ。(自－Ａ女６－５) ○モウ ワルイ コト シマセンカラ ユルシテ クダサイ。(赤－ｏ男６－２)	○コドモガ イルカラネ オモチャ アンノ。(小－小林男４－３) ○シャリンガ アルカラ キシャハ ウゴクノ。(神－村男４－３) ○「アショボウ」テ ユッテモ アソバナイカラ ウート カエッチャッタノ。(自－ｉ男５－５) ○ミナイカラ シラナイ。(自－ｒ女４－８)	○オニンギョウトカ アソブカラネー スキ。(神－渡女３－10) ○ソリャ タイガーマスクッテ イウカラ カブルンジャナイカ(赤－ｄ男４－２) ○ビュウキデ ナンニモ ゴハンモ タベナイカラ シンジャッタノ。(神－場男３－10) ○どうして水あげてんの？サカナイカラ。(赤－ｏ男４－２)

注1) 「ので」「のに」などへつづくものも，「の」のばあいとおなじ理由で，いいおわり形である。

過去形	○ソコヘ トラックガ キタカラネ ネズミトネ クマハネ ブツカッタノ。(赤－N女5－7) ○ウサギサンガ ピョンピョン トンデ ツカレタカラネー ネムッテル アイダ カメサン (赤－e男5－10)	○カガミ モッテテネ,「セカイデ イチバン キレイナモノ ダレダ」チュッタラネ「シラユキヒメダッ」イッタカラ クヤシクッテネ(小－岡女4－8) ○シマウマガ イッパイ イタカラ ビックリシタノ。(赤－e女4－9)	○ウエキガ マガッタカラ オミズ カケテンノ。(赤－r男3－8) ○ツカレタカラ ネテンノ。(自－d男3－10)
	○オミズアゲナカッタカラコウ マガッチャッテネ(自－A女6－5) ○カメガ オソクテネ コナカッタカラネ ウサギ ネムッテタラ(赤－z男6－5)	○オミズヲ ヤンナカッタカラネー カレチャッタノ,オハナガ(赤－r女4－10) ○デモネ ズーット ミナカッタカラ ボロボロニ ナッチャッタ。(小－岡女4－8)	○オミズ アゲナカッタカラタオレナイ。(赤－u女3－7)
の で			
現在形	○アンマリ イッパイ イルンデネー タベラレナイカラネー(自－l男5－7)	○シマウマガ タクサン イルノデネ ライオン ヒックリガエッタノ。(赤－w男5－3) ○ナカナカ カメ コナイノデ ネチャッテ ソシタラカメガ(小－久女4－7)	
過去形	○オキタ トキハ モウ ヤマノ テッペンニ イタンデサー ト ビックリシテ アワテテ オキタノ。(赤－w男6－3) ○マエハネ ボク ウソッテシラナカッタンデネー ウーン ヒ ヒトノ モノ カリテ キテ オイテ イッタノネー ウーン「カッテ キタノ」ッテ ユッテ ウソヲツイチャッタノ。(自－i男6－5)		○〔その本は〕ズーット マエカッタノデネ タカーイノ。(小－佐男4－3)
し			
現在形	○ウントサー オエカキヤサー オソトデ アソンダリサー シュッセキモ トルシサー オユウギモ スルシ タイソウモ スルシ ソトデモ アソベルシサー ヨウチエンノ ホウガ イイト オモウナー。(赤－w男6－3) ○ハヤオキスル コトモ アルシ クジニ オキル コトモ アルヨ。(自－y男6－0)	○ウントネー テーモ アルシ アシモ アルンダ。(自－p男4－7) ○コウイウノダッテ アルシサ。 ソレガ コウ ナッテサー(小－海男4－3)	○ソレカラ ウント ニカイニネ チッチャイ ツミキモアルシ。(神－鈴男3－6) ○ウルトラシェブンハ ミルケドサー,ゲゲゲノ キタロウモ ミルシ,マンガダケミンノ。(神－宮男3－8)

過去形	○ソレカラ マリヲネ ヒトノ アタマニ ブツケタシネ ボウデ ヒトノ アタマヲ ブッタシネ ソレカラ マドガラスヲ ワッタシネ ソレカラ ソレカラネ ソファノウエデ ピョンピョン ヤッタシネ ソレカラネ ヒトノアタマヲ ゲンコツデ ブッタリネ ソレカラ…もういいわよ。(赤－Ｉ女５－８)	○カバモ イタシ。(神－渡男４－６) ○ダイオン ニゲタシ(自－ｒ女４－９)	
が			
過去形	○キュウタロウガ オオキイイシデ ハシヲ ツクロウト オモッタガ ツクレナカッタノ。(赤－ｙ男５－７)	○ハシゴヲ カケマシタガ トドキマセン。(神－桑女４－10)	
けど(も)			
現在形	○タマニハ ミルケドネ ミナイ トキモ アルンダ。(赤－ｃ男５－10) ○アノネ オシゴト シ シニネ クル シト ヒトリ イルケドネ アト イナイ。(自－ｖ女５－10)	○アルケド ワスレチャッタ。(神－堀女４－１) ○ダイブ ユメ ミルケド ユメ ミナイ コト スクナイノ。(小－窪女４－８)	○スコシネ オトガ チガウケド シッテンノ。(赤－ｔ女４－４) ○ウルトラシェブンハ ミルケドサー, ゲゲゲノ キタロウモ ミルシ。(神－宮男３－８)
	○ダレニモ キカナイケド ワカルノ。(自－Ｃ男５－11) ○オトナノ ニュース ミナイケドネ コドモノ ニュース ミル。(赤－ｔ男６－０)	○マイニチハッテ イカナイケドネ アノ チョッピリネ アレ スル。(小－窪女４－８) ○お話して。○シラナイケドナー。(小－森俊男４－６)	○キョウハ ミナイケドネ ズット マエ オジイチャンニ トマッタ トキ ヒトリデネ オヂイチャンチ イナカノ オジイチャンチ トマッタ トキネ アノネ ユメミタ コトハ アル。(神－三男４－０) ○ワカンナイケド オハナチシテル。(赤－ｖ女４－０)
過去形	○オネエサンタチ ハ ハイタケドネー オオキイシ アシガ オオキスギテネー ハインナクテ(自－ｊ女５－７) ○マエ ミタケド コノゴロミナイ。(赤－ｄ男６－４)	○カメガ ウエ アノー イッタケドモネ アノ ウサギネ ネムッチャッタノ。(赤－ｇ女４－８) ○ウチニ アッタケド モウミナクナッチャッタ。(小－岡女４－８)	○ズット マエハ キタケド アノ ズーット コナインダモン。(神－三男４－０) ○ケムシ イタケドネー ツカマエレナカッタ。(小－佐男４－３)
	○ホンモノノ コンチュウハ シナカッタケドネー ヨウチエンデ モラッテ キタネー カミノ コンチュウ ツクッタノ。(赤－ｒ男６－３)	○オミコシ カツガナカッタケド オサムクンガ カツイダノ。(自－ｇ女５－０)	○ゴジラハ イナカッタケドネ ソイカラ ライオンサンモ イテネ。(赤－ｔ女４－４)

のに

現在形

○イツモネー　ヤッチャ　ダメダヨッテ　イウノニネー　カズチャンガネー　イツモヤルノ。（自－f男5－5）
○ナンニモ　シナイノニ　オコルンダモン。（自－l男5－7）

過去形

○ムシ　サガシテタラ　ボクガ　サキニ　ミツケタノニネ　トッチャッタノー。だれが？（自－y男6－0）

○ウサギノガ　カッタノニ　カメサンガ　カッチャッタノ。（小－藤男4－9）
○ズット　マエ　シラナカッタノニネ　モネ　オボエチャッタ。（自－o女6－1）

○モッテ　カエッテネ　アケチャ　イケナイッテ　イッタノニ　アケタカラ　オジイサン　ナッチャッタノ。（赤－l男4－8）

んだから

現在形

○シトガ　イジメルトネ　スグネ　アタマヲ　ブツンダカラ　（赤－t男6－0）

○ダッテ　マンガガ　デルンダカラ。（自－k男4－8）

○バッタダッテ　ダレカニヤッタ　コト　アルンダカラ。ソレニネ（赤－d男4－2）
○クライ　トコジャ　ナケリャ　ヒカンナインダカラ。（神－宮男3－8）

過去形

○センエンマデ　クロウシテタメタンダカラ。（自－y男6－0）

○ソレニネ　イロノ　ツイテル　バッタ　ミタイナ　カタチノ　ボク　ミツケタンダカラ。（赤－d男4－2）

んだが

過去形

○カエルネ　ボグンチニネ　シモダテノネ　クサン　トゴニ　イタンダガネ　（自－p男4－7）

んだけど

現在形

○ウントネ「アソボウ」ッテイウンダケドネ　ウント　ベンキョウガ　スル　ヒトガネウント　ダイチャンノ　ウチニ　クルノネ。ダカラ（自－m女6－4）

○ツミキ　アレバ　デキンダケドネ　ダッテ　コウイウトコサ　ヤッテテサ　ソレデトブンジャナイ。（小－海男4－3）

○アノネ　ニュースナンカネホントハ　ミナインダケドネガマンシテ　ズーット　ミチャウノ，ナガイ　ニュースデモ。（赤－a男5－11）

○エート　イチバン　アッチガ　エート　ワカンナインダケドネ　トナリノ　コッチガアノ　ショクインシツッテイッテ　ゼンブノ　センセイガ　イルトコ。（小－久女4－7）

過去形

○キノウ　シチジニ　ナンカヤッタンダケド　ソレ　ミナカッタノ。（自－u女6－3）

○ウサギハ　サキニ　イッタンダケド　トチュウデ　ネムッタカラネー　カメノ　カメガ　オイヌカシチャッテネー（小－川男4－10）

	○カメハネ　イチバン　ウエヲ　イッタッテ　シラナカッタンダケドネ　イッチャッタノ。(赤－J女5－7)	
もんで 過去形	○ニホンノ　オバケガ　ユウショウシタ　モンデネ　キュウチャンネ　バッチネ　ウーント　ココニ　ツケテ　モラッタノ。(赤－I女5－8)	
もんだから 過去形		○ソコマデ　クルト　シマウマサンガ　イッパイ　イタモンダカラ。(赤－p女5－2)

2.4　現在形の用法

2.41　現在形の用法[注1)]

動詞の現在形は，基本的な用法として，現在の状態をあらわすものと，未来の動作（または状態）をあらわすものがある。前者は，存在，状態，関係などをあらわす状態動詞，または，知覚や思考をあらわす動詞によって実現され，後者は，動作をあらわす動作動詞によって実現される。

状態動詞○「あら，こいがいますわ。白いこいがいますわ。」(川端康成「舞姫」)

○「あなたの情夫(いろ)にしちゃァちと野暮天すぎるネ」(二葉亭四迷「浮雲」)

思考の動詞○「あなたはこんなことをどう考えます？」(石坂洋次郎「青い山脈」)

動作動詞○「今夜はあたし看護するわ。」(山本有三「波」)

○「でも兄は近々結婚しますよ。」(夏目漱石「三四郎」)

また，うちけし動詞のばあいには，そのほかに，過去のことや，また，動作がまだ成立していないことなどをあらわす。

○合宿にいった？イカナイ。(自－o男6－3)

○このおはなし，きいたことある？キカナイ。(赤－1男6－3)

現在形の動詞は，基本的な用法のほかに潜在的な用法，つまり特定の時間にしばられていない用法をもつ。これには，習慣やくりかえしのように何度もおこること，そのような傾向をもつことをあらわすものと，時間から解放されているものとがある。

(くりかえし)○「夜はいつでもいる。遊びに来たまえ」(志賀直哉「暗夜行路」)

(時間から解放)○「私笹井和子と申します。どうぞよろしく。」(青い山脈)

また，そのほかに，歴史的現在といって，過去のことを，現在形をつかって，現在の目前のことのようにはなすいいかたがある。

○静かな日曜の朝がきた。寄宿舎にあつまった普通学部の青年で，教会に籍をおくものは，

注1)　ここにしめす例は，うちけしをのぞいて，鈴木重幸1965または同1972から借用したものである。

それぞれしたくして，各自の付属する会堂へと急いでいく。食堂につづいた一棟の建てもののなかに別に寄宿する神学生なども思い思いの方角をさしてでかけていく。人びとは一日の安息をえ，霊魂(たましい)の糧をえようとして，その日曜をたのしく送ろうとした。(島崎藤村「桜の実の熟する時」)

2.42 幼児の使用した現在形の用法

うえにあげたような観点から，幼児の使用した現在形の用法をながめると，そのすべての用法があることがわかる。しかも，これは，年少児においてもである。つまり，幼児は，日本語動詞の現在形の用法を，すでに所有しているということができる。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
現　在			
	○オカアサント　オトウサント　オトウトガ　イル。(赤－a男5－11) ○ソイデ　ソコノ　ヘイキショノ　ヘイ　トコカラネ　イケラレル　ミチモ　アル。(自－d女5－11) ○コッチガ　オイスギル，コッチガ　オイスギル。(赤－j女6－6) ○東京とどんなにちがう？　ウントネ　オウチガ　チガウ。(自－r女5－7)	○ネコガ　イル。(自－a男4－9) ○ジテンシャナンカ　アル。(赤－d男5－4) ○チョット　コマルッ」チュッタラネ(自－j女4－7) ○ヨウチエント　オンナシト　チガウノ。(自－q男5－4) ○「イイ　ニオイガ　スル」ッテ　コッチ　キタデショウ。(小－窪女4－8)	○ソイデ　バーチャント　オカアサンガ　イル。(赤－f女4－2) ○ウチニネ　ゴホン　タクサン　アル。(小－神女4－1) ○東京とちがう？　ウン？　どうちがう？(コッ)　チガウ。(赤－p男3－7)
	○ドッチデモ　イイト　オモウ。(赤－G男6－1)	○シンジャッタト　オモウ。(小－押女5－1) ○じゃ　これは？　ワカル。じゃあ　やってみて。(自－g女5－0)	○アノネ　アレダト　オモウ。(神－三男4－0)
		○「ダレカガ　クル。ダレカガ　クル」ッテ　(神－松女4－8)	○オレノ　ハシヲ　ガタガタシュル」ツッテタンダヨ。(神－狗女4－3)
	○よう子ちゃん，ひとりっこ？　チガウ。オニイチャンガウエニ　イルノ。(赤－p女6－2) ○イイテンキン　ナッタラア　チガウ　ンートー　ズンズン　ズンズンネ　ズーットネ　ミズ　ヤッテタラ。(自－B男5－7)	○おねえちゃんのほうがつよいんじゃないの？　チガウ。(自－n男5－5) ○カアチャン　ガッコウ，チガウ　チガウ　カイシャ。(神－敷男4－3)	○馬になるの？　チガウ。アンネ　ウマニネ　ノルノ。(赤－b男4－0)
	○オバアチャン　イナイ。イナカニ　イル。(自－z男5－	○イモウトトネー　オカアサント　オトウサント　アタシ	○虫いる？　イナイ。(赤－u女3－7)

	8） ○ライオンがどうしました？ ワカンナイ。（自－z男5－8）	シカ イナイ。（赤－q女5－2） ○そのはなしきかせて。ボク ワカンナイ。（赤－b男5－6）	○どうして？ ワカンナイ。（赤－a女3－10）
未発の状態	○お父さまのおしごと，知ってる？ シラナイ。（赤－p女6－2） ○このおはなし，きいたことある？ キカナイ。（赤－l男6－3）	○こちらの足はどっちの足？ ナンダカ シラナイ。（小－志男4－2）	
過去	○合宿にいった？ イカナイ。（自－o男6－3） ○ほかに夏やすみになんかやった？ ナンニモ ヤンナイ。（自－v男5－7） ○運動会でた？ デナイ。（赤－G男6－1）	○きのうはなにみた？ キノウ？ ん。ナンニモ ミナイ。（小－押女5－1） ○ニュース キノウハ ミナイ。（赤－s男5－6） ○きのうの日曜日なにしたの？ ウートネ ナンニ チナイ。（小－足男5－0）	○エビガニモ イタ。つった？ ツンナイ。とった？ トンナイ。つかまえた？ ツカマラナイ。（小－佐男4－3） ○なにしてあそんだの？ ナーンニモ シテ アソバナイ。（小－千女4－2）
未来	○ぼく大きくなったら，なんになりたい？ ジドウシャツクルノ。（赤－t男6－0） ○イツモネー オトウトガ「キョウ ウルトラマン ヤル」ッテ イッテ ミルノネー。（赤－f女5－9） ○アノ「ヨウジガ アル」ッテネ ウソ ツイテネー（赤－c男6－3） ○「ボクハネ モウ オッキク ナッタカラネ オニセイバツニ イク」ッテネ（自－p女6－1）	○大きくなったら，なんになりたい？ アンネ センセイニ ナル。（神－大女4－6） ○ママガ シンダラ ドウナルトカ（オハナシ）。（小－山女4－5） ○コンナニ オオキク ナッテ アカーク ナッテ オイシク ナッタラ タベル。（神－桑女4－10） ○コンドノニチヨウビ ドッカヘ ユク。（自－j女4－7）	○大きくなったら，なんになりたい？ エート キモノヌウノ。（小－原女3－7） ○オオキクナッタラ オベンキョウ カクノ。（神－場男3－10） ○アシタ ドウブツエン イクノ。（自－m女3－10）
	○ウーント ダカラネ「コレ アゲル」ッテ ユッタノ。（自－r女5－8） ○このおはなし，してみて，こちらからね。オハナシスルノ？（赤－d男6－4）	○数，いくつまでかぞえられる？ ントネ カンガエル。（小－谷男4－11） ○もうやめる？ ヤメル。（神－伊男4－1）	○クマサン ネズミヲネ クマサン タベルッテ イッタカラネ。（自－i男3－5） ○ネ ネ ドレ カクノ？（赤－v女4－0）
	○ウサギノ カメニ オイツカナイト オモッテ（赤－w女6－2） ○ソシテネ ビョウキニ カカラナイト イッテネ サムイ オソトヘ デテ イッタラ（赤－h女6－6）	○大きくなったら，なんになりたい？ ナンニモ ナラナイ。（神－島男4－4） ○もっとおはなしすんの？ やってみて。ワスレタカラ ヤンナイ。（赤－m男4－10）	○たのしいね，またいくの？ マタ イカナイ。（自－k男3－4） ○センセイガネ オシャベリシテルトネ ウーント ヤウ「ホン ヨンデ アーゲナイ」ッテ イウノ。（神－佐女3－7）

くりかえし・習慣	○おかあさんね，絵本よんだりおはなししてくださったりする？　トキドキハ　オヒルネノ　トキ　スル。(赤－g男5－10) ○オテツダイ？　シ　スル。(赤－t男6－0) ○アタシネ　ハチジ　スギテモ　ミル。ヒヒヒヒ……(自－g女5－11) ○そんなのみたらどういう気がする？　コワイナト　オモウ。(自－s男5－9) ○幼稚園から。アノネ　ナランデ　イクノ。(赤－s女5－8) ○学校ごっこするとき，Yちゃんはなににになるの？　ウントネ　センセイン　ナルノ。(自－D女5－11) Yちゃんはゆめなんかみる？　ミナイ。(自－D女5－11) ○ニュースなんか　みる？　トキドキシカ　ミナイ。(自－g女5－11) ○トキドキ　スルケド　アンマリハ　シナイ。(赤－m女6－3)	○テレビみる？　テレビ　ミル。(小－有男4－7) ○おやすみのとき，なんかするの？　エトネ　アソブ　オネエサント。(小－山女4－5) ○ヨウチエン　キタラ「オハヨウゴザイマス」ッテ　イウ。(小－山女4－5) ○ボクネ　アサ　ハヤク　オキタラネ　ホン　ヨムノ。(小－横男4－4) ○〔おとうさんは〕スグ　オコルノ。(自－r女4－8) ○アンマリ　イイ　コト　ヤラナイ。(自－r女4－8) ○デモネ　ミタクナイ　モノハ　ミナイ。(小－篤女4－7) ○テレビ？　ウン　アンマリミナイ。(小－志男4－2)	○どんなものつくるの？　ピストルトカ　ツクル。(赤－o男4－2) ○ぼくゆめみる？　ユメ　ミル。(赤－d男4－2) ○幼稚園では？　ボク　ヒトリデ　アソブ。(赤－n男3－7) ○なにしてあそぶの？　クルマデ　アショブノ。(赤－l男4－2) ○ヨルニ　ナッタラ　テレビミル。(赤－q男4－1) ○デパートには？　デパートニモ　イカナイ。(自－m女3－10) ○カミヤホイクエン　キテルトキハ　イワナイ。(神－三男4－0)
時間から解放されている			
一般的帰結	○このおはなし，きいたことある？　ナイケド，エヲ　ミリャ　ワカル。(赤－G男6－1) ○ココマデ　クルトネ　トオク　ナル。(自－u女6－3) ○ソレデサー　ミズヲ　スコシズツ　ヤッテレバ　ウントエート　ハナダッテ　キレイニ　サク。(赤－w男6－3)	○オミズ　カケタラ　スグスグ　タツ？　(小－樋男4－3) ○アノネ　アミカラダト　ヨウチエンノ　ウンドウジョウガ　ミエル。(小－篤女4－7) ○アンネ　ネズミ　タベタラネズミニ　ナル？　ナラナイ？(赤－d男5－4)	○コレ　ヌイタラ　コマル？(神－佐女3－7) ○お日さまがてったら，お花どうなる？　アノネー　チャントネ　カタマル。(自－b女3－10) ○コロンダッテ　ナカナイヨ。ぼくは？　ナカナイ。(神－高男4－4)
能力・性質	○ウルトラマン　オキアガッテ　コウユ　フウニ　コウセン　ハク。(赤－K男5－11) ○大工さんてどんなことをやるの？　オウチヲ　タテンノ。(自－o男6－3) ○カガクト　カガクシャト　ソウイウノニ　ナリタイナ。	○キシャハネ　ドウシテ　ハシル？　(神－村男4－3) ○パン屋さんていうのは，どういうおしごとするの？　パンヤナンカ　ウルノ。(小－山中女5－0)	○おじいちゃん？　ミミ　キコエル。(小－神女4－1) ○オバアチャンダッテ　ナク？なくよ。ドウシテ　ナクノ？　(小－佐男4－3)

	どうして？　ドウシテモ。ん？　ムシノ　カンサツ　デキルカラ。（赤－m男５－10） ○ゆめのおはなしできる？　デキナイ。（赤－m男５－10）	○どうして　おばあちゃんがいいの？　ダッテ　オコンナイ。（小－長男４－６）	○どうしてパパすき？　ダッテネ　ブッタカナイ。（小－長男３－５） ○おばあちゃん，おはなししてくださる？　ミミガ　キコエナイノ。（小－神女４－１）
しかた・定義	○アノネ　ン　ヤクヲ　イレテネ　ソシテ　ハリヲ　サス。コウヤッテネ　イレテネ　ソシテ　チューット　サスノ。（赤－m男５－10） ○カケアシテネ　ンートネフクロヲネ　アシニ　イレル。ピョンピョンテネ　マワッテネ　ソイデネ　ソイカラ　マタ　ヌイデネ　ソイデ　カケアシスルノ。（赤－F男５－９） ○ボクンチノ　イヌノ　ナマエハ　ペスッテ　イウ。（赤－K男５－11）	○ニクヤガ　アルカラ　ソコデ　イク。（自－b男５－１） ○オカアサンガ　ゴハントカソウイウノ　ツクルデショウ。ソレデ　ゴハン　タベルトカソウイウノ。（自－u女５－９） ○ウントネー　ウインピーッテ　イウ　オトコノコモ　イルンダヨ。うん？　ウインピーッテ　イウ。（神－松女４－８）	○センソウッテネ　テッポウウチュノ。（神－高男４－４） ○コッチ　オハシ　モツ。（神－三男４－０） ○シヌッテネ　コウ　ヤッテウン　コウ　ヤッテ　シヌコト。ナンニモ　ウゴカナイノ。（神－場男３－10）
歴史的現在	○ソシテ　ハヤタタイインガネ　ウルトラマンヲ　ヨブ。ソシテネ　ウルトラマンガキテネ。（赤－K男５－11） ○カメサンガ　ドンドン　サキニ　イッチャッテ　イットウショウニ　ナル。（赤－a男５－11） ○ムセンキガ　ツイテ　スグネ　ワルイ　コト　シタノシラセルノネ　ダレカニ。ソウスットネ　テノ　ナカニ　パティーガ　アッタノネ。（赤－E女５－８） ○ソシタラネ　ウサギサンハネ　ナンニモ　キコエナイノ。（赤－u女５－11）	○ハナガ　アッテネ　ソノトコロデネ　ジョウロデ　ミズ　カケンノ。ミズ　カケタラネー　ヨコン　ナッテタノガネ　ウ　マッスグ　ナッタノ。（自－o男５－４） ○テチュジンガネ　ロボットヤッツケルノ。ソイデ　ショウタロウガ　シュジュウキデヤルノ。ンデネ　ドロボウノキテ　パトロルカー　ハシッウンネ　ノッテ　イッチャッタノ。（自－n男５－５） ○ネズミ　ピョンピョンテヤッテンカラ　オイツカレナイ，ナカナカ。（小－有男４－７）	○オハナニ　ミズ　アゲルノ。そしたら？　ソシタラネ　オミズ　アゲナクッチャ　カワイチャウノ。でどうなったの？　ソレデネ　ゲンキニ　ナッタノ。（赤－m男４－１） ○オチテ　ポーット　コッチイク。アノネ　コウヤッテネオッコッチャウノ。（神－三男４－０）

2.5　過去形の用法

2.51　過去形の用法[注1)]

動詞の過去形は，基本的な用法として，過去の動作または状態をあらわす。

○「オヤ，いつ私がそんなことを言いました。」「ハイおとついの晩言いました。」(浮雲)

○「そのひとはしばらくここにいましたか。」(波)

過去の動作の結果が現在までのこっていることをあらわすばあいがある。

○「ああ，はらがへったなあ」(青い山脈)

○「困ったな。」行介は空を見ながら襲子にいった。(波)

現在形の潜在的な用法に相当するものとして，過去のある期間にくりかえしあらわれたことをあらわすものがある。

○「あの時もさ，君はよく指を切ったぜ。」(波)

○「そのくせ人がちょっと悪口いうとすぐ食ってかかった。」(武者小路実篤「その妹」)

そのほかに，存在をあらわす動詞には，発見をあらわす用法がある。

○「あった，あった。なあんだ。こんなところへつっこんであったんだ。」(波)

○「何だそこにいたの。いつ来たんです。」(徳田秋声「縮図」)

発見の用法のニュアンスは，「くる」などのばあいにも生じる。

○はじめにそれに気づいたのは新子だった。「来たわ，六助さん，さっきの人たちよ……」(青い山脈)

発見の「あった」は，さらに発展して，確認をあらわす用法をもつが，このばあいは，未来のことについていうばあいもある。

○「あっ　しまった。あしたは　あしたは約束があった。」

このほか，過去形は，命令の意味にもちいられることもある。

○「のいた，どいた，どいた」と叫ぶ。(泉鏡花「日本橋」)

2.52　幼児の使用した過去形の用法

うえにのべたような観点から幼児の使用した過去形の用法をながめると，つぎのようなことがいえる。

1)　幼児は，過去形の基本的な用法を所有している。つまり，過去の動作や状態を過去形でいいあらわすことができる。また，それが現在におよんでいるばあいの用法もつかえる。

過去のことを過去形であらわすことは，現在・未来のことを現在形であらわすことと関係している。つまり，〈よむ⟷よんだ〉という形式のうえでの対立が〈現在・未来⟷過去〉という意味のうえでの対立をあらわしているのである。このことは，今回のような幼稚園・保育園児のばあいには，さほど重要ではないが，2才前後の言語獲得期にあるこどものことばをしらべるばあいには，もっと重要である。なぜなら，こどもは，環境によって，「よむ」という現在形をさきにおぼえたり，「よんだ」という過去形をさきにおぼえたりする。そこで

注1)　ここにしめす例は，鈴木重幸1965から借用した。

重要なことは，その両形をおぼえて，つかいわけ，〈よむ⟷よんだ〉の対立をとらえることである。そのとき，はじめて，こどもがテンスという文法的なカテゴリーを習得したことになるのである。

2) 幼児はまた，過去形の発見的な用法を使用することができる。しかし，その延長上にある，確認的な用法は，あらわれなかった。これは，まだ所有されていないのではないだろうか。

3) 過去におけるくりかえしの用法もなかった。これも，まだむずかしいのではないかとおもわれる。

4) 「どいたどいた」のような，ぞんざいな命令のいいかたは，用法としては，それほどむずかしいものではない。ただ，ふつうの環境ではわりにあらわれにくい形式であるので，幼児がまだそういういいかたに接する機会にめぐまれなくて所有していないのか，または，それを所有していても，今回のような資料あつめの方法ではあらわれなかったのか，おそらくそのどちらかであろう。

幼児の使用した過去形のいろんな用法の例は，つぎのとおりである。

種類	年長児	年中児	年少児
過去	○コノマエ オジチャンガ キタカラ，オジチャンガ キタトキ トランプモ ヤッタ。(赤－c男5－10) ○ボク イットウン ナッタ。(赤－D男5－11) ○ソイデネ オミズ カケテアッタカイ トコニ ヤルトネ ピント ナッタ。(自－a男5－8) ○ボク ガクタイコウシン シタノ。(赤－d男6－4) ○ウスハ ヤネニ ノボッタノ。(赤－g男5－10) ○「ソウカイ ウサギクン」ト カメガ イイマシタ。(赤－s男6－6) ○コウエンデ ブーランコヤナンカデ アソビマシタ。(赤－x女5－7)	○チュカレチャッタカラ，ソコデ ヤスンダ。(赤－g女4－8) ○ントー オソトデ アソンダ。 ユタカチャント アソンダ。(自－t男5－3) ○オウチ カエッタラ カズチャント マタ アソンダ。(自－c男4－7) ○オジサンガネー オハナニオミズヲ アゲタノ。(小一村男4－9) ○ウントー オシルネシテオカシ タベテネ-- ゴハンタベタノ。(神－鎌女4－5) ○ハリーハ ブラシヲ クワエテ ニゲダシマシタ。 ソシテ ウラニワニ ニゲマシタ。 ソシテ ドウロコウジヲ シテ イル トコロデアソビ アソンデ ドロダラケニ ナリマシタ。(神一規男4－6) ○オウチデ オベンキョウシマシタ。(赤－i女5－3)	○きのう幼稚園からかえって，なにした？ テ アラッタ。それから？ ナンカ タベタ。(赤－c男3－8) ○ココカラ ピョント ナッテ ココニ タオレタ。(赤－d男4－2) ○パパト チュウシャジョウ イッタ。(赤－q男4－1) ○イナカデネ，ウント ムシト ツカマエタノ。(小一佐男4－3) ○ウントネ キンカコウエンヘ イッテネ アションダノ。(小一長男3－5) ○オッキイ ヤギノ ガラガラドンガ キマシタ。(神一寺男4－4) ○ムカシムカシ アル トコロニ ガラガラドント イイマシタ。 ハシヲ ワタリ イケマセン。 ソノハシ トロガ イイマシタ。(神一佐女3－7)
	○キョウネ ニューシュ ミ	○ソノ トキモ ボク フッ	○ナツニ？ トオイ トコ

	ナカッタ。 シンブンモ ミナカッタ。 マンガ ミタ。(赤－b男6－5)	トバナカッタ。(自－c男4－7) ○ハンブンシカ ミテナカッタカラ ワカンナカッタ。(赤－r女4－10)	イカナカッタ。(神－三男4－0)
	○ヤマトネ アト モウ イッコ ヤマガ アッタ。(自－z男5－8) ○ダカラ ソレヨリ チッチャイネ トリモ イタ。(赤－w男6－3)	○ヒビヤコウエンダケハネ プールガ アッタ。(小－志男4－2) ○サルトカ ライオンガ イタ。(小－橋男5－1)	○なにあった，万博には？エート ロボットトカネ ソレカラ ソイカラ イギリスモシタヨ。ニホンジンモ イタ。(赤－r男3－8)
	○ウント フジサンヤラネ イロンナ モノガ ミエタ。(長－t男6－0) ○ソイデネ オショクジ タベル トコモ アッタノ。(自－d女5－11) ○ソイデ シマウマガ タクサン イタノ。(自－i男6－4) ○キイロイノヤネ ソレカラ アカイノヤラ チャイロッポイノヤネ イロンナ イロノ ハッパガ アリマシタ。(赤－c男5－10)	○ジョウダノ ペンギンダノネ イタノ。(自－p男4－7) ○ドウイウ クサガ アッタノ？(小－野女4－9)	○ア，プールモ アッタ。(赤－t女4－4) ○アンネ ウサギト カメガ イタノ。(神－大男3－11) ○タニガワノ トコニネ ハシガ アッタノ。(神－古男4－5)
		○これ注射？ いたかった？ ナカナカッタ。ないた子いた？ イナカッタ。(小－嘉女4－8)	
	○オンドリガ カッテネ「カッタ，カッタ」ッテネ(赤－j女6－6)	○コレハネ クマチャントネズミガ キョウソウシテネ「カッター」ッテ イッテネ(神－山男4－9)	
	○ ミッツ アッ チガッタ，ヨッツダ。(赤－c男5－10)	○シッテル。 コウバニ オカネ ハコブコト， チガッタ，デパートニ オカボ オカネ ハコブ コト。(小－川男4－10)	
結果が現在にのこる過去	○アノネー ウントネ トトトト ワカッタ。(赤－e男5－10) ○「オナカ スイタ」ッテ イッタノネ，(赤－o女6－1) ○デ「モウ クタビレタ」ッテ ニゲテ イッタノ。(赤－b男6－5) ○オボエテナイ。モウ ワスレタ。(赤－M男5－8) ○マタ トマッテタカラ，	○エート ナンダッケナ アレハ。アッ， ワカッタ。(小－安男4－2) ○もうちょっとだから，がんばってね。モウ ツカレタ。(小－端男4－2) ○どういうふうにやるの？ ソレハ ワスレタ。(自－g女5－0) ○ウントネ ビョウインニ ニュウインシテ モウ ナ	○ソイデネ「アーアー クタビレタ」ッテ ネチャウノ。(小－原女3－7) ○このまえ歯がいたかったのなおった？ ナオッタ。(神－柿男3－7) ○ココ「オハナガ サイタ」ッテ ソウ ユッテンノ。(小－原女3－7)

	バッテ　ツカンダラネ　ツカンダト　オモッタラ　マタアナガ　アイテテネ　ゼンゼン　トレナカッタカラ(自－k男5－8) ○ウサギサンガネ　ウーント「コマッタ」ッテ　イッテネ(自－B男5－7) ソイデ　ヨンジュウエン　タメタト　オモッタラ，マタニジュウエンニ　ナッチャウンダモノ。(自－l男5－7) ○「ドコニ　イッター」ッテ　イッタラネ　シッポダケダッタンダヨネ。(自－m女6－4)	オッタノ。(神－北男4－11)	
発　見	○ソシタラ「トリガ　イタ」ッテ　イッタンダヨネー。(赤－o女6－1) ○「リョウシガ　キタヨー」テ　イッタラネ，(自－m女6－4)	○ウント　ジチンガ〔地震が〕キターッテ(神－永男4－1)	○「ナンカ　アッタ」ッテ　サガシニ　イッタノ。(赤－b男4－0) ○ソシタラネ　オオカミガネ「カゼガ　キター　バイバイ」ッテ　ニゲテンノ。(小－藤女3－10)

2.6　意志形の用法

2.61　意志形の用法[注1)]

動詞の意志形の基本的な用法は，さそいかけと意志である。どちらも意志動詞によって実現され，また，さそいかけのばあいも，はなしての意志によるさそいかけであるので，この稿では意志形としたが，「さそいかける形」というよびかたもある。[注2)]

(さそいかけ)○百合ちゃん，ここの酒はまずい。席をかえよう。(獅子文六「自由学校」)

(意志)○「断わろう。」と，はっきりと云って，また沈黙した。(大仏次郎「帰郷」)

なお，意志をあらわす用法は，意志の通知，実行の宣言をあらわすばあいがある。

意志形は，また，推量をあらわすことがある。このばあいは，ふつうには無意志動詞がつかわれ，意志動詞がつかわれるのは，文脈によって意志でないことがわかるばあいにかぎられる。

○あすは雨が降りましょう。(天気予報)

○しかし，そんな知識が私の現在の目的に何の関りがあらう。(岡本かの子「河明り」)

○しかし非難や称賛が芸術家にどれほどの痛みや喜びを与えよう。(出隆「哲学以前」)

この，推量をあらわす用法は，文章語であって，日常語としてはつかわれない。

注1)　用例は，高橋太郎1970からひいた。

注2)　明星学園1968や鈴木重幸1972では，「さそいかける形」とよんでいる。

2.62 幼児の使用した意志形の用法

意志とさそいかけの用法は，ひじょうに多くの例があった。幼児は，年少児もふくめて，意志形の日常語としての用法を所有しているといえる。

推量の用法はあらわれなかったが，これは，当然のことである。文章語としての用法は，小学校入学後に，学校教育のなかでおしえられるであろう。

幼児の使用した意志形の用法の例は，つぎのとおりである。

種類	年長児	年中児	年少児
さそいかけ	○「カケッコヲ シヨ」ッテ カメガ イッタノ。(赤－u女5－11) ○ウサギト カメトネ「キョウソウシヨウ」ッテ ユッテネ(赤－y男5－7) ○オトウチャンモ「イコウ，イコウ」ッテ イッテモ(自－w女6－5) ○「オネエチャン コレ シヨウ」ッテ (赤－o女6－1) ○「トッカエコシヨウヨ」ッテ サルガ イッテネ。(赤－g男5－10) ○ンデ「アソボウカ」テ ユッテネ(自－r女5－8) ○ソシテ ヨウチエンノ コドモガ「アソビマショウ ライオンサン」テ ユッタラ，(赤－h女6－6) ○「アタシタチノ コドモニ シマショウ」ッテ オバアサンガ イッタノネ。(赤－N女5－7)	○アノネ ウサギト カメ「ヨーイドン シヨウ」ト ヤッテネ。(赤－i女5－3) ○ライオンガ ウントネ「アショボウ」テ ユッテモ(自－j男5－5) ○「コレ モッテ イコウネ」ッ チュッテネ(自－j女4－7) ○ボク オウチデ イツモ ウ ネ アー「ウンドウカイシヨウヨ」ッテ イウノ。(赤－b男5－6) ○シタラ シマウマガ キテ ネ ウ「カケッコヲ シヨウカ」(赤－i女5－3) ○「アタシヲ ダマスナラネ カケッコヲ シマショウ」ッテタラネ(赤－l男4－8)	○ウサギサンガ「アソボ」ッテ イッテンノ。(赤－t女4－4) ○ソイデ「ナンカ ノモウ，ノモウ」ト イッタノ。(小－神女4－1)
意志	○ドーレ アノ ヤツハ ノロイカラ ユウガタマデ カカッテモ コナイダロウ。ジャー チョット ヒルネヲ シヨウ。(赤－s男6－6) ○ブンボウグヤサンデ ホンカオウト オモッタンダヨネ。(自－b男6－0) ○エートネ クマガネ ネズミニサ ソウダンシヨウト オモッタノニネ，(赤－j女5	○コーンッテ ヤッ クビヲキ キロウト オモッタラネ－(神－村男4－3) ○「チョコレート カッテ タベヨウ」ト イッタラ(自－j女4－7) ○オハナニネー オミズ アゲヨウト オモッタラネ(神－規男4－6) ○ヨイコトネー ヨイコト ヨイコト ナニ ミヨウカナ	○オハナネー ミズ カケヨウト モッタラネー(自－b女3－10) ○マタネー オウチ ツクロウト オモッタラネ トバサレチャッタノ。(小－神女4－－1) ○ナニ カコウカ。(赤－d男4－2) ○ドンナ オハナチ シヨウカナ。(赤－v女4－0)

	－7） ○ぼくは大きくなったら，なににになりたい。ウートネーウーント　ナニニ　ナロウカ。（赤－q男5－11） ○ナンノ　オハナシニ　シヨウカナー。（赤－I女5－8） ○カメサンハネ　マダ　ムコウニ　イルカラ　ヒルネデモシヨウカッテ（赤－O女6－－1） ○オジイサンガ　チョウド　カエッテ　キタラ　キリマショウッテ（赤－E女5－8） ○ヨシヨシ　アゲヨウ。（赤－L女5－9） ○タイジシタラ　イチバン　イチオクエンヲ　アゲヨウ。（赤－m女6－3） ○ヨシヨシ　ヒトツ　アゲヨウネ」（赤－L女5－9） ○オサルガ　キテネ「ソノカキ　トッテヤル　アゲヨウカ」ッテ　ユッテネ（自－r女5－8） ○「キビダンゴヲ　アゲマショウ」（赤－E女5－8） ○「ジャー　コンドハ　アナタタチノ　コドモヲ　オアズカリシマショウ。（赤－m女6－3） ○オジイサンニ　マキワリヲイタシマショウ。オミズ　クミマショウ。（赤－E女5－8）	―（神－山男4－9） ○ソイデ　ソノ　ツギハ　エート　ドウシヨウカナー。（小－弘女5－1） ○アル　ミコン　ヨナカノミーコニ　カキノミガ　アルカラ　ソレヲ　ハヤク　モッテ　キタ　ヒトト　ケッコンシマショウ。（神－桑女4－10）
意志の通知・実行の宣言		

第3章　連体形

3.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した語形はつぎのとおりである。

機能	テンス	ふつう				ていねい			
		みとめかた		うちけし		みとめ		うちけし	
		幼児の使用例	年長 年中 年少		年長 年中 年少		年長 年中 年少		年長 年中 年少
連体形	現在形	よむ	○○○	よまない	○○○	よみます		よみません	
	過去形	よんだ	○○○	よまなかった	△　○	よみました		よみませんでした	

なお，このなかの△印のところは，形式名詞「とき」にかかる例がひとつあっただけである。

この表は，ていねい動詞の連体形があるようなつくりになっているが，ていねい動詞の連体形は，ふつうは，形式名詞のばあいしかないので，この欄を削除したほうがよいかもしれない。

幼児の使用した例をみると，うちけしの過去形には，ほとんどみられなかったが，その他のかたちは使用されている。従って，幼児は，動詞の連体形を所有しているということができる。

幼児の使用した例は，つぎのとおりである。

種類	年長児	年中児	年少児
みとめの動詞			
現在形	○ヒューヒュー　ソラ　トブリュウガ　イタカラネ（自－m女6－4） ○ヨウフクネ　ヌウ　オシゴトトカ　ソウ　イウノ。（自－s男5－9）	○ウントネ　セワスル　オジサンガ　オハナニ　ミズヲアゲタノ。（神－桑女4－10） ○こわいのは？　オニガ　クル　ユメ。（神－師女4－11）	○ダレカ　オカアサンニ　ナッテネ　ツクル　シトガ　イナクチャ　ダメダモン。（小－矢女4－0） ○ケムリ　ダス　キカンシャノッテネ（神－三男4－0）
過去形	○ムカシネ　キシャ　トオッタ　センロノ　ミチ　トオッテ　クルノ。（赤－C男5－6） ○ジブンノ　タベタ　ショッキ　モッテ　イッタリネ（赤－I女5－8）	○キョウ　ミタ　ユメネー（小－岡女4－8） ○シボレタ　ハナガ　ダンダン　ヒライテ　クンノ。（自－i男5－5）	○ツキデタ　ハナハ　ヒッカキボウノ　ヨウデ（神－古男4－5） ○ママガ　ツクッタ　オベントウダヨ。（赤－q男4－1）
うちけしの動詞			
現在形	○ウントネ　シラナイ　ヒトガ　キテネ（自－y男6－0） ○ヨボウチュウシャ　ヤンナイ　カタハ　ヤッテネ（赤－c男5－10）	○ナカマニ　イレナイ　コガ　アルンダヨ。（小－久女4－7） ○オカネガ　タマンナイ　ヒトニネ（自－t男5－3）	○カゼガ　アタッテネ　コワレナイ　オウチ　ツクッテネ（小－矢女4－0） ○ジドウシャ　コナイ　ミチ（神－高男4－4）
過去形	○「オフロニ　ハイリナサイ」ッテ　イウ　トキネー　ハイラナカッタ　トキ　オコラレル（赤－k女6－2）		○アノネ　ナカカラ　ポイテイレナカッタ　オテテ　カマナカッタ。（自－b女3－10）

3.2　連体形の用法

3.21　連体形動詞の形態論的な性格[注1)]

名詞のしめすものごとを，動作・状態の面からくわしくする連体形の動詞は，テンス・アスペクト的な性格をもっている。このような連体形動詞の「する」と「した」とは，つぎのような3種類の対立のしかたをしめす。

1)　絶対的なテンスによる対立。これは，はなしている時点を基準とするもので，〈現在・未来↔過去〉という対立である。これはいいおわり形とおなじ。

（現在）○玉木さんの方は極くサッパリと祈った。「天にましますわれらの父よ，すべてをしろしめす父よ……」といふ風に祈った。（桜の実の熟する時）

（未来）○いま来るお客さま，中国の人です。女の法学博士です。（宮本百合子「道標」）

（過去）○あの時分は，死んだお祖父さんもまだ若かった。（田山花袋「時は過ぎゆく」）

2)　相対的なテンスによる対立。これは，文の述語のしめす動作や状態のなりたつ時点を規準とするもので〈同時・以後←→以前〉という対立である。

（同時）○百三十ケ所から一時に燃え上る火は，山全体を包むかと見えた。
（島木健作「生活の探究」）

（以後）○彼の口を出る次の言葉を腹の中で暗に待ち受けました。（夏目漱石「こころ」）

（以前）○先に弾いた二人よりもっと立派にできたとしても，（野上弥生子「真知子」）

3)　アスペクト的な対立。これは，述語との関係が同時であるばあい，または，述語との関係がきれたばあいにおこるもので，〈進行の状態←→結果の状態〉という対立である。

（進行）○白地に赤で旗を押したてて前進する群集の絵が表紙についていた。（道標）

（結果）○枕元から吸呑を取りあげ，病人の熱で干涸らびた唇へ持って行った。（真知子）

名詞のしめすものごとを，性質（あるいは状態）の面からくわしくする連体形の動詞は，テンス・アスペクト的な性格をうしなって，形容詞のように，名詞のしめすものごとの属性をあらわす。このような属性的な用法のなかでは，「する」と「した」とは対立せず，それぞれ，ポテンシャルな属性，および，状態または性質をあらわす。「対立しない」というのは，この用法になる動詞が，「する」のばあいと「した」のばあいに，語いとして，大きくずれているからである。

（ポテンシャル）○怒る人間は少くとも性格的である。（三木清「人生論ノート」）

（状態・性質）○そばの紫檀の卓に飾った青銅のドームを型どった古めかしい時計が（真知子）

このような質規定の連体形からさらにその形容詞性が固定したものがでてくる。「角ばった」「あせばんだ」「うすよごれた」などは，形容詞的な用法しかもたない。

注1)　用例は高橋太郎1974からひいた。

また，後置詞のほうへ派生するものもある。

○ロシアに関する書物。(真知子)

○教科書法案の構想にそう指導行政に手をつけて(世界1956.8)

これらの「関する」「そう」のほか「対する」「いう」などがある。後置詞化したものの多くは，「した」のかたちにすることができるのも，一つの特徴である。

3.22 幼児の使用した連体形の用法

幼児の使用した連体形の動詞を形態論的な性格の面から分類した。

3.221 幼児の使用した連体現在形

幼児の使用した連体現在形は，つぎのとおりである。

これによって，幼児は，連体形の形態論的な性格を，全般にわたって，理解，使用していることがわかる。形容詞化したもの，および，後置詞化したものについては，使用のしかたが貧弱であるのがめだつが，これは，文法の問題ではなく，語いの習得に関係することだろう。

種類	年長児	年中児	年少児
テンス的な用法			
未来			
相対的な未来	○ヨナカ オトイレ イク ヒトハ シタデネ オトイレ イカナイ ヒトハ ウエ。(自－d女5－11) ○ソレカラ カエル シタクシテ カエッタノ。(自－E男5－7)		
現在			
絶対的な現在	○ホイクエンニ アルネ ツミキトネ アト ブロ ブロックトネ ネンドガ スキ。(自－B男5－7) ○イマ ヨウチエンニ イル ヒトノ ナカデ(自－c男6－3)	○ココニ アル シーソト チガウノヨ。(赤－f女4－10) ○ココデネ イルネ オウチノ ヒトハネ ココデ バイバイシテネー ヒトリデネ イクノ。(自－o男4－7)	○オニイチャンガ イル フジパンヤサンニネ ニカイガアッテネ，(神－三男4－0)
相対的な現在	○ハジッコノ ホウニ アル ドウブツ ドウクツニ イッタノ。(赤－m女6－3) ○トッチャッタノ。だれが？ ハンノウニ イル コドモニ。(自－y男6－0)	○ウートネ シマウマガ トマッタラネー イル コノライオンガネー ツイテ キタカラ。(赤－k女5－3)	
アスペクト的な用法			
進行	○ソイデネー ウー オフロノ オユヲ イレルネー オトガ シタラネ ニゲテ イッテネ(自－t男6－2)	○ネズミガネ ウントネ トビダツ ダンプト ブツカッチャッタノ。(神－北男4－11) ○ウントネ アル ヒ オフ	

		ロニ オユヲ イレル オトガ キコエテ クルト ハリーハ ブラシヲ クワエテ ニゲダシマシタ。(神－規男4－6) ○ソレデ ヒダリシ オバサンガ イル オウダンホドウワタッテ ソイデ ソコデマガ マタ マガッテ……ムコウニ イクノ。(小－篠男5－1)	
属性的な用法	○大きくなったらなんになりたい？ バスノネ キップ キル ヒトニ。(赤－N女5－7)	○オイシャサンハネ ウントシト ナオス シトダカラ(赤－t男5－1) ○ウーントネ ヤネ ツクルオシゴト。(神－重男4－10)	○ソレカラ マタ ツルセン イクネ デンシャン ノッテネ(神－三男4－0) ○エンピツ モツ テ。(小－相男4－4)
—	○オナカガ イッパイニ ナル クスリ ノマセラレチャッタ。(自－b男6－0) ○ニンゲンガ アルク ミチノネー トコロカラ デテイッチャッテネ,(赤－o女6－1) ○キシャノ アル ゴホンヨンダ。(赤－o男6－2)	○オモチャデ オトガ デルオモチャナンダヨ。(赤－d男5－4) ○アンマリ ヨゴレテ シマッタノデ ホントウハ クロイ ブチノ アル シロイイヌ ダッタノニ, シロイブチノ アル クロイ イヌニ ナッテ シマイマシタ。(神－規男4－6)	○エート ソレデネ エキツイタノ。オチョト(お外) ミエル エキ。(小－金男4－1)
特別の用法			
形容詞的	○ツヅキハ チガウ ホンニカイテ アンノ。(自－o女6－1) ○イク トキハネ アノー チガウ ミチ ズット トオッテ イクノ。(自－p女6－1) ○コウイウ カタチ シタノリモノニ ノッテネ(赤－C男5－6)	○ソイデネ チガウ オハナン ナッチャッタノ。(赤－v男5－1) ○ウント チガウ カイシャイッテネ(神－永男4－1) ○イタズラシタリ ソウイウコト スルカラ,(神－関女5－0)	○イマネ トーシチャンネ チガウネ ヨウチエンデ ナンカ ベンキョウシテル。(小－神女4－1) ○チガウ ヒトガ イルヨ。(神－高男4－4) ○エイガノ コウイウ カンバンガ デテル。(神－三男4－0)
後置詞的	○ウーント メリーッテ イウ オンナノコガネ,(赤－s男6－6) ○モモタロウッテ イウ ナマエ ツケタノ。(自－D女5－11) ○ヤマニ ノボッテネ ドッチガ ハヤク ウン ツクカッテ イウ キョソウデネ(自－g女5－11)	○コレ ナンテ イウ ジダッケナ？(小－横男4－4) ○アノネ スーパーフリルッテ イウ マンガガ アルンダ。(小－山中女5－0) ○アノネ ダイバーッテ イウ モノニ ノッテネ(小－大男4－6)	○コウチャンッテ イウ コトネ タカヒロチャンッテ イウコトネ マーボーチャンッテ イウ コトネ(小－佐男4－3) ○コレ ナンテ イウ ジダ？(赤－d男4－2) ○エート キキゾスカウトバギーッテ イウ モノガデルノ。(小－福男4－2)

3.222　幼児の使用した連体過去形

幼児の使用した連体過去形は，つぎのとおりである。

このことから，幼児はすでに，この形のテンス・アスペクト的用法を理解・使用していることがわかる。ただ，後置詞の使用がないが，これは，現在形のところでのべたように，語い的なものとからんでいるだろう。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
テンス的な用法			
過　去			
絶対的な過去	○アノー　マグマノ　オカアサンヲ　ツクッタ　シトガイルンダヨ。(自－g女5－11) ○リスグミノ　トキネ　エキイタ　オハナシ。(赤－L女5－9) ○キョウリュウッテ　ムカシイタ　ドウブツ。(赤－d男6－4) ○「キノウ　キタ　オジイサンジャ　ナイカラ」ッテ　ユッテサ　ソイデサ　ソノ　コブヲ　ツケテ(赤－w男6－3) ○イルトネ　スグネ　イマヤッタ　ヤツガ　トレチャウノ。(自－s女6－3)	○サッキ　ユッタ　トウムギトネー(自－c男4－7) ○アトハ　ヨコヤマトミコッテ　イウ　イナカカラ　キタオネエサン(小－久女4－7) ○トレデネ　ケガチテ　チンダ　コモ　チチンダ　チトモインダヨ。(神－永男4－1) ○イチュカ　イッタデショウイッタ　シトハ　イクンダヨ。(自－p男4－7) ○ウルトラセブンニ　デタカイブツ。(神－遠男5－1)	○ダレカ　シンダ　コガ　インノ。(神－佐女3－7) ○ウントネー　ホイクエンカラ　モラッタ　ホン。(神－寺男4－4) ○ママガ　ツクッタ　オベントウダヨ。(赤－q男4－1)
相対的な過去	○ソレヲ　ミタ　トナリノネオジイサンガネー　ウーン「ワタシモ　イッテ　ミヨウ」ッ　チュッテ(赤－w男6－3) ○カジダトカネ　ドロボウトカネ　オカネ　ヌスンダ　ドロボウトカ　ソウイウノ〔ニュースでみる〕(赤－j女5－7)		
アスペクト的な用法			
成　立	○ウサギサンサー　ネムッタフリヲ　シタト　オモッタラ(赤－c男5－10) ○アトネ　ウーント　コロッテ　ネッコロガッテー　シンダ　マネッテ　ヤッテ(自－t男6－2)	○スットント　サカダチ　スットント　チュウガエリ　コロリト　コロガッテ　シンダマネ。(神－規男4－6)	○ノボッタ　ウサギチャンガコウ　ナッタノ。(小－竹男4－1)

	○ソシテ　ソノ　イッチャクニ　オワッタ　ヒトガネーエ(赤－e男5－10) ○スワッテナイ　ノコッタシトガネ　オイスヲネ　マタスグ　ノコシテネ(赤－F男5－9) ○コンドネ　オッキク　ナッタ　トタンニネー　エートーハナモ　ダンダン　イッパイサイテ(赤－o男6－2)	○ママガネ　オコッタ　カオネ…パパモ　オコル　トキモアルケド　キライ。(小－山女4－5)	
完　了	○ヨウコガネ　オデカケシタカエリニ　タクシーニ　ノッチャッタ。(赤－p女6－2) ○オトウサン　カイタ　シトハ　オカアサン　カク。(赤－K男5－11) ○ジブンノネ　タベタ　ショッキネ　ウント　モッテ　イッタリネ(赤－I女5－8) ○ウント　ダイヤノネ　シチヲ　ダシタ　シトカラ　サイショネ　ウント　ダ　ウーント　ズート　ダシテ　イクノ。(赤－J女5－8)	○アノネ　ダイガクヲ　チョット　ワタッタネ　ショノスグ　ウエニ　アガッテ　ソイデ　ソコニ　アルノ。(小－樋男4－3)	
アスペクト・属性的な用法 結果・属性的	○ヤブケタネー　オヨウフクネ　ヌッテンノ。(自－l男5－7) ○ショウドクシタ　スプーンデネ(赤－m女6－3) ○スミデ　クロクシタ　ガラスデ　ミルノ。(赤－i男6－4) ○エニ　カイタ　カイジュウガネ－(赤－c男6－3) ○ドクノ　ハイッタネ　リンゴヲネ　ウリニ　キテネ。(赤－J女5－8)	○シボッ　シボレタ　ハナガダンダン　ヒライテ　クルノ。(自－i男5－5) ○ナガグツヲ　ハイタ　ネコトネ(赤－r女4－10) ○ココ　アイテル　トコ　イッテネ　ソコニ　キデ　デキタ　ンート　コウイウ　ホソイ　カイダンガ　アッテネ(自－t男5－3)	○どんなおもちゃであそぶの？　コワレタ　オモチャ。(神－玉男4－0)
属性的な用法	○コウイウネ　カタチ　シタネ　ウーント　ノリモノニノッテネ(赤－C男5－6) ○ニッポンノネー　チノウヨリモネー　スグレタ　チノウデ　カンガエテ　ヤッツケテヤ　ヤンノ。(自－i男6－5)		○ソイデ　ケーキ　カッテキテ　クレタノ。バーラガサイタ　ケーキ。バラダッテタベラレルンダヨ。(神－三男4－0) ○グリグリメダマハ　サラノヨウ。ツキデタ　ハナハ　ヒッカキボウノ　ヨウデシタ。

○ソレ ソノ イバッタ オンドリヲ アノ ツレテ イッチャッタノ。(赤－ｊ女6－6)		(神－古男4－5)

3.223 幼児のあやまり

つぎのように，三つのあやまりがあった。これが単なるいいちがいなのか，文法所有のしかたのまちがいなのか，はっきりしないが，現在形でいうべき進行アスペクトを過去形にしていったものが二人いたことは，記録にとどめておく必要があるだろう。

種類	年長児	年中児	年少児
テンス的な用法			
過去	○オニヲ タイジシテネ ウーント オニガネ トル タカラモノヤ イロンナ モノヲネ ンート カエシタノ。(自－A女6－5)		
アスペクト的な用法			
進行		○ハナガ サイタカラ ミズヲ ヤッタデショ。フッタアメ ミタイニ フラシタラポンテ ナオッチャッタ。(小－窪女4－8)	○ソイデ タバコヤサンガアルデショ，ソノ アガッタトチュウニ。(神－三男4－0)

3.224 内容規定の連体形

「はなし」「ゆめ」「事件」などの名詞にかかって，その内容をあらわす連体形のばあい，現在形が進行アスペクトよりも歴史的現在にちかいものとなるので，いちおう別にした。これについても，幼児はすでに所有していることがわかる。

種類	年長児	年中児	年少児
現在形			
歴史的現在	○アノネ ブタイノ ウエデタイソウスル ハナシ。(赤－ｖ女5－10) ○アノネ ポパイガ ホウレンソウ タベルト ツヨクナル オハナシ。(赤－L女5－9) ○ソレトカ ジケンガ オコルネ ニュースカ ミテル。	○オホシサマガ キレイニミエル ユメ。(神－師女4－11) ○カイブツト タタカウ オハナシ。(小－橋男5－1) ○アノネ ケロヨンハ モリニ イク オハナシ。(小－安男4－2) ○ウントネ デンシャ ノル	

	(赤－F男5－9)	トコニネ カイジュウガ イル ユメ ミチャッタ。(小－押女5－1)	
過去形			
過去	○……カメサンガ ズイブンタカク イッテネー ソレカラネー ウーント ウサギサンガネ メヲ サマシテ イッタ オハナシ。(赤－c男5－10) ○アノネ アタシガネ キレーナ オヨメサン ナッタ ユメ。(赤－L女5－9) ○ハンニンガネ キテネエ ソレ ヨシノブチャンノ ママヲネー カラカッテネ ソイデネ ヨシノブチャンヲネ ユウカイシタ ジケン。(赤－c男5－10)	○ソレデネ チマウマネ ミンナヲ ヨンデネ ソレカライオン オドカセチャッタノ。ソイデ ワラッタ オハナチ。(赤－g女4－8) ○オハナガ イッパイ サイタ ユメ。(神－師女4－11)	○どんなゆめみる？ アノネ アソンダ ユメ。(神－秋男3－11)

3.3 形式名詞にかかるもの

連体形は，ふつうの名詞にかかって，規定語となるほか，いろいろの形式名詞とくみあわさる。今回の資料には，「もの」「こと」「ところ」「ほう」「とき」「ころ」「あいだ」「うち」「まえ」「あと」「たび」「ため」「わけ」「つもり」などがあり，さらに形式名詞ととりたて助詞の中間過程にある「きり」「まま」「まで」などがあった。

3.31 「もの」「こと」にかかるもの

形式名詞「もの」「こと」にかかるものとして，つぎのようなものがあった。

なお，「コトガアル」「コトガデキル」などは，くみたて動詞のところにあげるので，ここではのべない。

種類	年長児	年中児	年少児
もの			
現在形	○シンデレラ キル モノガナイカラネ (自－j女5－7) ○アノネ ナンカ コスル モノガ アッテ ギュギュギュト オセンタクシテタノ。(赤－L女5－9)	○アノネー タベル モンハノリトネ ゴハントネ (神－村男4－3) ○ウーント ナニカ ツヨクナル モノネー シカケルノ。(赤－n男5－2)	○ウントネ アソブ モンナイノ。(神－鈴男3－6) ○ジャア ケンドウノ カブル モノハ ドコニ アルノ。(小－神女4－1)
こと			
現在形		○ママハ オウチデ オトウトノ スル コト ゼンブ ヤッテ イル。(赤－f女4－10)	

	○やさしいってどういうこと？ ウートネ オコラナイコト。(赤－G男6－1) ○ウンドウカイノ エ カイタリスル コトガ ダイスキ。(赤－o男6－2)	○ウント ベンキョウデモネアソブ コトデモ ミンナダイスキ。(小－篤女4－7) ○ハタラクッテネー なに？ベンキョウスル コト。(小－海男4－3)	○かっこいいってどういうこと？ アノネ ブットバスコト。(赤－q男4－1) ○おままごとってどんなことやるの？ エートネ コウヤッ ゴチソウヲ「ハイ」ッテ ヤル コト。(小－原女3－7)
	○しかられるときは？ アノネ タダ ハミガキデ カオアラワナイ コトダケ。(赤－G男6－1)	○ワルイ コノ オトコノコハ イレナイノ。マ チュウクライデモ イレナイ コトハ イイケド。(小－久女4－7)	○つまらないことあった？アッタヨ。どんなこと？ アソバナイ コト。(小－佐男4－3)
過去形	○どんなおはなしきいた？ウントネ ウントネ アレウーント シンダ コト。(自－D女5－11) ○おもしろかったことは？アソンダ コト。(赤－h女6－4)	○なつやすみのことでたのしかったことある？ トウバンニ ナッタ コト。(赤－c男5－3)	○どうしたの？ ソイデネウーント シマウマノネ ナカマガ イッパイ キテネ，ビックリシタ コト。(小－佐男4－3)

3.32 「ところ（とこ）」にかかるもの

形式名詞「ところ」には，場所，箇所・部分，場面，アスペクトをあらわす用法がある。場所や箇所・部分をあらわす用法は，ふつうの名詞にちかい。アスペクトをあらわすばあいは，そこにかかる動詞といっしょになって，あらわす。場面をあらわす用法は，両者の中間であり，結節点である。

「よむところだ」がアスペクト的につかわれるばあいには，動作の直前であることをあらわすばあいと，進行をあらわすばあいとがある。「よんだところだ」がアスペクト的につかわれるばあいには，動作の直後であることをあらわす。

○これからシドニーへ帰るところだ。(志賀直哉「暗夜行路」)

○今，行列がいくところだ。

○今「春泥」を読み返したところです。(小林秀雄「私の人生観」)

今回の幼児の資料では，絵をみてはなしをするばあい，場面の説明に，この形式がわりに多くみられたが，完全にアスペクト的であるというのはすくなく，とくに，過去形のばあいにあらわれた1例が，ほんとうにアスペクト的な用法であるかどうかはうたがわしい。

今回の調査法のせいかもしれないが，幼児には，形式名詞「ところだ」をつかうアスペクトの用法は，まだむずかしいとおもわれる。

種類	年長児	年中児	年少児
ところ，とこ 場所 現在形	○ソイデ ソノ コウベッテイウ トコノネ (自－f男5－5)	○ケイヒンモ チガウ トコイッテルノ。(神－井男5－0)	

	○ソシテ コンド チガウトコ イッテネ（赤－e男5—10）		○ムカシ アル トコロニ…（赤－u女3—7）
	○イッパイ シマウマ イルトコ ツレテ イッチャッテネ。（赤－o女6—1） ○アトネ コッチガワ ミギマワル トコ アルデショ。（赤－o男6—2）	○マタネ コウイウ フウニジドウシャガ トオル トコロガ アッテ（小－岡女4—8） ○ウントネ デンシャ ノルトコニ カイジュウガ イルユメ。（小－押女5—1）	○ソイデ ウント ドウロガアル トコロ ズーット イッテネ（赤－b男4—0） ○オバアチャン ネル トコガ ナイモン。（神－鈴男3—6）
過去形	○ソイデ マッスグ イッテネ ミギニ マガッタ トコ。（自－o男6—3） ○ウーント フクロガ アッタネ トコロヘネ ニ ソノフクロヲ オイテネ モドッテ クルノ。（赤－d男6—4）	○オトウサンノ ウマレタトコナノ，ヒロシマ。（神－井男5—0） ○アノネー マッスグ イッタ トコニ（赤－r女4—10）	○ンネ ブルトーザーガ イマネ ハチラカケタ トコニネ〔注）原文のまま〕（神－古男4—5）
部分・箇所・点			
現在形	○自分でもご本よむ？ シーワカル トコハネ。（自－A女6—5） ○ワカンナイ トコハ オトウサンヤ オカアサンニ ヤオニイチャンニ キクノ。（自－A女6－5） ○おかあちゃんのどこがいいの？ エートネー ブタナイトコ。（自－l男5—7）	○どういうとこがすき？ウーント オコンナイ トコ。（自－a男4－9）	○コウ ヤッテ マワス トコ アンデショ。（神－三男4—0） ○どんなとこつまらない？ントネ ナニモ イナイ トコ。（自－m女3—10）
過去形	○スコシ ワスレタ トコロガ アンノ。（自－u女6—5） ○エートネ パパノ ワラッタ トコガ イイノ。（自－b男5—9）		
場面			
現在形	○イロンナ アノネ ユメミテネ オニンギョウサンガサ シャベル トコガ デテクル。（赤－j女6—6） ○何をみてたの？ ヒコウキトブ トコ。（自－h女5—7） ○コッチハ テエ ツナグトコカナ（自－p男5—6）	○かわいい？ ワラウ トコモ。（自－g女5—0） ○コッチ？ アノネ ネコガネズミ オイカケテル トコ。（赤－s男5—6） ○ロケットネ ウント ケムリガ ハイテネ ウチュウヘイク トコロ。（神－宮男5—0）	○どういうはなし？ アノネー アノ ヤッツケル トコ。（神－秋男3－11） ○「イッタイゼンタイ ナニモノダー」チュウ トコロガオモシロイ。（神－三男4—0）
過去形	○シマウマガ イッパイニナッタカラ ライオンガ ビックリシタ トコロ。（赤－	○アノネ トッキュウトネウゴイテ ケムリガ デタトコロ ミタ。（小－筧女4	

	H女5－8） ○ソシタラ　シマウマガ　ワラッタ　トコロ。（赤－o女6－1）	－7） ○ジドウシャトネ　ジドウシャトネ　ガチント　ブツカッタ　トコ。（神－松女4－8）	
アスペクト的 現在形	○ソイデ　キョウ　二ページヤル　トコロダカラ　マダマダ。（赤－q男5－11）		○ウント　クマガネ　ハジメネ　ネズミ　ツカマエル　トコダッタノネー。ネズミ　ツカマエナカッタノ。（小－神女4－1） ○ソイデネー　ウント　アケラレル　トコロダッタノネ，モウ　スコシデ　アケラレルノ。（小－神女4－1）
過去形		○ドッツーンッテネー　オッコチタ　トコロデネ　ウサギハネ　ドッツーンテ　チックン　チップンイーッテ　ヒックリカエッチャッタノ。（小－足男5－0）	

3.33　「ほう」にかかるもの

形式名詞「ほう」は，格形式であらわれるものと，合成述語の部分になるものとがある。

格形式をとるものには，方向・場所をあらわすものと，選択あるいは指定されたものをあらわすばあいがある。

また，「ほう」によって構成される合成述語は，「よむ　ほうだ」という形式で，傾向をしめすばあいと，「よむ　ほうが　いい」または「よんだ　ほうが　いい」の形式で選択の態度をしめすばあいがある。後者のばあい，「よむ」と「よんだ」のどちらがつかわれてもおなじことをあらわす点は，この形式名詞「ほう」の他の用法とことなっている。

幼児は，これらの用法のすべてを使用しており，動詞の連体形が「ほう」にかかる用法を所有しているとかんがえられる。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ほう 方向・場所 現在形	○ムコウノ　ドウロヘ　デルホウニ　ゴジュウゴウカンガアッテ。（赤－r男6－3） ○ヤジルシ　アル　ホウニネツヅイテネ　ソレデ　ソコヲネ　（赤－c男6－3）		
過去形	○カドノ　イッタ　ト　ホウニ　ン　ホイクエンノ　ホウ		

	ノ カドノ ニケンメ。(自－v女5—10)		
指定的			
現在形	○ナンニモ シナイ ホウガスキ ミタイ。(赤－m男5—10)	○ウント オハシ モツ ホウ (小－成男4—7)	○アノネ オハシネ モツホウハ コッチデショ。(神－三男4—0)
過去形	○ソイデネ カッタ ホウカラネ チャント ミセ ウーコウッテ ヒライテネ (赤－J女5—8) ○ウント マケタ ホウハジュウ カゾエテネ (自－u女6—5)	○タマヲネ イッパイ イチバーン イレタ ホウガネカチ。(小－川男4—10) ○キョウソウシテ カッタホウガネー サキニ イッテネー (自－c男4—7)	
陳述的－傾向			
現在形	○オカアサンガ ヤル ホウダナ。(自－g男5－8)		
陳述的－選択			
現在形	○ヤッパリ シトト アソブホウガ イイ。(赤－m男5—10)		
過去形	○ヤッタ ホウガ イイ。(赤－c男6—3) ○シンダ ホウノガ イイ。ん？ シンダ ホウノガ イイノ。(自－z男5—8)	○ナンデッテネ オネエサンナッタ ホウガ シュクダイヤラ スルカラ。(赤－k女5－3)	

3.34 「とき」にかかるもの

形式名詞「とき」には，つぎのように，テンス，みとめかたの，いろいろの形がかかる。

種類	年長児	年中児	年少児
とき			
現在形	○イツモネー オフトン ヒク トキネー ケンカバッカシ シテンノ。(赤－e男5—10) ○ママノネ オセンタクスルトキノ ノリ イジッタリネ (赤－k女5—8) ○マンガ ハジマンナイ トキハ ン ミテモ イイケドサー。(赤－m男5—10)	○ウントネ オマツリ イクトキ テッポウ カッテ クレタ。(自－a男4—9) ○パパモ オコル トキ アルケド。(小－山女4—5) ○アノー ワルイ コト シナイ トキハ ママニ イツモ ホメラレル。(小－嘉女4—8)	○アノネ オトウサン カイシャニ イク トキ カッコツケテ イクンダ。(赤－d男4—2) ○エートネー アソブ トキケガシタノ。(小－新男3—10) ○ヒロコネ ダレーモ イナイ トキネ セイユウ イッタ トキネ マイゴニ ナッチャッタノ。(神－佐女3—7)
過去形	○オマツリ イッタ トキネイロンナノ ミテネ (自－a男5—11) ○ソイデネ ハジメテ キタ	○ウントネー アソンダ トキ ホメラレル。(神－福女4—7) ○イナカ トマッタ トキャ	○ママモ「ダメヨ」ッ チュッタ トキハ アソバナイノ。(神－三男4—0) ○アサ アスカヤマニ イッ

ヒニ カワニ イッタ トキネ キノボリ シタノ。(自－g女5—11) ○「オフロ ハイリナサイ」ッテ イウ トキネー ハイラナカッタ トキ オコラレル。(赤－k女6—2)	ネ ウントネ ネルノ。(神－伊男4—1)	タ トキネ ミズガ ヌ ヌレテタノ。(神－寺男4—4)

形式名詞「とき」にかかる連体形の動詞，**3.21**の1)2)3)でのべたものと同様，現在形と過去形が，絶対的なテンス，相対的なテンス，アスペクトの各面で対立する。

この観点から，幼児の使用例をつぎのように分類した。(　　) 内は，アスペクト的な性格である。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
現在形 絶対的なテンス 未　来			○行きたいんだけど，どういったらいいかな。ジャ コンドネー カエル トキネ オシエテ アゲル。(小－神女4－1)
テンスフリー	○ホイクエンデ タノンデル ホンネ「ヨンデ」ッテ イウ トキ ヨンデ クレル。(自－a女5－11) ○しかられるときは，どういうとき？ ネ ヒアショビヤラ シュル トキ。(赤－b男6－5)	○ワルイコト ヤル トキ スグ オコンノ。(自－r女4－8) ○パパネ マンガニ マワス トキネ オコラレチャウノ。(小－山女4－5)	○アタシガ ゴハン コボス トキ オコラレルヨ。(赤－a女3－10)
相対的なテンス 以　後	○ヨルネー ネル トキ ウタガッセンシタノ。(自－j女5－7) ○カエル トキハネー ケーキガ デタノ。(自－A女6－5) ○イツモイツモ ネル トキネー オハナシ シテ クレンノ。(自－r女5－8) ○オフネ イク トキネー チュウシャ シナイト ナンナインダヨ。(自－l男5－7)	○ママ イーツモ ネル アタシガ ネル トキ オハナシ シテ クレタ。(小－野女4－9) ○ネル トキネー ママガ チッチャイ トキノ オハナシ シテ クレル。(小－押女5－1) ○テレビ ミル トキ ママワシテ クレル。(自－r女4－8)	○レコードヤナンカ カケル トキハネ アノネ レコードボクンチ イッパイ ナイノ，フタツシカ ナクッテ，ダカラ イツモネ ソコデ カッテ クルノ。(神－三男4－0) ○ネル トキ オハナシシテ

			クレル。(自－b女3－10)
同時（動作おこし）	○ソレデ イロンナ コトヲシテ カエル トキニネ オミヤゲヲ カッテ モラッタノ。(赤－j女6－6)	○アノネ ウント カイシャ イク トキハネ イン「ハイチャ」ッテ イウノ。(自－s男4－10)	○オトウサン カイシャニ イク トキ カッコ ツケテ イクンダ。(赤－d男4－2)
（進行）	○カエル トキモ ハッパハネ ヒロッタノ。(赤－c男5－10) ○キョウソウスル トキニネ,ウーント ノロノロ アルイテネ(赤－d男6－4) ○ソノ テレビヲ ミル トキネ アノネ イスニ スワッテネ ミタノ。(赤－o女6－1)	○コレネ ミズ マク トキネ オハナガ コウ ナッテネ (神－宮男5－0)	○エートネ アソブ トキネ ケガシタノ。(小－新男3－10)
	○オフトン ヒク トキ ケンカ バッカシ シテンノ。(赤－e男5－10) ○ヨウチエン イク トキハネ ココカラ マッスグ イクノ。(赤－l男6－3)	○カイル トキモ ヒトイデカエンノ。(神－遠男5－1) ○オツカイ イク トキ オンブスンノ。(自－f女4－9)	○イク トキハ ミギガワノミチ。(赤－i男4－2) ○ボク ネル トキネ ボクヒトリデ ネンノ。(神－古男4－5)
（状態）	○カズエチャンガ イル トキ カッテ クレテ,アケミダイジニ ツカッタカラ(自－q女6－1)	○コレハネ オ ミンナガネウン アノネ オカアサンノオナカニ イル トキネ ハシッテタ キカンシャナノ。(神－村男4－3)	
過去形 絶対的なテンス 過去	○オヒル タベタ トキ ヨカッタ。(赤－C男5－6) ○ガッシュク イッタ トキオトウサン シンパイシテタッテ。(自－A女6－5) ○モモチャンガ ウマレタ トキハネ ナツデネ スイカダノ アッタノ。(自－o女6－1)	○アソンダ トキ オモシロカッタ。(赤－a男4－11) ○モモグミン トキネ アタシノ イタ トキネ クワワラセンセイ ヨンデ クレタ。(神－大女4－6) ○トモコ ユメ ミタ トキネ オバケノ ユメ ミテサー (神－鎌女4－5)	○ボクハネ アシタノ ヨウチエンニ イッタ トキネナカナカッタンダヨ。〔注〕アシタは幼稚園名？〕(赤－q男4－1) ○アメ フッタ トキネ イッテネ ナ ナンカ キテネナンカ キテ イッタノ。(神－三男4－0)
相対的なテンス 以前	○イツモサー ダレカネ ガクタイノ レンシュウシタ トキネ カスタネットガ オッコッテンノ。(赤－E女5－8) ○ニュースッテネ カジガ アッタ トキネー シラセンノ。(赤－l男6－3)	○ダレカ イジワリシタ トキネ ウントネ センセイ オコラエチャウノ。(神－鎌女4－5) ○テレビモ コワレタ トキモ カウノ。(神－伊男4－1) ○「アッ」ッテ ユッタ ト	○ママモ「ダメヨ」ッ チュッタ トキハ アソバナイノ。「イイデスヨ」チュッタ トキハ アソブノ。(神－三男4－0) ○プーユガネ オワッタ トキ コウエン イ ニ イッパーイ アソンデ キチャウ

		キネ「ナンカ オッコッテタヨ」 チュウノ。(神一鎌女4－5)	ンダカラ。(神一場男3－10) ○サンダーバード オワッタ トキニネ オシラ アノ サンダーバードノ オシラセガヤルンダヨ。(赤－a男4－2)
同時 (終了＝成立)	○ソシテ オワッタ トキキタナク ナッチャッタデショウ。(赤－x女6－2) ○カワニ イッタ トキネキノボリシタノ。(自－g女5－11)	○ストムッチ ウマレタ トキ オンギャ アンギャッテイッタノ。(自－s男4－10) ○ヨルン ナッタ トキネームコウカラ サーット キチャウ オバケガ キタノ。(小－村男4－9)	○アスカヤマニ イッタ トキネ ミズガ ヌレテタノ。(神－寺男4－4)
－	○〔おばあちゃんの〕オウチニ イッタ トキ トマルケドネ(赤－f女5－9) ○カレタ トキ オミズ ヤンナイト カレチャウンデス。(自－a男5－8)	○イツモネ シャシンガ キタ トキニネ ホンガ クルノ。(小－篤女4－7)	○ナミガ キタ トキハ コウ タツノ。(小－相男4－4)

幼児の使用例をみると,「とき」にかかる動詞のテンス・アスペクト的な性格の全般にわたっていて,だいたいこれをマスターしているようにおもえる。

ただ,同時の進行をあらわす用法については,アスペクト動詞「している」をつかったほうがよいものがみられる。

○エートネ アソブ トキ ケガシタノ。

このほか,すこしあった問題例について検討してみる。

種類	年長児	年中児	年少児
	○ママガネー ヨ カケッコスル トキネ カケッコスル トキ サンバンデネ コロバナカッタノ。(赤－k女5－3)	○オマツリ イク トキネ テッポウ カッテ クレタノ。パパガ ソウシテ ワタガシモ カッテ クレタノ。(自－a男4－9) ○トモコ ウントネ クルマコウ トマル トキ,コウ イク トキ,スグ オウチガアルノ。(神－鎌女4－5)	

年長児の例について。ここに「サンバンデネ」がなくて,「コロバナカッタ」だけだったら,進行とかんがえられるが,それがあるので,進行ではない。また,以後でも,未来でもない。ここは,過去をあらわす用法として,「カケッコシタ」にしなければならない。

年中児の第1例。これは,到着後のことであるから,終了＝成立アスペクトで,あるいは,以

後として，「イッタ」でなければならない。もっとも，もし，述語が未来ならば，絶対テンスとしての未来の用法ともかんがえられるが，ここはそうでない。

年中児の第2例。これは，条件形「イクト」でなければならない。「とき」の状況語的な用法と条件形の用法はきわめて密接な関係にあり，このまちがいは，子どものまちがいとして理解できる。

以上3例のうち，前2例は，あるいは，単なるいいそこないかもしれないが，さいごの例は条件的ないいまわしの発達過程の問題として，いちおうマークしておく必要があるだろう。

3.35 「ころ」「あいだ」「うち」「まえ」「あと」「たび」にかかるもの

「とき」以外の時間的な形式名詞にかかるものとして，つぎのようなものがあった。この使用のされかたをみると，右の表のように，年少児には，まったく，つかわれていない。このことは，このような時間の形式名詞が，ちょうど発達の時期であることをものがたっているのかもしれない。

	年長	年中	年少
ころ		○	
あいだ	○	○	
うち	○		
まえ	○	○	
あと	○	○	
たび		○	

「うち」は年長児にしかつかわれていない。しかも，あやまりの例がある。このあたりが発達の時期なのだろう。

「まえ」へつながるのは，みとめの動詞ばかりで，うちけしの動詞はみられなかった。

種類	年長児	年中児	年少児
ころ			
現在形		○モウネ ガッコウ クル コロノ ユメ。(小－成男4－3)	
あいだ			
現在形	○ウサギガ ヒルネシュル アイダニサ カメサンガ テッペンマデ ノボッチャッタンダモン。(自－t男6－2)	○タタカッテル アイダニネ (赤－t男5－1) ○ウントネ ヒッコシシナイ アイダニ トー ユメ ミチャッタ。カイジュウノ ユメ。(神－規男4－6)	
うち			
現在形	○ソイデ ドンドン イク ウチニ ウサギヤネ ネテイルノ。(自－o男6－3) ○ドウロヲ ワタル ウチニネ クマト ネズミガネ トラックニネ ウーント ブツカッチャッテネ (赤－I女5－8) ○ミズ カケナイ ウチニ ハレン ナッテ コウ ナッチャウ。(赤－K男5－11) ○カメガ コナイ ウチニ ヒトネムリシテネ (自－b男		

	6－0） あやまり　○クラク　ナル　ウチニ　カエッテ　キチャエバ　ダイジョウブダ。（赤－c男5－10） ○ソラ　トブネ　リュウガ　イタカラネ　ソーットネ　ナイフデ　トロウト　オモッタラ　ゴリラガネ　バン　シテタカラネ　「コラー」ッテ　ユッタ　ウチニ　キュッキュッキュッテネ　トッテトネ　ヒモ　トッテネ　ソシテネ　ソラ　トンデ　ニゲタノ。（自－m女6－4）	
まえ 現在形	○ウーン　ネル　トキ　ネル　マエニ　ハナビ　ヤッタノ。（自－k男5－8） ○チッチャイ　コドモガ　ヨウチエンニ　カヨウ　マエナノネー。（赤－o女6－1）	○アノネ　ケサ　ヨウチエン　イク　マエネ　ミンナネ　ゴホン　アノー　チョットダケミンナ　ヨンジャッタノヨ。（小－伊男4－3） ○ソレカラネ　ハネダクウコウ　イク　マエハ　オクジョウデショウ。（小－川男4－10）
あと 過去形	○オベントウ　タベタ　アトハ　トビバコトネー　エートハシゴ　ワタル　ヤツ　ヤッタノ。（赤－o男6－2）	○ソイデネ　オフロ　ハイッタ　アトデ　クレンノ。（小－山女4－5）
たび 現在形		○ソレヲネ　ミル　タンビニカイニ　イクノ。（赤－q女5－2）

3.36　「ため」「わけ」「つもり」にかかるもの

「ため」「わけ」「つもり」にかかるものは，つぎのとおりである。

「ため」に過去形がかかる例はなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ため 現在形	○アノー　テジナシノト　オンナジノデ　ワルイ　ロボットヲ　ツクル　タメニネ　ココニネ　ソノ　イエニネ　ツミコマレテネ　（自—i男6—5）	○シト　コロス　タメニ。（赤—m男4—10） ○あのパレードなんのためにやるの？　ウンドウカイ　デル　タメニ。（自—t男5—3）	

わ　け			
現在形		○ソコノ　ソノ　ショクインシツノ　トナリ　アガッテ　イクト　マタ　ニカイニ　イク　ワケ。(小―久女4―7)	
過去形		○ズット　ソコデ　クラシタ　ワケ。(小―山中女5―0)	○コッパミジンニ　シテネートロル　タニガワニ　シテ　イッタ　ワケ。(神―秋男3―11)
つもり			
現在形		○マダ　ジブンデ　ヨム　ツモリダッタンダケド　マダ　ヨマナカッタノ。(自―d女4―11)	

3.37　「きり」「まま」「まで」にかかるもの

「きり」「まま」「まで」にかかるものとして，つぎのようなものがあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
き　り			
過去形	○ワルイノガ　ヤッテ　キテネー　ネムリグスリヲネ　ンー　ギュウニュウノ　ナカニ　イレタノ。ソイデネ　タオレタッキリ。(赤―d男6―4)		
ま　ま			
過去形	○「コロシテ　コイ」ッテ　ユッテ　キタンダケドネ，ウント　ケライハ　キノドクニナッテネ　ソイデネ　ポイシタ　ママ　カエッテ　キチャッタンダッテ　(赤―J女5―8) ○アリスハネ　キノ　エダニネ　ウーント　スワッタ　ママネ　ネテタンダッテ。(赤―I女5―8)	○フミキリニ　コウ　イウウチガ　アッテ　ント　コヤッテ　グルグル　マワシテアクデショウ。アレネ　アケタ　ママデネ　オジサン　シラナイ　カオ　シテ　イッチャッタラ　ラネー　(自―t男5―3)	○オハナガネ　コウユニネエート　ツイタ　ママ　サイタノ。(少―相男4―4)
ま　で			
現在形	○ソイデネー　デキル　マデマッテテネ　(赤―k女6―2) ○カメハネー　オソイカラネー　ウーントネー　クル　マデ　ネテヨウト　オモッタラネー　(赤―d男6―4)	○カメト　コレ，ヤマニ　イク　マデ　キョウソウシテンダヨ。(赤―a男4―11) ○ウント　ゴハン　ナル　マデ　アソンデ　イテモ　イイノ。(自―r女4―8)	

第4章　名詞形

4.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した名詞形は，つぎのとおりである。

機能	テンス	ていねいさ / みとめかた / 幼児の使用例	ふつう				ていねい			
			みとめ		うちけし		みとめ		うちけし	
				年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少
名詞形	現在形	よむの	よまないの	○○○		○○	よみますの		よみませんの	
	過去形	よんだの	よまなかったの	○○○			よみましたの		よみませんでしたの	
		よむに(は・(も))	○							

この表では，ていねい動詞の名詞形もあることになっているけれども，これは，ふつうにはあまりつかわれない。したがって，幼児の例にこれがみあたらなかったのは，当然である。

名詞形は，古代語では連体形と同形であった。その名ごりとして，現在も連体形に直接格助詞のつくことがある。この表に「よむに」があがっているのはたまたまでてきたそのかたちを，そういう名ごりの代表として，あげておいたまでである。

幼児は，うちけしの過去をのぞいて，名詞形を，かなりのていどにつかっている。なお，年少児のつかった，連体形と同形のもの「ブツ」はあやまりとみとめてもよいだろう。

種類	年長児	年中児	年少児
みとめの動詞			
現在形	○ウチンチネ　オバケノネネジ　マクト　ウゴクノ　アルヨ。(赤－E女5－8) ○エート　ツミキデ　アソブノガ　スキ。(赤－K男5－11) ○アノネ　チャコチャント　イウノハネ　ウーント　イチバン　ワルイノ。(赤－s女5－8)	○アタマニ　ケガ　サンボン　アルノ　ナーンダ？　(神－遠男5－1) ○ソシタラネ　ネズミネ　カケルノガ　ハヤクテネ　オイツカナイノ。(神－村男4－3) ○ウントネー　アチョブノガタノシイ。(神－柳男4－5)	○アノ　オチャワン　オクノネ　モッテ　キタノ。(赤－p男3－7) ○ダレダ，オレノ　ハシヲワタルノハ。(神－寺男4－4) ○エト　ヨムノハ　デキナイ。(神－高男4－4)
過去形	○アノ　カイタノガネー　ホントノ　カイジュウニ　ナッタノ。(赤－c男6－2) ○ケシキ　ナガメタノガ　イチバン　タノシカッタ。(赤－t男6－0)	○コドモタチガ　アメニ　オボレソウニ　ナッタノヲネサリーハ　トメヨウト　シタンダケド，　サリーハネ　ソノ　マホウヲ　シラナイノ。(小－山中女5－0)	○ントネ　エイガデ　ミタノハ　ココノ　エイガデ　ミタンジャナイ。(神－折女4－3)

うちけしの動詞 現在形	○マイニチ　ヤンナイノモアンデショウ。(自－u女6－5)	○シャベル　オニンギョウトカ　アルク　オニンギョウトカ　シャベラナイノネ　シャベラナイノト　アルカナイノオニンギョウトカ。(小一山中女5－0)	
過去形	○ウンート　ハンニンヲネナカナカ　ユワナカッタノガネ　トウトウ　ユッタンダヨネ(赤－c男5－10)		
名詞形に近い	○ボクガ　カツニ　キマッテルケド，キョウソウ　シヨウ。(赤－r男6－3)		○ヒトニネ　ブツ　ダメッテユッタカラネ。(神一折女4－3)

4.2　名詞形の用法

名詞形には，ものをあらわす用法と，ことをあらわす用法がある。おおまかにいうならば，それらの用法は「よむ　もの」「よむ　こと」のように，形式名詞をつかっていいかえることができる。名詞形の，ことをあらわす用法は，さらに発展して，終助詞「の」へつながるものとの中間をなす用法がでてきている。これは「よむ　こと」にいいかえることができない。

名詞形の用法は，だいたいこの3種にわけることができるが，今回の幼児の資料には，この3種の用法がすべてあらわれているので，幼児の段階でだいたいこれがつかえるものとおもわれる。

種類	年長児	年中児	年少児
ものをあらわす 現在形	○シトツ　オワッテ　マタチガウノガ　ハジマッテ(赤－q男5－11) ○ワカンノモ　アルヨ。(自－u女6－5) ○ミルクノミニンギョウデネウーント　デルノ　アルヨ，コッカラ。(自－m女6－4) ○ウチュウボウエイタイノネエイガ　ミニ　イッタノ。ソイデネ　ロケットヤナンカネー　ケンキュウスルノガ　アッタモン。(自－e男6－1) ○マイニチ　ミテルノ？　マイニチ　ヤンナイノモ　アンデショウ。(自－u女6－5)	○クルマ　ミタイ　コウイウマワルノ　アルノ。(小一窪女4－8) ○アタマニ　ケガ　サンボンアルノ　ナーンダ。(神一遠男5－1) ○イギリスノ　クニニネ　エリ　エ　エリザベス　ジョオウッテ　イウノガ　イルノ。(小一野女4－9) ○シャベル　オニンギョウトカ　アルク　オニンギョウトカ　シャベラナイノネ　シャベラナイノト　アルカナイノオニンギョウトカ　(小一山中女5－0)	○ダレダイ，オレノ　ハシガタガタスルノハ？　(神一佐女3－7) ○モノレールトネ　マアルノナンダカ　シラナイ。(小一福男4－2)

過去形	○ボクガ エランダノダケヨンデ クレル。(自－u女6－3) ○ハジメネ ブッツカッタノガネ ネズミサン。(赤－c男5－10)		○キコエテ キタノガネ トラノ コエト(神－秋男3－11)
ことをあらわす 現在形	○モウ ライオン オイカケンノ イヤン ナッタノ。(自－h女5－7) ○ソイデモネ ボールナンカアソブノガ タノシイ。(赤－a男5－11)	○ソトデ アソブノガ タノシイ。(赤－i女5－3) ○オウタ ウタウノガ オモシロイ。(神－師女4－11)	○ボクネ ムシ ツカマエルノ トクイ。(赤－d男4－2) ○ダッテサ オキンノハ ハヤイケドサ,(赤－a女3－10)
接続助詞にちかいもの 過去形	○ア ハジメネ コウ ナッタノガ コウイウ フウニネマイニチ ヤッテルカラ, コウイウ フウニ ナッテタノガネ ……ピーント モドラナク ナッチャッタノ。(赤－c男5－10) ○ハンニンハ ナカナカ ユワナカッタノガネ, トウトウユッタンダヨ。(赤－c男5－10)	○コドモタチガ オボレソウニ ナッタノ サリーハ トメヨウト シタンダケドネ(小－山中女5－0)	○エイガデ ミタノハネ ンネ ココノ エイガデ ミタンジャナイノ。(神－折女4－3)

ところで，すこしくわしくいうと，名詞形の，ことをあらわす用法には，形式名詞「こと」をつかっていいかえられるものといいかえられないものとがある。つぎの「なくことを」と「なくのを」とは，いれかえることができない。

○わたしは，さかながなくことをきいたことがあるが，さかながなくのをきいたことはない。

つまり，知覚の対象である具体的な現象のばあいは「よむの」が，思考や言語活動の対象である抽象的なことがらは「よむこと」がつかわれるというようなことがあるのである。

このあたりのつかいわけは，まだむずかしいらしく，「よむの」をつかうべきところで「よむこと」をつかう例がかなりみうけられた。

種類	年長児	年中児	年少児
問題例	○ナンデモ スキダケド オフロー ハイル コトハネ ダイッキライデシタ。(自－t男6－2)	○それからどういうことがたのしい？ ウント，アソブコトガ タノシイ。(赤－t男5－1)	○幼稚園でなにするの，いちばんたのしい？アンネ アチョブ コトガ タノシイ。(神－古男4－5)

第5章　中止形

5.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した中止形グループの語形は，つぎのとおりである。

機能	幼児の使用例 / みとめかた / ていねいさ	ふつう				ていねい			
		みとめ		うちけし		みとめ		うちけし	
			年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少
中止形グループ	第一中止形	よみ	○○△	よまず(に)	○			よみませず	
	第二中止形	よんで	○○○	よまないで	○○○	よみまして		よみませんで	
				よまなくて	○○				
	してから	よんでから	○○○			よみましてから			
	例示形	よんだり	○○○	よまなかったり		よみましたり		よみませんでしたり	

中止形には，第一中止形と第二中止形があり，日常のことばでは，ふつう第一中止形はもちいられない。幼児のはなしことばに第一中止形がでにくいのは当然である。今回の資料には，ほんのわずか第一中止形があらわれているが，一二をのぞいて，むしろいいそこないと認定したほうがよいとおもわれる。(第一中止形の使用例はぜんぶあげることにする。)

「してから」は，「した　あとで」のような意味である。「よんだり」のかたちを，いちおう「例示形」と名づけたが，その用法については，あとでのべる。

中止形グループも，ていねい形式があるが，これは，おとなの会話でも，よほどあらたまった場面でないとあらわれないので，今回の幼児の資料になかったのは，当然であろう。

この幼児の資料をみると，幼児がこれらのかたちを全般にわたってつかっていることがわかる。つぎに使用例をあげよう。

種類	年長児	年中児	年少児
第一中止形 みとめ	○ソノ　ショウジキナ　オジイサンガネ　デ　ヤマニ　ユキ，シバカリニ　イッタノネ。(赤－w男6－3) ○バンビーヲネ　サガシテ　キテネ　ソイデ　ネー　ミツケ，ネ　アオイ　ハッパ　ミツケテネ　(白－c男6－3)	○タイソウ　ヤリネ　ソレカラネ　カケッコ　ヤリネ　ソレカラ　タイソウ　ヤリネ　ソレカラ　オハナシ　ヤリネ　(小－樋男4－3) ○オフロヘ　イッタラネー　ウント　アラッ　ウントネ　オフロニ　トビコミ「アラッテ　クダサイ」ト　チンチンスルノ。(神－規男4－6)	○ハシヲ　ワタリ　イケマセン。(神－佐女3－7)

うちけし		○キノウ　オベントウハ　デナカッタカラ，キノウネ　オヒル　タベズニ　カエッテネ（小－野女４－９）	○ダッテサ　ベンキョウガ　シナク　ベンキョウシナイトダンダン　シンデ　イクカラ。（小－佐男４－３）
第二中止形			
みとめ	○ウルトラマン　オキアガッテ　コウユ　フウニ　コウセン　ハク。（赤－K男５－11） ○ライオンハ　ビックリシテネ　マタネ　アノー　イタトコロニ　モドッタノ。（赤－x女５－７） ○ココニサ　コウエン　アッテサ　ソコカラネ　コッチガワニ　ニジュウナナゴウカンアルデショ。（赤－n男６－２）	○ポパイガ　タスケニ　キキテ，ホウレソツォ　オウレンソウ　ネ　タベテ　アノーチカラモチ　ナルノ。（赤－g女４－８） ○カメガネ　ウサギヲ　オッカケテネ　ウサギガネ　ピョンピョン　ハネナガラネ　ニゲタノ。（神－規男４－６） ○トモコ　オバケノ　ユメミテサ　アトネ　ウント　オシメサマノ　ユメ　ミテネ（神－鎌女４－５）	○コウ　ヤッテ　マワス　トコ　アンデショ。（神－三男４－０） ○シマウマタチガ　ココニアツマッテネ　マアルク　ナッテンノ。（神－三男４－０） ○ソシテ　クマモ　スコシトンデサ　オイカケタノ。（神－高男４－４）
うちけし			
よまないで	○ママト　オママゴト　ツカワナイデ　アソブノ。（自－n女６－１） ○キノウハネー　オ　オカヤマヘ　イカナイデネ，アサクサニ　イッテネ（赤－k女６－２）	○カメサント　イッショニイカナイデ　ウーント　ウサギダケ　イッチャッタノ。（赤－j女４－７） ○アサ　オキテカラネ　ダレトモ　アソバナイデネ　サブト・アソンダノ。（神－鎌女４－５）	○マタネ　コウイウ　コニブツカンナイデ　ヨカッタ。（神－佐女３－７） ○オカアサンハネ　ネナイデネ　オコメ　トイダリ　ヨルネ　オコメ　トイダリナンカシタノ。（神－三男４－０）
よまなくて	○シンデレラヒメネ　オカアサン　イナクテ　サビシカッテネ（赤－B女５－８） ○オネエサンタチ　ハ　ハイタケドネ　オオキイシ　アシガ　オオキスギテネ　ハインナクテネ，シメガ　ハイタラネ，ハイ　ピッタリダッタカラネー（自－j女５－７）	○ハジメネー　ココ　シトリシカ　イナクテネ　シマウマガ　キタノ。（小－岡女４－８） ○ダッテ　アイツクリームモナンデモ　イワナクテ　カッテ　カエルノ。（小－成男４－３）	
してから			
	○オヒルニ　ゴハン　タベテッカラネ　サンジマデネ　オヒルネシタノ。（自－d女５－11） ○ソイデネ　マタ　コッチニマガッテカラネ　マタ　コッチニ　マガッテネ（自－e女５－７）	○ヨウチエンカラ　カエッテカラモ　ボクモ　アソブノ。（自－o男５－４） ○ミズ　ノンデカラネ　ウオウチデネ　アソンダノ。（赤－k女５－３）	○ゴハン　タベテカラ　ネタノ。（赤－a女３－10） ○ヌーストカ　ミテッカラネ　オトエチャンモネ　ヤキュウミタイ　シテンノ。（神－狗女４－３）
例示形			
みとめ	○ソイデ　アソンダリネ　エー　カイタリネー　ヨンダリ	○アノネ　ゾウキンデネ　ツクエ　フイタリネ　オヤツ	○ボクハ　ホン　ヨンダリオベンキョウシタリ　スルノ。

シタ　コト。(赤—w男6—3) ○マタ　ボタンヲ　オストネー　ドアガネ　アイタリ　シテ　(赤—d男6—4)	クバッタリネ　オカズ　クバッタリネ　ガヨウシ　クバッタリ　スンノ。(神—村男4—3) ○どんなおあそびするの，いつも？　ヤマ　ツクッタリナンカ　スルノ。(赤—m男4—10)	(小—佐男4—3) ○ソシテ　チイチャク　ナッタリ　オッキク　ナッタリ　ナッテネ。(神—高男4—4)

5.2　第二中止形の用法

第二中止形の用法については，この研究の中間報告として，国立国語研究所年報19（1969）にのべたので，今回も，幼児の使用例をつかって説明する。

5.21　単純文のなかでつかわれるばあい

単純文のなかでつかわれたばあいというのは，その第二中止形の動詞のしめす動作の主体が，独自の主語によってあらわされないばあいである。

中止形の用法は，継起的な用法，並立的な用法，修飾的な用法，状況的な用法の四つに，おおきくわけられるが，単純文のばあいは，複合文のばあいとくらべて，並立的な用法や状況的な用法がよわく，修飾的な用法がつよい。

継起的な用法とは，動作や作用が時間のながれによって順にすすんでいくばあいの用法であるが，実際には，まえの動作があとの動作の原因や手段・ようすになって，継起—修飾的な用法とよんだほうがよいようなものがおおい。つぎにあげる用例のなかで，「先行動作」とあるのは，継起的な用法で，「先行—手段」「先行—原因」などとしてあるのは，継起—修飾的な用法である。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
継起的な用法 先行動作	○ソイカラ　オタマジャクシナンカ　ツカマエテ　ウーウン　サカナツリニ　イッテサツリボリ　イッテ，ヤッテ，ソウシテネ　ウント　ヤッテイロンナノ　ヤッテ　ウチニカエッテネ　ソイデ　アソンデ　アソンデ　ソイデ　ウチニ　カエッタノ。(自—a男5—11) ○タイソウシテサ　ソレカラオヘヤニ　ハイッテ　ミンナデ　アツマッテサ　ウント　ソレカラ　オヘンジニ　シュッセキヲ　トッテサ　ウーン	○コウ　イッテ　マガッテ　ソシテ　マタ　オウダンホドウ　ワタッテ，コッチ　イッテ　ソシテ　コッチ　イッテ，コッチ　イッテ　(神—井男5—0) ○ダイオンニ　カケアチチテボイーント　ヤッテネ　ボウヤノ　ヘヘヘーッテ　ワラッテネ　シロウマ　ヘヘヘーット　ワラッテ　オコッテネ　ウントネ　ダイオンハネ　(神—柳男4—5)	○オベントウ　タベテ　オベントウガ　オワッテカラ　アスンダノ。(小—福男4—2) ○オカシト　オセンベイト　アゲテ　ソイデ　チョットダケ　オヤスミシテ　ソレデ　マタ　クルノ。(赤—m男4—1) ○コッカラサ　スーット　イッテ　コンダ　コッカラ　スーッテ　イッテ　コンドハ　コッカラ　シューッテ　イッテ　(神—高男4—4)

	ソレカラ アサノ ウタヲ ウタッテサー（赤—s男6—6）		
先行—手段	○オジイサンガネ ハナガカレタカラネ ウーント オミズヲ カケテ キレイニシヨウト オモッタラ（赤—s女5—8） ○ソシテ マルイ モンデソコニ ロープ ミタイノガアッテ ソレガ マワッテデンキガ ドンドン ハコバレテ イッテタ。（赤—e男5—10）	○オカネネ アツメテ ナンカ カウノ。（自—f女4—9） ○オモチャ ダチテ アトブノ。（神—永男4—1）	○アノネ ネクタイ ツケテカッコ ツケンノ。（赤—d男4—2） ○ドンナ オハナチ シヨウカナ。カンガエテ イ カンガエテ オハナチ スル。（赤—v女4—0）
先行—原因	○トラックガ プープーッテイッタカラネ オドロイテウーント ウエニ トビアガッチャッタノ。（自—l男5—7） ○ウサギサン ネ ネムクナッテ ネタカラ。（自—p男5—6） ○オサケ ノンデ ヨッパラッテ オドッテタリサー（赤—w男6—3）	○エントツ モヤチテタカラネ ヤケドチテ ニゲテ イッチャッタノ。（神—北男4—11） ○キョウネ オトモダチ ネツ ダシテ オヤスミダカラ。（小—押女5—1） ○ビックリシテ ニゲチャッタノ。（小—徳男4—5）	○ウサギハ チュカレテ ネーネチャウ。（神—狗女4—3） ○アノネ タベラレルン モッテ ニゲテンノ。（自—b女3—10） ○ソイデ ライオンガ ビックリシテ イッタ。（神—寺男4—4）
原因	○オソトデ アソンデ オモシロカッタ トキモ アッタカラ（赤—s男6—6） ○カメハ ノロノロシテルデショ。コウラ ショッテ オモイカラ。（自—d女5—11） ○ウントサ カタナ フリマワシテ アブナイモン。（自—g男5—8）	○トシコチャン ダンダンネヤサシク ナッテ アソンデクレタノ。（神—桑女4—10） ○カメハ ノロノロ イッテマケタケド（赤—s男5—6）	
先行—ようす	○リュックサックト スイトウ ショッテネ ウント クチュ ハイテ カエッタノ。（自—b男6—0） ○ハネノ ンー ココノ セナカノ トコヲ キュットハリデ サシテ ソシテ オイトクノ，ハコヤ ナンカニ。（赤—m男5—10）	○アノネ オミ オミコシカツイデネ ソトガワニ デテネー（神—規男4—6） ○チョット ヨコニ ナッテネチャッタヨ。（神—大女4—6）	○ボウシ カブッテ オソトニ デンノ。（赤—b男4—0） ○ウルトラセブンニ ナッテカイジュウ ヤッツケリュンダモン。（小—金男4—1）
先行—場所	○マエニ デテ タイソウシタリ リレー ヤッタリネオユウギ ヤッタリ シタノ。（赤—r女5—10） ○ヨウコチャンチ イッテトマッタノ。（赤—P女6—3）	○ウンドウカイニ デテネボク イッチャクン ナッタノ。（赤—t男5—1） ○オイシャサン イッテ ナオシテ モラッテ（小—山中女5—0）	○オテンキガ イイ オヤスミノ トキハ カミヤコウエン イッテ アソブノ。（神—三男4—0） ○ショッチュウネ カイシャ イッテ オシゴト スルノ。（小—矢女4—0）

並列的な用法とは，同時に実現するいくつかのことがらをのべるばあいの用法である。「前件」とかいてあるのは，中止形が，そのいくつかのことがらのうちのはじめにのべることがらをしめしているばあいであり，「前提」というのは，その前件が第二のことがらが成立するための前提になっているばあいである。

今回の資料では，年中，年少には，「前提」の用法はみられなかった。

種類	年長児	年中児	年少児
並立的な用法			
前件	○モウ イッコノネ コウナッテ，コウ ナッテ コウナッテンノヲネ ント イレルトネ （自—s女6—3）	○コウ ヤッテネ カタホウノ アシ コウ アゲテ カタホウ ヒザ ツケテ ソシテ コッカラネ コウット バケチャウ。（赤—w男5—3） ○ビッグエックスって？ ココニ ハナ ツケテネ ボウシ カブッテネ ソウシテ ココニ フルシキ ミタイニネ ココニネ ヤッテネ ソウイウノ。（自—h女4—7）	○エートネ コウ ナッテ コウ ナッテンノ。（小—加男4—1） ○コレ コウ ヤッテ コレヤッテ。手をこうななめにして。ウン。アト エネルギーガ ナッテンノ。（自—a男4—0）
前提	○ハガ サンボン アッテデッパッテンノ。（自—t男6—2） ○アオオニダトカ アカオニダトカ キイロオニダトカサー イッパイ イテ オサケノンデサー ヨッパラッテオドッテタリサー（赤—w男6—3）		

修飾的な用法は，中止形の動詞，または，それのつくる連語（フレーズ）が修飾語になっているばあいの用法である。これは，動作時のようすと，動作の具体化と動作の解説の三つにわけられる。

動作時のようすは，動作の成立には直接かかわらない，いわば，わきの動作で，「～しながら」といいかえられるようなものである。それに対して，動作の具体化は，動作のしかたであって，動作の成立に直接かかわる。しかし両者のあいだには中間的でどちらにはいるかわからないものがある。「ウサギモネ タッテ アルクノ」の「タッテ」などは，あるいは具体化のほうにいれたほうがよいかもしれない。

動作の解説は，述語でしめす動作を抽象化して解説するものであって，動作の具体化と逆の関係になる。「ネッコロガッテ シンダ マネ ヤル」は，「シンダ マネシテ ネッコロガル」にすると解説になり，「ネボケテ バカバカナンテ イウ」は，「バカバカナンテ イッテ ネボケ

ル」にすると，具体化になる。しかし，「オママゴトシテ　アソブ」や「バケテ　オカアサンニナル」などは逆にすることができない。

年少児には，動作の解説がなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
修飾的な用法			
動作時のようす	○「サムイ　サムイ」ッテ　イッテ　オウチイ　カエッテ　キタラネ　（自—r女5—8） ○ウサギモネ　タッテ　アルクノ。（自—t女6—4） ○センエンマデ　クロウシテタメタンダカラ。（自—y男6—0）	○ボクト　イッショニネ　フジャケ　フジャケテ　ゴハンタベテンノ。（自—k男4—8） ○ネムッテ　マッテタラネ（神—松女4—8） ○オオカミハネ　ヘンナ　カオ　シテ　アルイテ　イタノ。（神—桑女4—10）	○オウチ　イッテ　ダマッテテレビ　ミテタノ。（神—坂女4—0） ○ウント　オドルノ。おどるの？　ン。タイコ　タタイテ。（神—場男3—10） ○ヨルン　ナルト　ホタルクルンダモン。ホタル　ピカー　ピカー　ピカー　ピカーッテ　トンデ。（神—宮男3—8）
動作の具体化	○ソウシテネ　ヨウチエンゴッコシテ　アソンダノ。（自—t女6—4） ○コンナ　フウニ　タマヲイレテ　ツクッタノ。（赤—1男6—3） ○カチカチニ　ナッテ　カタマッチャウノ。（自—b男6—0） ○「カッテ　キタノ」ッテ　ユッテ　ウソヲ　ツイタノ。（自—i男6—5） ○ネッコロガッテ　シンダマネッテ　ヤッテネ　（自—t男6—2）	○コレ，オマルトビシテ　アソンデタノ。（神—師女4—11） ○コウイウ　フウニ　モヨウツケテ　タンス　カイタノ。（神—桑女4—10） ○ソシタラ　ネズミハ　トビアガッテ　ビックリシタンダッテ。（赤—q女5—2） ○ドウ　ヤッテ　マワシテンノ，コレ？（小—足男5—0）	○アノネー　オママゴト　シテ　アソンデル。（自—m女3—0） ○コウ　ヤッテ　タツノ。（神—高男4—4）
動作の解説	○ウサギガ　ココデ　サボッテ　ネチャッタノ。（赤—w男6—3） ○ウンドウカイ　デナカッタヨ，オヤスミシテ。（赤—a男5—11） ○ウチノ　オトウト　ネボケテ　バカバカナンテ　ユッテンノ。（赤—a男5—11） ○オニイチャンガネ　ウソツイテ「サヨウナラ」ッテ　ユッタノ。（赤—o女6—1）	○クマガネ　ネズミノ　マネシテネ　トンデ　イッチャッタノ。（自—v男4—7） ○ウサギハネ　マチガエテハンタイ　イッチャッタノ。（小—山女4—5） ○オジイチャン　ダマシテンート　ジドウシャ　カッタトキ。（自—t男5—3） ○ガッコウノネ　オベンキョウ　サボッテ　アソンデルトキ　アル。（小—窪女4—8） ○オキテ　メー　サマシタラネ　（赤—n男5—2）	

単純文には，もうひとつ，状況的な用法がある。これは，中止形のしめすうごきの主体が，述語のそれと一致しない点で，他の単純文とことなる。しかし，この種の中止形動詞は主語をとらず，状況節を形成しないので，単純文のなかにいれておいた。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
状況的な用法			
時　間	○ソイデ　ハチジン　ナッテ　ネタノ。(自－d女5－11) ○アサン　ナッテ　アタシ　イチバン　ハヤク　オキテネ(赤－E女5－8) ○ソイカラ　オヤツ　ナッテ　オヤツ　タベテ　カエッチャッタノ。(自－x女5－6)	○オショウガツニ　ナッテ　ママ　ワリバシ　カッタノヨネ，(小－久女4－7) ○スコシ　タッテ　プーッテナル。(小－久女4－7)	○ソイデネ　ヨルン　ナッテ　ハナビ　ミルンダ。(神－寺男4－4) ○アサ　ナッテ　コレー　タタイタラ　コウイウ　ワレチャッタノ。(自－d男3－10)
空　間	○ハイッテ　チカイノ。(赤－t男6－0) ○コウニ　キテ，　ソイデ　ココ。(自－k男5－8)	○ソッチ　イッテネ　ショコン　トコロネ(自－j女　4－7) ○ズウット　イッテネ　ウント　トモチャンノ　オトナリ。(自－t男　5－3)	

5.22　複合文を構成するばあい

複合文のなかでつかわれたばあいというのは，その第二中止形の動詞が主語をとって節を構成し，全体で複合文となるばあいである。

複合文を構成するばあい，継起的な用法，並列的な用法，状況的な用法がある。

継起的な用法のばあい，その中止形をふくむ節が，先行のことがらをあらわすばあいと，その先行のことがらが原因になっているばあいとがある。

並立的な用法の前提になるばあいは，単純文のばあいとちがって，独立性がつよいので，状況節とみとめた。そこで，状況的な用法がふくらむことになる。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
継起的な用法 先行のことがら	○ボクタチガネ　リレーノネセンシュニ　ナッテネ　ソイデ　リレー　ヤッテ，ソレカラ　チイサイクミガネ　ナンカ　マアルイノ　トコ　タマヲ　ナゲテ(赤－q男5－11) ○ソイデネ　アカオニガネ	○カメトネ　ウサギトネ　ヨウイドンシテネ　ウサギノホウガ「ココラデ　ヒトネムリ」ッテ　ユッテネ　カメガ　オイコシテネ　イットウショウニ　ナッテネ「コリャ　シクジッタ」ッテ　ユッ	○チビヤギノ　ガラガラドンガ　サイショニネ　イチバンニ　キテネ　トロルガネ「ダレダ」ッテ　イッテネ「チビヤギノ　ガラガラドンデス」チュッテネ「オマエヲヒトノミニ　シテ　ヤルゾ」

	ウーント アバレテネ，ソレデ ソイデ アオオニガ タスケテ アゲ ナンカ タクランデタノ。(赤－p男5－11)	テネ アトカラ キタ。(赤－u男5－6) ○デ オシロニ ツイテネ ソノヨル オウジサマガネ「ソノ オヒメサマガ イチバン キレイダ」ト イッテ(赤－p女5－2)	チュッテ (神－三男4－0)
先行－原因	○ウサギサンガ サキ イッタラ クタビレテ ネテ，カメサンガ ウント イットウショウン ナッテ(赤－a男5－11) ○ネズミガ ニゲテテ クマガ オイカケテルト ソコニトラックガ キテ，ネズミトネ クマガ トンジャッタ。(赤－a男5－11)	○クルマガ キテ オドロイタノ。(小－野女4－9) ○ウサギガ トチュウデ イネムリシテ カメノ ホウガ カッタノ。(小－橋男5－1) ○ソレデ カゴデ イキマシタラ，ツナガ キレテ イソノマロハ シンデ シマイマシタ。(神－桑女4－10)	○ダッテ キタナク ナッテ，オカアチャンガ アラッテ クレルンダモノ(神－高男4－4)
並立的な用法 前件	○オバアサンハ キミダンゴヲ ツクッテ オジイサンハ モモタロウノ ハタヲ ツクッタノ。(自－u女6－5) ○サルハ コイデ ソシテネアノ モモタロウサント イヌハネ アノネ シマニ ツクカネ ボウエンキョウデ ミテ イタノ。(自－p女6－1)	○ネズミガ イテ，クマガ イタノ。(赤－o女5－1) ○カボチャハ バシャニ カワッテ テネ イヌハネ ウマニ カワッテ ネズミハ ギョシャニ カワッチャッタノ。(赤－p女5－2)	○オジイチャンガ シンジャッテネ ショウガネ イテネ，オトウサンモ イテ，オカアサンモ イル。(小－相男4－4) ○カメガネ ウエニ イテ ウサギガ ニゲテ イル。(神－寺男4－4)
状況的な用法 場所	○コッチガワニ マガル トコロガ アッテ ソコ マガッテ(赤－r男6－3) ○オヤマガ アッテ ウサギガ ニゲテ イッテル。(赤－K男5－11)	○ショノ スグ ウエニ アガッテ ソイデ ソコニ アルノ。(小－樋男4－3) ○オウダンホドウガ アッテ，ソコヲ ワタッテ マッスグ(小－岡女4－8) ○トナリニ イジワルノネ オバアサンガ イテネ，イシノ オカシ モラッタノ。(赤－s男5－6)	○ハシガ アッテ ショコニハ キミノ ワルイ トロルガ イマ イマシタ。(神－場男3－10)
場面	○ミーチャン チュウ トコオママゴトガ イッパイ アッテ アソブノ。(自－u女6－5) ○カメガネ キョウソウシテカメハ オソイノ。(自－i男6－4) ○コウイウ ボウニネ アシデ ワタッテ ボク オッコ	○ナンカ マワス モノガ アッテネ クルクル マワセバ チッチャイノ ヒトツシカ ナイノ。(赤－h女5－4) ○ウントネ ゴルフノ パパイッテネ，ソイデ ボクモイッショニ イッテネ(赤－t男5－1)	

	ッテバカリ　イルノ。(自－d男6－1)		
時　間	○オタンジョウビ　キテ，コレダケダケド　(赤－b男6－5)		

5.23　幼児の使用する中止形の問題

幼児の中止形の使用については，つぎのようなことがいえるだろう。

1)　中止形のもついろんな用法は，すでに幼児に使用されている。

2)　この年代の幼児は，まだ条件形の使用の発達が十分でなく，そのため，条件形をつかうべきところを，中止形ですませているものがある。

3)　中止形をつかって，文をどんどんのばしていくものがある。このばあい，いくつかならべられる動詞のしめす動作の主体がかわっても，主語をおかずに，どんどんすすめていくものがある。また，主語をおぎなったとしても，つづきぐあいのわるいものがある。

4)　うえにのべた傾向は，年長児におおくみられる。つまり，このころから統語論的な面の能力がのび，ながい文をつくりはじめるのだが，まだ，その形態論的な面をととのえるだけの力がついていないのだろう。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
条　件	○スグネ　コウ　ヤッテ　トレチャウノ。(自—s女6—3)	○コヤッテ　グルグル　マワシテ　アクデショウ。(自—t男5—3)	
むぞうさなならべ	○ソイデ　ジーット　マッテオオキク　ナッテネ　(自—e男6—1) ○ナンカ　ホンヲネ　ヨンデワライバナシガ　アッタノネ。(赤—r女5—10) ○センセイガサー　ウント「ヨイコノ　オサイクノヲシナサイ」トカ　イッテ　ソレヲ　シテカラ　サ　ウントオソトデ　アソンダリ　(赤—s男6—6) ○カメ「ボクノ　カチダヨ」ッテ　ユッテ「シマッタ」ッテ　ユッテ　ドンドン　カケテッテ　(赤—t男6—0)		

5.3 幼児の使用した例示形

5.31 幼児の使用したいろいろな形式

例示形は，二つ以上ならべて「よんだり　かいたり　する」といったり，また，一つだけで，「よんだり　する」といったりする。また，とりたて助詞「なんか」をつかって，「よんだり　なんか　する」といった，とりたて形式でつかうこともある。このようないろいろなくみあわせ形式を，幼児は，かなりひろくつかっていることがわかった。ただし，「よんだり，よまなかったり」というくみあわせかたはなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よんだり かいたり			
よんだり かいたり する	○なにしたの，　豊島園で？ ノリモノ ノッタリネ オヨイダリ シタノ。(赤－P女6－3)	○セイユウニ イッテネ ノリモン ノッタリネ タベタリ スンノ。(神－桑女4－10)	○カクエンボ シタイネ オニゴッコ シタイ スンノ。(神－狗女4－3)
	○ジドウシャデ アソンダリネ オソトデ アソンダリネ オウチデ アソンダリ シテタ。(赤－F男5－9)	○チャワン アラッタリネ オベントウヲ アラッタリシテル。(神－長男4－7)	○ナマイ カイタリネ ウント ホン ヨンダリ チテルノ。(小－金男4－1)
	○オソトデ アソンダリネ オトウトト アソンダリ オニンギョウデ アソンダリシテ アソンダノ。(赤－N女5－7)	○アノネ オテツダイサンニ ナッタラーリネ オネエサンニ ナッタリ シテ オテツダイヲ シチャウノ。(小－篤女4－7)	○サンダーバード ミタリ タイガーマスク ミタリ ケンチャン・トコチャン ミタリ シテンダ。(赤－d男4－2)
よんだり かいたり やる	○ウントネ トランプ シタリネ アノネ オカアサンゴッコ シタリネ ヤルノ。(赤－J女5－8)	○ヒャー ソレデネ カケタリ カケタリ ヤッテモネ(小－海男4－3)	
よんだり かいたり。	○オエカキ シタリ ハナガミ オッタリ。(自－x男6－1)	○アソブトカネ トー エヲカイタリネ ソトデ アソンダリ。(赤－i男5－4)	○ツミキデ アソンダリ タンバリン シタリ。(赤－u女3－7)
	○ウントネ カワ イッタリネ ウミ イッタリネ ヤマイッタリ。(赤－t男6－0)	○ヤマ ツクッタリ トンネル ツクッタリ。(赤－a男4－11)	○オベンキョウ シタリネ オシゴト シタリ。(赤－o男4－2)
よんだり かいたり (修飾語)	○オソウジシタリネ アノネ アカチャンネ モリシテタリ ヤッタリ ソシタリネ ウーント アカチャンニネ ウント ウート オサンポサシテ アゲタリネ イロンナ コトスルノ。(赤－E女5－8)	○オウチヲ チュクッタリ オヒシャマヲ チュクッタリネ ナンデモ チュクッテネ(神－山男4－9)	○コウイウノ マワス チャンネル マワスト シロクロ ネッタリ デタリネ オカシイ トキダッテ アンノ。(神－三男4－0)
クローズ		○ヤスコチャンガ オカアサン ナッタリネ アタシガ オカアサン ナッタリ スル。(小－岡女4－8)	○ニンジンヲ タベタリネー カエルサンガ アルイタリ ウサギサンモ アルイタリ。(赤－m男4－1)

よんだり			
よんだりする	○ヒトニネ　ソウ　イバッテ　ユッタリシチャ　イケナイ。(赤－s男6－6) ○ボクハ　ケー　シッパッタリシナイヨ。(自－y男6－0)	○運動会なにした？　ウントネ　スズワリヤラネ　キョウソウヤリネー　アトネ　ウーウ　ママト　オドッタリ　シタノ。(赤－k女5－3)	○おかあさんはいつもなにしてらっしゃる？　エート　シラガ　トッタリ　シテルノ。(小－相男4－4)
		○パパトネ　オサンポ　イッタリ　スルノ。(赤－f女4－10)	○オネエチャンネ　オバアチャン　メガネ　カケタリ　シテンノ。(神－狗女4－3)
よんだり。	○ツミキデ　アションダリネ　オモチャデ　アションダリスンノ。　ソイデ　ゴホンヨンダリ。(自－C男5－11) ○なんのお手伝いするの？　オチャワン　ハコンダリ。(自－u女6－3)	○ウーン　オトモダチト　アソンダリ。(小－山中女5－－0) ○幼稚園ではほかにどんなことしますか。　エ　カイタリ。(小－樋男4－3)	○幼稚園ではなにするの？　キシャデ　アソンダリ。(自－a男4－0) ○「たたかう」っていうのはどういうことするの？　アノネ　ナゲトバシタリネ。(赤－o男4－2)
よんだり(修)	○アオオニダトカ　アカオニダトカ　キイロオニダトカサー　イッパイ　イテ　オサケノンデサ　ヨッパラッテ　オドッテタリサー　ナンカ　トテモ　オモシロガッテ(赤－w男6－3)	○イタズラシタリ　ソウイウコト　スルカラ。(神－関女5－0)	○アノネ　オシゴトカネ　アノネ　パン　ヤイタリネ　ソウイウノ　シテンノ。(赤－b男4－0)
「なんか」によるとりたて			
よんだりかいたりなんかする	○ヨウフク　ツクッタリネ　オシ　オセンタク　シタリナンカ　シテル。(赤－t男6－0) ○オスナバ　イッタリ　テツボウ　シタリナンカ　スル。(赤－R男5－11)	○ジテンシャ　ノッ　ノッタリネ　ブランコ　ノッタリスベリダイ，ヤネ　タイコバシ　ノッタリナンカ　シテンノ。(小－川男4－10)	○オカアサンハネ　ネナイデネオコメ　トイダリ　ヨルネ　オコメ　トイダリナンカ　シタノ。(神－三男4－0)
よんだりなんかする	○ボクネ　マクラ　カタズケタリナン　ナンカ　シテタラネ(自－l男6－0)	○どんなおあそびするの，いっつも？　ヤマ　ツクッタリナンカ　スルノ。(赤－m男4－10)	○なにしてらっしゃるの？　トネー　エー　カイタリネナンカ　スルノ。(神－折女4－3)

5.32　いろいろなあやまりの形式

例示形のくみあわせかたには，一定の法則があって，たとえば「ゴハンヲ　タベタリ　テレビヲ　ミル」のようなならべかたはあやまりとなる。幼児は，例示形のいろいろなくみあわせをつかう一方，また，そのあやまったくみあわせかたも，おおくみられた。あやまりの形式には，つぎのようなものがあった。

種類	年長児	年中児	年少児
よんだりかく	○ウチ カエッタラネ エホン ミタリネ テツボウ シタリ ブーランコ シテネ コウエンニ イッテ アソンデ キタノ。(自－j女5－7) ○ウントネ アソンダリネ ウント ナンカ エー カイタリネ ネンド ヤッタリネ ソレカラ オベント タベル。(赤－Q男6－4) ○ソウシテネ テレビ ミタリ ゴハン タベル。(赤－u男6－5) ○ホイクエンハネ コ スベリダイデ アショングリネ スキップシテ アショブノ。(自－C男5－11)	○カケッコ シタリ タマイレ シタリ ツナヒキ シタノ。(小－小島女4－2) ○オダイドコ シテ ナンカ ヤッタリネ オツカイ イッタリネ, コドモ ツレテ アカチャン ツレテネー オセンタク スルノ。(神－関女5－0) ○アノネ ヤッチュケタリ ボクシング スンノ。(神－村男4－3)	○オッキク ナッタラ ガッコウ イッタリネ オベンキョウシタリネ オヒルデ カエルノ。(神－渡女3－10)
よんだりかいたりが		○ユウギシツデネー ン アソンダリネ ユウギシツデアネ オハナシシタリガ スキ。(赤－k女5－3)	
よんだりしてかいたりする	○オトモダチガ ネタリ シテ ナランダリ シテ ソレガ トッテモ オモシロイ。(赤－r女5－10) ○ベンキョウシタリ シテオソトデ アソンダリ シテル。(赤－p男5－11) ○オトモダチノ トコロ オウチノ トコロ トオッタリネ シテネ チガウ オウチモ トオッタリ シテ イクノ。(赤－N女5－9)		
よんだりしたり	○アトカラ ミンナデ キテサ ナンカ アソンダリ シタリサ(赤－s男6－6) ○ソレカラ カケット カケッコトカネ ナンカ オドッタリ シタリ。(赤－k女6－2)		

5.33 例示形の用法

このかたちは,「のんだり くったり おどったり……」のように, いくつものことをならべたてるのにつかうので,「ならべたてる形」ともいわれる。

しかし，このばあい，中止形をつかってならべるのとちがって，全部をもうらするのでなく，代表例をならべるのである。とくに，「ときどき　はなくそを　ほじったり　して,ぼんやりしていた。」のように一語だけでつかうばあいには，ならべたてるわけではない。そこで，その代表例をしめすことに着目して「例示形」ともいわれる。

また，この形を「ポチは　あとに　なったり　さきに　なったり　して　ついて　いきました。」や，「わたしが　もったり，花子が　もったり　した。」のようにすると，かわるがわるすることをあらわすので，“alternative”ともいわれる。

ここでは，「文法教育」1963にしたがって，「例示形」とよぶことにした。

また，この形は，このほかに，「よんだり　よまなかったり　する」というくみあわせかたで，両方の可能性があることをしめす。

今回の幼児の資料では，その全部の用法があらわれているが，最後の用法については，「よんだり　よまなかったり」というくみあわせかたができず，すこし，みだれた形式になっている。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ならべたて	○ヨウチエンデネー　アソアノ　テツボウデ　アソンダリネ　ソレカラ　オエカキシタリネ　ネンド　シタリスンノ。(赤－k女6－2) ○ツリニ　イッタリネ　ウント　フミエチャンチニ　イッタリネ　ソイカラネ　ハルコチャンチニ　イッタリネ　ソイカラネ　ユウエンチエンニ　イッタリネ　デパートニイッタリ　シテタノ。(自－e女5－7)	○オベント　タベタリ　ネタリ　チュンノ。(神－永男4－1) ○トモチャントネ　ジテンシャデ　アソンダリネ　ケンチャントサ　ジテンシャゴッコデ　アソンダリ　シタノ。(神－桑女4－10)	○シタクシタリネ　オウチオウチニ　ネ　カエッタリネ　ヨウチエンニ　イッタリネ　オベントウ　タベタリネ　オウチ　カエッタリネ　オウチノ　ゴハン　タベタリ　スンノ。(赤－p男3－7)
例　示	○ウーント　オツトメ　イッテル，イッタリ　シテル。(赤－p男5－11) ○ウーントネ　フザケタイネ　スルトネ　ウート　ナンカシュルト　スグ　ニゲルノ。(自－b男6－0)	○ワルイ　コトナンカ　シタリ　スル　トコ　オコル。(小－大男4－6) ○ヤマ　ツクッタリナンカスルノ。(赤－m男4－0)	○ヨウチエンデハネー　エート　ウ　ウ　エート　ウタヲネ　ウタ，　エートネ　オシエテ　モラッタリ　スルノ。(小－相男4－4) ○アソンダリ　シテタンダヨオウチデ。(神－狗女4－3)
かわるがわる	○チキュウハ　グルグル　マワッテネ　タイヨウノ　ヒカリヲネ　ウケテネ　ヒルン	○ヤスコチャンガ　オカアサン　ナッタリネ　アタシガオカアサン　ナッタリ　スル。(小－岡女4－8) ○ダカラ　ミギ　ミタリ　ヒダリ　ミタリ　スンノ。(小－大男4－6)	○パパサ　カエッタリ　イッタリ　スルンダモン。(赤－a女3－10)

両方の可能性	ナッタリ　ヨルン　ナッタリ　シテネ(赤－ｄ男６－４) ○ソイデ　デンキヲ　ケシタリ　ツケタリ　シテネ　センセイガ　キタカラ　オコラレチャッタ。(白－ｂ男６－０)	○ジコ　アッタリネ　ジコナイ　トキモ　アル。(神－宮男５－０)[注)　形式は不完全]	○ミギ　ミタリ　ヒダリ　ミタリ。(赤－ｏ男４－２)

第6章　副詞形

6.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した副詞形はつぎのとおりである。

機能	幼児の使用例 / みとめかた / ていねいさ	ふ　つ　う　み　と　め		ふ　つ　う　う　ち　け　し		て　い　ね　い　み　と　め		て　い　ね　い　う　ち　け　し	
			年年年 長中少		年年年 長中少				
副詞形	第一同時形	よみながら	○○○	(よまないながら)					
	第二同時形	よみよみ	○						
	第三同時形	よみつつ							
	目的形	よみに	○○○						
	めざし形	よもうと	○　△	よむまいと					

「しながら」「しいしい」「しつつ」などの同時形グループは，「副動詞」ともよばれる。[注1)] しかし，「よみに」「よもうと」などは，これを副詞形あつかいにしたのをみないが，ほかにいれようがないので，ここにいれた。その「目的形」「めざし形」などという用語も，ここでかりにつかったものである。

めざし形のばあい，うちけしがある点が他とことなるが，クローズをつくらず，述語に対して副詞的にはたらく点については，副詞形（副動詞）の定義にあうだろう。「よもうと」「よむまいと」というのは，つぎのようなばあいにつかわれるもののことである。[注2)]

○恭吾は，煙草を取り出して，火を点じようと立ち止ってみた。（帰郷）

○制服や，私服が，群集を突き飛ばしながら，犯人を押へようと跳び廻った。（徳永直「太陽のない街」）

○葉子はそれを気取られまいと，強ひて左の手を軽くあげて髪の毛をかき上げながら洋盃を事務長のと打ち合せたが（有島武郎「或る女」）

これらは，「と」に「とおもって」の意味をになわせることはむりであるし，もし，そのようにかんがえて「しよう」の部分を意志形とすると，人称性がくずれてしまう。なぜなら，これは，「彼女はわたしにくれようとてぶくろをあんでいる」のばあい，意志形に固有の一人称という性質をうしなっているからである。

幼児は，第一同時形および目的形をよくつかっている。第二同時形は1例しかなかった。

第三同時形は文章語なので，今回の幼児の資料にでなかったのは当然である。めざし形も文章語であるが，年長と年少にそれぞれ1例ずつあった。しかし，その2例はいずれも不完全であった。この2例は，いずれも，おはなしをするときにでてきたものである。おそらく，聞かされた

注1)　鈴木重幸1972

注2)　このことは高橋太郎1970で論じた。

おはなしのなかでつかわれていたのであろう。しかし，こども自身は，この形式をまだ所有しておらず，そのために，おはなしの再現のさいに不完全なすがたであらわれたのだろうとかんがえられる。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
第一同時形 同時にする動作	○アソビナガラ　ミチャウノ。(赤－a男5－11) ○ソレ　ミナガラ　オヒルネシテタノ。(赤－e男5－10)	○ソーット　ノゾイテ　ナキナガラ　ミテタンデスッテ(赤－p女5－2) ○ヨソミシナガラ　ノボッテッタノ。(赤－b男5－6) ○「コレデ　コレデ　オ　オレサマハ　オレサマハ　モリジュウデ　イチバン　リッパナ　トラジャワイ」テ　ユイナガラ　ウントネ　モリ　モリン　ナカニ　ニゲテ　イッタンダッテ。(神－松女4－8)	○ウサギガ　カメノ　ニゲルウシロニ　イナガラネ　(不明)ネ　キッテルノ。[注)　意味がよく通じない。](神－折女4－3)
動作のしかた	○ウサギハ　ピョンピョンハネナガラ　ピョンピョンサキニ　イッテマス。(赤－s男6－6) ○オカアチャンモ　オドリヤッテンノ。　オドリ　ヤリガーナガラ　オシバイ　ヤッテンノ。(自－g男5－8)	○ウサギガネ　ピョンピョンハネ　ハネナガラネ　ニゲタノ。(神－規男4－6)	
第二同時形	○クマハネ　ウートネ　アタマ　カキカキ　ミエナクシタノ。(赤－d男6－4)		
目的形	○ドコニ　イッタカ　サガシニ　イッタラネ(自－e女6－1)	○ソレ　カイニ　イクノ。(赤－q女5－2) ○「オヨメニ　クダサイ，オヨメニ　クダサイ」ト　タノミニ　キマシタ。(神－桑女4－10)	○ボク　ヘビ　ミニ　イッタノ。(赤－k男4－4)
	○エートネ　ミセテ　クレニキタノ。(自－t男6－2)		○ソシテ　ナンカガ　タスケニ　キタノ。(赤－e男4－1)
(問題例)	○アノネ　ドッカニ　オデカケシニ　イッタノ。(赤－H女5－8)		○アト　ハチヲ　ワタリニイキマチタ。(神－古男4－5)

めざし形 （問題例）	○ウントネ　マズネ　カケッコシヨウトネ　ハシッテルトコ。（赤－Q男6－4）	○ヤマニ　ウッロウト…… （神－高男4－4）

6.2　副詞形の用法

同時形は，同時にする動作をあらわす用法のほかに，つぎにのべる動作や状態にふさわしくないうごきや状態をあらわす用法がある。[注1)]

○うそとは　しりながら，つい　信じて　しまった。

○すぐ　かえりますと　いいながら，いっこうに　かえろうと　しない。

このばあいには，うちけしもある。

○およげないながらも　けんめいに　手足を　うごかした。

今回の幼児の使用例のなかには，このような用法はなかった。

また，同時にする動作をあらわす用法には，わきの動作のばあいと，動作のしかたのばあいとがある。これは，どちらも，あらわれた。

注1）　例文は鈴木重幸1972から借用した。

第7章　条件形

7.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した条件形は，つぎのとおりである

機能	幼児の使用例 / みとめかた / ていねいさ	ふつう みとめ	年年年長中少	ふつう うちけし	年年年長中少	ていねい みとめ	年年年長中少	ていねい うちけし	年年年長中少
条件形	するなら	よむなら	△△	よまないなら		よみますなら		よみませんなら	
	したなら	よんだなら		よまなかったなら		よみましたなら		よみませんでしたなら	
	したら	よんだら	○○○	よまなかったら	○○○	よみましたら	○	よみませんでしたら	
		よんだらば	○						
	すると	よむと	○○○	よまないと	○○○	よみますと		よみませんと	
	すれば（すりゃ）	よめば（よみゃ）	○○○	よまなければ（よまなきゃ）	○○○	（よみますれば）			
	しては（しちゃ）	よんでは（よんじゃ）	△△△	よまなくては（よまなくちゃ）	○○	よみましては		よみませんでしては	

「するなら」は，年長，年中とも問題例であり，また，「しちゃ」のみとめは，いずれも陳述的な用法（「よんじゃいけない」など）なので，そのうちけしをのぞけば，「したら」「すると」「すれば」に集中する。

ていねい動詞は一例で，「ツバメヲ　トリニ　イキマシタラ」という，かぐやひめのおはなしの復唱である。だから，ていねい体も，ほとんどつかわれていないことになる。　このことは幼児の文体としては当然だろう。

なお，このほか，すぐあとにあげたような，「したとおもったら」「したとおもうと」などのくみたて条件形（いずれも年長のみ）があった。また，「よむとすると」（年中），「よんだとしたら」（年長）の例は，くみたて動詞のところにあげてある。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よむなら （問題例）	○「オトモニ　イクナラネ　アノネ　キビダンゴヲ　ヒトツクダサイ」「オトモニ　イクナラーナンテ　イウノカナー」 ○「オトモニ　ナルナラ　アノネ　ヤッツケルカ」（以上2例，自－p女6－1）	○アタシヲ　ダマスナラネ　カケッコヲ　シマショウ。（赤－i男4－8）	

注1）　条件やゆずりが機能なのかムードなのか，それとも機能－ムードなのかは，いまのところ，まだ研究がすすんでいない。

よんだら			
みとめの動詞	○オミズ カケタラネ チャント ナッタノ。（赤－z男6－5）	○フタ アケタラネ オバケガ デテ キタ オハナチ。（赤－g女4－8）	○コエサ キクノ オワッタラ ミズ ノミタク ナッチャッタ。（赤－d男4－2）
	○ゲンカン シメナイデ イッタラ ドロボウガ ハイルカラ。（赤－o男6－2）	○ハヤク オキタラ ホンヨムノ。（小－横男4－4）	○ダッテサ ホウレンソウタベタラ ツヨイノヨ。（赤－q男4－1）
		○カゴデ イキマシタラ ツナガ キレテ イソノマロハシンデ シマイマシタ。（神－桑女4－10）	
うちけしの動詞		○オムカエ コナカッタラネアソンデンノ。（神－伊男4－1）	○ソシタラネ ミズ カケナカッタラ オレナカッタノ。（自－b女3－10）
（問題例）	○ソレデネ ウント ダレニモアワナカッタラネ ソイモ ダレニモ アワナカッタカラネ ソイデ シンデレラヒメニネ ハカシテ ミタラアッタノネ。（赤－B女5－8）		
よんだらば		○アシタニ ナッタラバネサイタノ。（神－増女4－11）	
よ む と			
みとめの動詞	○スピード ダスト オマワリサンニ オコラレチャウカラ。（赤－g男5－10）	○イッパイ シマウマガ アツマルト ダイオンガ ヤラレルノ。（自－c男4－7）	○ヨルン ナルト ホタルガクルンダモン。（神－宮男3－8）
	○ソイデ イクト マガッテマガル トコ アッテネ（赤－Q男6－4）	○ソイデ オテンキニ ナルトネ ハナガ サイタノ。（自－t男5－3）	○ドウシテ コウ ナッタカッ チュウトネ コウ マッスグ ナッテタノガネ カレチャッテ コンナ ナッチャッタノ。（神－三男4－0）
うちけしの動詞	○アサニ ナンナイト ツカナイノ。（自－a男5－8）	○ゴニンキョウダイネ シラナイト ドッチガ オニイサンカ ワカラナイノ。（神－宮男5－0）	○ゴハン タベナイト シンジャウノ？（小－佐男4－3）
	○ショウチャンガ イナイトコワイノ。（自－q女6－1）	○ドンナ コトカ ワカンナイ，テレビガ キカナイト。（小－成男4－3）	○アノネ ミズ イレテネ オハナニ アゲナイトネ カレチャウノ。（赤－b男4－0）
よめば・よみゃ			
みとめの動詞	○コッチニ マガレバ オウチニ ツクノ。（自－e女5－7）	○コッチニネ イケバ ボクノ ウチ。（小－篠男5－1）	○チョット マテバ ニバンニバンヤギノ ガラガラドンガ クルヨ。（神－高男4－－4）
	○オトナニ ナレバ コワクナイヨ。（自－s男5－9）	○マールイサー ツミキ アレバ デキンダケドネ（小－海男4－3）	○ヨベバネ ネ ネ コタエンノー。（神－古男4－5）

	○エヲ　ミリャ　ワカル。（赤－G男６－１）		
うちけしの動詞	○ウタナンカサ　ウタ　コエダサナキャ　ダメナンダモン。（自－b男５－９）	○カゾエテ　ミナキャ　ワカンナイ。（神－増女４－11）	○ダッテ　カエラナキャ（小－藤女３－10） ○ワタラナケレバ　ワタ　ナンダッケ（神－高男４－４）
よんでは・よんじゃ みとめの動詞	○ジドウシャ　コワレチャダメダモン。（赤－D男５－11）	○アンソジャ［きりかえ］アソバナクッチャネ。（神－伊男４－１）	
うちけしの動詞		○アソバナクチャネ　コドモタチトネ「アソブ　アソブ」ッテ　イウカラ。（神－伊男４－１）	○オミズ　アゲナクッチャカワイチャウノ。（赤－m男４－１）
したとすると・したとしたら	｝くみたて動詞へ		
したとおもったら	○「オジサン　ノボロウネ」ユッタト　オモッタラ　イチバンタカイ　トコロ　イッテネ「キョウコ！　キョウコ！」ッテヨンデルネ（赤－E女5－8）		
したとおもうと	○ナンダカ　ヘンニ　ヘーンニ　タ　ヘンニ　サムークナッタト　オモウト　タイフウガ　キテネ　モモチャンハドッカヘ　トンデ　イッチャッタノ。（自－o女６－１） ○イイ　ニオイガ　シタトオモウトネ　アイスクリームガ　キテネ。（自－o女６－１）		

7.2 「するなら」のかたち

「するなら」の形は，年長児，年中児それぞれ１名に使用されているが，いずれも適切な使用法ということはできない。これは「なら」をつかう仮定条件のむずかしさをものがたっているのだろう。

しかし，このことから，ただちに，この年代の幼児は仮定のいいかたができないという結論をくだすことはできない。なぜなら，「よむとすると」「よんだとしたら」のような形式をつかっている子どももいるからである。　ただ，これが問題であることはわかる。　あらためて，　このあたりの問題を検討するための方法がとられるべきだろう。

7.3 「したら」のかたち

7.31 「したら」のかたちの用法

「したら」のかたちは，過去の個別的な条件（「すると」と共通），未来の個別的な条件（「すれば」と共通），一般的な条件（「すると」「すれば」と共通）のいずれのばあいにもつかわれる。

条件の性質としては，原因（または，きっかけ）となる条件，前提となる条件，発見・観察の条件などがある。たとえば，

○フーッテ　フイタラ，コワレチャッタ

では，フクことは，コワレル原因となる条件であり，

○カケッコシタラ，ビリトウニ　ナッチャッテ

では，カケッコスルことは，ビリトウニナル前提となる条件であり，

○チョット　ミタラ　ネズミガ　イタノ。

では，ミルことは，ネズミガイルことを発見する条件になっている。（ネズミは，みなくてもいるのである。）

また，

○ヨルン　ナッタラ　ゴハン　タベニ　イッタノ。

○モンカラ　デタラ　リッパナ　オシロガ　アッテネ

などでは，単に「夜に」「門のそとに」というのとあまりちがわないほどの，時間・空間をあらわす形式と化している。

「したら」のかたちは，このように，ひろい領域にその用法のはばをひろげている。そして，幼児もまた，その広い領域にわたって，このかたちをつかっている。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
過去の個別的な条　件			
原因となる条件	○オオカミガ　キテネ　ソイデネ　アノー　フーッテ　フイタラネ　コワレチャッタノ。（赤－J女5－8） ○マタ　カレチャッタカラ，ウー　ミズ　モッテ　キテヤッタラ　ダンダン　キレイニ　ナッタノ。（赤－s女5－8） ○オバケノキュウガネ　イヌガ　キライデネ　ウントネ　ワンワンテ　イヌガ　ホエタラ「アラ　コワイー」ッテ　ニゲチャッタノ。（自－w女6－5）	○モモヲ　モッテ　イッテネ……タベヨウッテ　イッテネ　ワ　ワッタラ　カワイイアカチャンガ　デテ　キタカラ。（神－関女5－0） ○ジドウシャガネ　キテネ……ナラシタラネ　「キャー」ッテ　オドロイチャッタ。（赤－r女4－10） ○カレテネ，オヒサマガネ　アタッタラ　チャントネ　モトノ　トオリニ　ナッテ　シマイマシタ。（神－大女4－6）	○オミズ　カケタラネ　コンナニ　タッタンダヨ。（赤－a女3－10） ○ウルトラマンネー　コウヤッテ　ヤッタラネ　バンバンバンテ　カイジュウガ　ワレチャッタノ。（自－h男3－5） ○ザラザラーテ　ヤタラ　コウイウニ　トベチャタヨ。（自－d男3－10）
前提条件	○ライオンヲネ　イッパイアツメテ　カケッコシタラ	○ドッチガ　ハヤイカ　ヤッタラネ　コノヤママデ，カメ	○アレ　フタツ　トロウト　オモッタラ　トレナカッタノ。

	ライオンハネ イチバン ビリトウ ナッチャッテ ソシテ タロウクント ミンナデ カケダシタラ タロウクンガ イットウ ナッテネ(赤—h女6－6)	ガ ノロイカラネ ノロノロイッテネ ウサギノ ホウガ ピョンピョン カケダシテネ ウサギガ ネチャッタノ。ソレデ カメガ……(赤－n男5－2)	(小－神女4－1) ○イヌガ ソイデネ ウントトンデネ トンダラネ ダメダッタカラネ(小－佐男4－3)
時間・場面	○スコシ タッタラネ イヌガ デテキテ「モモタロウサン……(自－p女6－1) ○ツギノ アサ オキタラネンートネ カキガ ナッテタノ。(自－r女5－8) ○ソイデ ヨンジュウエン タメタト オモッタラ マタニジュウエンニ ナッチャウンダモノ。(自－l男5－7) ○オンナノコハ ヤット ナオッタラ コンド ボウヤガ ビョウインニ ニュウインスル ヨウニ ナッテネ(赤－h女6－6)	○ヨルン ナッタラネ ウント ドッカニネ イッテ ゴハン タベニ イッタノ。(神－関女5－0) ○ミズヲ カケヨウト オモッタラ オレチャッタノ。(小－志男4－2) ○アケヨウト シタラ ヒトリデニ アケテ ナカカラ エイチャイ アカチャンノ コドモガ エートネ ニンゲンガ デテ キタノ。(小－久女4－7)	○ボク コエ コエサ キクノ オワッタラ ミズ ノミタク ナッチャッタ。(赤－d男4－2) ○オハナニ オ オ オミズカケヨウト オモッタラ タオレチャッタノ。(神－狗女4－3)
場所(場所－時間的なものあり)	○ソノ モンカラ デタラネ リッパナ ウーント オシロガ アッテネ。(赤－I女5－8) ○ソウシ スコシ イッタラネ タクサン ココニ シマウマガ イタカラ。(自－A女6－5) ○エントツノ トコロニ イッタラネ モウ イナカッタノ。(赤－c男6－3) ○カワ イッタラネ モモガ ナガレテ キタノ。(自－o男6－3)	○ソイデネ イッタラネ ウントネ オメン メン オメン コウネ ウッテタカラ カッタノ。(自－j女4－7) ○「アソコニ オカシノ オウチガ アルヨ」ッテ ユッテネ イッ ナキヤンデ イッタラネ マホウツカイガ イタノ。(自－h女4－7) ○カメガ ソーット イッタラネ ウサギガ ネテタノ。(赤－k女5－3)	○ソシテネ ナカニ ハイッタラネ ウン ゴジラ エートネ ドウブチュガ イタ。(神－高男4－4) ○トオイトネ オナ トーヤマヲネ イッタラネ イトネ プールニ トネ トアリタコウジ チュートネガーガ イタノ。(赤－v女4－0)
観察・発見条件	○チョット ミタラ ネズミガ イタノ。(自－h男5－7) ○センシャガ ナクナッタカラネ ンー サガシタラ アッタカラネ(自－a男5－11) ○アサニ ナッテ キガ ツイタラ ゾウサンナドネ ントライオンナドネ イナク ナッタノ。(自－o女6－1)	○オソトニ デテネ イソイデ ミタラネ コウツウジコダッタノ。(小－押女5－1) ○ユウエンチ イッテ ジェットコスター ノッタラネ ハヤカッタノ。(神－規男4－6) ○ダレダト オモッタラ ママラッタノ。(自－s男4－10)	○〔ちびくろさんぼが〕ソーットネ メデネ ミタラネ オレダヨ オレダヨッテネ ケンカチテテネ。(神－秋男3－11)
未来の個別的な条件			
原因となる条件	○タイジシタラ イチバン イチオクエンヲ アゲヨウ。	○コンナニ オオキク ナッテ アカーク ナッタラ タ	○ヨンダラ オシマイダヨ。(小－福男4－2)

	(赤－m女６－３) ○ナクナッタラ　モライニイッテ　クンノ。(赤－w男６－３) ○カメガ　ココニ　キタライコウト　オモッテ　ネテタラ(赤－j女６－６) ○ミツカッタラ　ゴメンヨ。(赤－k女５－８)	ベル。」(神－桑女４－10)	
場　所	○バッタ　コンドネ　トシミツクンニ　ツカマエテ　モラウノ，イナカ　イッタラ。(自－a男５－８)		
時　間	○マタ　アシタニ　ナッタラソコン　トコ　ミテ　オクノ。(自－s男５－９) ○オオキク　ナッタラネ　オカアサン　ナリタイ。(赤－I女５－８)	○ライネン　ナッタラネー　オウサマグミデショ。(自－g女５－０) ○オハナシ　オワッタラ　ヒコ　アノ　ヒコウキ　モッテッテ　イイ？(小－永男４－４) ○モスコシ　オッキク　ナッタラサ　アノサ　オコヅカイタメルンダ。(自－f女４－９)	○オオキク　ナッタラ　ガッコウニ　イキタイ。(神－寺男４－４)
一般的な条件 原因となる条件	○エネウルギーガネ　ナクナッタラ　バターント　タオレチャウノ。(自－e女５－７) ○ネムクナッタラ　ネテ，ソイデ　オカアサンガ　カエッテ　キタラネ　イツモ　オフロ　イクノ。(自－i男６－４) ○ダッテサ　ゴハン　タベタラ，カスガ　クチノ　ナカニノコルデショ。(赤－G男６－１)	○シトリデ　ワタッタラ　デンシャニ　ヒカレチャウモン。(神－渡男４－６) ○ワルイ　モノガ　キタラスグニ　ヤク　ヤツケル。(自－h女４－７) ○ゴニンニ　ナッタラ　モウ　ハイレナイノ。(自－u女５－５) ○ホウレンソウ　タベタラネアノネ　オオオトコニ　マケナク　ナッチャウノ。(神－村男４－３)	○ホウレンソウ　タベタラツヨイノヨ。(赤－q男４－１) ○エネルギー　ナクナッタラキエルノ。(自－a男４－０) ○ヒトリデ　イッタラネ　マイゴニ　ナッチャウカラ　ダメ。(神－佐女３－７) ○クルマガ　トマッタラ　ワタルノ。(神－鈴男３－６)
時　間	○ユウガタニ　ナッタラ　マンガ　ミテネ(自－h男５－７) ○ソイデネ　キュウチャン　オワッタラネ　ダイカイジュウ・ラドンガ　ハジマル。(自－E男５－７) ○オヒルネシタラネ　オフロヲ　ニ　ハイッテネ(自－b男６－０) ○カイッタラ　ドッカ　アソビニ　イク。(自－u女６－５)	○マイニチ　オキタラ　ロバクン　ミンノ。(神－増女４－11) ○ヨウチエン　キタラ「オハヨウゴザイマス」ッテ　イウ。(小－山女４－５) ○ソレヲ　オワッタラネ　ユウエンチ　イクノ。(赤－g女４－８)	○ヨルニ　ナッタラ　マンガミルノ。(赤－q男４－１) ○アタックナンバーワンハネー　サザエサンガ　オワッタラネ　ヤルノ。(赤－a女３－10) ○コノ　オハナシネ　シタラマタネ　ベツノ　コノネ　シンノ。(神－佐女３－７)

場　所	○ズット　イッタラ　ウントデグチガ　アルジャナイ。(自－c男6－3) ○オンナノコノ　トコマデ　イッタラネ　ハナタバ　アゲル　コトニ　シタンダッテ。(自－d女5－11)	○ソコヲ　トオッタラ　ミエテ　イク　クルノ。(赤－a男4－11) ○ミギヘ　マガル　トコ　ハイッテ　イッタラ　ソシ　ソコガネ　ボクンチ。(小－横男4－4)	○マタ　マガッタラ　ツクノ。(赤－q男4－1)

7.32　「したら」のかたちの問題例

条件形で過去の個別的な条件をあらわすとき，主文の述語が一人称（または，主人公）の意志的または心理的な動作をあらわすことができない。　条件形で過去の個別的な条件をあらわすときは，はなしては観察者のたちばになければならないのである。もし，そうでないときは，「そういうときは，いつもこうした」という，過去の一般的な条件をあらわすことになってしまう。このようなばあいには，「ので」「から」のような接続助詞をつかうかたちにしなければならない。

ところが，幼児の使用例のなかには，そのばあいに，「したら」のかたちをつかっているものがあった。

条件形で過去の個別的な条件をあらわすとき，それが，同一主体の連続的な動作をあらわすのであれば，「したら」でなく，「すると」になる。

ところが，幼児の使用例のなかには，このばあいに，「したら」のかたちをつかうものがあった。

そのほか，条件形よりゆずり形をつかうほうがよいとおもわれるものもあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ゆずり形のほうがよい			○カゼデ　アタッテ　コワレナイ　オウチ　ツクッテンノ。コワレナイ　オウチ　ツクッテネ，ソイデ　フーッテ　ヤッタラネ　コワレナイ　オウチ　ツクッテンノ。(小－矢女4－0)
過去の個別的な条件			
主文の述語が意志的な動作			
一人称	○ソレデネ　アメガ　ハレタラ　オモテデ　アソンダノ。(自－t女6－4)		
一人称に準じる	○ハナシ　チャント　キイタラネ　ユルシテヤッテネ(赤－s男6－6) ○シマウマガ　タクサン　イ		

	タラ　ライオンハ　ビックリシチャッタノ。(赤－K男5－11)	
同一主体の連続動作	○オトウサンハ　ウン　アサハヤク　オキタラ　カイシャイッテ，ヨルニ　カエッテクルノ。(自－i男6－4) ○ウシャギガ　オキタラ　コンドハ　カケテ　イッタノ。(自－i男6－4)	○ウサギガ　オキタラ　ピョンピョンネ　ン　ヤマン　テッペンマデ　イッタノ。(赤－s男5－6) ○オイシャサン　イッテ　ナオシテ　モラッテ　ゲンキニナッタラ　ソイデ　マタ　アルイテタラ(小－山中女5－0)

7.4　「すると」のかたち

「すると」のかたちは，一般的な条件と，過去の個別的な条件をあらわす用法がある。このかたちの未来の個別的な用法は，時間や空間をあらわすばあいにかぎられていて，そのばあいでも，述語は意志や命令をあらわすことができない。

幼児は，これらの用法を，まちがえることなくつかっていた。「したら」の形にあやまりがあって，こちらになかったのは，おそらく，「したら」のほうがつかいやすくて，あいまいなものは「したら」でいってしまうからだろう。

「いう」「する」など特定の動詞には特別の用法がある。

「いうと」は提題的な用法をもっている。

「スルト」について，すこしのべておく。「ココガ　ヨウチエント　スルト　コウイウ　フウニキテネ」という例を「仮定」として，かりにここにあげておいたけれども，この「スルト」は，ここにあげた「するとのかたち」ではない。なぜなら，この「スルト」はふつうの動詞ではなく，名詞のト格とくみあわさったくみたて動詞であるからである。あとで説明する。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
一般的な条件 原　因	○ボタンヲ　オスト　ミンナウゴク。(赤－a男5－9) ○アンマリ　チカクデ　ミルト　メガ　ワルク　ナッチャウカラ　トオクデ　ミルノ。(赤－l男6－3) ○ミンナガ　ワァーッテ　ヒッパルトサ　ウーント　イチバン　マエガ　コロブデショ。(赤－t男6－0)	○マイニチ　マイニチ　オミズ　ヤルト　サクノ。(自－d女4－11) ○ダイオンガ　オコルト　シマウマ　ニゲンノ。(自－c男4－7) ○シートネ　ワルイ　コト　スルト　ヒッパタクノ。(自－t男5－3)	○ミズ　アゲルトネ　マタネネ　マッチュグニ　ナンノ。(神－古男4－5) ○オコルトネ　ママハネ　キイテ　クレナイノ。(赤－p男3－7) ○ダッテ　アメ　フルト　コマルカラ(自－d男3－10)

時　間	○イツモ　イツモ　ヨルニ　ナルト　アノ　オクスリ　ヌルノ。(自－p女6－1) ○サヨナラ　スルト　モウスグデ　オウチ　ツクノ。(赤－A女6－1)	○ヨルン　ナルトネ　カエルノ。(小－山中女5－0) ○アサニ　ナルトネ　ウントネ　オハナガ　ピント　ナンノ。(自－a男4－9)	○ヨルン　ナルト　ホタルガクルンダモン。(神－宮男3－8)
場　所	○アソコ　マッスグ　イクトアノ　クロイ　ヘイ　ミタイノ　タッテルデショ(自－a男5－11) ○シタハ　ミエナイケドネモット　ウエニ　イクトネト　ミエンノ。(自－v男5－7)	○コッチ　ハイルト　ヨウチエン。(自－p男4－7) ○コッチカタニ　マガルトスグ　スグノ　ウチ。(自－g女5－0)	○ココ　ココノネ　デルトコウイウ　コ　アソコニ　ココッチニ　コウエンガ　アルデショ。(神－三男4－0)
観察・発見の条件	○ソバニ　オオキナ　ヤマガアッテネ　シタカラ　ミルトネ　ノボレソウナ　カンジデノボロウト　スルト　ノボレナイノ。(赤－u男6－5) ○ソラカラ　ミルトネ　マアルクテテネ　オリルトネ　ウートネ　コウ　イー　タイラナノ。(自－1男5－7)	○ミルト　オモシロイカラ。(小－大男4－6)	
仮　定	○ココガ　ヨウチエント　スルト　コウイウ　フウニ　キテネ　ソレカラ　コウイウフウニ　キテ(赤－c男5－10)		
過去の個別的な条件			
原　因	○テキヲ　オイカケルト　テキガ　スグ　ニゲチャッタノ。(赤－f男6－3) ○オミズ　カケテ　アッタカイ　トコニネ　ヤルトネ　ピント　ナッタ。(自－a男5－8)	○タイヨウニ　アタルト　コレガネ　ダンダン　コウ　ナッテ　キタノ。(神－宮男5－0)	○チョレデ　トロロン　トコニ　トビカカルト……トロロガ　タニガワニ　オッコッオッコトッテ　イキマシタ。(神－古男4－5)
時　間	○ナツヤスミノ　オワリコロニ，ナルト　カエッテ　キタノ。(赤－c女6－1) ○イイ　ニオイガ　シタトオモウト　ネ　ント　アイスクリムガ　キテネ(自－o女6－1)		
場　所		○スコシ　イクト　マタネベツノ　トラガ　デテ　キタノ。(神－松女4－8)	○ウント　ワタッテ　イクトネ　ウンネ　タニガワン　トコニネ　ウンネ　ハチガ　ア

			ッタノ。(神一古男4—5)
観察・発見の条件		○ソレヲ キルト ゴジュッセンチノ アカチャンガ ハイッテ イマシタ。(神一桑女4—10)	
同一主体の連続的な動作	○ノリ コウ ヤッテ カミニ ツケテ ペターントネ ハコニ クッツケルトネ ソノ ママ カワカシトイテネ ヨウチエン モッテッタノ。(赤一k女5—8)		
未来の個別的な条件			○モウ チュグ スルト イチバン オオキイ ヤギガ クル。(神一坂女4—0)
提題的な用法	○ナニ シテッテ イウトネ ヤキュウ。(赤一e男5—10)	○ドシテッテ イウトネ ナンデモ デキルカラ。(赤一r女4—10) ○ドッチガ ハヤイカト イウト サキ カメガ サキニ イチバン ナッチャッタ。(赤一e女4—9) ○ドウシテ オヤスミシタカッテ イウトネー オカアサンガ……(赤一q女5—2)	

7.5 「すれば」のかたち

「すれば」のかたちには，一般的な条件と，未来の個別的な条件をあらわす用法がある。また，「いえば」には，提題的な用法がある。

幼児の使用例はすくなかったけれども，それでも，こうした，いろいろな用法の全般にまたがって使用例がみられた。

「すれば」のかたちには，過去の個別的な条件をあらわす用法はない。過去につかえば，過去の一般的な条件となる。

ところが，過去の個別条件をあらわすのに，これをつかったものがあった。

種類	年長児	年中児	年少児
一般的な条件 原因	○ミズ アゲレバ ウント ノビテ クンノ。(自一r女5—7) ○コウ ヤッテ トレバ オ	○ボクガ「ハイチャイ」ッテ イエバ ストムモ 「ハイチャイ」ッテ。(自一s男4—10) ○ダッテ ツミキデ ツクレ	○ヨベバ コタエンノ。(神一古男4—5)

	サラノ　カタチヤ　ナンカニナルノ。(自－v女5－10) ○ムズカシイ　コトデモ　ベンキョウスレバ　オボエラレルカラ。(赤－J女5－8)	バサ　アルケドサ　(小－海男4－3)	
場　所	○コッチニ　マガレバ　オウチニ　ツクノ。(自－e女5－7) ○ソコヲ　マガレバ　コウエンガ　アルカラネ，(赤－x女5－7)	○コッチニ　イケバ　ボクノウチ。(小－篠男5－1) ○ソウ　イケバ　スグナノ。(赤－o女5－1)	○カズオチャンノ　ホウカラネ　ズーット　イケバネ　アル。(神－寺男4－4)
未来の個別的な条件	○オトナニ　ナレバ　コワクナイヨ。(自－s男5－9)		○チョット　マテバ　ニバンニバンヤ　ヤギノ　ガラガラドンガ　クルヨ。(神－高男4－4)
提題的な用法	○アア　ソウイエバサー　オオモリノ　オバアチャンチカラーダヨ。(赤－a女3－10)		
過去の個別的な条件 あやまり			○チョット　マテバ　オオキイ　ヤギノ　ガラガラドンガヤッテ　キマシタ。(神－場男3－10)

7.6 「よんだとおもったら」と「よんだとしたら」

これらは，どちらもくみたて形式で，ふつうの二語のくみあわせでない。なぜなら，これらにつかわれている「おもったら」や「したら」がふつうの動詞から変質しているからである。「おもったら」「したら」は主語をとらない。これは，これらの動詞が変質していることの証拠のひとつである。

「よんだとおもったら」「よんだとおもうと」(文語のばあいには「よむとおもえば」も)は，「よんだ瞬間に」にちかい意味をもっていて，「おもう」が*think*の意味からずれている。そして条件形しかない。したがって，この形式は,条件形の変種であり，くみたて条件形といえるだろう。

なお，ときに名詞がつかわれることがある。

○ここことおもえば，またあちら。つばめのようなはやわざで（牛若丸）

「よんだとしたら」は仮定をあらわす形式である。しかし，これは，「よんだとおもったら」とちがって，「よんだとしても」「よんだとする」「よんだとせよ」など，いろんな語形をもっている。したがって，これは，仮定をあらわすくみたて動詞である。(くみたて形ではない。)

これと同類のくみたて動詞として「よむとする」「たかいとする」「山だとする」「山とする」などがある。さきにあげた「ココガ　ヨウチエントスルト」は，このくみたて動詞として仮定を

あらわすのであって，「スルトの形」であるから仮定ををあらわすのではない。

7.7 幼児と動詞の条件形

この年代の幼児は，条件形の主要な三形式である「したら」「すると」「すれば」のいろいろな用法を，その全般にわたって，使用することができる。

しかし，そのこまかなつかいわけに関しては，ときにあやまるものがある。

また，「するなら」「したなら」のかたちは，むずかしいようで，この2形を適切に使用した例はなかった。「したなら」はあらわれなかったし，「するなら」は，問題のあるつかいかたであらわれた。

この年代の幼児は，条件形の基本的な用法を所有し，それをゆたかにしていく過程にあるものとおもわれる。

第8章　ゆずり形

8.1　幼児の使用した語形

幼児の使用したゆずり形はつぎのとおりである。

機能	ていねいさ / みとめかた / 幼児の使用例	ふつう				ていねい			
		みとめ		うちけし		みとめ		うちけし	
			年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少
ゆずり形	しても	よんでも	○○○	よまなくても	○	よみましても		よみませんでしても	
	したって	よんだって	○○○	よまなくたって	○	(よみましたって)		(よみませんでしたって)	
	しようと(・が)	よもうと(・が)	○	(よむまいと・が)		よみましょうと(・が)		よみますまいと(・が)	

「しようと」は，おはなしのなかで一つでてくるだけで，「おまえがどこへいこうと，かってだけど」のような例はなかった。これは，幼児には，むずかしいようである。ていねい体は，おとなの会話でも特別にあらたまったときにしかつかわれないので，これが幼児の使用例にでなかったのは当然であろう。

種類	年児長	年中児	年少児
よんでも			
みとめの動詞	○トウキョウタワー　イチバン　ウエカラ　ミテモ　イチバン　シタカラ　ミテモ　イチバン　シタハ　ミエナイケドネ　モット　ウエニ　イクトネ　ト　ミエンノ。(自－v男5－7) ○デ　ミズ　アゲテモ　タタナカッタノネ。(赤－E女5－8)	○コレハ　コンクリートダカラネ　デンシャガ　ハシッテモネ　オッコチナイノ。(神－村男4－3) ○ダッテ　ウチハ　アッチ　イッテモ　アッチ　イッテモカエレルモン。(小－海男4－3)	○ダカラ　チラカシテモ　ダイジョウブナンダヨ。(神－三男4－0) ○トラックガ　キテモ　ミチバタデ　アソンデタカラ。(赤－1男4－3)
うちけしの動詞	○アタシ　オカアサン　ムカエニ　コナクッテモ　ヒトリデ　カエレルヨ。(赤－E女5－8)		
よんだって			
みとめの動詞	○チョキンシタッテ　ミンナナクナッチャウンダモン。(自－1男5－7) ○ツマンナイモン　ドコ　イッタッテ。(赤－1男6－3)	○ンート　ブッタッテ　ンート　オコラエナイヨ。(自－t男5－3) ○ドウシテ　オミズ　カケタッテ　タタナイノ？(小－樋男4－3)	○コロンダッテ　ナカナイヨ。(神－高男4－4) ○ドッチ　マガッタッテ　ウント　アルノ。(神－場男3－10)

うちけしの動詞	○オフロ ハインナクタッテアツインダモノ。(赤－w男6－3) ○テレビ ミタラサ ナニモ ジブンガ コエ カケナクタッテサ テレビガサ コエ カケテ オハナシシテクレンモーン。(自－b男5－9)		
しようと	○レンガノ オウチヲ フート フコウトモ ビクトモシナインダッテ。(赤－J女5－8)		

8.2 ゆずり形の用法

ゆずり形も，条件形と同様，一般的な条件，過去の個別的な条件，未来の個別的な条件などの用法をもっており，また「いっても」「いったって」などは提題的につかわれる。

こうした用法のだいたい全般にわたって，その使用例がみられた。

種類	年長児	年中児	年少児
よんでも			
一般的な条件	○イタズラシテモ オコラナイカラ。(自－n女6－1)	○ソイデ ガケカラ オッコチテモ シマナイノ。(小－大男4－6)	○ダカラ チラカシテモ ダイジョウブナンダヨ。(神－三男4－0)
原因	○コウフウニ カレチャウトモウ ミズ ヤッテモ モウドウニモ ナラナイヨ。(赤－a男5－11)	○リンゴ タベヨウト チテモネ タベランナイノ。(小－成男4－3)	
	○ウルトラマンガネ ヤッツケテモ ヤッツケテモネ ヤッツケランナイノ カイジュウイルヨ。(自－k男5－8)	○アタマ ブッツケテモ イタク ナイ トコ アルヨ。(小－川男4－10)	
		○テツジンガ イクラ ナグッテモ ヘイキダッテ イウデショ。(赤－t男5－1)	
時間	○アタシネ ハチジ スギテモミル。 ヒヒヒ… (自－g女5－11)		
場所	○センタクヤサンノ トコマガッテモ マッスグデモイカレンノ。(自－v男5－7)	○アッチ イッテモ カエレルシネ アッチ イッテモカエレル。(小－海男4－3)	○ウミニ イッテモネ アノネ ヤマガ アンノ。(赤－b男4－0)
過去の個別的な条件	○ピョンピョン カケテモウサギハ マケチャッタノ。(赤－h女6－6)	○ブー ナラシテモネ デテコナイカラ (赤－l男4－8)	○ジドウシャニ タノンデモダメダッタノ。(小－佐男4－3)

未来の個別的な条件	○ケイサツガ キテモ ワカンナク ナッチャッタンダヨ。(赤－c男5—10) ○ドーレ アノヤツハ ノロイカラ ユウガタマデ カカッテモ コナイダロウ。(赤－s男6—6)	○ガオガオッテ ヤッテモネトベナク ナッチャッタノ。(赤－t男5－1)	○アノ アサン ナッテモマダ オキナイノ。(神－三男4－0)
よんだって 一般的な条件	○ツマンナイモン ドッカイッタッテ。(赤－l男6—3) ○ヒキダシ アルケド ソンナカ イレタッテ スーグナクナッチャウ。(自－l男5—7)	○ントネ ブッタッテ ントオコラエナイヨ。(自－t男5－3)	○コロンダッテ ナカナイヨ。(神－高男4—4) ○ドッチノ ミチ イッタッテ ボクノネー アル アルノ。(神－場男3—10)
過去の個別的な条件		○ショイデネ カイダンニイッタッテモ ドコヲ サガシタッテモ ナイカラネ(自－j女4—7)	
提題的な用法	○ウーン ユメッテ ユッタッテ イロイロノ ユメガアルカラネ。(赤－s男6—6) ○ドウシテッテ イッタッテネ アノ シンブンネ ツクルッテ シンブン ツクッタラネ アノ ジガネ ヨクオボエラレルカラ。(赤－G男6—1)		

第9章　ボイス

9.1　幼児の使用したボイス動詞

幼児は，右の表にあるように，日本語のボイス動詞の全般にわたって使用することができる。

		年年年 長中少
うけみ	よまれる	○○○
使役	よませる	○○○
使役ーうけみ	よまされる	○○○
可能	よめる	○○○
	よまれる	○○○

なお，ボイスとしては，ほかにも，つぎのようにいくつかのものがあるが，省略した。しかけのボイス（active voice)を，うけみと対立させてとらえなければならないのだが，今回は，しなかった。相互のボイス（reciprocal voice）は，「よみあう」というかたちであらわされるが，かなりのていどに語い的であるのでやめた。日本語の再帰のボイス（reflexive voice）は，いろいろのおもしろい問題をふくんでいるが，現象が統語論的にあらわれるので，ここではとりあげなかった。

9.2　語形のバリエーション

ボイス動詞は，動詞の語形変化の形式的な側面，つまり，五段（強変化）か一段（弱変化）かなどによって，接尾形式をことにする。また，使役の接尾辞には，一段のものと五段のものとがある。このような点から，ボイス動詞は，いろいろな語形のバリエーションをもつ。

	五段	年年年 長中少	一段	年年年 長中少	カ変	年年年 長中少	サ変	年年年 長中少
うけみ	よまれる	○○○	たべられる	○○○	こられる		される	
使役 1	よませる	○○○	たべさせる	○○○	こさせる		させる	
2	よます	○○○	たべさす	○○○	こさす		さす	
可能 1	よめる	○○○	たべれる	○○○	これる	○	できる	○○○
2	よまれる	○○○	たべられる	○○○	こられる	○○		

なお，使役形のところにあげたのは，使役ーやりもらい形の例をふくんでいる。

可能動詞の「たべれる」「これる」などをあやまりとする見方もあるとおもうが，これは，ボイス可能からムード可能へという発展途上にある現代日本語の可能動詞の歴史的な過程のなかで必然的にうみだされてきた形式であり，どんどんふえつつあるので，ここでは，ただしい語形としてあつかう。

「できる」は,代用という語形つくりのてつづきで，サ変動詞のパラダイムのなかにはいってきた形式である。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
うけみ動詞 五　段	○イタズラシタ　トキハ　シ	○コドモガネ　ウントネ　オ	○オトウサンニ　イツモ　オ

	カラレル。(赤－c男6－3) ○ソノ トキ クマガネ ヒカレチャッタノ。(自－E男5－7)	オトウサンニ オコラレテネ(神－規男4－6) ○〔Q太郎は〕アルイテタラ，マタ ブルドックニ カミツカレタノ。(小－山中女5－0)	コラレテンノ。(神－三男4－0) ○コドモガ デテ キタカラネ ウント ココネ カジラレチャッタノ。(神－鈴男3－6)
一 段	○ソイデ イヌモ トシ トッテルカラ ステラレテネ(自－d女5－11) ○ココ オイツコウト シタラ ニゲラレタカラネ (自－f男5－5)	○オリーブガネ ブルートッテ イウ オトコニ ツカマエラレテネ (神－松女4－8) ○シマウマガ ライオンニ オイカケラレテネ (赤－t男5－1)	○アカズキンチャン オオカミニ タベラレチャウノ。(小－原女3－7)
使役動詞			
五段 1	○ウントネ ハシラセテ アソブノ。(自－d男6－1) ○ケライタチガネ マチジュウノ オンナノ ヒトニ ハカセテネー (自－j女5－7)	○ボクガ トモチャン アガラセタリネ (自－t男5－3) ○ヨウフク ヌガセテネ ソレデネ ヤイテ タベンノ。(小－海男4－3)	○ユッタカラ キカセテヨ。(赤－n男3－7)
五段 2	○「ノマシテ」ッテ (赤－E女5－8) ○マエ ナンカ コロサシタトカ (赤－w男6－3)	○フトラシテ タベチャウ。(赤－e女4－9)	○コレ ヤラシテヨ。(赤－n男3－7) ○ソレハ シラサレナインダケドナ。(赤－d男4－2)
一段 1		○オカアサンガネ フタリフタリノ オネエサンニダケニ キレイナ ヨウフクヲ キサセテ オシロニ カエッテ イッテ シマッタンダッテ。(赤－p女5－2)	
一段 2	○「カクレナサイ」ッテ イッテ カクレサシタノ。(赤－y男5－7) ○ハンニンヲネ ツカマエサシタカラネ (赤－c男5－10)	○オサカナヲ タベサシタリゴハンヲ タベサシタリ ソウシテ オオキク ナッテ(神－師女4－11)	
サ変 1			○「ダレダ オレノ ハシヲガタゴトサセルノハ？」(神－場男3－10)
使役・うけみ動詞			
よませられる	○オナカガ イッパイニ ナル クスリ ノマセラレチャッタ。(自－b男6－0)		
使役－やりもらい動詞			
よませてあげる	○「バケツノ ボウシヲ カブッテ イテ クダサイ」ッテ イッテネ，アカイ ボウ	○「イカセテ アゲヨウ」トイッテ (赤－p女5－2)	○オウチニネ ツレテ キテ ツレテ キテネ ミルク ントネ ギュウニュウ ノマセ

	シヲ　カブラセテ　アゲタノ。（赤－h女6－6）		テ　アゲテウノ。（赤－i男4－2）
よましてあげる	○チョットグライ　ント　ミサシ　ミサシテ　アゲナサイヨ。（自－B男5－7）	○イロンナ　ゴチソウ　ツクッテネ　ヨソノ　ヒトニ　ウソッコニ　タベサシテ　アゲルノ。（小－筧女4－7）	
よませてくれる	○コドモノ　コトヲネ　ヨクアソバセテ　クレルカラ（赤－k女6－2）	○「コンドハ　アナタノ　バンデスヨ」ト　イッテ　キレイナ　ピカピカノ　アノーキレイナ　ドレスヲ　キサセテ　クレテ　（赤－p女5－2）	
よましてくれる	○ヒトツ　ワタシニモ　オドラシテ　クダサイ。（赤－w男6－3） ○オカネ　イッパイ　ツカワシテ　クレルカラ。（自－r女5－7）		
よませてもらう	○ルイコ　オバチャンニ　ジテンシャニモ　ノラセテ　モラッタシサ　（赤－i男6－2）	○「デモ　ジュウニジヲノカネガ　ナリオワルマデニハアノ　カエッテ　クルンダヨ，マホウガ　キカナク　ナルカラネ」ト　イッテ　ハイラセテ　モラッタノ。（赤－p女5－2）	
よましてもらう	○レコードノネ　カケテ　クレテネ，エート　エホン　キカシテ　モラッタノ。（自－a男5－8）		○デンシンバシラニネ　ノボッタリ　シテタンダヨー。ショシテ　トビオイチャッタ，シトイデ。タカイカッタヨ。チアキチャンタチモ　イタカラネー　アノネ　ノボラシテモラッタネ，ピョント　トンジャッタノ。（神－狗女4－3）
可能動詞			
五段1	○アタシ　オカアサン　ムカエニ　コナクッテモネ　ヒトリデ　カエレルヨ。（赤－E女5－8） ○ボクネ　ナツヤスミジュウニネ　コンナ　アツイ　ホンミンナ　ヨンジャオウト　オモッタケド　ヨメナカッタノ。（赤－t男6－0）	○どうしておつとめしたいの？　オカネ　モラエルカラ。（赤－i女5－3） ○キュウタロウハネ　ソラヲトベルシネ　（赤－r女4－10）	○どんなゆめみる？　イエナイヨ。（小－新男3－10） ○ノコチャン　オオキイ　コエ　ダセナイモン。（小－藤女3－10）
五段2	○アノネ　コドモノ　ケンナカッテネ，イカレナカッタノ。（自－C男5－11） ○チュウシャシタカラ　ジデ	○ウーント　ドコデモ　マッスグ　イカレル。（自－d女4－11） ○おいのりしたら，どういう	○トオイ　オフヨマデ　イカエナイカラネ。（神－狗女4－3）

	ンシャニ　ノラレナカッタヨ。（赤－ｉ男６－２） ○ウント　マダ　イッパイネ　サガサレナイ　ヒトガ　イルカラネ　（自－ｍ女６－４）	ことになるの？アノネ　ジジカカレルノ。（小－樋男４－３） ○どうしたの，これ？　ダッテ　イワレナインダモン。（小－関男５－０）	
一段１	○ソレカラ　マダ　ミレルモノ　アルヨ。（赤－Ｆ男５－９） ○ウント　イッパイ　カゾエエル。（赤－Ｂ女５－８）	○アンマリネ　カオ　ヨクミレナカッタンダッテ。（小－大男４－６）	○エットネ　トブノ。ソイデヤッツケレル。（赤－ｍ男４－１）
一段２	○ウート　ヤッツシカ　カゾエラレナイ。（赤－Ｃ男５－６） ○ソレカラ　レイジョウコニバケラレルノ。（赤－ｂ男６－５）	○アソコデネ　エサヲ　タベラレルンダ。（赤－ｉ女５－３） ○チビッチャイ　ネコ　オリランナイノ，ヒトリデ。（神－渡男４－６）	○カクレチャッタノ。ソイデミ　ミランナクッタ，ミランナカッタノ。（神－三男４－０） ○イチ　ニイ　サン　シイ　ゴウ　ロク　シチ　ハチ　キュウ　ジュウマデ　カゾエラレルノ。（赤－ｍ男４－１）
カ変１	○ダカラネ　ツレテ　コレナカッタンダッテ。（自－ｇ女５－11）		
カ変２	○カメハ　ココロ　ココマデアノネ　コラレナイデショ。（自－ｄ女５－11）	○ひとりでこられるの？　コラレナイ。タクサン　ワタルトコガ　アッテ。（小－久女４－７）	
サ　変	○ダッテサー　イロンナ　モノ　ケンキュウデキルカラ。（赤－ｑ男５－11）	○オトウサンガ　キテネーナンニモネ　デキナクテネ（神－増女４－11）	○アトハネ……ミッチュシカオハナシ　デキナイ。（神－高男４－３）

9.3　かたちくずれ

9.31　うけみ動詞のばあい

まず，音声的なもの。今回の資料は，その文字化がカタカナによってなされているように，音声分析を目的としていないので，音声的な問題を検討することはできないが，ただ，カタカナ表記のはんい内でいえることとして，r 音の脱落を，いちおうあげておく。

かたちつくりの面からみると，五段動詞のばあいの語尾 -areruが，一段のばあいにひかれて，-erareruになるものがみられた。

また，意味用法と関連するものとして，「していられる」という持続アスペクト動詞のうけみがみられた。このかたちは，「校長にながいはなしをしていられた」のような，めいわくのうけみのときだけにとりうる形式で，そうでないばあいには，「されている」にならなければならない。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
うけみ動詞 音声的なもの			
レ → エ		○ンートネ　ブッタッテ　オコラエナイヨ。(自－t男5－3)	○ショウシテネ　シェブンハヤラエナイ。(神－高男4－4)
レ → イ	○センセイガ　オキテ　キタラ，　フタリトモ　オコライチャッタ。(自－k男5－8)	○オコライルノ。「ダメ」ッテ　オコライルノ。(小－足男5－0)	
レ → ン		○ダレニモ　オコランナイ。(自－p男4－7)	
かたちつくり			
ラレル→レル	○ソノ　シトニ　ツカマエレテネ(赤－Q男6－4)		
-areru→ -erareru	○カミシバイハネ　ウサギノネ　シッポノ　カワ　ムケラレタ　コト。(赤－o男6－2)	○オンモ　ダセラレル。(小－関男5－0) ○アノネー　オンナノ　コートー　オモエラレチャウカラハズカシイノ。(神－村男4－3)	
派生動詞つくり			
ヨマセラレテイル→ヨマセテイラレル		○シンデレラハ　カワイソウナ　コデシタ。　イジワルオネエサンヤ　イジワルオカアサンノ　オシゴトバカリ　サセテ　イラレマシタ。(赤－p女5－2)	

9.32　使役動詞のばあい

かたちつくりの面のあやまりがある。五段動詞のばあいに，一段のばあいにひかれて「よまさせる」になるもの，動詞のラ行語尾が，接尾語との関係で変化をきたし「あったませる」「おりらす」になるものなどがあった。

また，使役動詞でない他動詞が使役動詞にひかれて一段化するものもあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
使役動詞 一段セル			
ヨマセル→ヨマサセル・ヨマス		○ナンニモネ　ゴハンネ　ソウジモネ　シンデレラバッカリ　ヤラサセテネ　ジブンネ	○ボク　イチド。イチド　ヤラサシテヨ。(赤－n男3－7)

ヨマセル→ヨセル		シナイノ。(小一窪女4－8) ○ソレデ アッタカイ トコニ イッテ オヒサマデ アッタマセルカラ マタ ドンドン ノビテ キレイナ オハナガ サイタノ。(赤－f女4－10)	
一 段 オリサス→オリラス 他動詞と使役のとけあい		○チビッチャイ ネコ オリランナイノ， ヒトリデ。ダカラ ネー オッキイ ネコガ オリラシテ アゲルンダヨ。(神一渡男4－6) ○ソレデネ チマウマ ミンナヲ ヨンデネ ソレカラ ライオン オドカセチャッタノ。(赤－g女4－8)	

9.33 可能動詞のばあい

かたちつくりの面では，第一可能動詞をさらに第二可能動詞にするもの，サ変動詞を「できる」にしないで，「られる」系のいいかたにしようとしたものなどがあった。

また，カテゴリカルなものとしては，可能動詞は「よめたい」にならないのに，それにしようとしたものがあった。

種 類	年 長 児	年 中 児	年 少 児
可能動詞 五 段 ヨメル→ヨメラレル	○アノネ ヘイキショウノ ホウカラネ ズット マッスグ イケライルシネ，パンヤサン マッズ イッテネ パンヤサンノ トコヲ マガッテ ネ イケライル トコロ。(自－d女5－11) ○ミンナデ イッショニ クラセラレタノ。(赤－u女5－11)	○絵をみながらおはなししてノ！ ヨメラメナイ。(小一関男5－0) ○どうしてひとりでおぼえたの？ ヨミラレンダカラ，チビクロサンボノ オハナシダッテ(小一清女4－8)	
サ 変 デキル→ーラレル系	○ダレカ ソノ ネズミヲ タイジサセ，ラレル モノハネ ウント タイジシテ コイ。(赤－m女6－3)	○アソンデン トキ ストムヘンジシラレルノ。「アジャアジャ」トカ。(自－s男4－10)	

派生形容詞つくり	○オトウサンガ　キテネ　ナンニモネ　デキナクテネ　ウントネ　ナンカ　デキタイコトガ　ナイカナート　オモウ　コト。(神一増女4－11)

9.4　うけみ動詞の用法

うけみ動詞には，つぎのような用法がある。[注1)]

1)（直接対象のうけみ)active voiceの動詞のしめす動きの直接対象（「－を」）を主語としてあらわす。

二郎が　さち子を　なぐった。
さち子が　二郎に　なぐられた。

2)（あいてのうけみ)active voiceの動詞のしめすうごきのあいて（「－に」「－と」など）を主語としてあらわす。

のら犬が　太郎に　かみついた。
太郎が　のら犬に　かみつかれた。

太郎は　花子と　絶交した。
花子は　太郎から　絶交された。

3)（もちぬしのうけみ)active voiceの動詞のしめす動きの対象のもちぬしを主語としてあらわす。

スリが　(太郎の)　さいふを　すった。
太郎が　スリに　さいふを　すられた。

先生が　(花子の)　絵を　ほめた。
花子が　先生に　絵を　ほめられた。

4)（第三者のうけみ)active voiceの動詞のしめすうごきによってめいわくをうける第三者(active voiceの文には登場しない第三者)を主語としてあらわす。「めいわくのうけみ」ともいう。

雨が　ふった。
ぼくは　雨に　ふられた。

となりの　むすこが　一晩中　レコードを　かけた。
わたしたちは　となりの　むすこに　一晩中　レコードを　かけられた。

第三者のうけみのばあい，自動詞も，これになる。

注1)　例は鈴木重幸1972からかりた。

幼児のうけみの用法をみると，1）～3）のうけみは多くみられたが，第三者のうけみは，1例しかなかった。その1例も，あるいは，あいてのうけみかもしれない。もし，active voiceにあいてとして「わたし」を登場させることができるならば，あいてのうけみである。

｛ カエルガ　ボクカラ　ニゲタ。
｛ ボクハ　カエルニ　ニゲラレタ。

種類	年長児	年中児	年少児
直接的なうけみ	○ネズミト　クマガ　トラックニ　ハネトバサレチャッタノ。（赤－v男6－5） ○ライオンガ　ウマノ，ネシマウマニネ　ケットバサレタノ。（自－w女6－5） ○ボクタチハネ，ホリグチクンテ　イウ　コト　マアチャンテ　イウ　コガ　イルンダヨネ，ボクト。センセイニサンバカタイショウッッテイワレタノ。（自－b男6－0）	○マホウツカイノ　オバアサンニネ　ツカマエラレテ（赤－i女5－3） ○ウントネ　ウチ　ツクッテネ　オオカミニ　コワサレテ（神－北男4－11） ○クミチャン　ヨク　ママニオモダ　オモチャタイジンダーナンテ　イワレルヨ。（小－山中女5－0）	○オトウサンニ　イツモ　オコラレテンノ。（神－三男4－0） ○アカズキンチャン　オオカミニ　タベラレチャウノ。（小－原女3－7） ○クマサンガネ　トラックネトラックニ　ヒカレチャッタノ。（赤－a女3－10）
間接的なうけみ	○ネズミト　クマ　ドウロンジドウシャニ　ブツカラレチャッタノ。（自－k男5－8） ○オセンタクトカネ　アトハネ　ナンカ　カクノ　タノマレテルノ。（赤－A女6－1） ○コレ　ナーニッテ　キカレルトネ　ホントハ　シラナカッタンダヨ　モウ。（自－o女6－1）	○シンデレラハ　オカアサンニ　イッパイ　オシゴトヲイイツケラレテンデショ。（赤－p女5－2） ○パパノネ　オシゴトヲ　タノマレテネ　イッタリナンカスル。（小－押女5－1）	
もちぬしのうけみ	○オニノ　オウサマハネ　テー　トラレチャッタノネ。（赤－E女5－8） ○ピョンハネ　ステラレチャッテネ　オウチヲネ　ウントネ　トラレチャッテネ（自－m女6－4） ○ウントネ　ダイヤ　トラレタ　トキトカネ（赤－E女5－8）	○キヌガワオンセン　テッテネ　ママ　ママト　リョウチャンネ　オサルノ　オヤブンニネ　オカシ　トライチャッタノ。（小－村男4－9） ○オバケノ　キュウタロウハイヌガ　コワイカラ　ニゲタラ　ブルドックニ　アイ　アノ　オシリン　トコヲ　カマレチャッタ。（小－山中女5－0） ○ネズミガ　デテ　キテ　コ	○コドモガ　デテ　キタカラネ　ウント　ココ　カジラレチャッタ。（神－鈴男3－6）

第三者のうけみ		コ　タベラレチャッタノ。(小－清女4－8) ○オオワダ　イッタ　トキハネ　カエル　オッキイノ　イタデショ。ソシテ　ニゲライチャッタノ。(自－p男4－7)

うけみ文の，名詞の格のあやまったものがかなりみうけられた。これらの格のあやまりが，うけみ動詞の格支配の法則の未習得によるものか，それとも，文構成の際のみだれによるものかは，はっきりしない。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ニ→ガ	○オカアサンガネ　アノ「ダイドコロヲ　キレイニシナサイ」トカネ　イイツケラレチャッタカラネ(赤－p女6－2)		○ダンプカーガネ　ヒカレルト　モ，モッテネー　クマチャン　ニゲテンノ。(自－b女3－10) ○オオカミガ　アカズキンデウー　タベラレチャウノ。(小－原女3－7)
ニ→はだか		○ウント　センセイ　オコラエチャウノ。(神－鎌女4－5)	
ガ→デ			○オオカミガ　アカズキンデウー　タベラレチャウノ。(小－原女3－7)
ヲ→ニ	○オトウチャンハネ　アノジドウシャニ　マタ　ドロボウニ　トラレルカラネ　バンシトイテネ(自－p女6－1)		
ヲ→ガ		○アタシハ　オカアサンカライッパイ　オシゴトガ　イイツケラレテンデスモノ。(赤－p女5－2)	

9.5　使役動詞の用法

使役の動詞は，使役の用法と放任の用法をもっている。また，使役の意味は他動詞の意味と連続的につながっていて，この両形式の用法が部分的にかさなりあっている。そのため，使役形式の用法として，他動詞的な用法というものをあげなければならない。

こういった点から，幼児の使用した使役動詞をみると，そういった用法の全般にわたって使用していることがわかる。ただし，放任は1例しかなく，この用法のいろんな展開形式はみられなかった。

種類類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
使役	○オオキイ　オトガ　シタカラネ　ジャックノ　コトネ「カクレナサイ」ッテ　カクレサシタノ。(赤－v男5－7)	○ソノ　オバアサン　ワルイノ。ソイデネ　アノー　チュジュメ　ウント　ハタラカセテネ　ソレカラネ(赤－g女4－8)	○コレ　ヤラシテヨ。(赤－n男3－7)
放任	○ウサギガネ　ハヤイカラネ　カメニ　カメネ　オイツカレナイカラネ　ダカラネ　カメヲネ　サッキ　アルカシテネ(自－f男5－5)		
他動詞的	○アンテナ　トコデネ　ソランノネ　アタマニ　ツウジサスノ。(赤－k女5－8)	○ヨウフク　ヌガセテネ　ソレデ　ヤイテ　タベンノ。(小－海男4－3)	○ダレダ　オレノ　ハシヲガタゴトサセル　ヤチュハ？(神－高男4－4)

9.6　可能動詞の用法

可能動詞は，ポテンシャルな用法として能力または可能性をあらわし，アクチュアルな用法として，実現をあらわす。なお，ここで能力というのは，可能動詞のしめす動作の主体の能力をあらわしているばあいであり，可能性というのは，動作主体以外の能力ないし可能性をあらわすばあいをさす。たとえば，

○センマデ　カゾエラレルカナ　(赤－m男5－10)

では，かぞえる人間の能力をあらわしているが，

○センタクヤサン　トコヘ　マガッテモ　マッスグデモ　イカレンノ。

(自－v男5－7)

では，いくひとの能力ではなく，みちの可能性をいっている。

幼児は，可能動詞のもつこれらの基本的な用法をみんなつかっていた。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
能力	○センマデ　カゾエラレルカナ。(赤－m男5－10) ○ヒラコカナハ　モウ　ゼンブ　ヨメル。カタカナモ　スコシ。アト　カンジモ　スコシ　ヨメル。(赤－p男5－11)	○ネンドデネ　ボクネ　シンゴウ　ツクレルノ。(神－宮男5－0) ○チビッチャイ　ネコ　オリランナイノ，ヒトリデ。(神－渡男4－6)	○ボクネ　オネエチャンノジ　ミルダケデ　カケルノ。(赤－d男4－2) ○……ジュウマデ　カゾエラレルノ。(赤－m男4－1)
可能性	○センタクヤサン　トコヘ　マガッテモ　マッスグデモ　イカレンノ。(自－v男5－7)	○アッチ　イッテモ　カエレルシ　アッチ　イッテモ　カエレル。(小－海男4－3) ○テッポウダマ　チュクレル	○センガ　チュイテル　トコアブナイカラ，トオレナイカラ。(神－宮男3－8) ○オクジョウデモネ　タベラ

	○［レーシングカーは］マダカエナイヨ，アト サン ササンエンジャナイト。（自－y男6－0）	オモチャ。（自－q男5－4）	レル トコガ アンノ。（神－三男4－0）
実現	○ヤンナイ トコロハ シロイ マンマデネ デ ヤクソク マモレタ トコロハ ヌル コト。（赤－H女5－8） ○ソン トキ ヨルネ アンマリ ネムレナカッタ。（自－y男6－0）	○オウチハネ モウ ニカイダテ ツクレテネ，ボクノオヘヤ ニカイダテナノ。（自－s男4－10） ○ヒトリデ ダコウト オモッタケド ダケナカッタカラアキラメチャッタ。（小－久女4－7）	○ライヨンガ オイツケタノ。（神－狗女4－3） ○モウ スコシデ アケラレルノ。（小－神女4－1）

日本語の可能動詞がボイスのなかへ整理されるのは，この形式がもともと，うけみと未分化なかたちで発生し，いまでも，うけみとおなじ形式をもっており，意味のうえで，動作対象の能力をあらわしたり，文構造の面で動作対象が主格（「－が」の形）であらわされたりするからである。しかし，一方，可能動詞のボイスからの解放過程も進行していて，統語論的には，動作主体を主格で，動作対象を対格（「－を」）であらわす傾向がつよまると同時に，形態論的には，第一可能動詞の勢力が相対的なつよさをどんどんのばしつつある。

そこで，今回の資料を格支配の点から分類してみた。これが言語発達のうえでどんな意味をもつかしらないが，文法史のうえでは，将来かえりみるときの一つの資料になるだろう。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
直接対象語の格			
なまえ格	○ダッテサ ハタライテサーオカネ モラエルシ。（赤－p男5－11） ○チョウチョトカネ イロンナ ウタ ウタエル。（赤－H女5－8） ○ジケンノ トキハ スピード ダセル。（赤－g男5－10） ○オベベ キラエルカラ。（自－p女6－1） ○ダッテサ イロンナ モンケンキュウデキルカラ。（赤－q男5－11）	○キンギョネ ツレナカッタノ。（自－j女4－7） ○オカネ モラエルカラ。（赤－i女5－3） ○オヒシャマ カケルモンボク。（神－渡男4－6） ○ジ ヨメナイノ。（自－v男4－7）	○オオキイ コエ ダセナイモン。（小－藤女3－10） ○アイウエオノ ホン ミイチャン ジブンデ ヨメンノ。（小－矢女4－0） ○ヒコウキ ミラレナカッタノ。（赤－i男4－2） ○ミッチュシカ オハナシデキナイ。（神－高男4－4） ○ウートーネ カズ カゾエレ，レナイケド，（神－折女4－3）
主　格	○アタイハ ジガネ ヨメルノ。（赤－f女5－9） ○ねんどすき？ ン。どして？ イロンナ モノガ ツク	○ダッテ ジガ ヨメンダモン。（小－野女4－9） ○ジガ ヨメナイモン。（小－中男4－6）	○テレビガネ モウネ チュカエナイノ。（赤－f女4－2） ○サンダーバードガ モラエ

	レルカラ。(赤－r女5－10)		ルンダッテ。(赤－d男4－2)
対　格	○クマガネ　ネズミヲ　オイカケラエヌカラ。(自－E男5－7)	○アソコデネ　エサヲ　タベラレルンダ。(赤－i女5－3)	
とりたて形式	○ウン　ソレハ　ハナセナイ。(赤－s男6－6)		○ヨムノハネー　デキナイ。(神－高男4－4)
	○[かぶとむし]オスモ　メスモ　ツカメル。(赤－k女5－8) ○ダッテ　ナンデモ　ロボットデモ　ツクレルンダ。(赤－s男6－6) ○ヤッツシカ　カゾエラレナイ。(赤－C男5－6)	○オトウサンガ　キテネ　ナンニモネ　デキナクテネー(神－増女4－11)	○ココモ　ヨメテ，ココモ。(神－場男3－10)
	○ボク　ホンナンカ　シトリデ　ヨメルモン。(自－t男6－2)	○ホンナンカ　モウネ　ヨメルノ。(赤－k女5－3) ○テツジンノッキリ　ヨメナイケドネ。(赤－t男5－1) ○ジロウシャダッテ　ツクレンノ。(自－s男4－10)	○バーラガ　サイタ　ケーキ。バラダッテ　タベラレルンダヨ。(神－三男4－0)
とおりみちの状況語の格			
なまえ格	○ムコウ　マガッテ　アカイダンチ　イカレルシ(赤－v男6－5)	○カベ　ヌケラレルヨ。(赤－d男5－4) ○ソラ　トベル。(赤－u男5－6)	○センガ　チュイテル　トコアブナイカラ　トオレナイカラ(神－宮男3－8)
主　格		○オバケノ　キュウタロウガデテキテネ　オソラガ　トベテネ(赤－i女5－3)	
対　格		○アノネ　キュウタロウハネソラヲ　トベルシ(赤－r女4－10)	

第10章　やりもらい

10.1　幼児の使用したやりもらい動詞

	年年年 長中少
よんでやる よんであげる	○○○ ○○○
よんでもらう よんでいただく	○○○
よんでくれる よんでくださる	○○○ ○○

幼児の使用した語形は，みぎのとおりである。やりもらいは，だれのためにするかをあらわすカテゴリーである。やりもらいは，人称と関係していて，そのサービスの方向は，ときに，動作自身のもつ方向と逆であったりして，ひじょうにむずかしい法則である。

にもかかわらず，今回の幼児は，この3種のやりもらい動詞をすべてつかっており，しかも，3種のつかいわけができていることは，おどろくべき事実として，ここに記録しておく必要があるだろう。とくに，ボイスのほうでは，格支配のあやまりがあったのに，こっちではなかったということも特筆にあたいするだろう。

「よんであげる」は，「よんでいただく」や「よんでくださる」のようには敬語性をもっていないし，「よんでくださる」は，質問にひかれて，でてきた例だけであるので，この段階では，敬語はほとんどでてこないといってよいだろう。

「ヨンダゲル」というかたちは，あまりつかわれなかった。

なお，「してくれる」の命令形は，いろんなかたちがつかわれた。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よんでやる よんでやる	○コドモガネ　カメネ　イタズラシテタンデネ　ウ　ウントサ　ツリニ　キタ　ウラシマタロウガ　タスケテ　ヤッタノ。(自－g男5－8) ○ハナヲ　ソダテテネ　ソレカラ　ミズ　ヤッテネ　ソウヤッテテ　ミズヲ　カケテヤッタラ　ピーント　ナッタノ。(自－s男5－9)	○ママネ　アノネ　オニイチャンタチ　イルカラネ　メンドウ　ミテ　ヤンナクチャナラナインダケレドネ(小一覚女4－7) ○ボクガネ　アソンデ　ヤルトネ　ケンカシテテモ　スグナカナオリ。(赤－u男5－6)	○ソンナラ　オマエヲ　ヒトノミニ　シテ　ヤルゾ。(神－玉男4－0他) ○ウントネ　コンド　モッテッテ　ヤル　。(小一金男4－1)
よんであげる ヨンデアゲル	○ボクガネ　ムシメガネ　モッテルカラ　カシテ　アゲルカラネ。(赤－q男5－11) ○クシトネ　リボン　モッテタカラネ　ソレ　ダシテネ　トカシテ　アゲテネ　ソシテ	○オカアサンニネ　オオキクナッタラネ　ウント　ダイヤモンド　カッテ　アゲンノ。(小一横男4－4) ○ニンゲンガ　オハナニ　ミズ　カケテ　アゲンノ。(神	○ヒトガネ　オハナニ　オミズ　カケテ　アゲテンノ。(赤－a女3－10) ○オウチニ　ツレテ　キテネ　ミルク　ント　ギュウニュウノマセテ　アゲテウノ。(赤

	ネ　タクサンネ　アンデネ　タクサン　アンデネ　ソシテネ　リボン　ツケテ　アゲテネ。（自－m女6－4）	－伊男4－1） ○ジャ　ウタ　ウタッテ　アゲヨウカ。（小－志男4－2）	－i男4－2） ○赤ちゃんとあそぶの？　アソブ。かわいい？　ウン。「カワイイ　ウサチャン」ナンカ　カシテ　アゲルヨ。（赤－a女3－10）
ヨンダゲル	○ボクガ　ウマク　アケタゲルヨ。（赤－j女6－6）	○ジャー　オシエタゲル。（自－s男4－10）	○ドウブツエンノ　オハナシシタギョウカ。（赤－t女4－4） ○オシエタギョウカ。（赤－d男4－2）
してもらう してもらう	○だれに字をおそわったの？　アノネー　パパニ　コクバンカッテ　モラッテネ　パパニオシエテ　モラッタノ。（自－j女5－7） ○ニホンノ　オバケガ　ユウショウシタモンデネ　キュウチャンネ　バッチネ　ウーント　ココニ　ツケテ　モラッタノ。（赤－I女5－8）	○タトエバ　パパニ　ドウブツエンニ　ツレテ　イッテモラッタ　ユメトカ。（小－山中女5－0） ○字どうしておぼえたの？　オカアサンニ　オシエテ　モラッタノ。（小－小島女4－2）	○ユウコ　オネエチャンニカゾエテ　モラウノ。（神－折女4－3） ○ママニ　ゴホン　ヨンデモラッテ　シッテタノ。（赤－l男4－3） ○コレハネ　サブアンチャンニ　カッテ　モラッタ。（神－場男3－10）
よんでくれる よんでくれる	○だれいちばんすき？　オカアサン。どうして？　コヅカイ　クレタリネ　ゴハン　ツクッテ　クレタリ　ナニカ　カッテ　クレタリ　スルカラ。（赤－I女5－8）	○オマツリ　イク　トキネテッポウ　カッテ　クレタノ，パパガ。ソウシテネ　ソウシテ　ワタガシモ　カッテ　クレタノ。（自－a男4－9）	○オトウサンネ　ドッカ　ツレテッテ　クレルカラ。（自－b女3－10） ○ボクハネ　オコルトネ　ママハネ　キイテ　クレナイノ。（赤－p男3－7）
	○本屋さんにつとめてるの？　そう。ダカラ　コウイウ　ホンネ　ウッテルカラネ　イツモ　イツモネ　シャチョウニネ　オネガイシテネ　モラッテ　キテ　クレルノ。（自－p女6－1）	○オカアサン？　ンートネボクノ　フユズボントネ　ンートフユ　ナツノ　ネボウシ　ムイワラボウシ　ヌッテ　クレテンノ。（自－s男4－10）	○ヨルネ　オジイチャンジャナクッチャ　オハナシ　シテクレナイ。（神－三男4－0） ○オシャカナ　トッテ　キタンダッテ。……ソレデネモッテ　キテ　クレタンダッテ。（自－b女3－10）
よんでくださる	○トキドキネ　オカエリニゴホン　ヨンデ　クダサッタリ　スル。（赤－p女6－2）	○絵本よんでくださる，おかあさんは？　ウン　ヨンデクダサル。（小－横男4－4）	
命令形 よんでくれ		○ハヤク　オヒルヲ　ツクッテ　クレ。（神－桑女4－10）	○チョット　マッテ　クレ。ボクハ　コンナニ　チイサインダモン。（神－渡女3－10）
よんでくれよ	○オーイ　マッテ　クレヨ。（赤－N女5－7） ○「ウー　トッテ　クレヨ。」ッテ　カニガ　イッタノニ。（赤－g男5－10）		

よんでくんな	○オチャ　イレテ　クンナ。(赤－ｆ女５－９)		
よんでください	○「ハヤク　ナオシテ　クダサイ」ッテ　オイシャサンニ　オカアチャンガ　タノンダラネ。(赤－ｈ女６－６) ○オフロノ　ナカヘ　ピョコーント　ハイッテネ「ボクヲ　アラッテ　クダサイ」ッテ　チンチンシテネ(自－ｔ男６－２) ○ソウシテ　オテガミガ　キテ「ゼヒ　キテ　クダサイ」ッタノ。(赤－ｐ女６－２) ○タイチョウガ「ムコウイッテ　クダサイ」ッテ　ユッタラ　ムコウ　イッテネ(赤－ｍ男５－10)	○ワタシモ　ツレテ　イッテクダサイ。(神－関女５－０) ○オフロニ　トビコミ「アラッテ　クダサイ」ト　チンチン　スルノ。(神－規男４６) ○シンデレラノ　クチュ　モッテ　イ　モッテッタカラネ「カエシテ　クダシャイ」ッテユッチャッテモネ(自－ｊ女４－７) ○「ドウゾ　ボクヲ　タベナイデ　クダサイ，コノ　アカイ　ヨウフクヲ　アゲルカラ」ッテ　ユッテネ(神－松女４－８)	○ママネ「ヤッテ　クダサイ」ッテ　イッタノ。[注射を](赤－ｔ女４－４) ○「ボク　コンナニ　チッチャインデスモノ。タベナイデクダサイ。」(神－寺男４－４)
よんでちょうだい	○ダカラ　オジイサンヲ　ヨンデ　キテ「コノ　ウ[おおかみを]チョキット　キッテ　チョウダイ」ッテ　ユッテネ(赤－ｓ女５－８) ○ソイデ　アタシ　イツモ「[わたしを]オッコトサナイデ　チョウダイ」ッテ　イットクノネ。(赤－Ｅ女５－８)	○オネエサンセンセイガ「オサカナトネ　モッテ　キテ　チョウダイ」ッテ　イッタノ。(小－野女４－９)	
よんで	○ママト　オンナジノ　ツクッテ。(自－ｏ女６－１) ○モウネ　ウントー　イジメナイデネ(赤－ｕ女５－11)	○ハヤク　シテー。(小－原男５－０) ○コワイカラ　イカナイデー。(小－押女５－１)	○チョット　マッテ。(赤－ｔ女４－４)

10.2　「してやる」の用法

「してやる」の用法には，プラスのサービス，マイナスのサービス，意欲の３種類がある。意欲というのは，「なんでもみてやろう」「こんどこそ100点をとってやる」などの例にみられるような，一人称だけにつかえる用法である。注1)

今回の幼児の資料には，プラスおよびマイナスのサービスはあったが，意欲をあらわすものはなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
プラスのサービス	○ボクガ　ゴエン　モッテタカラネー　オクッテ　ヤッタ	○ナンカ　カッテ　イッテヤルノ。(自－ｎ男５－５)	○コンド　モッテッテ　ヤル。(小－金男４－１)

注1)　鈴木康之1969，鈴木重幸1972による。

	ノ。(自－1男5－7) ○ハナシ　チャント　キイタラネ　ユルシテ　ヤッテネ。(赤－s男6－6) ○ナカマニ　ナッテ　アゲルカラ。(自－A女6－5) ○イツモ　オトウトト　アソンデ　アゲルンダケドネー(赤－f女5－9) ○アノネ　クマサンガ　ネズミヲ　オイカケテ　タベル　タベテ　ヤロウト　オモッタラ　(赤－s女5－8) ○スグレタ　チノウデ　カンガエテ　ヤッツケテ　ヤ　ヤンノ。(自－i男6－5)	○ヨソノ　ヒトガ　カウ　ガクブチヲ　トドケテ　ヤルノニハ(小一筧女4－7) ○「ワータロ　ワータロ」ヲ　オシエテ　アゲヨウカ(小一志男4－2) ○ウントネ　アカチャンニ　アソンデ　アゲルノ。(神一規男4－6)	○ソイデネ　オミズン　ナカニ　イレ　イレテ　アゲンノ。(赤－a女3－10) ○ジャ　コンド　ウチニ　クル　トキニハ　オシエテ　アゲル。(小一神女4－1) ○ヒトノミニ　シテヤルゾ。(神一狗女4－3他)
マイナスのサービス			

第11章　アスペクト

11.1　幼児の使用したアスペクト動詞

幼児の使用したアスペクト動詞は，つぎのとおりである。

			年長	年中	年少
補助動詞をつかうもの	持続	よんでいる	○	○	○
		よんでる	○	○	○
	結果	よんである	○	○	○
	処置	よんでおく	○	○	○
		よんどく	○	○	○
	終結	よんでしまう	○	○	○
		よんじゃう	○	○	○
	ちかづき	よんでくる	○	○	○
	とおのき	よんでいく	○	○	○
		よんでく	○	○	○
	実現 実演	よんでみる	○	○	○
		よんでみせる			
接尾辞をつかうもの		よみかける	○		
		よみだす	○	○	
		よみおわる		○	
		よみきる	○		

「よんでみる」は，鈴木1972では，もくろみ動詞に分類され，筆者も1969で同様にあつかったが，「よんでみる」がもくろみにつかわれることは用法の一部であり，また，実現の意味は，すべての用法に通じるので，この報告では，実現動詞として，アスペクトのなかにいれた。松下1924では「経験態」としている。[注1)] 「よんでみせる」は「よんでみる」にひきずられて，ここへきたものであり，その位置づけの妥当性については検討していない。

補助動詞とのくみあわせによってつくるアスペクト動詞は，幼児には，よく使用されている。「よんでくる」，「よんでいく」には，アスペクト動詞としての用法と，そうでない用法とがあるが，いちおうすべての用法をここにあげておいた。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
持続動詞 よんでいる	○ソイデネ　ドンドン　イクウチニ　ウサギヤネ　ネテイルノ。（自－c男6－3）	○オトウサンハ　カイシャデハタライテ　イルノ。（神－桑女4－10）	○おうちではなにしてあそぶ？　オモチャデ　アソンデイルノ。（小－福男4－2）
	○ウサギガネ　カケッコシテネ　ンー　カメヲ　グングン	○チムハネ　カイガンノ　ウエニ　スンデ　イマス。（自	○ウサギガ　ニゲテ　イル。（神－寺男4－4）

注1）　松下大三郎1924の366ページ

	オイヌイテ　イル。(自－ｉ男６－５)	－ｔ男５－３)	
よんでる	○ソレデ　シマウマガネ　ワラッテルノ。(自－ｅ男６－１)	○コレ　ダレノカ　シッテル？(自－ｒ女４－８)	○ジョロデ　ミズヲ　マイテンノ。(自－ｍ女３－10)
	○ウチ　テレビ　コワレテル。(赤－ｖ男６－５)	○ジテンシャデ　アソンデタノ，ニリンシャデ。(小－志男４－２)	○ココ　ヒトツ　アイテルヨ。(神－佐女３－７)
	○キョウタチャント　シズカニ　アソンデタノ。(赤－ｓ女５－８)	○オハナニ　オミズ　アゲテル　トコロ。(小－光女５－１)	○カイルノ　マンガッテネ　テレビニ　ウツッテル　マンガ。(小－矢女４－０)
	○ブロックニ　ハイッテタ　オモチャデ　アソブ。(自－ｇ女５－11)	○ソレカラ　タオレテタノガ　キチント　ナッチャッタ。(神－師女４－11)	○ウサギサンガ　ネテル　トキニネ　エート　カメサンガ　アッチノ　ホウ　イッチャッタノ。(小－新男３－10)
	○モトコ　ミタイネ　アタマシテテ　ココニ　チョン　コウヤッテ　ブラサガッテル　チョンマゲ　イッテルノ。(自－ｄ女５－11)	○ウサギサン　ノロノロノロシテテネ(赤－ｔ男５－１)	○オニイチャン　フジパンヤサン　イッテテ　コンドハズット　コナインダ。(神－三男４－０)
		○ソイデ　マタ　アルイテタラ　ブルドックニ　カミツカレタ。(小－山中女５－０)	○ウエカラ　ミテタリ　ソイデネ　ニカイカラ　ジージモカイタリ。(赤－ｆ女４－２)
	○ネズミガ　ニゲテテ　クマガ　オイカケテルト　ソコニトラックガ　キテ(赤－ａ男５－11)	○アノ　オバアサンガ　センタクシテルトネー　アノーネ(赤－ｌ男４－８)	○ウラシマタロウハネ　アノネ　サカナツリ　シテタラネ(赤－ｌ男４－３)
	○クルマデ　ネテヨウト　オモッタラ(赤－ｄ男６－４)	○チョット　ワカッテテモムズカシイノガ　タクサンアッテネ(小－久女４－７)	○センセイガネ　オシャベリシテルトネ(神－佐女３－７)
	○オソトデ　アソンデタリネ(赤－Ｎ女５－７)		○スコシ　マッテレバ　オッキイ　ヤギノ　ガラガラドンガ　ヤッテ　クル。(神－古男４－５)
	○チョット　ココデ　アソンデナサイ。(赤－Ｌ女５－９)		○ココニ　スワッテチャ　ダメ。(赤－ｄ男４－２)
	○アズカッテテヨネー(自－Ａ女６－５)		
	○オモリ　シテテ　クレンノ。(自－ｇ男５－８)		
	○オバアチャン　イヌノ　セワ　シテルカラネ　カツボウノ　コトネ　ミテランナイノ。(自－ｐ女６－１)		
	○ウサギハ　ピョンピョン　ハネナガラ　ピョンピョン　サキニ　イッテマス。(赤－ｓ男６－６)		
	○ウサギト　カメガ　カケッコヲ　シテマシタ。(赤－Ａ女６－１)		
	○マダ　キマッテナイ。(自－Ａ女６－５)	○ナニモ　キイテナイナー。(小－徳男４－５)	○オジサン　ナンニモ　シテナイ。(自－ｄ男３－10)
	○アンマリ　ヨンデナイカラオボエテナイ。(赤－ｒ女５－10)	○アメ　フッテナイ　トキネコウエン　イクノ。(神－宮男５－０)	○ハジメ　ボウシ　カブッテナイ　オトコガネ　クチブエデ　ユッテ　デテ　クンノ。(赤－ｅ男４－１)
	○イエナキコ？　ウーン，ゼ		

	ンブハ　オボエテマセン。（赤－ｓ男６－６）		
よまないでいる		○ソシテネ　ウーン　シンコキュウモ　ナンニモ　シナイデネ　イラレル　ウーノガアンノ。（神－村男４－３）	
結果動詞			
よんである	○ソコニ　オイテ　アッタミズヲ　カケタラ　カレチャッタン。（自－ｖ男５－７） ○ソコン　ナカニ　コウイウジガ　カイテ　アッタノ。（赤－ｅ男５－10）	○イヌ　カッテルケドネ　タカイドニ　アズケテ　アルノ。（小－篠男５－１） ○ソコノネ　ヒロシッテ　カイテ　アル　トコ　ハイッテイッタラ。（小－横男４－４）	○タダネ　アイザワッテ　カイテ　アルダケ。（小－相男４－４） ○タッテ　コッチサ　ダッテチャント　シテアルジャナイ。（自－ｄ男３－10）
処置動詞			
よんでおく	○ウント　キノ　シタニネナンカノ　クダモンノ　ミヲオイテ　オクノ。（自－ｓ男５－９） ○ソイデ　イレテ　コウニシマッテ　オクノ。（自－ｌ男５－７）	○ドウイテ　タオル　コンナニ　オイテ　オクノ？（小－窪女４－８） ○ソレニ　カーネーションアルデショ。アレヲ　イレテオクノ。（神－桑女４－10）	○コレハ　ナンデ　ツケテオクノ？（赤－ｄ男４－２） ○ノコリハネ　ノコシテ　オクノ。（神－高男４－４）
よんどく	○ソイデ　ミルク　オカアサン　ツクットイテ　クレルノネ。（赤－Ｅ女５－８） ○ソイデネ　ロクバンニ　シトクトネ　ウルトラマンガハジマルノ。（赤－Ｆ男５－９）	○……エーガタトネ，エービーガタトネ　チャントネ　コノ　バッチ　ツケトクノ。（小－川男４－10） ○イチゴヲ　ノコシトクノヨ。（赤－ｉ女５－３）	○ジドウシャト　ヒコウキエー　シャコニ　イレトクノ。（自－ｄ男３－10） ○オイキイ　オシャカナダッタノ。ソシテネ　オニカイニオイトイタラネ，（自－ｂ女３－10）
終結動詞			
よんでしまう	○オネエサンタチニ　ダケキレイナ　ヨウフクヲ　キテネ　ドッカニ　イッテ　シマッタノ。（赤－ｐ女６－２） ○クマガ　ネズミヲ　オイカケテ　イマシタ。ソウシタラトラックガ　キテ　ケガヲシテ　シマイマシタ。（赤－ｐ女６－２）	○「コレデ　オレハ　……リッパナ　トラジャワイ」ッテユッテネ　マタ　ニゲテ　シマッタノネ。（神－松女４－８） ○イソノマロハ　シンデ　シマイマシタ。（神－桑女４－10） ○スグ　ニセモノダト　ワカッテ　シマイマシタ。（神－桑女４－10）	○メダマデ　デンガク　シテシマウゾ。（神－寺男４－４） ○ソンナラ　サッサト　イッテ　シマエ。（神－寺男４－４） ○トロリ　タ　タニガワニツキオトシテ　シマイマシタ。（神－寺男４－４）
よんじゃう	○ライオンガネ　ンー　シマウマガ　タクサン　イタ　トコロ　オドロイテネ　ニゲチャッタノ。（赤－ｎ男６－２） ○ヒマワリノ　オハナガ　シオレチャッテネ，（自－ｉ男６－３） ○ズットネ　タッテタラ　ツカマッチャウカラネ（自－ｃ	○カタホウ　ヒザ　ツケテソシテネ　コッカラ　コウット　バケチャウ。（赤－ｗ男５－３） ○ウサギサン　ヤマノ　テッペンデ　ヒルネシチャッタノ。（赤－ｆ女４－０） ○コドモハ　ナカデ　シンジャッテモネ　ガリバーダケネ	○オウチガ　コワレチャウヨ。（小－加男４－１） ○キリンガ　イッチャッタノ。（神－宮男３－８） ○アレハ　ハシンナイノ。フタガ　ナクナッチャッタカラ。（神－場男３－10） ○ナンカ　ヤッチャウゾ。（小－相男４－４）

	男６－３） ○ソレガネ　モシカ　ピンピンッテ　ナッテ　キエチャッタラネ　モウ　ニドト　ウルトラマン　タチアガラナクナルノ。（自－ｋ男５－８）	（赤－ｎ男５－２） ○オジサン　シラナイ　カオシテ　イッチャッタラ（自－ｔ男５－３） ○ドウシテ　シオレチャッタンダロウ。（自－ｕ女５－５）	○カメサンガ　ツカマッチャッテ（小－新男３－10） ○ネズミヲ　タベチャッタラネ（赤－ｆ女４－２）
ちかづき動詞			
	○ダンダン　ハヤク　ナッテキテ（赤－ｒ男６－３） ○ソシテネ　キッタラネ　ウント　モモタロウガ　デテキテ（自－ｘ男６－１）	○ハナガ　ダンダン　ヒライテ　クンノ。（自－ｉ男５－５） ○トモダチ　ヨンデ　クンノモ　イッシュウカンニ　イッカイ。（小－川男４－10）	○モウ　アメ　フッテ　コナイカラ，（赤－ｆ女４－２） ○ヨッチャンノ　トナリニネカエッテ　クルノ。（神－村女３－６）
とおのき動詞			
よんでいく	○ソシタラ　ドンドン　オッキク　ナッテ　イッテネ（赤－Ｅ女５－８） ○ライオンガ　ニゲテ　イクトコ。（自－ｐ男５－６）	○ハナガ　ガ　ダンダン　カレテ　イッタラ，（自－ｂ男５－１） ○アッチ　ズーット　アルイテ　イッテサ（神－桑女４－10）	○ベンキョウシナイト　ダンダン　シンデ　イクカラ（小－佐男４－３） ○バスデ　ノッテ　イクトネ（神－宮男３－８）
よんでく	○キューピーチャンガネ　ハジメネー　ジドウシャ　ノッテッテネ（自－ｗ女６－５）	○ボウエンキョウ　モッテッタカラネ　ノゾイテ　ミタラミエタノ。（小－篠男５－１）	○コドモ　ツレテッテ　イッチャッタノ。（自－ｈ男３－５）
実現動詞			
	○「ヤッテ　ミロヨ」ッテ　カマハラクンガ　ユッテネ　トッ　スクッテ　ミタラ　トッチャッタノ。（自－ｋ男５－８）	○カゾエテ　ミナキャ　ワカンナイ。（神－増女４－11）	○オクチ　ミテ　ゴラン。（自－ｄ男３－10）
よみだす			
	○ソシタラ　イシニ　ツマズイテ　タテゴトガ　ナリダシテ　オオオトコガ　メヲ　サマシテ（赤－ｙ男５－７） ○エー　カイタノガ　ナンカネ　トー　イナヅマ　ミタイノデ　ホンモノン　ナッチャッテネ　テー　アバレダシテネ（赤－ｗ男６－３）	○シンデレラハネ　オネエサンノ　タンスカラネ　アノオネエサンノ　フクヲネ　ヒロゲテ　ミテ　ナキダシチャッタンデスッテ。（赤－ｐ女５－２） ○デ　マタ　コウイウ　フウニ　サキダシタノ。（神－桑女４－10）	○シマウマガネ　カケダシテンノ。（自－ａ男４－０） ○クマガネ　ネライ　ネジュミヲ　ミッカッタノ。ソイデネ　ネジュミヲネ　オコイダチテ　シートネ　クマガ　オコリダッタノ。（神－大男３－11）
よみかける			
		○ウサギサンガ　トビカケタラネ　コンド　カメサンモオイカケテネ（赤－ｐ女５－２）	
よみおわる			
		○デモ　ジュウニジノ　カネガ　ナリオワルマデニハ　アノ　カエッテ　クルンダヨ。（赤－ｐ女５－２）	

よみきれる	○イロンナノガ　アルカラヨミキレナイカラ。(赤－a男5－11)		

ふたつのアスペクト形式がかさなった例もあるので，つぎにあげておく。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よんじゃってる	○オクサマ　ウント　マジョノ　コドモ　ウンジャッテンノ。(自－b男6－0) ○どうしておみずあげたの？カレチャッテルカラ。(自－b男6－0) ○オハナガ　モウ　マガッチャッテルノネ。(赤－f女5－9)		○ウサギサンガネ　メガネチョット　イチニ　ナッチャッテンノ。(赤－a女3－10)
よんできてる	○マダ　ヨウチエンニ　モッテ　キテ　ナイ。(自－u女6－5)	○レコードガネ　アノネ　ワレタノ。　ソイデネ　ドッカラ　キコエテ　キテルカラネ(小－成男4－3)	○ツイテ　キテンノ。(赤－o男4－2)
よんでいってる	○ぼくついていったことある？　ツイテ　イッテ　ナイヨ。(赤－i男6－2)		○ライオンガネ　ムコウニニゲテ　イ　イッテンノ。(自－b女3－10)
よんでいってしまう	○オネエサンニダケニ　キレイナ　ヨウフクヲ　キサセテオシロニ　カエッテ　イッテシマッタンダッテ。(赤－p女5－2)		
よんできちゃう	○オハナニ　キュウニ　カケタラネ　ダンダン　タオレテキチャッタノ。(赤－h女6－6) ○オシエテ　モラエナイノニダンダン　ジヲ　オボエテキチャウ。(自－o女6－1) ○オッカナク　ナッテ　キチャッタヨ。(赤－c男5－10)	○ボクネ　ツカレテ　キチャッタ。(小－川男4－10) ○シマウマガ　タクサン　デテ　キチャッテネ(小－篤女4－7)	○カメサンガ　モット　ウエマデ　アルイテ　キチャウンダヨ。(赤－a女3－10)
よんでいっちゃう	○ヒロコ　ハツミノ　サンダ	○ダカラネ　アルイテネ　ニ	○ダレカネ　モッテッチャッ

	ル　モッテッチャウノ，ドコカ。（自－w女6－5）	ゲテ　イッチャッタノ。（神－規男4－6）	タノ。（自－b女3－10）
よんでしまっちゃう			○トロルヲ　タニガワニ　オトシテ　シマッチャッタノ。（神－三男4－0）
よみだしちゃう		○オカアサンネ　ニゲダシチャッタノ。（神－増女4－11）	
よんじゃっていく	○ライオンガネ　スベッチャッテ　イッテネ　シマウマガ（赤－o女6－1） ○カメガ　アガッ　オイヌカレテ　アガッチャッテ　イキ（赤－G男6－1）		

11.2　持続動詞の用法

11.21　持続動詞の用法

持続動詞「よんでいる」は，つぎのような用法をもっている。[注1)]

1）進行の状態

○みんなが外で遊んでいます。　（教科書三年下）

○いま，きものをきているから，ちょっとまってくれ。

2）結果の状態

○ところどころに，木がたおれている。　（六年上）

○女の子も，男の子と同じようにはだしで，黒っぽいもめんの上着を着ていました。

3）単なる状態

○うちの部落じゃ愛郷精神がゆきとどいていますから，（安部公房「砂の女」）

○大きな国と，それより少し小さな国が，となり合っていました。　（六下）

4）くりかえし

○彼は毎朝バイブルを読んでいる。

○この頃は栄養失調で人がどんどん死んでいる。

5）経験・記録

○あの人はたくさんの小説を書いている。

なお，この経験・記録といわれているもののなかには，状況的な成分のしめす動作や状態のなりたつ時よりまえに成立しているという，相対的な過去をあらわす意味をもつものがあるようにおもえる。「している」の，このようなテンス・アスペクト的な性格は，拡大成分のなかの動詞のテ

注1）　6）以外の用例は，吉川武時1973から借用した。

ンス・アスペクト的な性格との関連のなかで研究がすすめられないと，あきらかにならないが，幼児の使用例の分析に必要なので，ここでは，いちおうの処置として，その相対的な過去をあらわす用法をたてておく。

6) 相対的な過去

○君が外国から帰ってくるころには，もうぼくは，大学を卒業しているよ。

○わたしが目をさました時は，月食はおわっていた。

この用法が過去形「よんでいた」であらわれるとき（つまり，うえの第二の例）は，「大過去」とよんでもよいだろう。

「経験・記録」というばあいには，その時点での状態として「そういうことが経験・記録としてのこっている」ということをあらわすのに対して，「相対的な過去」というばあいには，「その時点以前におこったのだ」というニュアンスがつよくあらわれる。

11.22 幼児の使用した持続動詞

幼児は，4)までの用法をみなつかっている。また，従来の分類によれば，経験・記録の用法もかなりつかったことになるが，これらはすべて相対的な過去をあらわす用法であって，幼児には，まだ，経験・記録的な用法はむずかしいのではないかとおもわれる。

種類	年長児	年中児	年少児
進行の状態	○オトコノ コガネ オハナニ オミズ アゲテンノネ。(赤－x女6－2) ○オヒサマガ ウント キラキラ ヒカッテンノ。(自－p男5－6) ○タダイマ ライオンガ ナキベソヲ シテル。(赤－K男5－11)	○クマネ ネジュミ オカテオーカケテンノ。(自－n男5－5) ○ミンナ ワラッテネ ネワラッテネ ミテンノ。(小－小島女4－2) ○オメン メン オメン コウネ ウッテタカラ カッタノ。(自－j女4－7) ○パパガ ゴルフシテ ソイデ ボクタチハ オハナ ツンデタノ。(赤－t男5－1) ○なんだろうな。イマ カンガエテル。(小－藤男4－9)	○ライオンガ どうしてます？ コマッテル。(神－坂女4－0) ○ミナ アスンデル。(赤－g男3－5) ○ピカピカット ヒカッテルノ。(赤－f女4－2) ○エート オハナニ オミズカケテンノ。(小－矢女4－0) ○ハシノ シタニハ キミガワルイ トロロガ スンデイマシタ。(神－坂女4－0)
結果の状態	○オハナシノ オナマエナラ オボエテル。(赤－I女5－8) ○アソコニ ドングリ イッパイ オッコッテルカラ。(自－i男6－5) ○アーレ ズイブン オモタイナー ナニ ハイッテンダロウ。(赤－o男6－2) ○ハジメハ シラナイケド イチバン アトハ シッテル。	○アナガ コウフニ マルイノガ アイテタノネ。(赤－t男5－1) ○オハナガネ カレテタノ。(神－規男4－6) ○イモウトハ ナガノニ イッテルノ。(神－関女5－0) ○〔ケーキ〕クサッテルワ。(赤－i女5－3) ○ソレヲ キルト ゴジュッセンチノ アカチャンガ ハ	○ココニネ アナガ アイテルデショ。(神－鈴男3－6) ○ボウチ カブッテンノ。(神－大男3－11) ○ナニガ クッツイテンダロウ，コッチニ。(自－d男3－10) ○オヨウフクヲ キテンノ。(自－h男3－5) ○コワレテルカラ ダメ。(自－b女3－10)

	(自－l男5－7) ○ハナガ　オレテンノ。(自－p男5－6)	イッテ　イマシタ。(神－桑女4－10)	○テヲ　テーダケ　ケガ　シテタノ。(自－a男4－0)
単なる状態	○ツノガ　ハエテンノガ　オスデ，ツノガ　ハエテナイ　オオキイ　メス　ツヨイ。(赤－k女5－8) ○コプラって　へびの？　アノネ　コプラッテネ　ココガコンナン　ナッテル。(赤－u男6－5) ○フンスイハ　ジュースニナッテテネ，ソレカラ　キハネ　ワタガシニ　ナッテルネ(赤－m女6－3)	○チョッピリ　ニテルケドニテナイ　トキモ　アル。(小－窪女4－8) ○テガ　サン　サンボン　アッテネ　アシガネ　ウントオシリン　トコ　ツイテンノナーンダ？(神－遠男5－1) ○カエルノ　ケロチャンダカラ　カエル　ミタイナ　カッコ　シテンノ。(神－加女5－0)	○ナガイ　アシ　シテンノ，キリンテ。(自－d男3－10) ○ゾウ，アフリカゾウ　イタ。ツノガ　ハエテンダヨ。(赤－d男4－2) ○ウン，ウミノ　トコノ　トコニ。　ネ　ミジュガネ　イッパイニ　ナル　トキネ　ミジュガ　イッパイニ　ナルヨウニ　ナッテンノ。(赤－d男4－2)
くりかえし	○トキドキハ　ホメラレナイトキ　アルケド　マイニチホメラレテ　イル。(赤－k女5－8) ○マンガバッカリ　ミテル。(自－v女5－10) ○オカアチャンモ　オドリヤッテンノ。オドリ　ヤリナガラ　オシバイ　ヤッテンノ。(自－g男5－8)	○オンナジ　ミチバッカリトオッテンダッテ。(小－篠男5－1) ○パピーヤ　ミテルシネ　ンート　ジェッターラッテ　ナンデモ　ミテル。(自－s男4－10) ○オカアシャンハ　オツトメデネ　ビョウイン　イッテンノ。(自－i男5－5)	○オウチデ　イツモ　アソンデンノ。(神－大男3－11) ○イロンナ　マンガ　ミテンノ。(小－矢女4－0) ○おかあさんはいつもなにしてんの？　オシャワン　アラッテンノ。(赤－c男3－8)
相対的な過去	○ウサギガ　メヲ　サマシタラ　モウ　カメハ　ツイテタノ。(赤－p女6－2) ○メヲ　アケテ　ミタラ　カメガ　イットウン　ナッテタノ。(自－e男6－1)		
	○ボク　ソノトキ　ウマレテナカッタヨ。(自－t男6－2) ○ワカンナイヨ。　ヨンデナカッタモン。(自－b男6－0)	○ソンナ　ホン　ミテナイカラ　シラナインダー。(神－織男4－4) ○ストムガネ　ンート　マーイ　カイッテナカッタノ。(自－s男4－10)	○マダ　キイテナカッタカラ。(小－矢女4－0) ○ダケド　シンデ　ナカッタヨ。(赤－d男4－2)

11.3　結果動詞の用法

11.31　結果動詞の用法

吉川武時1973では，結果動詞「よんである」の用法は，つぎの五つにわけられている。

1)　対象の位置が変化した結果の状態

　　○そばにオーストリアの帽子を掛けたさおが立ててある。　(中三)

2)　対象が変化した結果の状態

　　○わたしの家は，ひとに貸してある。

3)　動作がおわったこと

○アパートを建てるということは十ヵ月も前に発表してある。

4) 放任

○男「おまけに，机の上には，読みさしの本を，ひらきっぱなしにしてあるんだ。」（砂の女）

5) 準備のためにした動作

2)から派生したものの例

○あついくにのどうぶつは，さむさによわいので，へやをあたたかくしてあります。（一下）

3)から派生したものの例

○川島「燃料も用意してあるぞ。」（須崎勝弥「キスカ」）

このうち，1)と2)は，わけなくてもよいだろう。3)は，「よんでいる」の5)，6)に対比しうる。5)には，もっと典型的なものとして，つぎのような例をあげたほうがよいだろう。

○食糧は彼方で貰ひたまへ，話してあるから，（火野葦平「麦と兵隊」）

○女中にまで口留めしてある。（志賀直哉「暗夜行路」）

結果動詞「してある」の1)～4)の用法は，持続動詞「している」の結果的な用法と対応するものである。この両者は，アスペクトの面では，おなじであり，その対立のしかたはボイス的である。つまり，「している」のばあいは，動作主体の結果の状態であり，「してある」のばあいは，動作対象の結果の状態である。したがって，この両者は，格支配のしかたがことなる。つまり，「してある」のばあいは，おおくのばあい，対象が主格であらわれて，主語となる。

11.32 幼児の使用した結果動詞

幼児の使用した結果動詞は，その基本的な用法である結果の状態と放任の状態の両方にわたっていた。準備的な用法は，その典型的なものがなかったので，「結果・準備の状態」としてあげておいた。3)の相対的な過去をあらわす用法はなかった。

なお，結果の状態をあらわす用法については，動作対象がどんな形式であらわれているかもしめしておいた。

種類	年長児	年中児	年少児
結果の状態 —が	○コウ マールクテ ホシデネ ナカニ コウイウ ジガ カイテ アッタノ。（赤－e男5－10） ○ミルトネ カブガ オイテアッテネ （自－c男6－3） ○マールイ オスベリダイニネ トンネルガ ホッテ アッテ （赤－j女6－6）	○ウラニハ フネガ イッパイ オイテ アンノ。（自－t男5－3） ○ソレカラ カミガ ハッテアッテ，（小－久女4－7）	

はだか格	○カレンダー イッパイ コウイウ フウニ カサネテアッタ。(赤－f男6－3) ○キャラメルネ ダイノ ウエ オイテ アル トコネ(白－f男5－5) ○ハジメネ セン ヒイテアッテ (赤－K男5－11) ○オママゴト オジイチャンチニネ ア オイテ アルンダヨ。(白－p女6－1)	○オナジ モノ アスコニカイテ アルネー (赤－d男5－4) ○歯がわるいの？ そう。ギン ツメテ アルヨ。(赤－b男5－6)	○オモイ モノ ココニ ベッタント クッツケテ アルカラ。(赤－d男4－2) ○コウ ヤッテテネ ナンカカケテ アル トキハネ アソバナイノ。(神－三男4－0)
とりたて	○ソレデ ツヅキハネ アノー チガウ ホンニ カイテアンノ。(白－o女6－1) ○オハナシナラネ コウイウアッツイ ゴホンニ カイテアンノ。(白－o女6－1)	○エーダケ カイテ アッテ,ソレヲ ウツシテンダモン。(白－b男5－1)	
――って	○シマウマト ライオンテカイテ アル。(赤－Q男6－4) ○サンジュウニ ン ニッテカイテ アル トコロダヨ。(赤－g男5－10)	○ニジュウサンテ カイテアル トコロガ (赤－t男5－1) ○イチガツバッカリ ウマレタ ヒトッテ カイテ アルノ。(小－筧女4－7)	○アイザワッテ カイテ アルダケ (小－相男4－4) ○ナンテ カイテ アルカヨンデ ゴラン。(赤－d男4－2)
な し	○ウント ボタンデ ハメテアッカラ ダイジョウブ。(白－s男5－9)	○エホンニ カイテ アッタノ。(神－桑女4－10)	○コレニ カイテ アル？(神－場男3－10)
準備・結果の状態	○イツモ ナンカ カウ。ためとかないの。タメテ アルノ。(白－w女6－5)	○イヌ カッテルケドネ タカイドニ アズケテ アルノ。(小－篠男5－1) ○ソレネ シマッタアルケドネ (白－b男5－1)	
放任の状態	○ソイデ シマウマガ タクサン イテネ ホッポッテアルノ。(赤－P女6－3)		

11.4 処置動詞の用法

11.41 処置動詞の用法[注1)]

処置動詞「よんでおく」は，アスペクト的な用法として，状態をつくりだしてそれを維持することをあらわすものと，放任状態を維持することをあらわすものとがある。

1) 状態つくり・状態維持

○なわとびのなわを十五組教室の後ろにかけておきます。(四下)

○友田「加藤さんは奥さんに鍵をあずけておいたんです」

(井手俊郎「女の中にいる他人」)

注1) 用例は，吉川武時1973から借用した。

2） 放任

○権藤「もう沢山さ，ほっといてくれ」（黒沢明「天国と地獄」）

状態つくり・状態維持の用法は，その基本的なアスペクト的性格のうえに，べつのニュアンスをつけくわえて，準備や一時的処置をあらわすものへ発展する。

3） 準備

○権藤「二階のを使え……これは大阪からの返事に空けておきたいんだ」

（天国と地獄）

○「これをあげる。のんでおきなさい。よく駆けれるから。」（中二）

4） 一時的処置

○鵜飼「これだけは一応腹へ入れておいてもらいたいんだがね」

（橋本忍「白い巨塔」）

その他の特殊な用法として，たとえば，つぎのようなものがある。

5） 意志的な動作

○「洪ちゃ，腹が痛くなったら，すぐやめとけや。」（中二）

○ケイ子「一寸飲んでいるようやからおビールにしとこ」（白い巨塔）

6） （逆接につかって）先行する行為をあらわす。

○ケイコ「誤診で人を一人殺しておいて，そのあんたに出来ることは，うちの顔を！」

（白い巨塔）

11.42 幼児の使用した処置動詞

今回の幼児の資料は，うえにあげたような，いろいろの用法にまたがっていた。ただし，処置動詞には，このほかまだ特殊な用法がいくつかあって，そうしたものをすべて幼児が所有しているわけではない。

○せいぜい名残りを惜しんでおきましたよ。（音楽の友56年10月）

しかし，基本的なものは，この年代の幼児にもつかいこなせるといってよいだろう。

種　類	年・長　児	年　中　児	年　少　児
状態つくり・状態維持	○キノ　シタニ　ナンカノ　クダモンノ　ミヲ　オイテ　オクノ。（自－s男5－9） ○コブヲ　アシタマデ　アズカッテ　オク。（赤－w男6－3） ○ソウイウノ　アノネ　アツメテ　アノ　ハコン　ナカニ　イレトクノ。（赤－u男6－5）	○ウーントネ　カジャットイタノ。（自－e女4－8） ○コノ　バッチ　ツケトクノ。（小－川男4－10）	○オニカイニ　オイトイタラネ　ダレカネ　モッテッチャッタノ。（自－b女3－10） ○ヒコウキト　ジドウシャヲア　シマトクノ。（自－d男3－10） ○ジドウシャト　ヒコウキエー　シャコニ　イレトクノ。（自－d男3－10）
放　任	○ヤリマス。マカシトイテクダサイ。（赤－m女6－3） ○ソノママ　カワカシトイテ	○ソレデ　ホットイタラ　ダンダン　アノウエニ　サイテキタノ。（赤－g女4－8）	○ノコリハネ　ノコシテ　オクノ。（神－高男4－4）

	ネ　ヨウチエン　モッテッタノ。(赤－k女5－8)	○イチゴヲ　ノコシトクノヨ。(赤－i女5－3)
準　備	○ソイデ　ミルク　オカアサン　ツクットイテ　クレルノネ。(赤－E女5－8) ○フタリネ　ヨウイシトイタノニネ　(自－l男5－7) ○オジイサンニモ　トットイテネ　(自－h女5－7) ○マタ　アシタニ　ナッタラソコン　トコ　ミテ　オクノ。(自－s男5－9) ○「オッコトサナイデ　チョウダイ」ッテ　イットクノネ。ソウスット　オッコトサナイ。(赤－E女5－8)	○コンドノ　ニチヨウビ　ドッカヘ　ユクッ　チュッテネ　トットイテネ〔チョコレートヲ〕(自－j女4－7) ○ウント　カットイテネ　ナンカネ　ウント　ヨル　ニネネ　タベンノ。(小－伊男4－3) ○コウ　イットクデショ。ソシタラ　マースグ　イッテソレ　ワタンノ。(小－志男4－2)
意　志	○ダカラネ　イツモ　ハンブングライデ　ヤメトク。(赤－E女5－8)	
先行する行　為	○ジマンシトイテネ，ソレカラネ　ココマデハ　ツカナイダロウト　オモッテ　ヒルネナンカ　シチャ　イケナイコト。(赤－L女5－9)	

11.5　終結動詞の用法

11.51　終結動詞の用法

終結動作「してしまう」の用法を，高橋太郎1969では，三つにわけた。

1)　終了：継続的またはくりかえしの動作がしまいまでおこなわれる。

○暮れてしまわないうちに　(麦と兵隊)

○貨物列車が通ってしまふと目隠しをとったやうに，線路向うの蕎麦の花が鮮に見えた。(川端康成「雪国」)

○電燈がみんな消えてしまった。

2)　最終過程の実現：過程のおわりとしておこなわれる動作が実現する。

○家の血流が絶えてしまう。(円地文子「女坂」)

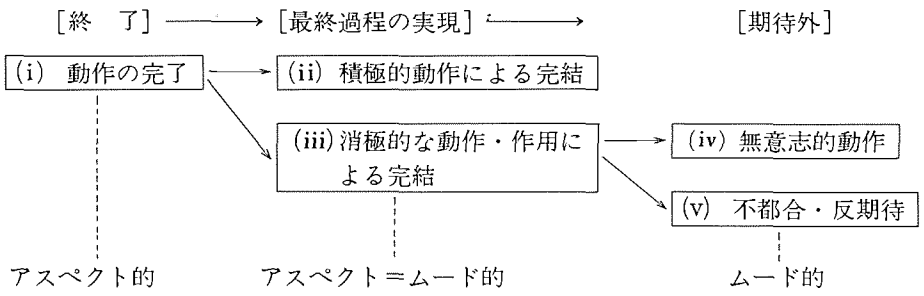
○紡績工場をつくって社長になったが，これはすぐ飽きて，他人に渡してしまった。(阿部友二「冬の宿」)

3)　期待外：予期しなかったこと，よくないことが実現する。

○彼は思はず笑ひ出してしまった。(高見順「故旧忘れ得べき」)

○おれはお前に済まないことをしてしまった。(暗夜行路)

この三分類をもとにして，吉川武時は，つぎのような5分類にした。



吉川1973では，これらの用法を実現する動詞の種類等の条件をくわしくのべているが，ここでは，それぞれ1例ずつあげておく。

(i)　○ピノキオは，なしを三つとも食べてしまうと，「もう，なんにもないの」とききました。（三上）

(ii)　○それで，おまわりさんは，ゼベットをとらえて，ろうやに入れてしまいました。（三上）

(iii)　○目標の灯は，どこかに消えてしまった。（砂の女）

(iv)　○落合「一寸ね，……しかし，初めてだからね，少しあがっちゃってね……」（橋本忍「白と黒」）

(v)　○初めに竹の節をくりぬいて作りましたが，竹では水にういてしまうので，ブリキにしました。（四下）

以上は「よんでしまう」（「よんじまう」）の用法である。

しかし，「よんじゃう」になると，さらに用法がひろがり，ひろく，動作や状態の実現をあらわし，（すこしオーバーないいかたをすると，）単に「する」というのにちかくなる。

○「いやになっちゃふわね，ねえ小関さん」（故旧忘れ得べき）

○ああ，ハラへっちゃった。

11.52　幼児の使用した終結動詞

今回の幼児資料では，年長児にも年中児にも年少児にも「よんでしまう」の例があった。しかし，これらはひじょうにすくなく，「よんじゃう」のかたちが圧倒的におおかった。

「よんじゃう」の用法は，終了をあらわすものは，ひじょうにすくなく，大部分は，終結動作の成立と，「よんじゃった」特有の用法である動作の成立であって，期待外の用法も，それほどおおくはなかった。

この幼児の「よんじゃう」の用法をくわしく分析するためには，おとなの会話文にでてくる「よんじゃう」をさきに分析しておく必要があるのだが，現在てもとにある文学作品のカードには，それがほとんどないので，ここでは，これ以上分析しなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
動作の完了	○シラナイ　ヒトガ　キテネゼンブ　タベチャッタラ(自－y男6－0)	○ミンナ　ヤッツケチャッタノ。(小－谷男4－11)	○アタシハ　ミンナ　タベチャッタヨ。(赤－a女3－10)
終結動作の成立	○ミズ　ヤンナカッタカラネカレチャッタノ。(赤－y男5－7) ○そのおはなし知ってる？ワスレチャッタ。(自－y男6－0) ○ソレデ　オカアサマガネウーント　モウネ　ウーントテンゴクニネ　カミサマニナッチャッタノ。(赤－u女5－11)	○ウルトラセブン　ヨル　ハジマッテ　モウ　オワッチャッタヨ。(小－永男4－4) ○ボク。ワツレチャッタ。(神－北男4－11) ○おばあさんがどうしたの？シンジャッタノ。(小－関男5－0)	○ジシンガ　クルト　ドスーンテ　コワレチャウ？(小－佐男4－3) ○アケチャ　イケナイッテイッタノニ　アケタカラ　オジイサン　ナッチャッタノ。(赤－I男4－3)
予期・期待に反する動作の成立	○ウサギハ　カケテ　イルトキニネ　ネムク　ナッチャッテ　ネタノ。(赤－u女5－11) ○ウエ　ムイテ　シタ　ムイテタラネ　ソシタラネ　ワカンナイデネ　ドロン　トコフンジャッタンダヨー。(自－l男5－7) ○チョット　サワッタラ　ボイーンッテ　ウゴイチャッタカラネ　ニゲテ　イッタノ。(赤－f男6－3)	○カメト　ウサギハネ　マチガエテ　ハンタイ　イッチャッタノ。(小－山女4－5) ○ネズミガネ　ウント　トビダツ　ダンプト　ブツカッチャッタノ。(神－北男4－11) ○アノネ　カジノ　ユメダトカ　ミチャウ。(小－筧女4－7)	○タイソウガ　ハジマッチャッタヨ。(神－場男3－10) ○ウチャギサンガ　トチュウデネ　ネ　ネチャッタノ。(神－古男4－5) ○ソレカラ　カメサンモ　ノロウト　シマシタケド　オッコッチャウマシタ。(小－佐男4－3) ○ライヨン　コロンジャッタノ。(赤－l男4－3)
動作の成立	○オハナガ　シオレテルカラミズ　ヤッタラ　ミズヲ　ヤッタラ　ピーント　タッチャッタノ。(赤－f男6－3) ○オトコナノニ　オンナノネキモノ　キテ　デテ　キタラネ　オモシロガッチャッテネミーンナ　トンデ　イッチャッタノ。(赤－o女6－1) ○[海で]アキラクンネ　コワガッテネ　ニゲテ　イッテネソレカラネ　ボクダケネ　ヨロコンデ　ハイッチャッタノ。(自－B男5－7)	○ミズ　アゲタラネ　ハナサイチャッタノ。(神－井男5－0) ○[こんどの運動会で]ボクハガンバッチマウカラ。(小－永男4－4) ○オカアサンタチモ　シログミデネ　マタ　シロガ　カッチャッタノ。アカ　イッパイマケチャッタノ。(小－押女5－1)	○イッパイ　オミズ　ヤルカラ，ホイデ　ナオッチャッタノ。(自－h男3－5) ○オシリ　ブッチャッタヨ。おかあさんがぶっちゃうの？ウン。(自－a女3－10) ○だれにおそわったの？　ミーチャン　ジブンデ　オソワッチャッタ。(小－矢女4－0)

11.6　ちかづき動詞ととおのき動詞の用法

11.61　ちかづき動詞ととおのき動詞の用法

ちかづき動詞ととおのき動詞の用法については，吉川武時1973が，よく整理しているので，そ

の「要約」のところからここに引用しよう。

(II2)「してくる，していく」の意味とそれの実現する条件

(1) 「してくる，していく」の形は，空間的移動の意味をあらわす場合と，アスペクトをあらわす場合とがある。

空間的移動を意味する例

本やへいって，え本をかってきました。一下75

かぐやひめは，月の国へかえっていきました。二上102

アスペクトをあらわす例

だんだんおなかがすいてきました。三上31

新しい観光地として発展させていけばいい…砂の女36

「してくる」と「していく」とは，空間的移動の意味の場合も，アスペクトをあらわす場合も，基本的には対応している。

例

空間的移動の意味の場合	みんな，はしってきました。	みんな，はしっていきました。
アスペクトをあらわす場合	ここまで成長してきたわたしたち	年々成長していくわたしたち…

空間的移動の意味をあらわす場合をII2.1であつかい，アスペクトをあらわす場合をII2.2でのべた。(II2.0)

(2) 「してくる」「していく」の形が空間的移動をあらわす用法はさらに次のように四つに分けることができる。(II2.10)

(i) 「して」が「くる」または「いく」前にする動作をあらわす場合

例 本やへいって，え本をかってきました。一下75

「そのかわり，その白い馬は，おいていけ。」二下100

(ii) 「して」が「くる」または「いく」方法をあらわす場合

例 そのとき，子どもがひとり，あるいてきました。一下71

みんな，はしっていきます。一下53

(iii) 「して」が「くる」または「いく」ときの状態をあらわす場合

例 てっぽうをもってきました。一上53

わらをくわえていこう。一上31

(iv)(a)発言者のいる所へちかよる動作・作用をあらわす「してくる」

例 その声をきいて，くまが，あなから出てきました。二下76

(b) 発言者のいる所からとおざかる動作・作用をあらわす「していく」

例 かぐやひめは，月の国へかえっていきました。二上102

(3) これら四つの用法においては，「て」フォームをとる動詞のあらわす意味と，「くる」または「いく」との関係が，意味的にことなるばかりでなく，その二つの動詞の関係の緊密さが(i)から(iv)の方向にいくにしたがって，しだいに強くなる。例えば，(i)の例は，

本やへいって，え本をかって，それを友だちの家にとどけて，きました。

のように，「て」フォームの動詞と「くる」との間に他の部分を入れることができるが，(iv)の場合には，「て」フォームの動詞と，「くる」とをはなすことができない。(II2.10)

(4) これら四つの用法を実現する条件として動詞の語い的意味の性格が大きく働いている。それぞれの用法と，それに関係のある動詞の性格をあげると次のようになる。(II2.11～II2.14)

(i) 「て」フォームをとる動詞が「くる」または「いく」に先行する動作をあらわす場合

これには，何かを手に入れることを意味する動詞，例えば，「買う，取る，拾う，もらう」と，何かを手ばなすことを意味する動詞，例えば「預ける，置く，とどける」が，比較的多く見出される。

(ii) 「て」フォームをとる動詞が「くる」または「いく」方法をあらわす場合

これには，「あるく，およぐ，はしる」など方向性のない移動動詞が用いられる。

(iii) 「て」フォームをとる動詞が「くる」または「いく」ときの状態をあらわす場合

これには,「持つ, かつぐ, くわえる」など,「持つ」の類の語および,「着る,(顔を)かくす」など主体の状態を変化させる意味の動詞がつかわれる。

(iv) 発言者のいる所へちかよる動作・作用をあらわす場合(「してくる」)と, そこからとおざかる動作・作用をあらわす場合(「していく」)

「て」フォームをとる動詞の種類はどちらの場合もほぼ同じである。これには,「はいる, でる, あがる, さがる, かえる」などの移動動詞「とびつく, はたらきかける, ほえかかる」などの方向動詞がある。

(5) 「してくる」「していく」が空間的移動をあらわす場合に,「て」フォームをとる動詞が, 移動または方向をあらわすか, どうかということが,「してくる」「していく」のあらわす意味の実現に深くかかわっている。したがって, その観点から, 移動動詞, 方向動詞についてその性格を検討した。(II2.14)

(6) アスペクトをあらわす「してくる」と「していく」とは, 下表のように(3)を除いて, 相対応している。(II2.20)

「してくる」は次のことをあらわす。

(i)(a) 出現の過程

例 ことばは生活の中から生まれてきます。六上117

目がさめているときには思い出せないそれらのものが, ゆめの中では, 見たときのままのすがたで現われてくるのでした。六上39

(ii) 変化の過程

例 だんだんおなかがすいてきました。三上31

日がたつにつれて, 白鳥の数が, ふえてきました。三下28

(iii) 動作・作用のはじまり

例 そのうちに, 雨がふってきました。三下21

わたしは, アベベが, このままつっ走って, 第一位になるのではないかという予感がしてきました。六上83

(iv)(a) ある時点までの継続

例 おたがいにはげまし合ってきた, この年月。六下131

四キロメートルの間第二位を守り続けてきて, ゴール直前でぬかれたのです。六上84

「していく」は次のことをあらわす。

(i)(b) 消めつの過程

例 …心細く思いながら, きえていく白鳥のむれを見送りました。三下30

その後, いつとはなしに, クロのことはわたしの心から消えていき…六下100

(ii) 変化の過程

例 けれども, 病気は, ますます重くなっていきました。六上101

医師が一歩一歩近づくにつれて, 心配は増していきました。六上93

(iv)(b) ある時点からの継続

例 うまく宣伝して, 新しい観光地として発展させていけばいい…砂の女36

引き続いて場内では, 千五百メートル競走, 男女それぞれの四百メートルリレーと, 次々に決勝が行なわれていきました。六上82

(7) 「してくる, していく」がアスペクトをあらわす場合, (ii)の変化の過程が最も基本的と考えられる。変化の過程をあらわす「してくる」「していく」は変化動詞からつくられる。変化動詞とは「かわる, ふえる, へる, たてこむ」のようなもので, その動作・作用のはじまりから, おわりまでの過程に一定の時間を必要とするものであるが,「している」の形をとる場合には, 瞬間動詞として働き, ふつうの条件では, 継続をあらわさない。動詞を瞬間性, 継続性の観点からながめる場合, 変化動詞は,「している」のときに構文的条件なしに継続をあらわす継続動詞と,「してくる, していく」の場合にも過程をあらわさない瞬間動詞(例えば「パンクする」「目撃する」など)との中間に位置づ

けられるであろう。結果動詞・非結果動詞という観点から見た場合には，もちろん，結果動詞である。（II2.22）

(8) 変化動詞のうち，出現をあらわす動詞は，「してくる」の形で，出現の過程をあらわすことができ，また消めつをあらわす動詞は「していく」の形で消めつの過程をあらわす。出現および消めつをあらわす変化動詞が，(ii)変化の過程をあらわすか，(i)出現または消めつの過程をあらわすかどうかは，構文的または文脈的条件によってきまる。変化動詞でない出現または消めつをあらわす瞬間動詞（例えば「「生まれる，死ぬ」）も「してくる，していく」の形で出現または消めつの過程をあらわす。この場合には，(ii) 変化の過程をあらわさないので，それ自身によって，(i)出現または消めつの過程をあらわすことがわかる。（II2.21）

(9) 「してくる」という形には「しはじめる」と同様に，(iii)動作・作用のはじまりをあらわす意味があるが，「していく」には，「しおわる」のような動作・作用のおわりをあらわす用法がない。この点で，「してくる」と「していく」とは，対応していない。「しはじめる」の意味で「してくる」という形になるのは，「（雨が）ふる，（雨が）ぱらつく」のような作用をあらわす動詞，「きこえる，みえる，予感がする，思われる」のような可能や感覚をあらわす動詞である。（II2.23）

(10) 「してくる」は動作が以前からある時点まで継続することをあらわす。同様に「していく」は動作がある時点から継続することをあらわす。「してくる」「していく」のこの用法の場合，「育てる，生活する」などのスケールの大きな動詞によってあらわされる場合と，「考える，読む」などのスケールの小さな動詞によってあらわされる場合とがある。スケールの大きな動詞の場合は，遠い過去からの継続または遠い将来への継続をあらわす。スケールの小さな動詞の場合は，遠い過去からの継続または遠い将来への継続をあらわす場合と，近い過去からの継続または近い将来への継続をあらわす場合とがある。スケールの小さな動詞が，後者をあらわす場合には，次のような条件が必要である。（II2.24）

(a) 「～つづける」という複合語であること
例 彼は作文を書きつづけていった。

(b) 動作を順番にすることが示されていること
例 松の木を次々にうえてきた。

(c) 空間的意味をたもっていること
例 ここまで床をふいてきた。

(11) ある時点までの継続をあらわす「してくる」は，述語として用いられる場合には，「してきた」と用いられて，「してくる」にはならない。一方，「していく」は，「していく」「していった」両形が用いられる。このあたりの問題をながめるとき，アスペクトがテンスと密接にからみあっていることが見られる。（II2.24）

(12) この論文では，アスペクトをあらわす「してくる，していく」を四つに分けた。その中で，(ii)変化の過程をあらわす用法に関連して，「変化動詞」を立てた。また，(5)にのべたように，移動動詞と方向動詞について考察し，(7)(8)(9)(10)にのべたように，アスペクトの意味とそれを実現する動詞との関係を細かく考察した。

11.62 幼児の使用したちかづき動詞

幼児の使用したちかづき動詞の例をこのあとにあげる。

ここで「先行動作の結果がようすとなる」といっているのは，吉川の「くるときの状態をあらわす場合」にあたり，「くるときのようす」が「くる方法をあらわす場合」にあたる。また，ここでは，「いってくる」「やってくる」を特別の動詞として，別だてにした。

幼児のちかづき動詞の用法は，それが移動動作をあらわすばあいには，用法の全般にわたっていたが，アスペクトとしての用法では，ある時点までの継続をあらわす用法がかけていた。

種類	年長児	年中児	年少児
移動動詞としての用法 「よんで」が動作をあらわす先行する動作	○きょうあさなにしてきた？ゴハン タベテ キタ。(自－k男5－8) ○「カオ アラッテ クル」ッテネ ウソ ツイテ オソト イッチャウノ。(赤－s女5－8) ○ミイラダトカ ガイコツダトカ カイブツノ フネダトカ アッテネ ソシテ ミンナ ミテ キタノ。(赤－w男6－3)	○ゴハン タベテ キタノ。(自－u女5－5) ○ヨルン ナッテ トマッテキタノ。(自－s男4－10) ○シンゴウ ワタッテ クルノ。(小－嘉女4－8)	○ボクネ イロンナ オモチャ ミテ キタノ。(赤－i男4－2) ○クラウンデ イッテネ オシ オハナ イケテ クンノ。(神－宮男3－8) ○チイタンチデネ ゴハン タベテ キタノ。(神－大男3－11)
先行動作の結果がようすとなる	○オトウサンネ オモチャ カッテ キテ クレル (自－h男5－7) ○イナカデ クワガタ トッテ キタ。(自－s男5－9) ○イッカイ ボクノ コトデテガミネ ト ワスレテ キタカラネ トリニ イッタコト アル。(赤－w男6－3)	○アノネ マニキア ヌッテキチャッタ。(神－村男4－3) ○ハタケニ トンボガ イッパイ イテネ ツカマエテキタノ。(自－s男4－10) ○デンキガネ キレタ トキヤネ デンキハネ ウントカイシャカラ ツクッテ クンノ。(神－伊男4－1)	○ソイデ ケーキ カッテキテ クレタノ。(神－三男4－0) ○ヨウチエンカラ モラッテキタ ホン ヨンデ, (神－村女3－6) ○ウミガ アッテネ オシャカナ トッテ キタンダッテ。(自－b女3－10)
くるときのようす	○ムコウノ ホウカラ モモガ ナガレテ キタンダッテ。(自－u女6－5) ○セマイ ミチヲ トオッテキテネ (赤－t男6－0) ○ライオンガネ シンサンヲネ ツレテ キテネ (赤－B女5－8)	○キジガ トンデ キテネ (赤－e女4－9) ○イヌガ アトカラ ツイテキタノ。(小－原男5－0) ○カメガ ココニ アルイテキタノ。(小－小林男4－3)	○モイッカイ ピーッ。マタトンデ クンノ。(神－三男4－0) ○アソブ ヒト ツレテ キテネ アソンダノ。(神－寺男4－4) ○ソンデ スイーット オヨイデ クルネ。(神－場男3－10)
ちかづく動作	○オテントサマガ デテ キテネ (自－j男5－7) ○シマウマガネ イッパイアツマッテ クルンデショ。(赤－t女6－4) ○ウルトラマンガ コウゲキシテ キタラ (赤－a男5－11)	○オジイサンガ カエッテキテネ キロウト シタラヒトリデニ ワレテ モモタロウガ デテ キタノ。(赤－e女4－9) ○シタニ オリテ キテ (小－押女5－1)	○オトウチャンガ カエッテキテネ, (神－秋男3－11) ○ワルイ ヤツ コウヤッテムカッテ キテネ (赤－i男4－2) ○ドカーンテ ミンナ オッコッテ クンダモン。(小－佐男4－3)

とくべつの動詞 いってくる	○ソンナラ　イッテラッシャイ。(自－u女6－5)	○メリーノ　オバアチャンチ　イッテ　キタノ。(神－大女4－6)	○「イッテ　キマース」(小－原女3－7)
やってくる	○マホウツカイガ　ヤッテ　キテネ，(赤－B女5－8)	○ウサギノ　トコカラ　カメサンガ　ヤッテ　キテ　ソレデ　キョウソウシタノヨネ。(赤－f女4－10)	○サンバンメノ　ウシクンガ　ヤッテ　キマシタ。(神－狗女4－3)
アスペクト動詞としての用法			
出現の過程	○ネツガ　デテ　キテネ。(自－o女6－1) ○ソイデ　ノマシタカラ　イリョクガ　デテ　キテネ　(自－l男5－7)	○ナカカラ　アカチャンガ　ウマレテ　キテ　(神－師女4－11) ○ソコヲ　トオッタラ　ミエテ　イク　クルノ。(赤－a男4－11)	○オカアサンノ　オナカニマタ　アカチャンガ　ウマレテ　クルノ。(神－折女4－3)
変化の過程	○ジュリアノネ　オカアサンハ　トシヲ　トッテ　キテシンジャッテネ　(自－o女6－1) ○カメガ　ダンダン　ハヤクナッテ　キテ　(赤－r男6－3)	○アシガ　ドンドン　ナガクナッテ　クンノ。(神－村男4－3) ○オジイサンノ　ウチハ　ダンダン　オカネモチニ　ナッテ　キマシタ。(神－桑女4－10) ○シボレタ　ハナガ　ダンダン　ヒライテ　クンノ。(自－i男5－5)	○ハッパハネ　オオキク　ナッテ　クルノ，ダンダン。(神－村女3－6) ○ジャグルブックッテネ　ダンダン　オオキク　ナッテ　キテネ。(神－三男4－0)
動作のはじまり	○ソイダラ　アメガ　ザーザー　フッテ　キタンデネ　(赤－w男6－3) ○ソイデ　オヒサマガ　テッテ　キタラネ　モウ　オハナガ　ピーント　ノビチャッタ。(赤－f女5－9) ○ミズヲ　アゲタカラ　サイテ　キタノ。(赤－i男6－2)	○オテンキガ　ヨク　ナッテ　キタノ。(小－山中女5－0)	○モウサー　アメ　フッテ　コナイカラ　(赤－f女4－2) ○オハナガネ　サイテ　キタノ。(小－岸男3－11)

11.63　幼児の使用したとおのき動詞

幼児の使用したとおのき動詞の例をこのあとにあげる。

ここで「先行動作の結果がようすとなる」といっているのは，吉川の「いくときの状態をあらわす場合」にあたり，「いくときのようす」が「いく方法をあらわす場合」にあたる。ここで「順次的な動作」といっているのは，吉川の「ある時点からの継続」のなかのスケールの小さな動詞の(b)のばあいである。

幼児のとおのき動詞の用法は，それが移動動作をあらわすばあいには，用法の全般にわたっていた。アスペクトとしての用法では，スケールのちいさな動作をのぞくと，ちかづき動詞のばあいと同様，継続的用法がかけている。また，消滅の過程の用法がないのも特徴的である。

種類	年長児	年中児	年少児
移動動詞としての用法			
「よんで」が動作をあらわす先行する動作	○ソシテ ドアヲ パターント シメテ イッテネ（自－o女6－1） ○「バンマデ カカルカラ ネムッテ イコウ」ッテ イッタラ（赤－h女6－6）	○オツカイ キョウ ヨッテ イキマスカラ。 バイバイ。（小－野女4－9）	○「アラッテ イキナサイ」ッテ イッテンノ。（小－原女3－7）
先行動作の結果がようすとなる	○イロンナ ボウ ツクッテ イッテネ ……イロンナ モンヲ ガレージヤナンカ ツクッテネ（赤－q男5－11） ○ヒトノ モノ カリテ キテ オイテ イッタノネ（自－i男6－5）	○クマノ ウチニ ネズミガ キテネ ナニカ トッテ イッテネ（自－h女4－7）	○アメ フッタ トキネ イッテネ ナ ナンカ キテネ ナンカ キテ イッタノ。（神－三男4－0）
するときのようす	○ソイデネ ネズミガ スットンデ イッテ（自－a男5－11） ○モモタロウサン ワタシモツレテ イッテ クダサイ。（自－p女6－1） ○ウサギガ オソク ナッタカラ カケテ イッタノ。（赤－P女6－3）	○ソウシテ アルイテ イッタラ オウチ ツク。（神－師女4－11） ○ソウスルト コンド シマウマ オイカケテ イッテ（小－安男4－2） ○ママガネ オツカイ イクトキ イクコモ イク。イツモ ツイテ イク。（小－山女4－5）	○アノ ミチ トオッテ イクノ。（神－三男4－0） ○ウサギハ タッテ イクノ。（赤－p男3－7）
とおのく動作	○ウサギガ オヤマニ ノボッテ イッテネ（赤－w女6－2） ○ライオンガネ ウント シマウワン シマウマン トコニ チカヅイテ イッタノ。（自－l男5－7） ○ライオンガ ビックリシテ ウン アッチヲ ムイテ ニゲテ ユキマシタ。（赤－s男6－6）	○ライオン アルイテ カエッテ イッタラ シマウマヨロコンデンノ。（小－久女4－7） ○ミギヘ マガル トコ ハイッテ イッタラ ソシ ソコガネ ボクンチ。（小－横男4－4） ○ウサギガ ヤマヲ ノボッテ イキマシタ。（神－桑女4－10）	○サンビキノ ガラガラドン。……ヤマニ ノボッテ イクノ。（神－渡女3－10） ○オトウサント カエッテ イッタノ。（赤－b女4－4） ○ライヨンガ ニゲテ イッタノ。（神－大男3－11）
アスペクト動詞としての用法			
変化の進行	○ハナガ カレテルカラ ミズ ヤッタラネ ダンダン ダンダン ノビテ イッテネ（赤－o男6－2） ○ソレデ「ソダテマショウ」	○ハナガ ガ ダンダン カレテ イッタラ（自－b男5－1） ○オハナヲネ ミズ カケニキタラネー ドンドンドンネ	○ベンキョウシナイト ダンダン シンデ イクカラ（小－佐男4－3）

順次的な動作	ッテ　ユッテ　ソダテタノ。ソシタラネ　ウントネ　ドンドン　オッキク　ナッテ　イッテ　ソイデ　オジイサンタチガ　タスカッタノ。(赤－E女5－8) ○ウサギガネ　ハヤク　ナッテ　イクノ。(赤－d男6－4) ○ダイヤノネ　シチヲ　ダシタ　シトカラ　サイショネ　ウント　ダ　ウーント　ズート　ダシテ　イクノ。(赤－J女5－8) ○ミンナガ　ワーット　ヒッパルトサー　ウーント　イチバン　マエガ　コロブデショ。ソウスット　ダンダンニ　コロンデ　イクデショ。(赤－t男6－0)	アノネ　ノビテ　イッテネ　オハナン　ナッタノ。(白－h女4－7)

11.7　実現動詞の用法

11.71　実現動詞の用法[注1)]

実現動詞「よんでみる」は，実際にその動作が実現することをあらわすが，どうなっているかということを知るためにもくろんだ動作(ためしにする動作)であるばあいと，試験的な目的をもたない体験的な動作であるばあいとがある。

1)　ためしにする動作

○細君が下から呼んで見たが，返事がない。(田山花袋「蒲団」)

○水ん中よく見てみろ，随分いるぜ。(石原慎太郎「太陽の季節」)

○ちょっと見せてごらんなさい。

2)　体験的な動作

○俺もこんな女と一生に一度恋愛してみたいものだ。(故旧忘れ得べき)

○この夏病気になってみて，一層道雅の冷酷なことがわかったというのである。

(円地文子「女坂」)

○吾家も大一郎が死んで見ると，あとは鈴江一人で是非養子と云ふところだが，

(徳富蘆花「思出の記」)

そのほかに特殊な用法として，たとえば，つぎのようなものがある。

○その従妹たちをとりまく娘たちのあれこれに恋愛してみたりやめてみたりしていた。

(冬の宿)

○当人たちにしてみれば，うろうろしているどころの段ではない。

注1)　用例は，高橋太郎1969からとった。

（小林秀雄「私の人生観」）

11.72　幼児の使用した実現動詞

幼児は，実現動詞「よんでみる」の，ためしにする動作をあらわす用法も，体験する動作の用法も，つかっているが，その用法のバライエティは貧弱なようである。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
ためしにする動作	○オジイサンモネ　ウント　ヒトツ　オドッテ　ミヨウカナーット　オモッテ　オドッタノネ。（赤－w男６－３） ○オバアサンガ　ヒロッテ　タベテ　ミルトネ　オイシカッタカラネ（自－h女５－７） ○マドカラ　ノゾイテ　ミタラネ　オオカミノネ　オオカミ　ダッタノ。（赤－u女５－11）	○ウタッテ　ミヨウカ。（神－松女４－８） ○ウサギガネ　カメト　キョウソウシテ　ミタノ。ソシタラネ（小－成男４－７） ○ボウエンキョウ　モッテッタカラ　ノゾイテ　ミタラ　ミエタノ。（小－篠男５－１） ○オネエサンノ　フクヲネ　ヒロゲテ　ミテ　ナキダシチャッタンデスッテ。（赤－p女５－２）	○アノネ　ミミ　カシテ　ゴラン。かしてあげよう。コショコショ。（赤－d男４－２） ○ウミン　トコニ　ボートデ　ワタッテ　ミタノ。（赤－e男４－１）
発見条件	○ソイデネ　オキテ　ミルトネ　ウント　アオニダトカ……　イッパイ　イテ（赤－w男６－３） ○ウチニ　カイッテ　ミタラネ　ママガ　イタノ。（赤－L女５－９）	○アケテ　ミタラ　ワカル？（神－永男４－１）	○エートネ　オキテ　ミタラ　ユメダッタノ。（神－寺男４－４）

11.8　幼児の使用するアスペクト動詞の問題点

いままでみてきたことから，幼児のアスペクト動詞使用について，つぎのことがかんがえられる。

1）幼児は，たいていのアスペクト動詞をつかっている。

2）幼児は，アスペクト動詞の基本的な用法をつかいこなすちからをもっている。

3）アスペクト動詞の基本的でない用法，たとえば「よんでいる」の経験・記録的な用法，「よんである」の準備的な用法，「よんでおく」のモーダルな要素のつけくわわった用法，「よんでくる」と「よんでいく」の継続的な用法，「よんでみる」の体験的な用法などについては，まだ使用例のでなかったものがある。

また，幼児のアスペクト動詞のあやまりをつぎにあげるが，そのことから，つぎのようなことがいえる。

4）アスペクト動詞のもつアスペクト的な側面については，幼児はよく所有しているが，そのボイス的な側面，つまり「している」と「してある」のちがいについては，混乱をおこすものがすこしあった。

5）個別的な特徴をもった単語のアスペクト形式については，あやまるものがあった。

（「いてた」「しってない」など。）

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
持続態			
いてた	○サンニンノ　ブーフーウーガネ　ウント　オウチニ　イテタノネ(赤－u 女5－11)		
しってない	○コノ　オハナシ　シッテナイ。(赤－N女5－7他)	○シッテナイ。(小－藤男4－9他)	○シッテナイ。(小－岸男3－11他)
結果態			
主体の状態	○ウサギトネ　アノネ　オニワノ　ウラニネ　ハ　サイテアル　アノ　ダリア　カイタノ。(自－i女5－11) ○ソノ　トコロニ　ナワガアッタノ。　ソノ　トコロニツルガ　ヒッカカッテ　アッタノ。(赤－0女6－1) ○オハナハンッテネ　ウントムカシミタイナ　アタマ　シテテサー　キモノ　キテ　アルデショウ。(自－A女6－5)	○アブラゼミト　ネテ　アルノ。(自－t男5－3)	○ソシタラネ　カギガ　シマッテ　アウノ。(赤－i男4－2)

第12章　文法的な派生形容詞

12.1　幼児の使用した派生形容詞

今回の幼児資料にあった派生形容詞は，みぎのとおりである。

「よみたい」や「よみそうだ」は，幼児も，よくつかっている。

なお，「よみやすい」「よみにくい」にも「よみたい」と同様の格支配の問題があるが，今回は，例がすくなかったので，その分析はしなかった。「よんでほしい」はなかった。

	年年年 長中少
よみたい	○○○
よみやすい	○
よみにくい	○
よみそうだ	○○○

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よみたい	○「ソトヘ　デテ　クックト　アソビタイ」ット　ユッテ（自－o女6－1）	○モウ　オシッコシタイ。（小－端男　4－2）	○アノネ　バスノ　シャショウサン　ナリタイ。（神－三男　4－0）
よみやすい	○ソイデ　ソウシタ　ホウガ　レーシングカー　カイヤスイデショ。（自－y男6－0）		
よみにくい	○シンブンガ　ヨミニクイカラネ　メガネ　カッテカラネー（赤－q男5－11）		
よみそうだ	○トラックガ　キテネ　ブッカ　ブッカリソウダッタ。（赤－G男6－1）	○ココニ　ナンカ　アルノ，ココニ。ココ　トレソウナノ。（小－小林男4－3）	○ハナガ　カレソウダカラ。（赤－1男4－3）

12.2　「よみたい」の用法

12.21　他動詞のばあいの格支配

「よみたい」ははなしての希望をあらわす。（ただし，終助詞や接続助詞へつづくときや，過去形「よみたかった」のばあいなどには，三人称である主人公の希望をあらわすこともある。）この点は，感情形容詞ににている。

他動詞がこのかたちでつかわれたばあい，対象語をとることができるが，その対象語は，ガ格になったり，ヲ格になったりする。

つぎに，幼児のばあいの，対象語のあらわれかたをあげる。なお，ついでに自動詞のばあいの例もあげておく。

種類	年長児	年中児	年少児
自動詞			
	○ミンナ キタイ ヒトハキテ イインダケド(自－q女6－1) ○ソレデ イキタカッタカラネ (赤－o女6－1) ○アタシネ オラナイ ワケジャ ナインダケドネ オリタク ナカッタノ。(自－g女5－11) ○センセイニ ナリタク ナッチャッタ。(赤－u女5－11)	○オウチニネ カエリタイカラネ (赤－k女5－3) ○ダッテ オツトメシタインダモン (赤－i女5－3) ○チムハ フナノリニ ナルナリタクテ ショウガナイデス。(自－t男5－3) ○オモシロクテネ モットアソビタク ナルンダケド (神－大女4－6)	○ハヤク カエリタイナ。(赤－n男3－7) ○サッキン トコ イキタインダモン。(小－福男4－2) ○ゼンゼン アソビタク ナイヨ。(小－佐男4－3)
移動動詞(－ヲ)。	○カワヲ ワタリタカッタカラ ウソ ツイテタノ。(赤－o女6－1) ○ボクハ ソラヲ トビタイナー (自－m女6－4)		
他動詞			
－ガ	○コワイ ユメガ ミタク ナイカラ イッツモ コワイユメガ ミタク ナイナートオモッテ スグ ナクカラ (赤－j女6－6) ○オソウジガ トクニ ヤリタイシネ (赤－I女5－8) ○カンガルキョウソウガ ヤリタカッタノ。(赤－c女6－1)	○カレライスガ タベタイナ。(神－松女4－8)	
－ヲ		○ヤマンバガネ ウシヲ ウント「サカナヲ タベタイ」ッテ ユッテネ (小－成男4－7)	
はだか格	○タマニネ アカチャン ミタイッテ ヨウコガ ユウンダヨネ。(自－t女6－4) ○メー ツブリタク ナイトキハ ホカノ ヘヤニ イルノ。(赤－I女5－8) ○サトシ カケッコト ツナヒキ ヤリタカッタ。(赤－a男5－11)	○「オソバ タベタイ」ッテ イウトネ ツクッテ クレルノ。(小－成男4－7) ○ダッテ ネジュミ トリタイカラ (神－柳男4－5) ○ミズ ノミタイカラネ，ノドカワイタカラ，(赤－k女5－3)	○ボク コレ ヤリタイナ。(赤－n男3－7) ○ボク アレノ オハナシシタイナ。(赤－n男3－7) ○オワッタラ ミズ ノミタク ナッチャッタ。(赤－d男4－2)
とりたて形	○ゴハン タベンノ ツクンノモ ヤリタイノ。(赤－I女5－8)		○ボク コレ ヤリタイナ。コレモ ヤリタインダモン。(赤－n男3－7)

対象語なし	○オハナハンハネ　オカアサンガ　ミタイッテ　イウカラ（自－A女6－5） ○タベタク　ナッタラ　マタタベンノ。（神－高男4－4） ○ガッコウノ　ヒトガ　ヨミタイッテ　ユッテ　ヨンデ（赤－k女6－2）	○ボク　ロクオンキデ　ハヤク　キキタイナ。（小－川男4－10） ○デモネ　ミタク　ナイ　モノハ　ミナイ。（小－篤女4－7）	○コッカラ　ヨミタイナ。（小－竹男4－1）

12.22 「よみたい」の問題例

幼児の使用例のなかに，「よめたらいい」の意味を，「よみたい」のかたちであらわすものがあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
あやまり		○オトウサンガ　キテネー　ナンニモ　デキナクテネ　ウントネ　ナンカ　デキタイコトガ　ナイカナート　オモウ　コト。（神－増女4－11）	

12.3 「よみそうだ」の用法

「よみそうだ」には，その動作が実現寸前の状態にあることをあらわすアスペクト的な用法と，いかにもそのようにおもえるという推量された属性をあらわすムード・形容詞的な用法があって，この両者が連続的につながっている。

幼児の例では，アスペクト的な用法が大部分であった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
寸前のようす	○ソイデネ　ショウチャンガイッスンボウシニ　ナリソウダッタンダヨネ。（自－g女5－11） ○ゾウサンノ　オハナニ　クルマレッチャッテネ　イキガツマリソウデネ（自－o女6－1） ○ウサギガネ　アノ　ゴールマデ　ツキソウナ　トキ（赤－u男6－5） ○ツルツルデ　スベリソウナッタケド　アノ　アノネウントネ　ガマンシテネ（自－g女5－11） ○カイジュウガ　シニソウ	○トラックガ　キタラ　アンシュ　モウ　スコシデ　シカレソウダッタノ。（自－s男4－10） ○コンナ　オッキカッタノハレツシソウデネ（自－u女5－5） ○コドモタチガ　アメニ　オボレソウニ　ナッタノヲネサリーハ　トメヨウト　シタンダケドネ（小－山中女5－0） ○クマガネ　ジド　バスドオリニ　キテ　ダンプカーニヒカレソウニ　ナッタノ。（赤－w男5－3）	○アブラガ　ヌケソウデス。（神－寺男4－4） ○サカヲ　ノボッテ　オッコチソウ　ナッタノ。（赤－b男4－0） ○ダンダン　コウ　ナッテテオレソウデネ　オレ　オレナカッタノ。（神－高男4－4）

	ナッテモ　タタカッテネ(赤－n男6－2) ○キクガ　カレソウニ　ナッテ(赤－A女6－1) ○ソレネ　テキニ　トラエソウン　ナッタカラ(赤－u男6－5)	
みかけのようす	○オオキナ　ヤマガ　アッテシタカラ　ミルトネ　ノボレソウナ　カンジデ　ノボロウト　スルト　ノボレナイノ。(赤－u男6－5) ○ネズミガ　イッ　タックサン　イソウナ　キガ　シテ(赤－m女6－3)	○チット　コレ　ナキソウナカオ。(白－r女4－8)

第13章　くみたて動詞

くみたて動詞とは，二つの動詞が，直接に，あるいは，形式名詞または形式名詞相当のものを介してくみあわさり，その二つの動詞が共同して一つの文法的な意味を実現している連語である。この連語を構成する二動詞のあいだのむすびつきがつよければ，この連語は，動詞の形式として，動詞のパラダイムのなかにはいってくる。現在のところ，そのむすびつきのつよさの度合に関して研究がすすんでいないので，どのように位置づけるのが妥当であるかは明確でないが，ここでは，いちおう，一定のまとまりあるものとしてあげておく。

13.1　幼児の使用したくみたて動詞

幼児の使用したくみたて動詞は，つぎのとおりである。

	年長	年中	年少
よむことができる	○	○	
よむことがある	○	○	○
よまないことがある	○	○	○
よむときがある	○	○	○
よまないときがある	○		
よんだことがある	○	○	○
よんだときがある	○	○	○
よまなくなる	○	○	○
よみたくなる	○	○	○
よみそうになる	○	○	○
よむようになる	○	○	
よんだみたいになる	○	○	
こういうふうになる			○
よむことになる	○	○	
よまなくする	○		
よむようにする	○	○	
よむことにする	○		
よむとする	○	○	
よんだとする	○		
よもうとする	○	○	○

13.2　「よむことができる」

「よむことができる」は可能をあらわす。なお，幼児の例には「よむのができる」のかたちもあった。

種類	年長児	年中児	年少児
可能	○アンスサマ　ヒゲガ　ボシャーント　ハエテンノ，シロイ　ヒゲ。ソイデネー　ジュウゴヤサンヲネ　ケス　コトモ　デキルンダカラ。(赤－F男5－9) ○オバケダカラ　ヌケダシテイッチャウノ。ケエル　コトモ　デキルノ。[注)ケエルは「消える」](赤－k女5－8)	○マイティーゴウハネ　ソラヲ　トンダリ　ウカンダリ　ウカンデネー　ウント　ウゴイタリネ　ミズノ　ナカヘネモグル　コトモ　デキルノ。(神－規男4－6) ○キリュウトビッテ　イウワルモノガ　イタノヨネ。ソレヲネ　パピー　ヤッツケルコト　デキナイデネ(赤－f女4－10) ○キュウタロウハ　ソラヲトベルシネ　キエルノモ　デキルシネ(赤－r女4－10)	
よむのもできる			

13.3 「よむことがある」「よむときがある」

これは「連体現在形＋こと(とき)が＋ある」というくみあわせである。「ある」は「あった」にしてもよいが，最初の動詞を過去形にすると，べつのくみあわせになる。つぎのようなものが，これに属する。

よむ　ことが　ある	よむ　ときが　ある
よむ　ことが　あった	よむ　ときが　あった
よむ　ことが　ない	よむ　ときが　ない
よむ　ことが　なかった	よむ　ときが　なかった
よまない　ことが　ある	よまない　ときが　ある
よまない　ことが　あった	よまない　ときが　あった
よまない　ことが　ない	よまない　ときが　ない
よまない　ことが　なかった	よまない　ときが　なかった

これらは，ときどきおこること，または，おこらないことをあらわす。動詞のテンスは，ポテンシャルな用法としてあらわれる。

採集時の質問の性格もあって，幼児は，このくみたて動詞をよくつかっていた。なお，「よむことある？」という質問のこたえとして，「アル」や「ナイ」が独立につかわれる例もあった。

種類	年長児	年中児	年少児
よむことがある			
みとめ	○オテツダイ　スル　コトモ　アルケドサ。　ソウイウ　トキニモ　ホメラエル　コトガ　アル。(赤－F男5－9) ○ハヤオキスル　コトモ　アルシネ　クジニ　オキル　コトモ　アルヨ。(自－y男6－0) ○デモ　トキドキ　ウチデ　ナク　コト　アル。(自－h女5－7)	○スーパージェッータヤナンカ　ミル　コトガ　アル。(赤－m男4－10) ○ヨソニ　スンデテ　ソコノウチニモ　クル　コトガ　アルノ。(小－久女4－7) ○ママニ　キク　コトモ　アルケド　キカナイ　コトモ　アル。(小－窪女4－8) ○エイガハネ　ミル　コト　アルケド。(赤－q女5－2) ○チカラレル　コト　アルヨ。(小－足男5－0)	○ツレテ　イッテ　モラウコト　ア　コト　アルヨ。(神－宮男3－8)
うちけし	○シカられることある？　ナイ(赤－F男5－9他)	○シカられることある？　ン？　ナイ。　アンマリ　ナイ。(小－志男4－2)	
よむときがある			
みとめ現在形	○ボク？　クジニ　ネル　トキ　アル。ソレカラ　ボク　ジュウイチジニ　ネル　トキアル。(赤－t男6－0) ○シカラレル　トキモ　アル	○ガッコウノ　オベンキョウサボッテ　アソンデル　トキアル。(小－窪女4－8) ○パパモ　オコル　トキ　アルケド　キライ。(小－山女	○コウチャン　ツレテッテクレル　トキモ　アル。(自－a男4－0) ○オトウサンモネ　オシゴトスル　トキモ　アンノ。(神

	(赤－N女5－7) ○ニュースなんかみる？　ミル　トキダッテ　アルヨ，ヨル。(自－p男5－6) ○ほめられる時は？　アル。(赤－D男5－11) ○ソウイウ　トキニネ　ハイラナイ　トキガ　アンノ。アノネ　マガ　ギュットネマガッチャウカラ。(赤－a男5－11)	4－5) ○ミル　トキモ　アルシ　ミナイ　トキモ　アル(小－山中女5－0) ○シカラレル　トキモ　アンノ。(神－宮男5－0) ○ほめられるときは？　アル。(小－野女4－9)	－古男4－5) ○チャンネル　マワスト　シロクロ　ネッタリネ　デタリネ　オカシイ　トキダッテ　アンノ。センガ　イッパイデチャウ　トキダッテ　アンノ。(神－三男4－0)
過去形	○コマル　トキモ　アッタ。(自－d女5－11)		
うちけし	○しかられるときある？　アンマリ　ナイ。(赤－E女5－8)		

13.4 「よんだことがある」「よんだときがある」

これは「連体過去形＋こと(とき)が＋ある」というくみあわせである。「ある」は「あった」にしてもよいが，最初の動詞を現在形にすると，べつのくみあわせになる。つぎのようなものが，これに属する。

よんだ　ことが　ある	よんだ　ときが　ある
よんだ　ことが　あった	よんだ　ときが　あった
よんだ　ことが　ない	よんだ　ときが　ない
よんだ　ことが　なかった	よんだ　ときが　なかった
よまなかった　ことが　ある	よまなかった　ときが　ある
よまなかった　ことが　あった	よまなかった　ときが　あった
よまなかった　ことが　ない	よまなかった　ときが　ない
よまなかった　ことが　なかった	よまなかった　ときが　なかった

これらは，経験をあらわす。動詞のテンスは，アクチュアルな用法としてあらわれる。

「よんだこと（とき）がある」は，「よむこと（とき）がある」とちがって，「ある」と「あった」，「ない」と「なかった」のばあいの意味がそれぞれおなじである。つまり，「よんだことがある」と「よんだことがあった」とは，おなじことをあらわす。

また，「よまないことがなかった」は，「よまなかったことがない」とおなじ意味になる。つまり，つぎの六つは，おなじことをあらわす。

よまない　ことが　なかった	よまない　ときが　なかった
よまなかった　ことが　ない	よまなかった　ときが　ない
よまなかった　ことが　なかった	よまなかった　ときが　なかった

「よんだことがある」「よんだときがある」は，どちらも幼児につかわれているが，「よんだことがある」の「こと」を「とこ」という例がいくつかあった。

このあやまりの原因として，概念過程としての「こと(事)」と「とこ(所)」とのとらえちがいと，発音過程としての〔koto〕のkとt とのいれかえという二つの可能性がかんがえられるが，たぶん後者であろうとおもわれる。なぜなら，今回の資料にはなかったが，もうすこしちいさなこどものばあい，ときに〔toto〕という発音がきかれるからである。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よんだことがある みとめ 現在形	○パパニハ　ホメラレタ　コト　アル。(赤－a男5－9) ○マンガデ　キイタ　コトアル。(自－b男5－9) ○キイタ　コトハ　アル，アル。(自－p男5－6)	○コノマエニネ　トシマエンイッタ　コトガ　アルノ。(赤－f女4－10) ○クルマト　クルマト　ブツカッタ　コト　アルヨ。(小－押女5－1) ○イナカモ　イッタ　コトアルモン。(神－永男4－1) ○オトウサンニ　オコラレテドッカニ　イッチャッタ　コトモ　アル。(神－規男4－6)	○ボクネ　ゾウ　ケッタ　コト　アル，ユメデ。(赤－d男4－2) ○ミーチャン　ドウブツエンイッタ　コト　アルヨ。(小－矢女4－0) ○アノネ　ユメ　ミタ　コトハ　アル。(神－三男4－0)
	○交通事故なんか見たことある？　アル。イッパイ　アル。(自－g男5－8) ○じゃ　ほめられたことは？　ニド　アル。(赤－n男6－2) ○このおはなしきいたことある？　ウン　ウタデ　アル。(自－A女6－5)	○しかられたことある？　チット　アル。(神－宮男5－0)	○おもしろかったことあるかな？　アル。どんなこと？　イッパイ　アル。(赤－d男4－2)
過去形	○マエナンカ　コロサシタトサー　(　)ジャトカサーサー　オコツノ　コトダトカサー……ミタ　コト　アッタ。(赤－w男6－3)	○おとうさんのおしごとしってる？　なにしてらっしゃるか，みたことない？　ミタコト　アッタ。(小－清女4－8)	○ガッコウ　イッタ　コトアッタ。(赤－t女4－4) ○ボク　ダイオン　ミタ　コト　アッタモン。(赤－n男3－7) ○クミコ　チュウシャシタシタ　コト　アッタラネ　エト　イタカッタ。(赤－t女4－4)
うちけし 現在形	イナカニ　イッタ　コト　ナイカラ　ワカンナイ。(赤－u男6－5) ○キイタ　コト　ナイケドウタデ　ミタノ。(赤－t女6－4) ○チョット　ミタ　コトハナイ。(赤－h女6－6)	○シカラレタ　コト　ナイ。(神－遠男5－1) ○コレ　ミタ　コト　ナイネ。(赤－t男5－1) ○ドウブツエンニ　イッタコトハ　ボクハ　ナイ。(小－永男4－4) ○ミタ　コト　ゼンゼン　ナ	○ミタ　コト　ナイ。(小－矢女4－0) ○キイタ　コト　ナイ(小－原女3－7)

	○コマッタコト？　アマリナイ。(赤－s男6－6)	イ。(小一篠男5－1) ○とおくに旅行したことある？　ナイ。(小一久女4－7)	○とおいところいったことある？　ナイ。(自－m女3－10)
過去形	○このおはなしきいたことある？　アンマリ　ナカッタ。(赤－x女6－2)		
かたちのくずれコト→トコ		○アスカヤマ　イッタ　トコアル。(神－宮男5－0) ○フミチャン　ヒカレタ　トコ　アル。(自－r女4－8) ○アレー　キイタ　トコ　ナイ。(神－宮男5－0)	○ロケットト　ヒコウキ　ノッタ　トコ　アル。(自－d男3－10)
よんだときがある 現在形	○「オサムクン　オイデ」ナンテ　イッチャッテ　ネボケタ　トキ　アル。(赤－f女5－9)	○オママゴト　トカネ。うん。オモテデ　アソンダ　トキモアル。(自－r女4－8) ○カジノ　トキ　ショウボウジドウシャガ　キタ　トキアルヨ。(小－徳男4－5)	○アノネ　ネテタ　トキモアル。(赤－d男4－2)

13.5 「よまなくなる」「よむようになる」など

これは，ある状態にかわることをあらわすくみたて動詞である。この形式は，「たかくなる」「しずかになる」のように，形容詞のばあいによくあらわれる形式であって，動詞のばあいも，なんらかの意味で形容詞化されたものに「なる」をくみあわせて，くみたてる。

これらのくみたて動詞のあるものは，ある状態になるという意味以上あるいは以外の意味をになっているものがある。

「よみそうになる」は，もうすこしで実現するというアスペクトの意味をになう。

「よむようになる」は，「よむ」という状態にかわることをあらわすばあいと，「よむようになっている」という形式で，からくりやてつづきのようすをあらわすばあいとがある。

「よむことになる」は状態がかわるばあいと予定がかわるばあいとがあり，さらに，条件に対する帰結をあらわすことがある。(かれが6時にかえったのなら，わたしの時計が30分おくれていたことになる。)

「よまなくなる」には，状態がかわることをあらわす用法のほか，予定のかわることをあらわす用法がある。

「こういうふうになる」は「こういう」または「こういうふうだ」がすでに形容詞化しているといってもよいかもしれない。

これらのくみたて動詞は，「よむ」を「よんだ」にかえることによって，意味がかわるものやかわらないものがあり，その成立条件についても，おもしろい問題がいろいろあるが，ここでは，

そうしたことについての記述は省略する。

幼児もこれらのくみたて動詞の基本的な用法をよくつかっているが，そのいろいろな用法は，あまりバライエティにとんでいない。

これらの問題例として「しらなくなる」「いくようになっていく」などがあった。

なお，「よみたくなる」「よみそうになる」などでは，「よみたい」「よみそうだ」のところとおなじ例をあげたものがある。

種類	年長児	年中児	年少児
よまなくなる 問題例	○ハジメ ミテタケド モウミナク ナッタ。(赤－j女6－6) ○ソシテ クスリ ノマシチャッタラネ ヨケイネ ワライガ トマンナク ナッチャッタノ。(赤－E女5－8)	○デモネ モウ シナク ナッタ。(小－岡女4－8) ○アノネ ミチガ ワカンナク ナッテネ(自－h女4－7)	○ソイデネ ママモネ エトオニイチャンモネ オトウサンガ イナク ナッタノ。(赤－t女4－4) ○アノネ ミチガ ワカンナク ナッテネ(神－折女4－3) ○エトネ ダンダン シラナク ナッチャウ。(神－高男4－4)
よみたくなる	○タベタク ナッタラ，マタタベンノ。(神－高男4－4)	○クマガネ ネズミノ ホウニ イキタク ナッテ(小－志男4－2)	○ミズ ノミタク ナッチャッタ。(赤－d男4－2)
よみそうになる	○トラックガ デテ ヒカレソウニ ナッチャッタノ。(赤－R男5－11)	○ダンプカーニ ヒカレソウニ ナッタノ。(赤－w男5－3)	○サカヲ ノボッテ オッコチソウニ ナッタノ。(赤－b男4－0)
よむようになる 結果の発生	○「ココナラ アンゼンサ」ッテ イッテネ コウイウフウニネ ウーント ココデスゴス ヨウニ ナッタ。(赤－c男5－10) ○ボウヤガ ビョウイン ビョウインニ ニュウインスルヨウニ ナッテネ(赤－h女6－6) ○ノリデ ペターント ハメルトネ ユビガ ハイル ヨウニ ナッテネ(赤－k女5－8)	○ソイデ オオキク ナッテハタラク ヨウニ ナッタノ。(赤－l男4－8) ○ライオンガネ ウント ニンゲンヲ タベル ヨウ ナッタノ。(小－成男4－7)	
しかけのさま	○チッチャイ コ。ダカラアタンナイ ヨウニ ナッテルカラネ，ボクタチハ オッキイカラネ アタルノ。(自－f男5－5)	○メチャクチャ カイテモマタ キエル ヨウニ ナッテンノガ アッテネ(小－久女4－7)	○ミジュガネ イッパイニナル トキ ナルネ ミジュガ イッパイニ ナル ヨウニ ナッテンノ。(神－古男4－5)

問題例	○イスニ ノッテタラ アタシガ スベッテネ ドンドンカワニ イク ヨウン ナッテ イッテネ ダレカガ タスケテ クレタノ。(赤－H女5－8)		
よんだみたいになる	○クマサンハネ アノネ ナンカ スワッタ ミタイニ ナッチャッタ。(赤－f女5－9)	○オハナガネ ソノネ オレチャッタ ミタイニ ナッテテネ(小一覚女4－7)	
こういうふうになる			○ウサギガネ コウイウ フウニ ナッチャッタノ。(小一相男4－4)
よむことになる	○ダカラ ウー サイバンヲスル コトニ ナッタンデス。(赤－I女5－8)	○ソレデネ シズンジャッタカラネ オリニ イレル コトニ ナッテネ(神一宮男5－0)	

13.6 「よまなくする」「よむことにする」

これは，状態，予定，しかけなどをつくりだすことをあらわすくみたて動詞である。なお「よむことにする」には，仮定・みなしをあらわす用法があって，「よんだことにする」にもなるが，このような用法は，幼児の例にはみられなかった。

種類	年長児	年中児	年少児
よまなくする	○カオヲ ミエナク シテ(自－t女6－4)		
よむようにする	○[入口の戸を]アカナイ ヨウニ シトクノ。(自－g女5－11)	○セヲ ノビル ヨウニ シマシタ。(神一桑女4－10)	
よむことにする	○アノ オンナノコノ トコマデネ イッタラ ハナタバアゲル コトニ シタンダッテ。(自－d女5－11)		

13.7 「よむとする」「よんだとする」

「よむとする」「よんだとする」は，仮定・みなしのくみたて動詞である。過去の仮定をあらわすためには，「よむとする」はつかえないが，そうでないばあいは，どちらをつかっても意味はほとんどちがわない。これがつかわれると，主文の述語，または，つぎの文で，それの帰結をあらわすことになる。

この形は，年長児，年中児によってつかわれている。ただし，帰結の表現が完全にあらわれていないものもあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よむとする	○ココニ　ホイクエン　アルト　スルデショウ。　ソイデサ　コッチニモサ　コレ　マンナカサ　コヤ　ミタイノ　アルデショウ。(自－b男5－9) ○サイション　トコハネエネ　ソノ　ヒトガ　ニンゲンニンゲンヤラネ　ウーン　ネオバサンガ　イルト　スルデショ。ソノ　オ　センセイニバケタリ　スンノ。(赤－b男6－5)	○シンデレラノ　オウチガココニ　アルト　スルデショ。ココニ　ダイドコロトスルデショ。シンデレラノフタリノ　オネエサンモ(　)レンノ。ナンニモネ　ゴハンネ　ソウジモネ　シンデレラバッカリ　ヤラセテ　ジブンネ　シナイノ。(小－窪女4－8) ○ココニ　ウサギガ　イルトスルト，　ソレデ　オリテネカメガ　マエニ　ナッテ(小－海男4－3)	
よんだとする	○ソノ　ミンナガ　ネテルトシテネ，ソイデ　ソノコハネモウ　ヤメタノ。(赤－k女6－2) ○モクヨウビニ　カエッタトシタラ　イチバン　サイショニ　イチヲ　ツケテ，ヒョッコリ　ヒョウタンジマダナア。(赤－s男6－6) ○セミ　ツカマエタト　シタラサ　コンチュウシチャウンダ，ボク。(赤－m男5－10)		

13.8 「よもうとする」

「よもうとする」は動作の実現をめざすことをあらわすくみたて動詞である。これは，意志的な動作の実現をもくろむことをあらわす用法が基本的であるが，条件形で，あるいは「時」「瞬間」などの時間の形式名詞といっしょにつかわれて，動作が実現する寸前であることをあらわす用法が

あり，この両者は連続的につながっている。

幼児資料には，この両方の用法があったが，後者の用法も意志的な動作にかぎられ，(「発車のベルがなろうとした時」のような例はなかった。また，前者の用法にも,「学者になろうとして勉強した」のようなとおい将来をあらわすものはなかった。つまり，幼児の使用例は，この両方の接近したところに両がわからあつまっており，そのことから，両用法はまだ分化していないといえるかもしれない。ここに問題例としてあげたようなあやまりは，その分化をおこす過程のくるしみをものがたっているのかもしれない。

種類	年長児	年中児	年少児
意志実現のもくろみ	○[おおかみは]オオキナ クチ アイテネ ソイデ タベヨウト シタンダケドネ レンガノ オウチハネ フ レンガノ オウチヲネ フートフコウトモ ビクトモ シナインダッテ。(赤－J女5－8) ○コンドネ ニセモノノ テツジン ツクッテ トリカエヨウト シタノ。(赤－d男6－4) ○「ボクハ ハリーダヨ」トオシエヨウト シテネ ウートウー ダンスヤネ ウタヤネ……チュウガエリ。(自－t男6－2)	○クマガ ネズミ トロウトシテ ポンポント ブツカッタノ。(小－窪女4－8) ○ソレデ ヤネノ ウエマデイッテネ タベヨウト シタッテネ タベランナイカラネ,(小－成男4－3) ○サリーハ トメヨウト シタンダケドネ サリーハネソノ マホウヲ シラナイノ。(小－山中女5－0)	○ソレデ クサヲ タベヨウト シテ( )ヲ モッテキマシタ。(神－場男3－10) ○カメサンモ ノロウト シマシタケド オッコッチャウマシタ。(小－佐男4－3) ○キュウニ トマロウト シタカラ ドテーンテ( )シタンジャ ナイカ。(赤－d男4－2)
意志的な動作の実現の寸前	○ミズ マコウト シタラカレチャッタノ。(自－x男6－1) ○オジイサンガ ヤマカラカエッテ キテネ ワロウトシタラネ ウント アカンボウガ ウマレタノ。(自－o男6－3) ○ソイデネ オリヨウト シタラネ ヒロコ ハツミノサンダル モッテッチャウノ。(自－w女6－5)	○ミズ ヤロウト シタラシオレタノ。(赤－w男5－3) ○オジイサンガ カエッテキテネ キロウト シタラヒトリデニ ワレテ モモタロウガ デテ キタノ。(赤－e女4－9)	○テッポウ ウトウト シタラ シュグ カクレチャウモン。(神－高男4－4) ○ヤマニ ノボッテ イコウトシタラ ワルーイ トロルガイテネ ソシテ「ダレダーイ(トオル) ガタガタシンノハ」ッテ イウノ。(神－佐女3－7) ○なにしてる絵？ ウン ウントネ オハナニ ミズ アゲヨウト シテンノ。(神－場男3－10)
問題例	○オオキク ナッタラ クルマ カオウト シテタンダケド カッテ モラッテ スピード ダスト オマワリサンニ オコラレチャウカラ……(赤－g男5－10)		

第14章　形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの

14.1　幼児の使用した形式

動詞の条件形，ゆずり形，中止形などの分詞(participle)は，形容詞派生のコピュラとくみあわさって，当為，願望などのモーダルな意味をあらわすことができる。これは，ムード語形の延長ということもできよう。

これに類するものは，ここにあげるもののほか，たとえば「するといい」「したらいい」のように，まだほかにもあるが，ここには，それらをあげなかった。

また，ここにあげるいろいろな形式は，それぞれ，もっといろんな用法をもっているが，ここでは，幼児の使用例にみられたものだけをあげることにした。

これらの幼児の例から，幼児は，このタイプの当為，願望形式の基本的なものを身につけていることがわかる。

	年長	年中	年少
よめばいい	○	○	○
よめばよかった	○	○	
よんでいい	○	○	○
よんでもいい	○	○	
よんだっていい	○		○
よむほうがいい	○		
よんだほうがいい	○		
よむといけない		○	
よまないといけない	○	○	
よんだらいけない	○		
よんじゃいけない	○	○	○
よまなくちゃいけない			○
よまないとだめ	○	○	
よんだらだめ	○	○	
よんじゃだめ	○	○	○
よまなくちゃだめ			○
よまなきゃだめ	○		
よまなければならない			○
よまないとならない	○		
よまなくちゃならない		○	
よんでもへいき		○	
よみたくてしょうがない		○	

14.2　「いい」とくみあわさるもの

「いい」とくみあわさるものには，つぎのようなものがあった。なお，「連体形」の章であげた，形式名詞「ほう」をつかう形式を，ここでもあげておいた。

種類	年長児	年中児	年少児
よめばいい			
ねがい	○アカノ　リボン　モラッテ　イットウ　ナレバ　イイト　オモッタ。(赤－c男5－6) ○ガンバッテ　ヤレバ　イイナアト　オモウ。(自－b男6－0)		
しかた	○コッチ　マッスグ　イケバ　イイノ。(赤－o男6－2) ○イヌガ　スグ　オコル　トキハネ　チャント　テデ　シッポヲ　イッカイ　ブテバ　イイノ。(赤－K男5－11)	○「ドウヤッテ　モテバ　イインダ」ッテ　ユッタラネ「シッポニ　イワエツケレバ　インデスヨ」ッテ　ユッタラネ，「ナルホドネ」ッテ　ユッタノネ。(神－松女4－8)	○ナンチュ　イエバ　イイノ?(神－三男4－0)

	○ソイデ「ワカリャ イインダヨ，ワカリャー」(自－e男6－1)		
よめばよかった くない	○アノ トキ イチオクマンエンヲ アゲレバ ヨカッタナー。(赤－m女6－5)	○クレバ ヨカッタ。(小－野女4－9)	
よんでいい ゆるし	○キタイ ヒトハ キテ イインダヨ。(自－q女6－1)	○オッキイ オッキイ ジテンシャ ツカッテ イイ ユメ。(小－成男4－3) ○アノ ヒコウキ モッテッテ イイ？(小－永男4－4)	○信号青になったらすすむのね。アオイノ アオイノ ヤッタラ ウゴイテ イイノ。(自－d男3－10)
よんでもいい ゆるし	○「コレ イジッテモ イイ？」ト イウト「ダメ」ッテ イウノ。(自－o女6－1) ○ソイデ ロク デタラ マタ オナジヨウニ フタツ ダシテモ イイシ フ ロク ススメテモ イイ。(赤－I女5－8) ○ミッチャン シンデモ イイノカ？(自－x女5－6)	○イッショニ イッテモ イイデスカ。(赤－e女4－9) ○ゴハン ナルマデ アソンデ イテモ イイノ。(自－r女4－8) ○ウチニ キテモ イイデスヨ。(小－野女4－9)	
よんだっていい 可能	○アッチカラ キタッテ イイシ コッチカラ コウ コウ コウ キタッテ イイシ。(赤－b男6－5)		○バスデ ノッテ イクトネ(イチジュウ) コンナニ キタッテ イインダモン。(神－宮男3－8)
よむほうがいい えらび	○ヤッパリ シトト アソブホウガ イイ。(赤－m男5－10)		
よんだほうがいい えらび	○ヤッタ ホウガ イイ。(赤－c男6－3)		

14.3 「いけない」とくみあわさるもの

「いけない」とくみあわさるものには，つぎのような例があった。

種類	年長児	年中児	年少児
よむといけない 憂慮		○エジプトッテネ オ オナカノ ナカニ ノド カワクト イケナイカラ，オナカノ ナカニ ミズガ アッテ	

		ネ アシ，アシト コブヲキッチャッテ ノムノ。（小－野女4－9）	
よまないといけない 義務	○アシャ サンジニ カエンナイトネ イケナインダッテ。（赤－B女5－8）	○ココ コウイウ ツケトカナイト イケナイノ，コレ。（小－樋男4－3）	
よんだらいけない 禁止	○このおはなし，なにをしちゃいけませんてことなの？ン，ネチャ。ん？ ネタラ イケナイ。（赤－n男6－2）		
よんじゃいけない 禁止	○ヒトニネ ソウ イバッテ ユッタリ シチャ イケナイ。（赤－s男6－6） ○イジワルヲ シチャ イケマセンテ イウ オハナシ。（赤－o女6－1）	○ヨウチエンデネ イジメチャ イケナイヨ。（小－谷男4－11） ○コウフウニ ボイーンッテ イッチャ イケナインダモノ。（小－成男4－3）	○「アケチャ イケナイ」ッテ イッタノニ アケタカラ オジイサン ナッチャッタノ。（赤－l男4－3）
よまなくちゃいけない 義務			○カイシャニ イク トキハ ネクタイ シメナクチャ イケナイノ？（赤－d男4－2）

14.4 「だめ」とくみあわさるもの

「だめ」とくみあわさるものには，つぎのような例があった。

種類	年長児	年中児	年少児
よまないとだめ 義務	○チャント コウッテ コウテ オカネ アゲテ カワナイト ダメシ（自－o女6－1）	○ゴニン イナイト ダメダカラ（自－u女5－5）	
よんだらだめ 禁止	○オウサント オコウサントコ イッタラ ダメダッカラネ（赤－c男6－3）	○イマ イッタラ ダメヨ。（自－a男4－9） ○トオクノ オヤマヘ イッタラ ダメヨ。（神－遠男5－1）	
よんじゃだめ 憂慮	○ジドウシャ コワレチャ ダメダモン。（赤－D男5－11）		

禁　止	○コレ　ツカッチャ　ダメ。（自－o女6－1） ○マンガ　ミチャ　ダメッ。（自－B男5－7）	○イジメチャ　ダメヨ。（小－谷男4－11） ○ユミチャンニ　アイス　ミセルトネ　イツモ　ホシガルカラ　ミセチャ　ダメ。（神増女4－11）	○オテテ　イレチャ　ダメヨ。（自－1女3－3） ○ココニ　スワッチャ　ダメ。（赤－d男4－2）
よまなくちゃだめ義　務			○ダレカ　オカアサン　ナッテネ　ツクル　シトガナ　イナクチャ　ダメダモン。（小－矢女4－0）
よまなきゃだめ義　務	○ミズヲ　スコシ　ヤンナキャ　ダメ。（赤－w男6－3） ○ダッテ　ウタナンカ　ウタコエ　ダサナキャ　ダメナンダモン。（自－b男5－9）		

14.5 「ならない」とくみあわさるもの

「ならない」とくみあわさるものには，つぎのようなものがあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よまなければならない義　務			○ココノ　ハシハ　ワタラナケレバ　ナリマセン。（神－玉男4－0）
よまないとならない義　務	○オフネ　イク　トキネ　エートネ　チュウシャ　シナイト　ナンナインダヨ。（自－1男5－7）		
よまなくちゃならない義　務		○オニイチャンタチ　イルカラネ　メンドウ　ミテ　ヤンナクチャ　ナラナインダケレドネ（小－筧女4－7）	

14.6 その他

その他，つぎのようなものがあった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よんでもへいき 可　能		○テッジンガ　イクラ　ナグッテモ　ヘイキッテ　イウデショウ。（赤－ｔ男５－１）	
よみたくてしょうがない とめどなし		○チムハ　フナノリニ　ナリタクテ　ショウガナイデス。（自－ｔ男５－３）	

第15章　推量・比況コピュラのついたもの

15.1 幼児の使用した例

「だろう」「ようだ」「かもしれない」などは，動詞，形容詞，名詞などについて，述語をつくるもの，つまりコピュラである。コピュラは動詞だけにつくものではないので，コピュラの性格は，コピュラ論のなかであつかうのが正当であるが，ここでは，動詞の形態論の付録のような意味で，動詞にコピュラのついたものとしてあげておく。

なお，「きまってる」のようなものがコピュラであるかどうかは検討を要するが，コピュラ的な側面をもっていることはたしかなので，いちおう，ここにあげておいた。

幼児の使用した〈動詞＋コピュラ〉はみぎのとおりである。なお，「だろう」は，この報告書では，動詞のムード語形として位置づけたので，ここでは表にだしただけで，使用例は，推量形のほうにゆずった。

	年長	年中	年少
よむだろう	○	○	○
よむでしょう	○	○	○
よむらしい	○		
よむようだ	○		
よむみたいだ	○	○	○
よむそうだ			○
よむかもしれない	○	○	
よむにちがいない			
よむにきまってる	○		

種類	年長児	年中児	年少児
らしい よんだらしい	○ホカノ　ミチ　イッタラシクテネ　ネ　ウチ　カイッテミタラネ　ママガ　イタノ。（赤－L女5－9）		
よまなかったらしい	○アノネ　ヨク　ワカンナカッタラシイ。（赤－d男6－4）		
ようだ	おしはかりのコピュラとしての用法がなかった。		
みたいだ よむみたいだ		○オハナガ　カレチャッテルミタイ。（小－有男4－7）	○これなんしてんの？　コレ？……オミズ　カケテルミタイ。（赤－v女4－0）
よんだみたいだ	○オハナガ　カレチャッタミタイダカラ（赤－m男5－10）		
よまないみたいだ	○ソウイウノシカ　ミナイミタイ,（赤－A女6－1）		
そうだ よむそうだ			○イマニ　クチャ　タベテクル　ソウデス。（神－坂女4－0）

しれない よむかもしれない	○ガイコクッテネ　ドンナケガ　アルカッテ　キンパツモ　アルシネ　シロイ　ケモアルシネ　チャイロイ　ケモアルカラ，アルカモ　シレナイ。（赤－Ｉ女５－８）	○オモッタ　コト　アルカモシレナイ。（小一篤女４－７）
よんだかもしれない	○ヨウフク　カイニ　イッタカモ　シレナイ。（赤－ｏ男６－２）	○シンジャッタカモ　シレナイ。（小－森俊男４－６）
きまってる 確定判断	○ボクガ　カツニ　キマッテルケド　キョウソウシヨウ。（赤－ｒ男６－３）	

15.2 「よう」「ふう」「みたい」の用法

「よう」「ふう」「みたい」は推量，比況などにつかわれるが，その用法はかなり多様である。幼児に使用されたこれらの用法の例を，つぎにあげておく。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よう			
目　的	○オナカガ　ヒエナイ　ヨウナ　ハラマキヲ　シテル　コ。（赤－ｈ女６－６）	○「オバアサン　ナンデ　コンナ　オメメガ　オオキイノ？」「オマエ　ヨク　ミエルヨウ，オマエヲ」（神－金女５－０）	
しかた	○ウラガエシニネ　バンゴウミセナイ　ヨウニネ　ナラベテネ（赤－Ｊ女５－８）		○コレ　「エイ　エイ」ッテヤッテ，オウチ　ゲンカンヲコワサナイ　ヨウニ　ヤッテクレテンノ。（小－原女３－７）
ようす	○ナカカラ　ヒカル　ヨウナネ　オンナノコガ　デテ　キタノネ。（赤－Ｎ女５－７）		
内　容	○サッキ　オ　オハナシシタヨウニネ　ミズヲサ　オユニカエチャウ　トコロガ（赤－ｏ男５－10）		
結　果	○ココデ　スゴス　ヨウニナッタノ。（赤－ｃ男５－10）	○ソイデ　オオキク　ナッテハタラク　ヨウニ　ナッタノ。（赤－１男４－８）	○ミズガ　イッパイニ　ナルヨウニ　ナッテンノ。（神－古男４－５）
ふう ようす，しかた	○チョット　チガウ　フウニ（赤－ｑ男５－11）	○オバケノ　キュウタロウトカ　ソウイウ　フウノ（小－山中女５－０）	○コウイウ　フウニ　キイット　ヤッテ（赤－ｑ男４－１）

		○ドウイウ　フウニ　ヨムノ？（小一野女４－９）	
結　果		○コウイウ　フウニ　サイタノネ，オオキク。（小一小島女４－２）	○ウサギガネー　コウイウフニネ　ナッチャッタノ。（小一相男４－４）
みたい おしはかり	○どんなゆめみる？　タトエバ　オトモダチト　アソンデル　トコトカ　オニワデ　アソンデル　トコトカ　ソウイウノシカ　ミナイ　ミタイ。（赤－Ａ女６－１） ○アノネ　ン　ナンダッケ。ヤッパリ　ワスレタ　ミタイ。（赤－ｍ男５－10）	〔絵をみて〕ナンダカ　ライオンガ　オッカケテル　ミタイ。（自－ｄ女４－11） ○〔絵をみて〕オハナガ　カレチャッテル　ミタイ。（小一有男４－７）	○〔絵をみて〕オミズ　カケテル　ミタイ。（赤－ｖ女４－０） ○トーシチャンネ　チガウネヨウチエンデネ　ナンカ，ネンカ　ベンキョウシテル，ヤッテル　ミタイ。（小一神女４－１）
たとえ	○クマサンハネ　アノネ　ナンカ　スワッタ　ミタイニ　ナッチャッタノネ（赤－ｆ女５－９）	○ブドウカンッテサー　ブドウ　タベル　ミタイ。（神一村男４－３）	○カラーだから，いろがでてんのね。　ン　ソレカラ　ペンキデ　ヌッタ　ミタイニ　コウ　イロガ　デテルノ。（神一三男４－０）

第16章　とりたてのかたち

16.1　幼児の使用したとりたて語形

動詞も，とりたて助詞をつかって，とりたて語形をつくることができる。

よむ⟶よみはする，よみもする，よみこそする，など。

よまれる⟶よまれはする，よまれでもする，など。

よんでいる⟶よんではいる，よんでさえいる，など。よんでいもする，よんでいこそする，など。

		年長	年中	年少
動詞形式のとりたて	よんでばかり	○		
	よんでばかりいる	○		
	よんだりなんかする	○	○	○
名詞形のとりたて	よむのは	○	○	○
	よむのも	○	○	○
	よむのだけ	○		
	よむのしか	○		
	よんだばかり		○	
形式名詞的なもの	よむだけ	○	○	○
	よむばかり	○	○	
その他	よむしかない	○		

このような，いろいろのとりたて形式のうち，基本動詞のばあいの「よみはする」式のとりたては，今回の幼児資料には，みられず，動詞のとりたてらしいかたちは，「よんでばかり」「よんでばかりいる」「よんだりなんかする」の3形式だけであった。

このような点から，動詞のとりたて形式のタイプは，幼児にはまだあまり所有されていないのではないかとおもわれる。また，とりたて助詞も，「ばかり」と「なんか」だけであった。

しかし，ここでは，名詞形のばあいのとりたてや，とりたて助詞が形式名詞のようにつかわれている例も，あわせてあげておくことにする。

16.2　第二中止形，例示形などのとりたて

動詞形式のとりたて形は，つぎのとおりであった。

種類	年長児	年中児	年少児
よんでばかり	○ソノ　カイジュウハ　ネテバッカリデ　ソイデ　コウゲキ　デキナカッタノ。（赤－c男6－3） ○オバケノ　キュウタロウトカ　ソウイウノ　ヨンデバッカリネ。（赤－s男6－6）		

よんでばかりいる	○ソシタラ　ワラッテバッカリ　イルノネ。（赤－E女5－8） ○シチジニ　ナンカ　ヤッタンダケド　ソレ　ミナカッタノ。アソンデバッカリ　イタカラ。（自－u女6－3）		
よんだりなんかする	○オスナバ　イッタリ　テツボウ　シタリナンカ　スル。（赤－R男5－11） ○オウチデ　パパトネ　ゴホン　ヨンダリナンカ　シテアソンダノ。（赤－O女6－1）	○エー　カイタリ　ウントネアノ　オタマジャクシネ　ミタリナンカ　スルノ。（小－横男4－4） ○なにつくるの？　ンートアノ　ツル　ツクッタリナンカ　スル。（小－大男4－6）	○オカアサンハネ　ネナイデネ　オコメ　トイダリ　ヨルネ　オコメ　トイダリナンカシタノ。（神－三男4－0） ○エー　カイタリネナンカスルノ。（神－折女4－3）

16.3　名詞形のとりたて

名詞形のとりたては，つぎのとおりであった。

なお，「よんだばかり」の例は，あやまりだろう。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よむのは	○デキンノハ　テツダウ。（自－u女6－5）	○オカアサン　ツカレンノハゾウキンカケト　オセンタクダッテ（神－桑女4－10）	○オキンノハ　ハヤイケドサ（赤－a女3－10）
よむのも	○タイソウスルノモ　ネーネー　オドリスルノモネ　ボク　ツマンナインダ。（自－h男5－7）	○ソレカラネ　キエルノモデキルシネ(赤－r女4－10)	○オウチ　カエルノモ　ウレシクテネ（神－狗女4－3）
よむのだけ	○ボクガ　エランダノダケヨンデ　クレル。（自－u女6－3）		
よむのしか			○オウチノ　マワリニハ　ナンニモ　ナクッテ　レコードカケンノシカ　オヤネ　ナイノ。（神－三男4－0）
よんだばかり			○トロルガ　ドナリツケタバッカシガ　オモシロイ。（神

よむしかない	○ネンド　スルシカ　ナイ。（赤－K男５－11）		－三男４－０）

16.4　連体形と「だけ」「ばかり」のくみあわせ

「だけ」「ばかり」が形式名詞のようにつかわれているものには，つぎのような例があった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
だ　け			
限　定	○よんだんじゃないの？　ウン　ミタダケ。（自－b男６－０） ○キノウハ　ウチニ　イタダケ。（赤－d男６－４） ○タダ　ミチ　マッスグ　イクダケデ　イインダモン。（自－b男５－９）	○コウエンニ　イッテ？　うん。ウントネ　スコシ　アソンダダケ。（神－増女４－11） ○タダネ　ジブンガ　ヨムダケ。（自－d女４－11） ○ドウブツエンハネー　ウーン　ミルダケ。（神－伊男４－１）	○オネエチャンノ　ジ　ミルダケデ　カケルノ。（赤－d男４－２） ○タダネ　アイザワッテ　カイテ　アルダケ。（小－相男４－４） ○オヨガナカッタ。……ミタダケ。（赤－e男４－１）
ていどの限界	○ながくったっていいよ。してるだけおはなししてみて。シッテルダケ？（赤－u男６－５）		
ば　か　り			
限　定	○ジブンデ　ヨムバッカリダモン。（赤－s男６－６）		
直後であること	○チャコチャンハネ　マダネイチネンセイダカラネ　ハイッタバッカシデショ，マダ。（自－m女６－４）	○ダッテ　ホンガ　ナイトワカンナインダモン。キ　キタバッカシナノ。（赤－s男５－６）	

第17章　幼児と動詞の形態

以上みてきたことをとおして，幼児の動詞の形態の習得・使用状況について，つぎのことがいえるだろう。

1）この年代の幼児は，動詞の形態のいろいろなすがたを基本的に所有している。つまり，ほとんどの形式と，その形式の基本的な用法を，幼児は使用しているのである。

2）しかし，それぞれの形式は，非常に多様な用法をもっており，その用法のこまかい点までみると，まだ，完全だといえない面がある。

3）幼児は，動詞の形態のつぎのような面において，使用のしかたのよわさをしめしている。

i）条件形のなかの「するなら」「したなら」のような仮定をあらわす用法があらわれなかった。このことは「することにする」のばあいの帰結のあらわれかたが不十分であったり，「したことにする」がなかったりしたこととも関係している。しかし，仮定のいいかたをぜんぜんつかえないのではない。「したら」「すれば」の仮定の用法をつかっているし，また，「するとする」「したとする」のような仮定・みなしのくみたて動詞がでてきたことがこのことをものがたっている。おそらく，この時期，さらにくわしくいえば，年中～年長の時期は，仮定の表現を習得しつつあるときであるといえるのではなかろうか。

ii）ボイス動詞のかたちのつくりかたがみだれていたものが目についた。このことは，うけみの用法がまだ全領域にわたっていないことや，また，ボイス動詞の格支配のあやまりがみられたことなどとも関連しているだろう。

アスペクト動詞のうち，「している」と「してある」の対立のようなボイス的な側面によわかったことも，やはり，これと関連する。

このようなことをとおして，ボイスのカテゴリーの所有が，他に比しておくれているのではないかとおもわれる。

しかし，やりもらい動詞のあやまりがなかったことは，ボイスとの関連において，特筆にあたいするだろう。

iii）幼児の使用する動詞には，とりたて語形がきわめてすくなかった。これは，あるいは，陳述的な面の発達が形態の発達よりおくれることをものがたっているのかもしれないが，陳述的な面の追求をしていないので，このことは，ただ指摘におわらざるをえない。

iv）一般に，ていねい形式がつかわれなかった。しかし，このことは，幼児がていねい形式を所有していないということにはならない。なぜなら，幼児がはなすということ，および，ていねい形式がつかわれなければならない場面でないということは，ていねい形式の出現を強制しないからである。ちょうど，女性語の法則を所有している男性が引用文のなかでしか女性語をつかわないのとおなじように，幼児は，このばめんで，

ていねい形式をつかう必要がなかったからつかわなかっただけかもしれない。事実，この資料のなかでつかわれたていねい形式は，おおくのばあい，おはなしの引用文のなかにでてきている。

v) 一般に，文章語の法則の所有はおくれている。文章語は，日常的なはなしのばめんではつかわないのが当然であるが，ていねい形式のばあいとちがって，引用すると，形式がくずれやすいという傾向がでていた。このことから，幼児には，まだ文章語的な形式や用法がむずかしいのだということがいえるのではないかとおもわれる。

第Ⅲ部　幼児の所有する形容詞の形態

第１章　形容詞の体系

1.1　形容詞の範囲

この報告書では，いわゆる形容詞を第一形容詞，いわゆる形容動詞を第二形容詞とよんで，ともに形容詞としてあつかった。[注1)] その理由はつぎのとおりである。

1)　語い的な意味において，おなじグループを形成する。「うつくしい」と「きれいだ」,「あかい」と「まっかだ」のように，おおくの単語が形容詞，形容動詞のワクをこえて類義語となり，〈きれいだ⟷きたない〉，〈やかましい⟷しずかだ〉のように，おおくの単語が形容詞，形容動詞のワクをこえて対義語となることなども，これらがおなじ意味グループに属することを証拠だてている。

2)　文中での機能がおなじである。文のなかで規定語（連体修飾語）になったり，述語になったりする点，そして，そのなりかたもおなじである。

3)　修飾語をうける能力がおなじである。たとえば，ともに，ていど副詞によって修飾される。

4)　おなじ形態論的なカテゴリーをもつ。つまり，あとでしめすように，おなじ活用表をつくる。現在形・過去形のようなテンス語形をもち，断定形・推量形のようなムード語形をもつ点では動詞とおなじであるが，意志形，命令形のようなムード語形をもたない点で動詞とことなる。また，ボイス，アスペクト，やりもらいのようなカテゴリーをもたない。

こうした点で，形容詞と形容動詞とはおなじである。

では，どこがちがうかといえば，それは，いろいろな活用形をつくるときの形式的なてつづきがちがうのである。たとえば，つぎのように。

たかい	—— たかかった	—— たかい	——たかくて
しずかだ	—— しずかだった	—— しずかな	——しずかで

このちがいは，動詞のばあいの，つぎのようなちがいににている。

よむ	—— よんだ	—— よむ	——よんで
勉強する	—— 勉強した	—— 勉強する	——勉強して

つまり，これは同一品詞内の，形式的な活用のちがいなのである。

また，第一，第二形容詞の，いわゆる連用形で，修飾語になるものは，副詞化したものとして，形容詞から除外した。これを除外した理由は，つぎのとおりである。[注2)]

1)　機能が形容詞とことなる。たとえば，いつも修飾語になる，主語をとらない，など。

2)　形態論的な性格が形容詞とことなる。たとえば，ていねい形式がない。つぎの節であげる表で，連体形以下のていねい形式はしめさなかったが，これはふつうにはていねいにな

注1)　これは明星学園1966，鈴木重幸1972，新川忠1974－ｂによる。

注2)　明星学園1966，鈴木重幸1972，新川忠1974－ａによる。

らないということであるが，副詞のばあいには，ぜったいにならない。また，たとえば，うちけしには，きわめてなりにくい。

3) 語い的な意味のずれる傾向がつよい。

4) 副詞と動詞の関係を連語論的に分析するばあい，形容詞の副詞化したものをはずすと，システムがひらいてしまって完成しない。

なお，中止形は，同形式であるが，形容詞である。

1.2 基本的な活用表

幼児の使用した形容詞の形式(1)－第一形容詞の基本語形

機能	ムード	テンス	(その他)	幼児の使用例	ふつう みとめ	年年年長中少	ふつう うちけし	年年年長中少	ていねい みとめ	年年年長中少	ていねい うちけし	年年年長中少
いいおわり形	断定形	現在形		たかい	○○○		たかくない	○○○	たかいです	○○	たかくありません たかくないです	
		過去形		たかかった	○○○		たかくなかった	○○○	たかかったです		たかくありませんでした たかくなかったです	
	推量形	現在形		たかいだろう	○		たかくないだろう		たかいでしょう	○○○	たかくないでしょう	
		過去形		たかかっただろう			たかくなかっただろう		たかかったでしょう		たかくなかったでしょう	
連体形		現在形		たかい	○○○		たかくない	○○○				
		過去形		たかかった	○○○		たかくなかった					
名詞形		現在形		たかいの	○○○		たかくないの					
		過去形		たかかったの	○		たかくなかったの					
中止形			第一中止形	たかく	○ ○		たかくなく					
			第二中止形	たかくて	○○○		たかくなくて					
				たかくって	○○○		たかくなくって					
				たかかって	○							
			例示形	たかかったり			たかくなかったり					
副詞化				たかく	○○○							
条件形				たかいなら			たかくないなら					
				たかかったなら			たかくなかったなら					
				たかかったら	○ ○		たかくなかったら	○				
				たかいと	○○		たかくないと					
				たかければ			たかくなければ					
				たかくては	○		たかくなくては					
ゆずり形				たかくても	○		たかくなくても					
				たかくっても	○ ○		たかくなくっても					
				たかくたって	○		たかくなくたって					
				たかかろうと			たかくなかろうと					

幼児の使用した形容詞の形式(2)－第二形容詞の基本語形

機能	ムード	テンス	(その他)	ていねいさ / みとめかた / 幼児の使用例	ふつう みとめ	年年年長中少	ふつう うちけし	年年年長中少	ていねい みとめ	年年年長中少	ていねい うちけし	年年年長中少
いいおわり形	断定形	現在形		しずか		○○○						
				しずかだ		○○○	しずかじゃない	○○○	しずかです	○	しずかではありません	
		過去形		しずかだった		○○○	しずかじゃなかった		しずかでした	○	しずかじゃありませんでした	
	推量形	現在形		しずかだろう		○	しずかじゃないだろう		しずかでしょう	○○○	しずかじゃないでしょう	○ ○
		過去形		しずかだっただろう			しずかじゃなかっただろう		しずかだったでしょう		しずかじゃなかったでしょう	
連体形		現在形		しずかな		○○○	しずかじゃない					
		過去形		しずかだった			しずかじゃなかった					
名詞形		現在形		しずかなの		○○○	しずかじゃないの					
		過去形		しずかだったの			しずかじゃなかったの					
中止形			第一中止形	しずかに			しずかでなく					
			第二中止形	しずかで		○○	しずかじゃなくて					
			例示形	しずかだったり			しずかでなかったり					
副詞化				しずかに		○○○						
条件形				しずかなら			しずかでないなら					
				しずかだったなら			しずかでなかったなら					
				しずかだったら			しずかでなかったら					
				しずかだと			しずかでないと					
				しずかであれば			しずかでなければ					
				しずかでは			しずかでなくては					
ゆずり形				しずかでも			しずかでなくても					
				しずかだって			しずかでなくたって					
				しずかであろうと			しずかでなかろうと					

1.3 文法的な派生形容詞

もとの形容詞の語幹に「そうだ」をつけて，文法的な派生形容詞をつくることができる。

幼児の使用した形容詞の形式(3)—文法的派生形容詞

	年年年長中少
たかそうだ	○○
しずかそうだ	

1.4 くみたて動詞

形容詞もくみたて動詞をつくる。

幼児の使用した形容詞の形式(4)—くみたて動詞

	年年年長中少
たかくなる	○○○
しずかになる	○○○
たかいことになる	○
しずかなふうになる	○
たかくする	○○○
しずかにする	○
たかいときがある	○○○
しずかなときがある	○
おもしろかったときがあった	○

1.5 形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの

形容詞も形容詞派生のコピュラとくみあわさることができる。しかし幼児の例には，ほとんどでなかったので，ここでは，そのいくつかをあげるにとどめる。

幼児の使用した形容詞の形式(5)—形容詞派生のコピュラとくみあわさったもの

	年年年 長中少
たかければいい たかくていい たかくてもいい たかくなくてもいい	
たかいといけない たかくないといけない	
たかくちゃだめ たかくなくちゃだめ	○
たかくなければならない	

1.6 形容詞とコピュラ

第二形容詞は，ふつう「だ」「です」あるいはその変化形式がつくことによって，述語となる。この「だ」「です」を，接辞とみるか，コピュラとみるかは，問題のあるところである。

ここでは，いちおう，「らしい」「みたい」「しれない」のような推量コピュラがつくことだけをのべておく。

幼児の使用した形容詞の形式(6)—推量コピュラのついたもの

	年年年 長中少
たかいらしい しずからしい	○
たかいみたい しずかみたい	○○ ○
たかいかもしれない しずかかもしれない	○ ○

1.7 とりたて形式

形容詞のとりたて形式は「たかくはある」「たかくもない」「しずかではある」「しずかでもない」のようにしてつくられる。

幼児の使用した語形(7)—とりたてのかたち

	年年年 長中少
しずかでもない	○

第２章　いいおわり形

2.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した形容詞のいいおわり形はつぎのとおりである。

第一形容詞

機能	ムード	テンス	ふつう みとめ	年長	年中	年少	ふつう うちけし	年長	年中	年少	ていねい みとめ	年長	年中	年少	ていねい うちけし	年長	年中	年少
いいおわり形	断定形	現在形	たかい	○	○	○	たかくない	○	○	○	たかいです	○	○		たかくありません たかくないです			
		過去形	たかかった	○	○	○	たかくなかった	○	○	○	たかかったです				たかくありませんでした たかくなかったです			
	推量形	現在形	たかいだろう	◎			たかくないだろう				たかいでしょう	○	○	○	たかくないでしょう			
		過去形	たかかっただろう				たかくなかっただろう				たかかったでしょう				たかくなかったでしょう			

第二形容詞

機能	ムード	テンス	ふつう みとめ	年長	年中	年少	ふつう うちけし	年長	年中	年少	ていねい みとめ	年長	年中	年少	ていねい うちけし	年長	年中	年少
いいおわり形	断定形	現在形	しずか	○	○	○												
			しずかだ	○	○	○	しずかじゃない	○	○	○	しずかです	○			しずかではありません			
		過去形	しずかだった	○	○	○	しずかじゃなかった				しずかでした	○			しずかじゃありませんでした			
	推量形	現在形	しずかだろう	◎			しずかじゃないだろう				しずかでしょう	○	○	○	しずかじゃないでしょう	○	○	
		過去形	しずかだっただろう				しずかじゃなかっただろう				しずかだったでしょう				しずかじゃなかったでしょう			

この二つの表からわかるように，幼児は，ふつう体の断定形は「しずかじゃなかった」のところをのぞいて，みんなつかっている。

推量形の推量的用法は「たかいだろう」「しずかだろう」が年長児にあっただけで，ていねい動詞のばあいは，いずれも念おしである。このことは，動詞のばあいとおなじ傾向だといえよう。

ていねい動詞は，ねんおしをのぞいて，現在形と過去形にすこしあったが，それも，「いいです」「だめですよ」がそれぞれ１例ずつで，あとは，おはなしの引用のなかにあった。動詞のときと同様，ていねい形式は，幼児のことばではあらわれにくいといえよう。

第一形容詞の現在形は，感動的にはなすばあい，「たかーい」「たかいたかい」などのかたちになる。こういうつかいかたも，年長～年少を通じてあった。

第二形容詞の現在形は，「しずかだ」よりも「しずか」のほうがよくつかわれていた。

第一形容詞のうちけしを「タカイクナイ」というふうにあやまるものが，年少児に２例あった。このような形式のあやまりは，さらに年齢をさげると，でてくるだろう。

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞〔ふつう体の形容詞〕 **みとめの形容詞**			
断定現在形 たかい（属性をあらわす）	○オニイチャンノ ホウガ ツヨイ。（自－h男5－7） ○サンダーバードハ スピードガ ハヤイトカネ（赤－D男5－11） ○カメヲネ ンート ノロイッ チュッタカラ（赤－t男6－0） ○ダッテ オカアサンガ「ココ クウキガ ワルイ」ッテ イッタ。（赤－G男6－1） ○チバノ ウミ イッタラ アッタカーイ（赤－f男6－3）	○オイチイト オモッテ ナメタ。（赤－g女4－8） ○ウサギガ イチバン ノロイ。（自－r女4－8） ○コレ アツイ。（神－敷男4－3） ○どんな？うさぎって。 シローイ。（自－f女4－9） ○ダンチガ トオイ。（小－森俊男4－6） ○ヒクート ウタ ウタウトコガ オモシロイ。（小－大男4－6）	○ダケレドモ コッチガ オッキイ。（自－d男3－10） ○チカイト オモッテネ カエル トキガネ カ カンジガネ トオクイト オモッチャウ。（神－三男4－0） ○これは？ チョット ムズカシイ。（神－渡女3－10） ○カッコイイッテ イウ コトハネ カイジュウナンテ ホンナゲチャウ コト。（小－佐男4－3） ○ドッチモ オモシロイ。（赤－a女3－10）
（現在をあらわす－感覚・感情形容詞）	○コウギダイデ アソンダリスルノガ タノシイ。（赤－g男5－10） ○目がいたいの？ メガ アツイ。（赤－j女6－6） ○ソレデネ ウントネ ホイクエンニ ミニ クル トキダケ サビシイ。（自－g男5－8） ○「アレガ ホシイ」ッテ ユッタンデ（自－o女6－1） ○イヌガ ホエタラ「アラコワイ」ッテ ニゲチャッタノ。（自－w女6－5） ○……おはなししてみて！ ハズカシイ。（自－u女6－5）	○オリガミ オルノガ イチバン タノシイ。（赤－t男5－1） ○虫あつめたりするのすき？ ウーン。ボク チョット コワイ。（神－井男5－0） ○トトデ〔外で〕アトブノ ホウガ ウレチイ。（神－永男4－1） ○カメガ イットウダッタカラネー エトネ ナンカネ クヤシイト オモッテネ ヤッタンダッテ。（赤－q女5－2） ○トチュウデ ウーント「ネムイ」ッテ イッタ トキ（自－p男4－7）	○どして？ ツマンナイ。（自－m女3－10） ○「イターイ」ッテ ナイチャッタノ。（小－長男3－5） ○「オミズガ ホシイ」ッテ ユッタカラ。（赤－q男4－1） ○ココガ カユイ。（赤－e男4－1）
（現在をあらわす－状態性）	○アブナイッテ オモッテネ キュウブレーキ カケタラ（赤－e男5－10）	○「アブナイ」ッテ ユッタラネ ヒカレチャッタノ。（神－遠男5－1） ○イツモ トナリデ オシゴト イソガシイッテネ（小－谷男4－11）	○ソシタラ コウイウ コニトビダシテ「アブナイ」ッテ イッタノ。（神－佐女3－7） ○ウルサイ。（自－m女3－10）
（現在をあらわす－存在形容詞）	○オハナシ？ モウ ナイ。（赤－R男5－11）	○エホン アンマリ〝ナイ。（小－森俊男4－6） ○オボエテンノ ダイブ ス	○カオモ ナイ。 オデコモ ナイ。 ケーモ ナイ。 オナカモ ナイ。（小－原女3

		クナイ。(小一窪女4－8)	－7)
(いい)	○「ヤッタ ホウガ イイ」ッテ イッテネ(赤－c男6－3)	○サイトウ ユキオクント イッショニネ アソブノ ホウガ イイ。(神－規男4－6) ○クレバ ヨカッタ。(小－野女4－9)	○もっとおはなししてくれない？ イイヨ。 いや？ イイ。(赤－l男4－3)
(しょうがない)	○「ショウガナイ」ッテ ユッテネ カエッチャッタノ。(自－A女6－5)		
たかー		○トレデ ケガチテ「イタタター」ッテ ビョウインヘイッタ チトモ インノ。(神－永男4－1)	○「オー コワー。ゴホン カッタ」ッテ イッタノ。(小－矢女4－0)
たかい たかい	○タイヨウガ アタッテキテ「アツイアツイ」ッテ タオレチャッタノ。(赤－m女6－3) ○オサルガネ「イタイイタイ」ッテ イッタノ。(自－r女5－8)	○シロチャンガ ノッタラ「コワイコワイ」ッテ ナイタンダヨ。(小－藤男4－9) ○アト ナイナイナイ。(神－規男4－6)	○「アブナイアブナイ」ッテ イウノ。(小－竹男4－1) ○「アツイアツイ」ッテ ヤッテンノ。(小－矢女4－0)
断定過去形	○川はどんなだった？ ヒロカッタ。(自－i男6－4) ○サムカッタ。(赤－l男6－3) ○クサカッタ。(自－f女5－8) ○ハナビガ オモシロカッタ。(自－v男5－7) ○オソトデ アソンダ コトガ イチバン タノシカッタ。(赤－G男6－1) ○オヤツノネ メロンガ オイシカッタ。(自－d女5－11) ○運動会の日は？ ウレシカッタ。(赤－m女6－3) ○オヒル タベタ トキ ヨカッタ。(赤－C男5－6)	○ウサチャンガ オキテ オソカッタト オモッテ ウエニ イッタノ。(自－u女5－5) ○オイシカッタ。(小－伊男4－3) ○スズワリガ オモシロカッタ。(赤－q女5－2) ○ウンドウカイガ タノシカッタ。(赤－x女5－2) ○どうだった？ コワカッタ。(神－加女5－0) ○ウントネ ウント ヨカッタ。(神－遠男5－1) ○ブランコヤ テツボウガ ナカッタ。(自－c男4－7)	○カメチャンノ ホウガ ハヤカッタ。(小－藤女3－10) ○キモチ ワルカッタ。(赤－k男4－4) ○アソンデル ホウガ オモシロカッタ。(神－勝男3－7) ○ミンナ タノシカッタ。(神－寺男4－4) ○クミコ チュウシャ シタコト アッタラネ エト イタカッタ。(赤－t女4－4) ○マタネ コウイウ コニブツカンナイデ ヨカッタ。(神－佐女3－7)
推量現在形 (推量)	○カメトネ ウサギガ「ドウシテ オマエナンカ オソイダロウ」ッ チュッテテサ,(赤－w男6－3)		
うちけしの形容詞 断定現在形	○トオク ナイ，アンマリ。(自－i男6－5) ○ヨワク ナイ。ツヨイノ。(自－c男6－3)	○トオイク ナイ。アンマリトオイク ナイ。(神－永男4－1) ○じゃ，もういい？ モウ	○デモ アンマリ スズシクナイ。(赤－b男4－0) ○イク トキハ トオク ナイ，チカイケドサ。(神－三

	○サビシイ　コトモ　アルケド，アンマリ　サビシク　ナイ。(自－i男6－5) ○チットモ　コワク　ナイ，アタシハ。(自－g女5－11) ○ウートネ　オモシロク　ナイ。(自－h男5－7)	イク　ナイ，マダ。(神－永男4－1) ○ウーウン。コワク　ナイノ。(小－篠男5－1)	男4－0) ○コワク　ナイ。(赤－b男4－0) ○アレハネ　ホントニネ　ワルク　ナイノ。(赤－r男3－8)
断定過去形	○アケミ　ウーント　ダイジニ　ツカッタカラ　フルクナカッタ。(自－q女6－1) ○アンマリ　タノシク　ナカッタ。(赤－g男5－10) ○オセンコハナビネ　ントントネ　アンマリ　オモシロク　ナカッタ(自－B男5－7)	○デモ　アンマリ　コワクナカッタヨ。(赤－f女4－10)	○コワク　ナカッタ。(自－i男3－5) ○ママト　イッタケドネ　オモシロク　ナカッタ。(赤－t女4－4)
かたちくずれ			
タカイクナイ		○トオイク　ナイ。(神－永男4－1)	○タカイク　ナカッタヨ。(神－狗女4－3) ○アマイーク　ナイ。(神－古男4－5)
イクナイ		○モウ　イクナイ，マダ。(神－永男4－1)	
〔ていねい体の形容詞〕 **みとめの形容詞**			
断定現在形	○イチゴダ　イイデスカ　アノネ　メロンガ　イイデスカハッカガ　イイデスカ。　ハッカハ　マズイデスヨ。(自－o女6－1)	○チムハ　フナノリニ　ナリタクテ　ショウガナイデス。	
推量現在形 (念おし)	○ダッテ　スポーツカー　ハヤイデショウ。(赤－e男5－10) ○カメハ　ウサギヨリモ　オソイデショウ。(赤－l男6－3) ○アソブ　トキモ　アルケドトオイデショウ。ダカラ　アソベナイノ。(赤－x女6－2)	○ウサギサンガ　イットウハヤイデショ。(赤－f女4－10)	○ボクヨリ　ズット　オオキイデショウ。(神－場男3－10) ○トビダスノ。　アブナイデショウ。(赤－v女4－0)
第二形容詞 〔ふつう体の形容詞〕 **みとめの形容詞**			
断定現在形			
しずか	○テレビすき？　スキ。(自－v女5－10)	○むしなんかすき？　スキ。(赤－s男5－6)	○バアチャンモ　スキ。パパモ　スキ。ママモ　スキ。

	○マンガ　ゼンブ　ダイスキ。（自－m女６－４）	○ボク　ダイオンハ　ダイスキ。（小－端男４－２）	（小－原女３－７） ○カブトモ　ダイスキ。（赤－t女４－４）
	○おにくすきなの。そう。オカアサン　キライ。［おかあさんは　にくが　きらい］（自－u女６－５） ○おとうさんとおかあさんでは？　イヤッ。　どうして？　オコルンダモン。（自－b男６－０） ○「コレ　イジッテモ　イイ？」ッテ　イウト　「ダメ」ッテ　イウノ。（自－o女６－１） ○クラク　ナル　ウチニ　カエッテ　キチャエバ　ダイジョウブ。（赤－c男５－10）	○むしなんかすき？　ダイッキライ。（小－榊男４－８） ○オニイシャンハ　シュグカエッテ　クルカラネ　ダイジョウブ。（自－i男５－５） ○オハナシハ　ダメ。（小－有男４－７）	○アマイノハ　キライ。（自－i男３－５） ○ムシ　ツカマエルノ　トクイ。（赤－d男４－２） ○ハシャミデ　キッチャッテ　ダイジョウブ？（神－高男４－４） ○コドモガ　ヒトリデ　イッタラネ　マイゴニ　ナッチャウカラ　ダメ。（神－佐女３－７）
しずかだ	○［交通事故について］　アノネ　カワイソウダト　オモウ。（赤－J女５－８） ○トッカンカメヤネ　ナショナルキッドヤ　ダイスキダ。（自－e男６－１）	○「ソノ　オヒメサマ　マガイチバン　キレイダ」ト　イッテ（赤－p女５－２） ○アタイ　スキダモン。ん？カッチャンガ　スキダ。（赤－j女４－７）	○どうして　ママがいいの？　スキダ。（小－岸男３－11） ○ももたろうのおはなし，もういっぺんきかせて。イヤダ。（自－l女３－３）
	○マンガモ　スキダ。（赤－c男５－10） ○コンナノ　イヤダ。（自－l男５－７） ○よんでちょうだい。　みんなよんだよ。　ヤダ。（赤－M男５－８） ○オウチ　イッタラ　モウ　ダメダ　モウ　ダメダト　オモッテ，（自－o女６－１） ○「アッ　タイヘンダ」ッテ　イッテネ（赤－m女６－３）	○ウント　チャンバラ　キライダ。（小－伊男４－３） ○「オテンキニ　ナッタラ　イヤダ」ッテ　イッテンノ。（神－堀女４－１） ○コンナ　イッパイ　ウマガキタカラ　「タイヘンダー」ッテ　トビツイチャッタノ。（赤－l男４－８）	
断定過去形	○オウチ　キレイダッタ。（自－r女５－７） ○ニンジンヤナンカガ　ハイッテタカラ　アタシネ　イヤダッタノ。（自－g女５－11） ○オカアサンハ　ネコガ　ダイキライダッタカラネ（自－m女６－４）	○トンネル　アッテネ　マックラダッタ。（神－鎌女４－５） ○イチバン　シタノネ　コブタノ　オウチニ　ハイッテ　ダイジョウブダッタノ。（神－北男４－11）	○ジドウチャニ　タノンデモ　ダメダッタノ。（小－佐男４－３）
推量現在形（推量）	○カメハ　ノロイカラ　マダ　ダイジョウブダロウッテネ　ウーント　ウサギハ　ネチャッタノ。（赤－t男６－０）		
うちけしの形容詞 現在形	○ボク　アカチャンキリ　ス	○アト　コレシカ　スキジャ	○動物すき？　そういうのす

	キジャ　ナイ。（自－1男5－7）	ナイ。（自－c男4－7）	き？　アンマリ　スキジャナイヨ。（赤－k男4－4）
〔ていねい体の形容詞〕**みとめの形容詞**			
断定現在形	○オカアサンガ「ダメデスヨ」ッテ　ユッテ（自－o女6－1）		
断定過去形	○オフロ　ハイル　コトハ　ダイッキライデシタ。（自－t男6－2）		
推量現在形（念おし）	○ケーキ　サムイ　クニノハサムイ　トコガ　スキデショウ。ダカラ　レイゾウコンナカヘ　イレチャッテネ。（赤－o女6－1）	○ヤサシイ　トコ　オカアサン　スキデショ。（自－g女5－0）	○コッチガ　キレイデショウ。ソシタラサー，（赤－a女3－10）
推量過去形（念おし）	○オリガミデ　ツクル　モノッテサー　ソノ　ツクル　モノニ　ソックリジャ　ナイデショ。（自－h男5－7）		○コッチガネ　キレイジャナイデショウ。コッチガ　キレイデショウ。　ソシタラサー。（赤－a女3－10）

2.2　終助詞のついたもの

形容詞のいいおわり形にも終助詞がつくことがおおい。幼児の使用例はつぎのページの表のとおりである。

第二形容詞が終助詞「の」へつづくときは「しずかな」のかたちになる。この形は，意味や機能のうえでは，いいおわり形としてはたらいているが，形式は，連体形のかたちをのこしており，中間的な存在である。ここでは，いちおう，いいおわり形のなかにいれておく。

形容詞につづく終助詞の幼児の使用のしかたについての傾向は，動詞のばあいとおなじであるので，ここでは，あらためてのべない。

第一形容詞

		だよ・よう	だよね・よね	さ	わよ・わ	なあ・ね	もんや・ぞ・い	つけな・っけ	かい・か	かよ	かなね・かね	とか・とさ	の	のよね・のよ	のね・のさ	のかな・のかしら	んだ	んだよね・んだよ	んだもん・んだな・んだね・んだぞ	んだったっけ・んだっけ	んだってさ・んだって	んですよ・んです	んでしょう・だろう	んだろう・んでしょう	んじゃない(か)・じゃない
たかい	年長	○			○	○ ○	○ ○ ○		○		○ ○		○	○	○	○	○	○	○							
	年中	○			○	○ ○	○ ○		○		○ ○		○	○	○	○	○	○	○		○					
	年少	○	○			○ ○	○ ○		○		○		○	○		○	○	○	○			○				
たかかった	年長	○				○ ○							○		○				○							
	年中	○											○								○					
	年少	○					○						○				○		○							
たかくない	年長	○																								
	年中	○					○						○													
	年少						○						○													
たかくなかった	年長																									
	年中	○																								
	年少																									
たかいです	年長	○							○																	
	年中																									
	年少	○																								

第二形容詞

		よね・よ	さ	わよ・わ	ね・な	もんや・ぞ・い	つけな・っけ	かい・か	かよ	かなね・かね	とか・とさ	の	のよね・のよ	のね・のさ	のかな・のかしら	んだ	んだよね・んだよ	んだもん・んだな・んだね・んだぞ	んだったっけ・んだっけ	んだってさ・んだって	んですよ・んです	んでしょう・だろう	んだろう・んでしょう	んじゃない・じゃない
しずか	年長	○	○																					
	年中	○			○			○																
	年少	○								○														
しずかだ	年長	○			○	○																		
	年中	○			○	○																		
	年少	○			○ ○	○		○																
しずかな	年長											○				○	○	○						
	年中											○				○	○	○						
	年少											○				○	○	○						
しずかだった	年長											○												
	年中											○												
	年少											○												
しずかじゃない	年長																							
	年中																							
	年少	○																						
しずかです	年長	○																						
	年中																							
	年少																							

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞			
よ			
現在形	○ウミ トオイーヨ チョット。(赤－i男6－2) ○ウンドウカイデモ ナンデモ オモシロイヨ。(赤－m男5－10) ○オトナニ ナレバ コワクナイヨ。(自－s男5－9) ○ダンプカーガ キテ「アブナイデスヨ」ッテ イッテオドロイチャッタノ。(赤－w女6－2)	○ひかり号ってのろいの？ ハヤイヨ。 (小－伊男4－3) ○ウルトラセブンテ カッコイイヨ。(小－永男4－4) ○トオイク ナイヨ。スグ。(小－藤男4－9)	○アッツイヨ, ココハ。(神－鈴男3－6) ○ウチニ シバフ ナイヨ。(赤－b男4－0) ○「イイデスヨ」 チュッタトキハ アソブ。(神－三男4－0)
過去形	○ニュースガ オオカッタヨ。(赤－c男5－10) ○ナンカ キノウノ オモシロカッタヨ。(赤－f女5－9)	○ソレネ ナンカ オモシロカッタヨ。(赤－f女4－10) ○グルグル マワッテ メガマワルノ。デモ アンマリコワク ナカッタヨ。(赤－f女4－10)	○イギリスン トコガ オモシロカッタヨ。(赤－r男3－8) ○コワカッタヨ。(小－福男4－2)
よう			
現在形	○ストロングネ ツヨイヨー。(自－l男5－7)	○「コワイヨウ」ッテ イッテネ ニゲテイッチャッタノ。(自－j女4－7) ○「ネムイヨウ」ッテ ユッテネ コノカメハネ ウミニトブリカケチャッタノ。(神－鎌女4－5)	
よだ			
現在形			○しゃべってちょうだいよ。ナイヨダ。(神－柿男3－7)
わ			
現在形	○ダッテ オハナハンテ イウノ ヤサシイワ, ユウカタガ キュウ シタリ シテクレルカラ。(赤－x女6－2)	○オリーブトカ ソウイウノガ イイワ。(赤－p女5－2)	
ね			
現在形	○トッテモ ミンナ オモシロイネ。(赤－D男5－11)	○コワイケド オモシロイネ。(赤－q女5－2) ○チョット コワイネ。(小－押女5－1)	○ソイデ「ウレシイネー」ッテ イッタノ。(小－神女4－1)
過去形	○ミンナ ヨロコンデ「ヨカッタネー」ッテ イッタノ。		

	(赤－o男6－2) ○「オソカッタネー」ッテ イッタラ。(赤－o女6－1)		
な，なあ			
現在形	○バクハツスル トコガ オモシロイナ。(赤－a男5－11) ○ヨル カエッテ キタラネアー サムイナアト オモッテタラネ(赤－g男5－10)	○パパノ ホウガ イイナ。(小－森俊男4－6) ○ソシテ 「モウ イイナア」ッテ ユッテ (小－小島女4－2)	○ムズカシイナア。(神－渡女3－10) ○フクシマケンノ イナカノホウガ イイナー。(神－宮男3－8)
過去形	○イシヲ ナゲル トコガ オモシロカッタナ。(自－p男5－6)		
ぞ			
現在形	○「ドンブラコッコ コッチハ アマイゾ」ットカ ユッタンダッテ。(自－u女6－5)		
や			
現在形	○ハーン オモシロイヤ。(赤－F男5－9) ○アレガ イイヤ。(赤－E女5－8) ○コリャ オレサマノ ヒルゴハンニ イイヤ。(赤－m女6－3)	○ウーン コワイヤ。(小－中男4－6) ○ニンゲンガ イイヤ。(自－j女4－7) ○アト マア イイヤ。(神－規男4－6)	○ソイダカラネ 「アーカイヤ」ッテ ヤッテンノ。(小－矢女4－0)
も ん			
現在形	○だれいちばんすき？ アカチャン。どして？ カワイイモン。(赤－P女6－3) ○よんだおはなし，きかせてくれる？ ダッテ ナガイモン。(赤－u男6－5) ○ウート マイニチハ ナイモン。(赤－s男6－6)	○ダッテ ウチノ オニイチャン ヤサシイモン。(神－桑女4－10) ○デモ ツマンナイモノ。(自－h女4－7) ○デンキノ キカンシャナンテ ナイモン。(神－村男4－3) ○どうして？ カイブツクンハ コワク ナイモン。(小－海男4－3)	○ダッテ ウルトラセブンノホウガ ツヨイモン。(神－宮男3－8) ○みたらわかるでしょう。ホンガ ナイモン。(小－岸男3－11) ○ダッテ カメ ヒトー タカク ナイモン。(自－d男3－10) ○ダッテシャー ウゴイテルケド コワク ナイモン。(神－高男4－4)
過去形			○コドモノ トキ シェンショウ ミタンダモン。ソシテ オモシロカッタモン。(神－高男4－4)
か			
現在形	○ゴチソウナイカッテ サガシテタラ。(赤－E女5－8) ○ドッチガ ハヤイカ キョ	○ドッチガ ハヤイカ ウエンニ ノボンノ キョウソウショウ。(赤－h女5－4)	○ナンデネー アノネ カメガネ ウゴクノ ノロイカシッテル？(赤－d男4－2)

	ウソウシテンノニ。(自－k男5－8) ○メロンガ イイデスカ，ハッカガ イイデスカ(自－o女6－1)		
か　ね			
現在形	○ドッチガ ワルイカネ キメラレナイデショウ。(赤－I女5－8)〔注〕ネは間投助詞かも。〕	○ドッチガ ハヤイカネ キョウソウシテ イルノ。(神－山男4－9)〔注〕ネは間投助詞かも。〕	
かな，かなあ			
現在形	○ライオンガネ エサハ ナイカナッテ サガシテネ(赤－c男6－3)	○ナンカ デキタイ コトガ ナイカナート オモウ コト。(神－増女4－11)	○ナニガ イイカナ。(赤－l男4－3)
の			
現在形	○スグ アソコダカラ チカイノ。(赤－a男5－9) ○オバケノ キュウチャンッテネ フトッテテネ ソイデネ オメメガ アッテネ、ケガ サンボンシカ ナイノ。オミミガ ナイノ。(赤－k女5－8) ○オバケノ キュウチャンイヌガ コワイノ。(自－q女6－1) ○ドウシテ ソイジャ ソンナニ ノロイノ？(自－o男6－3)	○イチバン マユミチャンガネ オッキイノ。(自－e女4－3) ○モグチャンガ ウシニ ヨワイノ。(小－村男4－9) ○ソイカラ グルグル マワルノ コワイノ。(小－藤男4－9) ○ダケド オニカイ ナイノ？(小－有男4－7)	○コノグライ オッキイノ。(赤－e男4－1) ○クビガ ナガイノ。ソイデアシガ ナガイノ。(自－a男4－0) ○ソウイウ トキガ ヤサチイノ。(神－古男4－5) ○ユッコニ サワンナイデ！イタイノ。(小－原女3－7) ○コレシカ ナイノ？(赤－d男4－2)
		○こわい花火したの？コワクナイノ。(小－篠男5－1)〔注〕名詞形かも。〕	○アレネ ホントニ ワルクナイノ。(赤－r男3－8)
過去形	○ソイデネ カメサンガネイットウ ハヤカッタノ。(赤－B女5－8) ○イロンナ コト ユッタノ。ソレガ オモシロカッタノ。(自－A女6－5)	○ハジメカラ ナカッタノ，オフロ。(神－遠男5－1) ○アノー オソトデ サムカッタノ。(自－s男4－10)	○オトウサンネ ホソカッタノ。(赤－i男4－2) ○ナンニモ ナカッタノ。(小－千女4－2)
の　よ			
現在形	○ダッテ ウーントネ オカアサンガ ヤサシイノヨ。(赤－s女5－8) ○アカズキンチャンモ ワルイノヨ。(赤－s女5－8)	○ソレカラ コンドハ アタラシイ ノリモノガ デキタノ。タコ。ソレガ コワイノヨ。(赤－f女4－10)	○ダッテサ ホウレンソウタベタラ ツヨイノヨ。(赤－q男4－1)
の　ね			
現在形	○アタマノ ケガ サンボンシカ ナイノネ。(赤－E女	○(　)マ ナガイノネ。(小－伊男4－3)	

	5－8）		
過去形	○ハジメネ エー カイタノガネ マダ シロッポカッタノネ。（赤－a男5－11）		
のか			
現在形	○ココ ドッチガ イイノカワカンナイカラネ （自－n男6－5）	○[うたで]ドウヒテ ソンナニ ノロイノカ？（神－柳男4－5）	
のかな			
現在形	○ツウコウガ ココハ イイノカナ。（赤－d男6－4）		
んだ			
現在形	○ミッキーマウスノ エイガハ ヒトツモ ナインダ。（赤－F男5－9） ○アタマノ ケガネ クチャクチャダカラ「クヤシインダー」 チュッタカラネ（自－m女6－4）	○ダイオンガ イチバン ツヨインダ，ホントハ。（自－c男4－7）	○トオク イク トキナンカシュウーッテ ヒイテ ヌーッテ ント ハヤインダ。（神－三男4－0） ○ダケド イインダ コレデモ （赤－d男4－2）
過去形			○ウントネ コイダケ ナカッタンダ。（赤－f女4－2）
んだよ			
現在形	○ユーカチャン オソインダヨ，タベルノ オニギリ。（自－o女6－1） ○オバキュウ イヌニハ ヨワインダヨ。（自－s男5－9）	○ヨウチエンカラ トオインダヨ。（小－川男4－10） ○コドモハ カンケイ ナインダヨ。（小－海男4－3）	○ライオントネ アノネ ウマハ ツヨインダヨ。（赤－b男4－0） ○ドンナ フウニ カツヤクスルノハネ アノネ カッコイインダヨ。（赤－q男4－1）
んだよね			
現在形	○ウミガ フカーインダヨネ。（自－l男5－7） ○ウサギガネ ハヤク ナッテ イクノ。ウント ハヤインダヨネ。（赤－d男6－4）		
んだもん			
現在形	○ダケドサ アレ スコシムズカシインダモン。（赤－G男6－1） ○ダケド エート テー ブツト イタインダモン。（自－l男5－7）	○ダッテ オカシインダモン。（自－f女4－9） ○ヤッ。ムズカシインダモン。（神－伊男4－1）	○ダッテ ボクハ コンナチッチャインダモノ。（神－古男4－5） ○ダッテ ウレシインダモン。（神－柿男3－7）
過去形		○ダッテ イタカッタンダモン。（神－島男4－4）	
んだって			
現在形		○マガチャン トコ チカインダッテ。（小－山崎男4－11）	

過去形	○オッキイカラ　アノネ　カケンノガ　オソカッタンダッテ。（自－d男5－11）		
んですもの			
現在形			○ボク　コンナニ　チッチャインデスモノ。（神－寺男4－4）
じゃない			
現在形		○モッタイナイジャナイ，コウ。（神－規男4－6） ○ジャ　ミレバ　イイジャナイ。（神－規男4－6）	○キョウシツ　ナイジャナイ。（小－佐男4－3）
じゃないか			
現在形	○ナアンダ　アンナニネー　オソイジャナイカ。（赤－m女6－3）	○コラー　アブナイジャナイカ。（神－規男4－6）	
第二形容詞			
よ			
現在形	○「コレ　カシテ」ッテ　イウト　「ダメヨ」ッテ　イウチャウノ。（自－o女6－1）	○ピューンテ，ホントヨ。（小－有男4－7） ○イジメチャ　ダメヨ。（小－谷男4－11）	○ミンナ　ダイスキヨ。（赤－t女4－4） ○オテテ　イレチャ　ダメヨ。（自－l女3－3） ○じょうずなのかな？　ジョウズヨ。（神－場男3－10）
	○ヨウチエンネ　センニンハイッタラネ　キュウクツダヨ。（赤－I女5－8） ○ダレモ　ゼンブ　スキダヨ。（赤－a男5－11） ○ソンナノ　ダメダヨ。（自－o女6－1） ○オカアサンガ「ダメデスヨ」ッテ　ユッテ　（自－o女6－1）	○かえるすき？　キライダヨ。（小－藤男4－9） ○おはなししてくれない？　イヤダヨ。（神－正男4－10） ○デモ　カタツムリハ　ヘイキダヨ。（小－海男4－3）	○オット　ダメダヨ。（神－佐女3－7） ○そういうのすき？　アンマリ　スキジャ　ナイヨ。（赤－k男4－4）
さ			
現在形	○「ココナラ　アンゼンサ」ッテ　イッテネ　（赤－c男5－10）		
ね			
現在形		○アノ　オニンギョサン　キレイネ。（小－伊男4－3）	○イチバン　スキダネ。（神－三男4－0）
な，なあ			
現在形	○パピーガ　スキダナ　テレ	○マサアキチャンニ　キイ	○ズイブン　フカフカダナ。

	ビデハ。(赤－ｉ男６－２) ○ダケド　ボク　ヤダナ　ツナヒキ。(赤－ｖ男６－１)	タ　ホウノ　マシダナ。(神－大女４－６)	ネ　ココニ　スワッチャ　ダメ？　(赤－ｄ男４－２) ○モウ　イヤダナ。(小－原女３－７)
い 現在形			○うまさんのおはなしをしてください。ダメダイ。(小－加男４－１)
もん 現在形	○ダッテ　カイブツダッテボク　スキダモン。(赤－ｗ男６－３)	○アタイ　スキダモン。(赤－ｊ女４－７)	○ボクサ　チャント　ハンドル　ギュット　モッテルカラヘイキダモン。(赤－ｄ男４－２) ○ツクル　シトガナ　イナクチャ　ダメダモン。(小－矢女４－０)
か 現在形		○ダレガ　スキカ　ワカルッテ　イウノ。(小－小林男４－３)	○サリーチャンハネ　ダレカスキダカネ　アノネ　チョット　ソレハ　チョット　シラナインダ。(赤－ｂ男４－０)
かな 現在形			○ドレ　スキカナー　(自－ｅ女３－９)
の 現在形	○フタリノ　オネエサンガネイジワルナノ。(赤－Ｂ女５－８) ○ソラカラ　ミルト　マアルクテネ　オリルトネ　ウントネ　コウイー　タイラナノ。(自－ｌ男５－７) ○つりざおつくるのむずかしいの？　カンタンナノ。(自－ｏ男６－３) ○ソノ　トキハ　トクベツナノ。(赤－ｔ男６－０) ○オソバ　キライデ　オウドン　スキナノ。(自－ｗ女６－５) ○ボタンデ　ハメテ　アッカラ　ダイジョウブナノ。(自－ｓ男５－９)	○オカアチャンガ　スキナノ。(神－島男４－４) ○ボク　ニュースナンカ　キライナノ。(赤－ｌ男４－８) ○ウント　タロウチャンガジャマスンカラ　ダメナノ。(神－福女４－７)	○ボク　ネ　バスガネ　ボクダイスキナノ。(神－三男４－０) ○ゴハン　スキナノ。(小－矢女４－０) ○ヘンナノ。(小－原女３－７)
過去形	○アケテ　ミタラ　ナカ　カラッポダッタノ。(赤－ｏ女６－１)	○ドボット　ヤラレテネ　テツジンダケ　ヘイキダッタノ。(赤－ｔ男５－１)	○ジドウチャニ　タノンデモダメダッタノ。(小－佐男４－３)

		○コブタノ　ウチニ　ハイッテ　ダイジョウブダッタノ。（神－北男４－11） ○ハジメ　オウタガ　スキダッタノ。（小－岡女４－８）	
ん　だ			
現在形	○アタシネ　アレガ　スキナンダ。（自－ｇ女５－11） ○パパネ　オコルノガ　チョット　イヤナンダ。（自－ｏ女６－１）	○ボクハ　スーパージェッターガ　スキナンダ。（赤－ｂ男５－６）	○どうして？　ダッテ　スキナンダ。（赤－ｇ男３－５）
んだよ			
現在形	○ボク　イヤナンダヨー。（赤－ｖ男６－５）	○ウチガ　ビンボウナンダヨ。（自－ｒ女４－８）	○カメモ　スキナンダヨ，オサカナモ。（赤－ｑ男４－１） ○ダカラ　チラカシテモ　ダイジョウブナンダヨ。（神－三男４－０）
			○コワレチャッタカラ　モウダメ　ダメナンダヨ。（赤－ｆ女４－２）
んだもん			
現在形	○ダッテ　パパ　スキナンダモノ。（自－ｏ女６－１） ○コウイウ　コト　キライナンダモノ。（赤－ｖ男６－５）	○オウチ　カラッポナンダモン。（自－ｐ男４－７） ○ダッテ　コレガ　タッチャン　シュキナンダモン。（神島男４－４）	○ダッテ　ママ　シュキナンダモン。（赤－ｐ男３－７）

2.3　接続助詞のついたもの

形容詞に接続助詞がついたもの，および，終助詞と接続助詞のついたものは，つぎのようであった。

第一形容詞

		からで／のしら	どにがけの	だけどんだ／んだから	でもんだもん
たかい	年長	○○○	○○	○○	○○
	年中	○○○	○○	○	
	年少	○　○	○		
たかかった	年長	○○	○○		
	年中	○	○○	○	
	年少	○			
たかくない	年長	○	○		
	年中				
	年少	○	○		
たかくなかった	年長	○			
	年中				
	年少				

第二形容詞

		からで／のしら	どにがけの	けどんだ
しずかだ	年長	○　○	○	
	年中	○　○	○	
	年少	○	○	
しずかな	年長			
	年中	○		○
	年少			
しずかだった	年長	○	○	
	年中	○		
	年少	○		
しずかじゃない	年長	○	○	
	年中			
	年少			
しずかじゃなかった	年長			
	年中			
	年少			

このばあいも，動詞のばあいとおなじような傾向がみられる。

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞			
から			
現在形	○アツイカラ　カレチャッタンダ。(赤－G男6－1) ○カッパコミックスガ　ナイカラ　タノシイヨウチエンデモ　ヨンデモ。(赤－q男5－11) ○シンイチッテ　イウノネ　ツヨイカラネ　スグ　ヤッツケラレチャウノ。(赤－s女5－8) ○「イコウ　イコウ」ッテユッテモ　イソガシイカラネ　オカアチャン　ツレテッテクンナイカラネ(自－w女6－5) ○ニュースなんかみる？　オモシロク　ナイカラネ　メーツブッテル。(赤－I女5－8) ○グッスリ　ネテネ　ホンデモウ　イタク　ナイカラネ「ドウモ　アリガトウ　ドウモ　アリガトウ」ッテ　ユッテネ　(赤－o男6－2)	○どしてパパすき？　ヤサシイカラ。(赤－e女4－9) ○カボチャ　オイシイカラカボチャ　ツクッテ　クレタノ。(神－桑女4－10) ○イタイカラ　ナイチャッタノ。(赤－u男5－6) ○キュウタロウハ　イヌガコワイカラ　ニゲタラ,(小－山中女5－0)	○オカアサン　スキ。どして？　ヤサシイカラ。(神－古男4－5) ○テレビナンテ　ミナイ。ツマンナイカラ。(神－宮男3－8) ○ワスレチャッタ。　ムズカシイカラ。(神一三男4－0) ○センガ　チュイテル　トコアブナイカラ　トオレナイカラ　ハジッコカラ　イッタノ。(神－宮男3－8) ○ジュウシチネ　カルク　ナイカラネ　ジュウハチ　ハイテ　キタノ。 ○ダケドサー　オモシロクナイカラ(赤－f女4－2)
過去形	○カメサンガ　イチバン　ハヤカッタカラ　イチバン　サキ。(赤－x女6－2) ○ナミガ　ツヨカッタカラネサトシネ　ソバニ　キタラカオニ　アタッチャッタ。(赤－a男5－11) ○サムカッタカラ　バイバイシテネ。(自－m女6－4)	○ボクンチ　キンギョ　アッタケドネ　シンジャッタ。エシャガ　ナカッタカラ。(神－渡男4－6) ○キノウハネ　チョット　オナカガ　ワルカッタカラ　オウチデ　オトモダチト　アソンデタ。(赤－p女5－2) ○運動会どんなことあった？ナガカッタカラ　ワスレチャッタ。(赤－a男4－11)	○カメチャンガ　イチバンハヤカッタカラ　ハハハハハーテ　ワラッタノ。(神－大男3－11)
	○ソイデ　イナカハ　ケワシク　ナカッタカラネ　ウンデネ　ハイラナカッタノ。(自－y男6－0)		
ので			
現在形	○カメサン　オソイノデ　ウサギサンネ　ヒトヤスミシテ	○ネズミサンガ　アマリ　オオキイノデネ　ラ　アノ　ク	

	タラネ，(自－j女5－7) ○ウサギノ ホウガ ハヤインデ ウサギ グッシュリネチャッテ,(自－g男5－8) ○ホッペタヲサ サワッテミルトサ コブガ ナインデネ ヨロコンデ ウチニ カエッテ キタノネ。(赤－w男6－3)	ジラカト オモッチャッテニゲテ(赤－p女5－2)	
過去形	○カメガ ノロク ノロカッタンデネ ント オソカッタンデネ ンート サキヘ ウント サキニ イッチャッタノ。(自－r女5－8)		
かたちくずれ			○オトウサンハネ コチガ イタイデ ビョウインニ ニュウインシテンノ。(赤－v女4－0)
し			
現在形	○〔自転車は〕ウントネ ハヤイシ カッコウガ イイカラ。(自－j女5－7) ○オネエサンタチ ハ ハイタケドネ オオキイシ アシガ オオキスギテネ ハインナクテネ(自－j女5－7)	○コレ マタ サイタノ。オテンキガ イイシ。(自－r女4－8)	○オハナシ ナイシ(赤－u女3－7)
け ど			
現在形	○パンヤサンカラ トオッテイクト チカイケドネ スグツイチャウケドネ コッチカラ イクト トオインダヨ。(自－k男5－8) ○ツヨイケドネ ツカマルトキモ アル。(赤－y男5－7) ○ニジュウカラハ〔逆よみは〕ムズカシイケド デキル コトハ デキルカラ。(赤－I女5－8)	○オトウサント オカアサンガ ヤサシイケド シンジャッタノ。(赤－o女5－1) ○オトコノ マンガ スクナイケド オンナノコノ マンガモ ミルノ スクナイ。(小－窪女4－8) ○ソノ ショウジョ フレンドト イウ オモシロイ コワ コワイケド オモシロイネ ソレヲネ ミル タンビニ カイニ イクノ。(赤－q女5－2)	○イク トキハ トオク ナイ，チカイケドサ，イク トキハネ カンジガネ ントネアノネ アレダト オモウ。(神－三男4－0) ○ウチ カラー ナイケドネ オオモリノ オバアチャンチダケ カラー。(赤－a女3－10) ○オキンノハ ハヤイケドサー ヒルマハ オソト ヒトリデ (赤－a女3－10)
	○ショウチャンガ イルトコワク ナイケドネ ショウチャンガ イナイト コワイノ。(自－q女6－1) ○〔かけっこは〕 ソンナニハヤク ナイケド タダ スキ。(赤－A女6－1)		○さむいぐらい？ ん？ チョッピリネ。さむい？ サムク ナイケド。(赤－d男4－2)
過去形	○ハジメネ カメガ オソカ	○ハジメハ コンナニ チッ	

	ッタケドネ　ウ　ウサギガ　ネタカラネ　カメガ　ドンドンネ　ハシッタカラ　イットウショウン　ナッタノ。(赤－H女5－8) ○ネズミサンハ　ワタッタカラ　ヨカッタケド　クマサンブツカッチャッタノ　ジドウシャニ。(自－v男5－7)	チャカッタケド，ダンダンコンナニ　オッキク　ナッテキタ。(神－桑女4－10)
のに		
現在形	○ドウシテネ　ウサギハ　ハヤイノニ　オソク　ナッタカッテ?(赤－I女5－8) ○ライオンノ　ホウガ　チュヨイノニネ　コッチガ　ヨワイノニネ　ウント　ニゲテイクカラ　ワラッテンノ。(自－b男6－0)	○オカアサンハ　シロイノニソノ　オトモダチハ　クロイノネ。(赤－q女5－2)
過去形	○サイショハ　ウサギガ　ハヤカッタノニネ　コンド(赤－o男6－2)	○ハジメ　ハヤカッタノニウサギ　オヒルネ　シチャッタカラ　カメガ　ハヤクナッチャッタノ。(神－師女4－11)
んだから		
現在形	○ミナイ，ゼンゼン　ソンナノ。ツマンネエンダカラ。(赤－q男5－11) ○ヤサシインダカラ　ヨムノ。(赤－I女5－8)	
んだけど		
現在形	○カメサンガネ　オサキニエーット　ノロインダケドオサキニネ　テッペンマデネイッテ（自－s女6－3）	○スコシ　チカインダケドネショウテンガイノネ　ウエナノ。(赤－q女5－2)
過去形		○ウサギハネ　ピョンピョンハネテ　サイショ　ハヤカッタンダケドネ(小－筧女4－7)
もんだから		
現在形	○カメサンノ　ホウガ　ノロイモンダカラ(赤－f女5－9)	
もんで		
現在形	○「モモチャンニ　アイスクリーム　アゲマス」ッテ　ユッタラ　「マダマダ　チッチャイモンデ」ッタラ，(自－o女6－1)	

第二形容詞			
か ら			
現在形	○ソレネ キレイダカラ ソレバッカリデ アソンデタノ。(自－A女6－5) ○どうしてねるときほめられるの？ ダッテ オリコウダカラダヨ。(赤－M男5－8) ○ウーントネ カワイソウダカラ オウチニ ツレテッテネ (自－m女6－4) ○モシカ ドクヘビガ イタラ ダメダカラ。(自－l男5－7) ○どしてなかよしなの？ アノネ トキヤクント？ アノイジワルジャ ナイカラ。(赤－G男6－1)	○ワタシネ チュウシャ キライダカラ ジブンガ カンゴフサンニ ナリタイ。(小－野女4－9) ○ソンデ カワイソウダカラマタ ナオシタノ。(小－成男4－7) ○アンマリ ツレテ クルトイヤダカラ「ウチニモ アソビニ イラッシャイ」ッテ。(神－桑女4－10)	○T子っていうなまえがすきなの？ どうして？ キレイダカラ。(小－神女4－1) ○クマガ ネズミネ キライダカラネ ホエツケテンノ。(小－矢女4－0) ○どうしてそんなになりたいの？ ウマガ スキダカラ。(赤－b男4－0)
過去形	○シマウマ ダメダッタカラネ ウントネ ウン ダカラネ コドモタチガネ ワラッテネ(自－a男5－11)		○ソイデネ ウント トンデネ トンダラ ダメダッタカラネ ウーント ジドウチャニ タノンデモ ダメダッタノ。(小－佐男4－3)
の で			
現在形		○カグヤヒメガ アマリ キレイナノデ イッパイノ ヒトガ「オヨメニ クダサイ。オヨメニ クダサイ」ト タノミニ キマシタ。(神－桑女4－10)	
し			
現在形	○オテツダイ スキダシネ オシゴト スンノネ。(赤－I女5－8)	○オママゴト イッショニヤッタ トキネ スキダシネソンダケガネ スキナノ。(自－s男4－10)	
過去形		○ウンドウカイハネ イットウダッタシ オユウギダッテジョウズダッタシ。(赤－p女5－2)	
け ど			
現在形	○ドロンコハリーハネ ウー ナンデモ スキダケドオフロ ハイル コトハダイキライデシタ。(自－t男6－2) ○トンジャエバ ヘイキダケド，(自－k男5－8)	○イナカ シュキダケド イナカ ナイノ オウチ。(自－j女4－7)	○ハイル トキハ ダイジョウブダケドサ オフロ イッテサ ……カエル トキガトオク インダモン。(神－三男4－0)

	○なにがいちばんすき？ アノネ　ソンナニハネ　スキジャ　ナイケドネ　スキナモノハ　アルケドネ　ワスレチャッタノ。（赤－Ｊ女５－８） ○ウントネ　クウキガ　キレイダッタケド。（自－ｒ女５－７）	
過去形		
んだけど		
過去形		○ソノ　ジョオウサマハ　カオハ　キレイダッタンダケドネ　エートネ　イジワルナネジョオウサマダッタノ。（小－岡女４－８）

第3章　連体形

3.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した語形は、つぎのとおりである。

種類＼みとめかた＼幼児の使用例＼テンス		みとめ	年年年長中少	うちけし	年年年長中少
第一形容詞	現在形	たかい	○○○	たかくない	○○○
	過去形	たかかった	○○○	たかくなかった	
第二形容詞	現在形	しずかな	○○○	しずかでない	
	過去形	しずかだった		しずかでなかった	

このうち，年中児と年少児の過去形の使用は，復唱にちかい。したがって，形容詞のばあいは，過去形がでにくいということができる。

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞			
みとめの形容詞 現在形	○クロイ　ウサギト　シロイ　ウサギ。(自－t女6－4) ○ゼンブ　タベチャッタノ，サムイ　クニノ　オバケガ。(赤－o女6－1) ○ミンナガ　オドロイテネマタ　フルイ　オウチニ　モドッタノ。(赤－u女5－11) ○ソイデ　ワルイ　ヒトガネエ　(赤－f男6－3) ○タイヨウハネ　ンート　スゴイ　アツサダカラネ(赤－d男6－4)	○コウイウ　ナガイ　パイプツクッテンノ。(自－t男5－3) ○オイシイ　ケーキガ　ノコッテタ。(赤－i女5－3) ○アノ　ヤサシイ　オジイチャンネ　(赤－g女4－8) ○オヒサマガ　アッタカイヒカリ　アタリ，(小－久女4－7) ○ホソイ　ミチ　トオッテイクノ。(神－内女4－3)	○オウチデネ　カッコイイデンシャトネ　カッコイイヒコウキト　カッコイイ　ヒコウキ　チュクッタンダ。(赤－d男4－2) ○ウミニハネ　フカイ　プール　アッテネ　(神－狗女4－3) ○ソイデネ　キタナイ　アシデ　アルイテネ　(神－古男4－5) ○トオイ　オフヨマデ　イカエナイカラネ　(神－狗女4－3)
	○ソノ　コハネ　トテモ(ニンキ)スゴイ　オオキイコデネ(赤－E女5－8)	○イチバン　イイ　ヒコウキモッテ　コヨウカ。(小－永男4－4)	○ヤッテ　キタノハ　イチバン　オオキイ　ヤギデス。(神－坂女4－0) ○チョット　チイチャイ　マルダヨ。(赤－e男4－1) ○コンナニ　オオキイ　オウチガ　アルノ？(赤－d男4－2)

過去形	○オテンキノ　イイ　アサ（赤－s男6－6） ○ハヤカッタ　ウサギガ　ネチャッタカラ　オソク　ナッチャッタノ。（自－j男5－7） ○イチバン　コワカッタ　オハナシ　アッタヨ。（赤－e男5－10）	○センガ　ナイ　デンシャ（神－伊男4－1） ○おもしろかったことあった？　オモシロカッタ　コー？　こと。　アッタ。（神－遠男5－1）	○ナマエ　ナイ　オミセト（小－神女4－1） ○おもしろかったことない？　オモシロカッタ　コト？　アルヨ。（神－三男4－0）
うちけしの形容詞 現在形	○オモシロイ　トコモ　アルケド　オモシロク　ナイ　トコモ　アル。（自－h男5－7） ○ネチャッタラネ　ホントニ　コワク　ナイ　ユメガ　デル。（赤－j女6－6）	○ブッツケテモ　イタク　ナイ　トコ　アルヨ。（小－川男4－10）	○アブナイ　ハナビトネ　アブナク　ナイ　ハナビ。（神－秋男3－11）
第二形容詞 みとめの形容詞 現在形	○「キレイナ　ハナデスネ」ッテネ　オオカミガ　ユッテネ（赤－s女5－8） ○ヘンナ　ウタ　ウタッタンダヨ，ヤマノ　オトコノ。（自－e男6－1） ○シズカナ　ナミバッカリナノ。（自－d女5－11）	○コレデ　オレハ　モリ　モリジュウデ　イチバン　リッパナ　トラジャワイ。（神－松女4－8） ○シンデレラハ　カワイソウナ　コデシタ。（赤－p女5－2） ○キライナ　サカナモ　スキナ　サカナモ　アルケレド。（小－久女4－7）	○オオキナ　イシ　カッテアル。（神－玉男4－0） ○ヘンナ　ジ。（赤－d男4－2） ○イジワルナ　コガネ　ボウシヲ　トッチャウ　コダッテイルノ。（神－三男4－0）

3.2　連体形の用法

動詞のばあいは，連体形でテンス，アスペクト的な性格をもっているものがかなりあるので，形態論的に分析したが，形容詞のばあいは，アスペクト的な性格はもちろん，テンス的な性格をもっているものもすくないので，形態論的な分析はせず，そのかわりに，名詞に対するむすびつきかたを連語論的にわけてみた。

属性づけというのは，性質形容詞が名詞のしめすものごとの属性をあらわしているものである。

態度づけというのは，名詞が感情形容詞のしめす感情や態度の対象をしめしているばあいである。

具体化というのは，名詞が類概念をしめしていて，形容詞がそれを具体化しているばあいである。

内容づけというのは，名詞が思考や感情または作品をあらわしていて，形容詞がその内容をあらわしているばあいである。

幼児は，このように形容詞の名詞に対する関係のいろいろな用法をつかっていたが，名詞が

「手のいたい人」「おかしのすきなパリむすめ」のような，感覚，感情，態度の主体をあらわす用法はみられなかった。

種類	年長児	年中児	年少児
属性づけ	○ソノ ヒト ワルイ ヒト ダト オモッテ。(赤－E女5－8) ○ソイデネ アタラシイ オカアサンガ ツレテ キタノ。(赤－B女5－8) ○ホソイ アナガ アイテル トッカラ(赤－k女5－8) ○ハヤカッタネ ウサギガネ ネチャッテ(自－j男5－7) ○ワタシガネ キレイナ オヨメサン ナッタ ユメ。(赤－L女5－9)	○オッキイ ネコモ イルカラ。(神－渡男4－6) ○フルイ オウチ カリテンダ。(自－s男4－10) ○アノ シロイ ハナ，アカイ ハナモ(神－桑女4－10) ○ヘンナ トラックネ。(小－樋男4－3) ○キレイナ オハナガ サイタノ。(小－大男4－6)	○イチバン チッチャイ ヤギノ ガラガラドンデス。(神－場男3－10) ○キタナイ アチデネ アルイテネ(神－古男4－5) ○アブナイ ハナビトネ アブナク ナイ ハナビ。(神－秋男3－11) ○イジワルナ コガネ(神－三男4－0) ○ヘンナ メガネ カケテ ピーッテ ナラシテサ。(神－宮男3－8)
	○オテンキノ イイ アサヒトリノ ボウヤガ「ミズヲ オハナニ カケマショウ」ト ユッテ(赤－s男6－6)	○センガ ナイノ。センガナイ デンシャ。(神－伊男4－1)	○ナマエ ナイ オミセト(小－神女4－1)
態度づけ	○スキナ モノモ アルケドネ ワスレチャッタ。(赤－J女5－8)	○キライナ サカナモ スキナ サカナモ アルケド。(小－久女4－7)	○センセエガネ ジブンデ スキナ ジ カイテ ボクガ アノネ オナジ ジ カクカラ。(赤－d男4－2) ○マリノ スキナネ ウントネ ナンカ イイ モノ カッテ クレルカラ。(神－渡女3－10)
具体化			○どんないろすき？ウントネ アカイ イロ。(自－g女3－5)
内容づけ		○タノシイネ ウーウー ウーホンヤラネ(赤－k女5－7) ○コワイ テレビ ミンノ。(小－押女5－1)	
	○イヤナ キモチ スル。(自－o男6－3) ○カワイソウナ オハナシハ キイタ コト アル。(赤－D男5－11)	○「キレイナ ユメ」ッテ イッタ。(神－師女4－11)	

問題のある用法として，つぎのようなものがあった。

「すごい」が副詞的につかわれるのは，かならずしもあやまりでないかもしれない。

形容詞に「の」をそえるあやまりは，2才児によくみられるあやまりであるが，これが年長児にあらわれた。あるいは，単なるいいそこないかもしれない。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
副詞的な用法	○スゴイ　タクサン　アッタ。(赤－t男6－0) ○スゴイ　ウチヨリ　スゴイ　オオキイ　イヌトカネ　ヒトツメコゾウノ　オバケダトカネ(赤－w男6－3)		
形くずれ＋ノ	○ナンカ　マアルイノ　トコタマヲ　ナゲテネ(赤－q男5－11)		○オオチナノ　ガラドンドヤギモ(神－佐女3－7)

3.3　形式名詞にかかるもの

形式名詞にかかる例として，つぎのようなものがあった。

なお，「こと」や「ところ」にかかる特別の用法については，見出しでしめしておく。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
第一形容詞こと			
現在形	○ムズカシイ　コトデモネ　ウントネ　スグニネ　ウントベンキョウスレバネ　オボエラレルカラ。(赤－J女5－8) ○イイ　コトヲ　オシエテクレンノ。(赤－g男5－10) ○アト　タノシイ　コトハネオコラナイ　コト。(白－1男5－7) ○モウ　ワルイ　コトハ　シマセンカラ。(赤－o男6－2) ○イイ　コト　シタ　トキ。(赤－C男5－6)	○デモ　イイッテ　イウ　コトハ　イイ　コト。(小－海男4－3) ○コワイ　コトヤ　ナンカガアル　オハナシ。(小－筧女4－7) ○大活躍ってどういうことやるの？　ウント　スゴイ　コト。(小－小林男4－3) ○アノー　ワルイ　コトヲシナイ　トキハ　ママニ　イツモ　ホメラレル。(小－嘉女4－8)	○オモシロイ　コトナンテゼンゼン　ナイヨ。(小－佐男4－3) ○かっこいいってどういうこと？　アノネ　ブットバスコト。　ツヨイ　コト　ナンダヨ。(赤－q男4－1) ○ムズカシイ　コト　シテアソブノ。(小－佐男4－3) ○ボクネ　ワルイ　コト　シタラ　カミツクヨ　テ。(赤－d男4－2)
(副詞的)	○ウントネ　ナガイ　コトオミズ　アゲナカッタ　カラネ。(赤－r女5－10)		
過去形	○イチバン　オモシロカッタ	○おもしろかったことあった	○おもしろかったことない？

	コトハ　カケッコトネ　アトハ　ツナヒキ。(赤－A女6－1) ○ナツヤスミデ　シュクダイノ　イチバーン　オモシロイカッタ　コトノ　トキノモアッタシネ(赤－s男6－6)	？　オモシロカッタ　コー？こと。アッタ。(神－遠男5－1)	オモシロカッタ　コト？　アルヨ。(神－三男4－0)
ほう 現在形	○デネ　フカイ　ホウハネアノ　アンマリネ　アノネスゴイ　ナミジャ　ナイノ。(自－d女5－11)	○ウントネ　アタラシイ　ホウ　オハナシ。(神－遠男5－1)	
ところ・とこ 現在形 場　所	○アブナイ　トコ　イカナイデネ(自－p女6－1) ○フカイ　トコニ　ハイッチャッタノ。(自－l男5－7) ○コンナ　トオイ　トコマデキテ(赤－o男6－2) ○キイロイネ　エート　トオル　トコロガ　アルカラ。(赤－g男5－10)	○ムコウノ　トオイ　トコロダカラ(自－s男4－10) ○ソイデ　アッタカイ　トコニ　イッテ(赤－f女4－10) ○シンゴウ　ナイ　トコロキヲ　ツケテ　ワタッテ(小－押女5－1)	○トオイ　トコ　イカナカッタ。(神－三男4－0) ○イチバン　フカイ　トコデネ　タカ　オヨイダノ。(神－狗女4－3) ○カメガネ　オ　モーットタカイ　トコニ　イテネ(神－秋男3－11) ○クライ　トコ。(小－原女3－7)
箇　所 (具体的)	○どんなもの見えた。トウキョウタワーノ　アカイ　トコロ。(自－h女5－7)	○どこみる，いちばんに？　オモシロイ　トコ。マンガガネ　シンブンニ　ツイテルトコ。(自－t男5－3)	○コウイウ　マルイ　トコガボヤーンテ　ハレ　ハナレテミサイルニ　ナルヨ。(小－佐男4－3)
箇　所 (抽象的)	○オモシロイ　トコモ　アルケドネ　オモシロク　ナイトコモ　アル。(自－h男5－7) ○ヤサシイ　トコガ　ダイスキ。(赤－x女5－7)	○ヤサシイ　トコ　オカアサン　スキデショ。(自－g女5－0)	○コワイ　トコガ　オモシロイノ。(神－高男4－4) ○カナシイ　トコ　アルヨ。(小－佐男4－3)
場　面	○〔ライオンは〕オナカガ　スイテテ　シマ　チョウド　イイ　トコロニ　シマウマガイタカラ。(赤－g男5－10) ○スコシ　オモシロク　ナイトコロガ　アルノ。(赤－o女6－1)		
とき 現在形	○ダッテ　アツイ　トキサソトカラ　カゼガ　クンダモン。(赤－K男5－11) ○ハヤイ　トキダケ　ヨンデクレルヨ。(赤－c男5－10) ○マンガガ　ナイ　トキニネ(赤－d男6－4)	○チッチャイ　トキネ　ビョウキニ　ナッタ　トキネ　キリストビョウインデ　カンゴフサン　イタノ。(小－野女4－9) ○イソガシイ　トキハネ　ダイブネ　ジーネ　カクケド。	○アツイ　トキネ　アセ　カク　トキネ　ボウシヲ　トッチャウ　コダッテ　アルンダヨ。(神－三男4－0) ○グアイ　ワルイ　トキ　ネツ　デル。(赤－g男3－5) ○ソイデネ　カイジュウ　ナ

	○アケミガネ　チッチャイ　トキノ　ホンモ　ヨンデ　クレタ。(自－q女6－1)	(小－窪女4－8) ○ママガ　チッチャイ　トキノ　オハナシ　シテ　クレル。(小－押女5－1) ○イソガシク　ナイ　トキハネ　ダイブ　ジ　カカナイ。(小－窪女4－8)	イ　トキネ　ウルトラマンガダンガネ　ツェブンナノ。(神－大男3－11) ○カナシク　ナイ　トキハワラウノ。(小－佐男4－3)
ま　ま 現在形	○オヤスミ　ヤンナイ　トコロハ　シロイ　マンマデネデ　ヤクソク　マモレタ　トコロハ　ヌル　コト。(赤－H女5－8)		
第二形容詞 こ　と 現在形	○オテンバナ　コト　バッカリガ　デテ　クルカラネ(赤－j女6－6) ○シマウマガネ　ヘンナ　コトヲ　ユッ　コト　ユッタカラネ(赤－N女5－7)	○ニュースはどんなことおしえてくれる？ウント　タイヘンナ　コト。(小－横男4－4)	
と　こ 現在形	○ソレカラネ　タイラナ　トコヲ　トオッテ　キテ(自－F女5－7) ○ヘンナ　トコヘ　ネテテ(赤－a男5－11)	○ウミッテ　キレイナ　トコロダッタ。(小－押女5－1) ○カワイソン　トコガ　イイ。(自－r女4－8)	
と　き 現在形	○アノネ　ゲンキナ　トキモアル。(自－d女5－11)	○アノネ　イチバン　スキナトキハネ　ント　パピーガスキナノ。(自－s男4－10)	○いつやったの，はなび？エトネー　マクラノ　トキ，マックラナ　トキ。(自－h男3－5)

第4章　名詞形

幼児の使用した語形は，つぎのとおりである。

種類 ＼ テンス ＼ 幼児の使用例 ＼ みとめかた		みとめ		うちけし	
			年年年長中少		年年年長中少
第一形容詞	現在形	たかいの	○○○	たかくないの	
	過去形	たかかったの	○	たかくなかったの	
第二形容詞	現在形	しずかなの	○○○	しずかでないの	
	過去形	しずかだったの		しずかでなかったの	

うちけしはなかった。また，ほとんどが現在形であった。

現在形はものをあらわすのに，過去形はことをあらわすのにつかわれていた。

なお，問題例としては，「の」がおちるものが年中児に2例あった。

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞			
みとめの形容詞			
現在形	○ウント キイロイノヤネ ソレカラ アカイノヤラ チャイ チャイロッポイノヤネ イロンナ イロノ ハッパガアリマシタ。(赤－c男5－10) ○ヤッパリ アタラシイノガ ハイッテ キタノ。(赤－r女5－10) ○オウチデハ アマリ オモシロイノガ ナイカラネ (赤－s男6－6)	○チッチャイノト オオキイノガ マワルノ。(赤－h女5－4) ○カエル オッキイノ イタデショウ。(自－p男4－7) ○ゴホンモ コワイノ ミルシ。(小－押女5－1) ○ココカラ ムネニ マルイノナンカ ツイテンノネ。(神－遠男5－1)	○アマイノハネ キライ。(自－i男3－5) ○アカイノ デタラ トマルノ。(自－d男3－10) ○オモシロイノ ナイノ。(赤－a女3－10) ○イチバン トオイノ ゴジップングライ カカンノ。(赤－e男4－1)
過去形	○イットウ タノシカッタノハネ アノー オユウギ。(赤－k女6－2) ○ソノ ツギニ オモシロカッタノハ カケッコ。(赤－D男5－11)		
第二形容詞			
みとめの形容詞			
現在形	○イチバン スキナノ パピーダヨ。(赤－c男5－10)	○イチバン スキナノハ マンガ。(赤－q女5－2)	○ドンナ スキナンデモ デルノ。(赤－m男4－1)

〔問題例〕
「の」のないもの
第一形容詞

第二形容詞

○オトコノコデネ　コウ　スンモックヤ　ナンデモ　シロイ　キテルノ。（神一鎌女4－5）
○キレイ　キレイガ　イルナ。（小一中男4－6）

第5章　中止形

5.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した中止形グループの語形は，つぎのとおりである。

種類	機能 ＼ みとめかた ＼ 幼児の使用例	みとめ	年年年長中少	うちけし	年年年長中少
第一形容詞	第一中止形	たかく	○　○	たかくなく	
	第二中止形	たかくて	○○○	たかくなくて	
		たかくって	○○○	たかくなくって	
		たかかって	○	たかくなかって	
	例示形	たかかったり		たかくなかったり	
第二形容詞	第一中止形	しずかに		しずかでなく	
	第二中止形	しずかで	○○	しずかでなくて	
	例示形	しずかだったり		しずかだったり	

うちけしはなかった。また，例示形もなかった。

なお，副詞化した「たかく」や「しずかに」は，ここにいれてない。

種類	年長児	年中児	年少児
第一形容詞			
第一中止形			
第二中止形 たかくて	○ツレテ　イッテ　クレナクテネ　ソイデ　ハツエ　ヒトリデ　イカレナイノガ　オシク，「オカアチャン　ヒトリデ　イケー」ナンカ　イウ。（自－w女6－5）		○イツモネ　ネ　ネルノガ　オソク　アノネ　ネルノガ　イツモ　ヨルネ　オソクッテネ　アノ　アサン　ナッテモマダ　オキナイ。（神－三男4－0）
たかくって	○アタマガ　マルクテ　ケガナイノ。（自－t男5－3） ○シマウマガ　コワクテ　ニゲチャッタノ。（自－n男5－5）	○ネズミネ　カケルノガ　ハヤクテネ　オイツカナイノ。（神－村男4－3） ○カメノ　ホウガ　イチバン　ハヤクテ　ウサギハ　タオレチャッタノ。（神－規男4－6）	○オウチ　カエルノモ　ウレシクテネ　ホッタラ　チョキン　パチン　オシ　オハナシ　オシマイニ　ナッタノ。（神－狗女4－3）
たかくって	○オメメガ　ワルクッテ　オシゴト　マダ　デキナイノ。（自－y男6－0） ○ライオンハ　コワクッテ	○ムズカシクッテ　ヨメナイ。（小－野女4－9） ○ヤマガ　ナクッテネ　オハナ　サイテルケドネ　（神－	○ウルトラマンハネ　ナンニモ　ナクッテ　トベンノ。（神－古男4－5） ○ネンノガ　オソクッテネ

	ニゲチャッタノ。(赤－z男6－5)	松女4－8)	アノ アサン ナッテモ マダ オキナイノ。(神－三男4－0)
たかかって	○アノネ コドモノ ケン ナカッテネ イカレナカッタノ。(自－C男5－11) ○ウサギノ ホウガ サイショ ハヤカッテ サイショソノ ツギ カメガ ダンダン ハヤク ナッテ キテ(赤－r男6－3) ○オカアサン イナクテ サビシカッテ，ソイデネ アタラシイ オカアサンガネ ツレテ キタノ。(赤－B女5－8)		
第二形容詞			
第二中止形	○オソバ キライデ ウドンスキナノ。(自－w女6－5) ○ライヨンガ イテネ ネーソイデ ハラペコデネ コンド アルイテタラ，(赤－d男6－4)	○マンガトカ ソウイウノガ ダイスキデネ (赤－p女5－2) ○カメハ ユックリデ ボツーンッテ テンヲ ツケタラドウ ツルノカナート オモッタノ。(小－足男5－0)	

5.2 中止形の用法

形容詞の中止形は，動詞とちがって，継起的な用法が基本でなく，並立的なものが基本となる。また，修飾的なものは，副詞へ移行している。したがって，形容詞の中止形の用法は，原因，並立，前提などとなる。

幼児は，これらの用法をよくつかっていた。

種類	年長児	年中児	年少児
原因	○ナミガ スゴクテ ナガレチャウカラ。(自－d女5－11) ○イソガシクテ ツレテ イッテ クレナクテ。(自－w女6－5) ○コワクッテ イヤン ナッチャウンダモン。(自－o女6－1)	○ネズミガ カケルノガ ハヤクテネ オイツカナイノ。(神－村男4－3) ○オモシロクテネ モットアソビタク ナルンダケド(神－大女4－6) ○ムズカシクッテ ヨメナイ。(小－野女4－9)	○ヨルネ ネンノガ オソクッテネ アノ アサン ナッテモ オキラレナイノ。(神－三男4－0)

	○シゲルッテ　イウ　コガ　ランボウデネ　ソイデネー　センセイニ　イツモ　オコラレテンノ。（赤－Ｉ女５－８）	
継　起	○ウサギガ　アルイテネ　タベモノガ　ナクテネ　ドンドン　イッタラ，（自－ｃ男６－３）	
並　立	○ソラカラ　ミルト　マアルクテ　オリルト　ウントネコウ　タイラナノ。（自－Ｉ男５－７） ○カメサンガ　ハヤクッテネ　ウサギガ　オソイノ。（自－ｎ男６－５） ○オソバ　キライデ　オウドン　スキナノ。（自－ｗ女６－５）	○アカクテネ　マエガ　マルイノ。（小－村男４－９） ○ヤマガ　ナクッテ　ハナガサイテルケド。（神－松女４－８）
前　提	○コンナ　ナガクテネ　フネミタイノガ　アンノ。（自－ｐ男４－７） ○ハンドルガ　ナクテサ「リュウセイゴウ　オウトウセヨ」ッテ　イウト　ハシンノ。（自－ｃ男６－３）	

第6章　条件形とゆずり形

幼児の使用した第一形容詞の条件形とゆずり形は，つぎのとおりである。

第二形容詞の条件形とゆずり形は，今回の幼児資料にはなかった。

機能－ムード ＼ みとめかた ＼ 幼児の使用例	み　と　め		う　ち　け　し	
		年年年 長中少		年年年 長中少
条件形	たかいなら		たかくないなら	
	たかかったなら		たかくなかったなら	
	たかかったら	○　○	たかくなかったら	○
	たかいと	○○	たかくないと	
	たかければ		たかくなければ	
	たかくては	○	たかくなくては	
ゆずり形	たかくても	○	たかくなくても	
	たかくっても	○　○	たかくなくっても	
	たかくたって	○	たかくなくたって	
	たかかろうと		たかくなかろうと	

動詞とくらべて使用例がすくなかったので，用法による分類はしなかった。

うちけしがほとんどなかった。

ゆずり形のばあいには，帰結の形式がととのわないことが多少あるようだ。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
条件形			
たかかったら	○コレハ　ヨカッタラ　イッパイ　アゲテネ，ヨク　ナカッタラ　チット　スクナクスルノ。（自－1男5－7）		○イタカッタラネ　エートネ　ママ　ヤッテ　クダサイッテ　イッタノ。（赤－t女4－4）
たかいと		○ダッテ　ホンガ　ナイト　ワカンナインダモン。（赤－s男5－6）	○オミズガ　ナイト　デキナイノ。（小－神女4－1）
たかくては			○アレハネ　ウント　フタガナクッチャネ　ウントネ　アレハ　ハシンナイノ。（神－場男3－10） ○ゴホンガ　ナクチャ　デキナイ。（小－原女3－7）

ゆずり形			
たかくても	○ムズカシイ　ジ　ナクテモネ　チイサクネ　ウーント　「オ」トカサ　ウーント　アタシタチガ　ヨメル　ジガ　カイテ　アルノ。（赤－Ｉ女５－８）		
たかくっても	○ソシタラ　カメガネ　ノロクッテモ　ウエマデ　アガッチャッタノ。（赤－ｒ女５－10）		○アセモガ　デキテネ　カイクッテモネ　テープヲ　ハッテ　クレタノ。（神－佐女３－７） ○ジ　ナクッテモ　ヨメナイ。〔注）絵だけの本でもよむのはいや。〕（小－岸男３－11）
たかくたって		○サイショ　ハヤクッタッテ　アレ　ヤスンジャッタ　カラ（赤－ｄ男５－４）	

第７章　文法的な派生形容詞

派生形容詞としては，第一形容詞に「たかそうだ」の例があった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
たかそうだ	○オイシソウダッテ　オモッテ　オウチヘ　モッテッテ（赤－Ｅ女５－８） ○チョット　コワソウナンダケド（自－ｇ女５－11） ○クロウサギガネ　カナシソウナ　カオヲ　シタノ。（自－ｔ女６－４）	○カナシソウナ　カオ　シテイルノ。（自－ｑ男５－４）	

第8章　くみたて動詞

幼児の使用したくみたて動詞は，つぎのとおりである。

	年年年 長中少
たかくなる	○○○
しずかになる	○○○
たかいことになる	○
しずかなふうになる	○
たかくする	○○○
しずかにする	○
たかいときがある	○○○
しずかなときがある	○
たかかったときがあった。	○

「たかくなる」「しずかになる」「たかくする」「しずかにする」は，たくさんあったが，その他のくみたて動詞は，動詞のばあいにくらべてすくなかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
たかくなる	○オソトデ　アソンデ　キタラ　クロク　ナッタケド　マタ　シロク　ナッチャッタ。（赤－L女5－9） ○モウ　ダイブ　ヨク　ナッタノ。（自－s男5－9）	○コンナニ　オオキク　ナッテ　アカーク　ナッテ　オイシク　ナッタラ　タベル。（神－桑女4－10） ○ソイデ　オテンキガ　ヨクナッテ　キタ。（小－山中女5－0）	○ライオン　タクサン　イルカラ　コワク　ナッチャッタンダカラ。（自－b女3－10） ○モット　モット　キチュクナッチャウ。（自－b女3－10） ○イマネ　ダンダンネ　オオキク　ナッテ　クンノ。（自－a男4－0）
しずかになる	○ハリーハネ　マックロケニナッテネ　（自－t男6－2） ○ダンプカーネー　コンナフウニ　ヘンナン　ナッチャッタ。（自－h男5－7）	○ズーット　ミナカッタカラボロボロニ　ナッチャッタ。（小－岡女4－8） ○ソシタラ　オハナナンカガマッスグニ　ナッタ。（小－篠男5－1）	○オハナ　キレイニ　ナッタノ。（自－d男3－10） ○ゲンキニ　ナッタノ。（赤－n男4－1）
たかいことになる	○オモシロイ　コトニ　ナル。（自－a男5－11）		
へんなふうになる	○オハナガ　カレテ　ヘンナフウニ　ナッチャッタカラ（赤－x女5－7）		

たかくする	○イシトリアソビデハネ　オイスヲ　マアルク　シテネ（赤－F男5－9）	○カミヲネ　ガチャガチャガチャーッテ　コマカク　シンノ。（小－端男4－2）	○モウネ　マールク　シテネ（神－古男4－5）
しずかにする	○ダイドコロヲ　キレイニシナサイ。（赤－p女6－2）		
たかいときがある	○ゲンキナ　トキモ　アル。（自－d女5－11）	○ジコ　アッタリネ　ジコナイ　トキモ　アル。（神－宮男5－0）	○オカシイ　トキダッテ　アンノ。（神－三男4－0）
	○オモシロイ　トキモ　アッタヨ。（赤－f女5－9）		
たかかったときがあった	○オモシロカッタ　トキモアッタ。（赤－s男6－6）		

第9章　コピュラとくみあわさるもの

形容詞派生のコピュラや推量コピュラをつかった例は，つぎのとおりである。

	年長	年中	年少
たかくちゃだめ			○
しずかじゃだめ			
たかいらしい		○	
しずからしい			
たかいみたい		○	○
しずかみたい		○	
たかいかもしれない		○	
しずかかもしれない			○

この種の使用例も動詞とくらべて，ひじょうに貧弱である。なお，「らしい」の例は，問題例である。

種類	年長児	年中児	年少児
たかくちゃだめ			○ゴホンガ　ナクチャ　ダメダ。(神－原女3－7) ○ダケド　ゴホン　ナクッチャ　ダメ。(神－場男3－10)
らしい	○ナカカラ　カワイイネ　マンマルイ　ラシイネ　コドモガ　デテ　キチャウ。(赤－E女5－8)		
みたい	○ウミ？　トオイ　ミタイナ，チカイ　ミタイナ。(赤－L女5－9) ○ナンニモ　シナイ　ホウガスキ　ミタイダ。(赤－m男5－10) ○ガッシュクノ　トキハネテレビジャ　ナクテ　ナンカネ　ト　カミシバイト　オンナジ　ミタイケドネ　ウーント　アレ　ヤッテンノ。(自－A女6－5)	○アト　ナンニモ　ナイミタイ。(小－筧女4－7) ○オトウサンガサ　ホカノトコ　マワシチャウカラ　ナンデモ　イイ　ミタイダナ。(神－大女4－6)	
しれない	○アオイ　ハッパ　タベタカ	○ソレカラ　コウエン　イ	

ラネ　チカラガ　ナイカモシレナイカラ　アゲテネ　ソシテ　シカモネ　ルスバンダッタンダヨ。（白－c男6－3）	ッテ　アソブ。ダメカモシレナイ。（小－端男4－2）

第10章　とりたてのかたち

「しずかじゃない」「しずかではない」は，もともととりたてのかたちであった。これを現在でもとりたて形式だとみとめると，幼児もかなりのていどに，とりたて形式をつかっていることになる。しかし，いまでは，これは中立の形式になってしまっている。これをのぞくと，今回の幼児資料には，ただひとつのとりたての例があっただけである。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
も		○スキー。アンマリ　スキデモ　ナイ。（神一村男4—3）	

第11章　幼児と形容詞の形態

以上みてきたことをとおして，幼児の形容詞の形態の習得・使用状況について，つぎのことがいえるだろう。

1)　日本語の形容詞は，おおくの言語にみられる曲用する形容詞と共通の性質指示的な性格のうえに，コピュラ機能をくわえて，述語として存分にはたらくという性格があり，その反映として，活用の体系をもっている。

幼児の形容詞の使用状況をながめると，その形容詞特有の性質指示的な側面についての習得はかなりすすんでいるが，述語としての用法はそのもっとも基本的なものしか習得していないということができるであろう。このことは，つぎのような事実から判断できる。

i)　断定形と連体形は，いろいろな形にわたって使用例がみられるが，その他の機能については，かたちがあまりそろわない。とくに，派生形式，くみたて形式，当為・推量コピュラをつかう形式などでは，動詞のばあいとくらべていちじるしく貧弱である。

ii)　断定形と連体形をのぞいて，うちけしがほとんどつかわれていない。このことも，動詞のばあいとことなる。

2)　第一形容詞と第二形容詞をくらべると，1)でのべた傾向は，第二形容詞のほうに，いっそうつよくあらわれる。第一形容詞は，第二形容詞にくらべて基本語のなかでしめるウェイトがずっとおおきいので，このことは当然なのだが，文法形式の面でも，第二形容詞のほうが幼児の使用のバラィエティがちいさいことは，特記されてよいだろう。

3)　仮定形式が不十分であること，推量形がすくないこと，ていねい形式があまりないことなどは，動詞のばあいとおなじ傾向といえるだろう。

第Ⅳ部　幼児の所有する述語名詞の形態

第１章　述語名詞の体系

1.1　名詞が述語になるとき

名詞は，述語になるとき，ふつう，「だ」「です」などをつける。この「だ」「です」などは，たぶんコピュラであって，接辞以上の独立性をもっているものであるとおもわれる。しかし，名詞とのむすびつきもかなりつよい。

ここでは，「だ」や「です」などがコピュラであるか接辞であるかという問題にはふかいりせず，名詞に「だ」や「です」などのついたものを，それのつかない述語名詞といっしょにして，「名詞が述語になるときの形式」としてとらえ，それを述語名詞とよぶことにする。

1.2　基本的な活用表

述語名詞は，つぎのような，基本的な活用のパラダイムをもつ。

機能	ムード	テンス	（その他）	ていねいさ / みとめかた / 効果の使用例	ふつう みとめ	年年年 長中少	ふつう うちけし	年年年 長中少	ていねい みとめ	年年年 長中少	ていねい うちけし	年年年 長中少
いいおわり形	断定形	現在形		山		○○○						
				山だ		○○○	山じゃない	○○○	山です	○○○	山ではありません	○
		過去形		山だった		○○○	山じゃなかった	○○	山でした	○○	山ではありませんでした	
	推量形	現在形		山だろう		○○	山じゃないだろう		山でしょう	○○○	山じゃないでしょう	
		過去形		山だっただろう			山じゃなかっただろう		山だったでしょう		山じゃなかったでしょう	
連体形		現在形		山の								
				山である			山じゃない	○○				
		過去形		山だった		○ ○	山じゃなかった					
名詞形		現在形		山なの								
				山であるの			山じゃないの					
		過去形		山だったの			山じゃなかったの					
中止形			中止形	山で		○○○	山じゃなく	○				
							山じゃなくて	○○○				
							山でなくって	○○○				
			例示形	山だったり		○	山でなかったり					
条件形				山なら		○○	山でないなら					
				山だったなら			山でなかったなら					
				山だったら		○○○	山でなかったら					
				山だと		○	山でないと	○ ○				
				山であれば		○	山でなければ	○○○				
				山であっては			山でなくては	○				
ゆずり形				山でも		○	山でなくても					
				山だって		○○	山でなくたって					
				山であろうと			山でなかろうと					

なお，ここで，連体形に「山の」というかたちがあがっているが，これは，「おとうさんが会社員のこども」「プロペラが四つの飛行機」のように，その名詞がクローズの述語になっているばあいの形式であって，今回の幼児資料にはなかった。

1.3 当為，推量・比況のコピュラとくみあわさるもの

述語名詞は，当為，推量・比況などのコピュラとくみあわさって，つぎのように，いろいろの形式をつくる。

	年年年 長中少
山でいい	○
山でもいい	○○○
山だっていい	○
山ではいけない	○

	年年年 長中少
山のよう	○
山みたい	○○○
山かもわからない	○

第2章　いいおわり形

2.1　幼児の使用した語形

幼児の使用した述語名詞のいいおわり形は，つぎのとおりである。

機能	ムード	テンス	（その他）	幼児の使用例	みとめかた	ていねいさ	ふつう				ていねい			
					みとめ		うちけし		みとめ		うちけし			
						年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少		年年年長中少
いいおわり形	断定形	現在形			山	○○○						
					山だ	○○○	山じゃない	○○○	山です	○○○	山ではありません	○
		過去形			山だった	○○○	山じゃなかった	○○	山でした	○○	山ではありませんでした	
	推量形	現在形			山だろう	◎◎	山じゃないだろう		山でしょう	○○○	山じゃないでしょう	
		過去形			山だっただろう		山じゃなかっただろう		山だったでしょう		山じゃなかったでしょう	

この表からわかるように，ふつう体の断定形は，みんなつかわれている。

ふつう体の推量形は推量であるが，ていねい体のばあいは，ねんおしである。以上の点は，動詞や形容詞のばあいとおなじである。

ていねい体の推量形をのぞいたもののうち，みとめの断定現在形は，最初に名まえや年齢をたずねられたときのこたえがおおかった。過去形やうちけしは，おはなしの引用であった。

種類	年長児	年中児	年少児
みとめの述語名詞 断定 現在形 山	○コレガ　イチバン。コレガ　ニバン。（赤－D男5－11） ○コンドノ　カイジュウガネ　ゴリラ。（白－s男5－9） ○キノウノ　マキハ　ウシノ　マキ。（白－e男6－1） ○もうひとりのおにいちゃんは？　チュウガク　サンネンセイ。（赤－o女6－1） ○おうちだれとだれいますか？　イモウトト　オトウサント　オカアサン。（赤－A女6－1） ○どんなゆめみた？　アノネ　オニイチャンガ　ウソ　ツイタ　ユメ。（赤－o女6－1）	○ユウイチッテ　イウノハ　オオキイ　ヒト。（神－柳男4－5） ○イマ　ミテル　ゴホンネ　シラユキヒメ。（小－岡女4－8） ○コレモ　タンス。（神－桑女4－10） ○これだれ？　オジサン。（神－島男4－4） ○ごはんだれがつくるの？　オトウサン。（神－増女4－11） ○どんなのみてる？　マンガ。（神－伊男4－1） ○地震にはどこであったの？　オモテ。（神－加女5－0）	○コレハ　ミギテ。アッ　コレ　ヒダリテ。（小－福男4－2） ○ソコノネ　ソノ　トナリガ　ボクンチ。（神－三男4－0） ○コレネ　シマウマ。どうしたの？　コレモ　コレモ　ダイヨン。（赤－v女4－0） ○としいくつ？　ミッチュ。（白－g女3－5） ○だれがでるの？　ウントネ　コワイ　ヒト。（神－勝男3－7） ○ごはんって　なにたべた？　オコサマランチ。（小－北男4－4） ○どこいった？　ウント　アスカヤマ。（神－寺男4－4）

	○おおきくなったら，なんになりたい？　ウントネ　バスノ　ウンテンシュ。(赤－C男5－6)		
山　だ	○マタ　キョウモ　オテンキダ。(赤－y男5－7) ○ナンダ　コレ？(赤－M男5－8) ○ウサギダ。ウサギガ　グッスリ　ネテル　トコロ。(赤－p男5－11) ○「ドロボウダー」ト　キュウチャンガ「イッテ　クル」ッテ　ユッテネ(赤－o男6－2)	○アレ　トラックダ。(小－樋男4－3) ○超特急ってどんなの？　アノネ　ウント　ハヤイノ。ハヤイ　レッシャダ。(自－n男5－5) ○「ボクノ　オトモダチダ」ッテ　ユッテンノカナ。(神－永男4－1) ○スグ　ニセモノダト　ワカッテ　シマイマシタ。(神－桑女4－10)	○これは？　コレ？　ナニトナニ？　シマウマト　ライオンダ。(赤－r男3－8) ○まだこどもでしょう。チガウ。アカチャンノ　トキダ。(神－高男4－4) ○マダ　ヨンサイケドネ　モウ　スグ　ア　モウ　ゴサイダ。(赤－t女4－4) ○「デ　ゼンタイ　ナニモノダー。」「オッキイ　ヤギノ　ガラガラドンダー」(神－寺男4－4)
断定過去形	○アノネ　ヒョウト　タタカッタノ。ソレ　ニンゲンダッタ。(赤－u男6－5) ○ウミニ　ハイッタノ　イイキモチダッタ。(赤－f男6－3) ○カケッコハ　なん等賞だった？　ヨントウダッタ。(赤－m男5－10)	○ウミッテ　キレイナ　トコロダッタ？(小－押女5－1) ○ハシリッコデ　イットウダッタ。(赤－c男5－3) ○〔録音をきいて〕ント　オモシロカッタ。オンナジ　コエダッタ。(神－織男4－4)	○山ってどんなところだった？　イイ　コトダッタ。(小－原女3－7)
推量現在形 (推量)	○コレ　ナンダロウ？(自－u女6－5) ○ソイデネ　コレ　ナンダロウ，キンギョダロウト　オモッテネ(自－o女6－1)	○エートネ　コレ。コレ　ナンダロウ？(小－久女4－7)	
(念おし)		○ウーン　ソウカ。コレネー，コレダロウ。〔絵を確認して，このあと説明をはじめる。〕(赤－d男5－4)	
うちけしの述語名詞			
断定現在形	○〔おとうさんのしごとについて〕アッ　カイシャジャナイ。うん？　ユウビンキョク。(自－l男5－7)	○カオルチャントハ　ナカヨシジャ　ナイ。(小－野女4－9) ○アッ　オカアサンジャ　ナイ。オニイチャンダ。(神－桑女4－10) ○アッ　チカクジャ　ナイ。(自－b男5－1)	○小学校一年生？　イチネンセイジャ　ナイ。(赤－d男4－2) ○人間なの？　チガウ。ニンゲンジャ　ナイ。(赤－r男3－8)
断定過去形	○ソノ　オクサマハ　マジョノ　ウント　アカチャンジャナカッタノ。(自－b男6－0)	○おやすみだったでしょう，きのうは？　ソウダヨ。エ？　オヤ　オヤスミジャ　ナカッタヨ。(小－海男4－3)	

みとめの述語名詞			
断定現在形	○いくつ？　イツツデス。（赤－J女5－8） ○「オマエノ　ダイジナ　モノハ　ナンダ」　チュッテ「コノ　コブデス」ッテ　ユッタラ（赤－w男6－3） ○アシタハ　ハレデス。（赤－o男6－2）	○じゃ，なまえいってみて。ボク　Y－Tデス。（赤－d男5－4） ○おとしは？　ゴサイデス。（小－弘女5－1）	○「ボクデス。チイチャイヤギノ　ガラガラドンデス。」（神－佐女3－7）
断定過去形		○シンデレラハ　カワイソウナ　コデシタ。（赤－p女5－2）	○イマ　ヤッテ　キタノ　イチバン　オオキイ　ヤギデシタ。（神－坂女4－0）
推量現在形（念おし）	○コノ　ツギ　ニチヨウビデショウ。ダカラサー（赤－o女6－1） ○ウルトラマンデショ。ユウセイカメンデショ。ロビンデショ。ソレカラ　バットマンデショ。（自－b男6－0）	○カメノ　ノロッペデショ。ウシャギガ　ハヤイノ。（自－k男4－8） ○ライネン　ナッタラネ　オウサマグミデショ。ダカラ（自－g女5－0） ○ソノ　ツギ　コッチデショ。（小－久女4－7）	○ボクガ　オニイチャンデショウ。アトネ　ソイカラ　アカチャンモ　インノ。（小－加男4－1） ○ホイクエン　アシタ　オヤスミデショ。ソ　ソシタラネ，（神－佐女3－7） ○オバアシャンハネ　オシェンタクデショ。（自－I女3－3）
うちけしの述語名詞			
断定現在形			○サッキノ　ヤギノ　コエジャ　アリマセン。（神－古男4－5）

2.2　終助詞のついたもの

述語名詞にも終助詞がつく，終助詞のつく例は，つぎの表のとおりであった。

「山な」は「の」「のに」「ので」などへつづくときの特別のかたちである。

「山じゃないか」の「じゃないか」は終助詞化した形式のものであった。つまり，といかえしであった。しかし，ここにあらわれた「山じゃないの」は，すべて,うちけしの現在形に終助詞「の」のついたものであった。

動詞のばあいとくらべるとすくないが，形容詞のばあいとくらべると，終助詞のつく例もおおいし，バライェティにもとんでいる。

		よね	さ	わよ	ね	ぞや	っけな	かよ	かね	とさ	の	のよね	のね	のかしら	んだ	んだよね	んだもんだね	んだったっけ	んだってさ	んですよ	でしょう	んでしょう	じゃない
山	年長	○						○	○														
	年中	○	○		○			○	○														
	年少								○														
山だ	年長	○			○	○ ○	○○																
	年中	○○		○	○○	○○ ○	○○	○		○													
	年少	○				○○ ○	○○	○															
山な	年長										○	○	○		○	○○	○		○				
	年中										○				○	○	○			○			
	年少										○					○	○		○				
山だった	年長	○					○	○	○		○		○			○○	○		○				
	年中						○○		○		○								○	○			
	年少				○	○	○				○												
山だろう	年長																						
	年中				○																		
	年少																						
山じゃない	年長	○				○		○			○					○							
	年中	○				○					○												
	年少							○ ○			○						○						
山じゃなかった	年長										○												
	年中	○																					
	年少																						
山です	年長	○			○			○															
	年中	○						○															
	年少	○						○															
	年長																						
	年中																						
	年少																						
	年長																						
	年中																						
	年少																						

種類	年長児	年中児	年少児
よ			
現在形	○オハナハンッテ　オハナハンヨ。(自－A女6－5) ○「アリスノ　セイヨ」ッタンダッテネ(赤－I女5－8)	○ソシテ　コンド　ツギノページヨ。(赤－p女5－2) ○「チビクロシャンボノ　イモウトヨ」ッテ　ユッタノオカアシャンガ。(神－山男4－9)	
	○イチバン　スキナノ　パピーダヨ。(赤－c男5－10) ○「キミガ　オバケダヨ。キミガ　オ　ドロボウダヨ。」(赤－o男6－2)	○コレ　オトウバンノ　シルシダヨ。(自－r女4－8) ○ソイデ　「コッチダヨ」ッテイッテ。(小－覚女4－7)	○コレハ　ライオンデショ。ライオンダヨ。(小－福男4－2) ○コレデ　オワリダヨ。(小－加男4－1)
	○だれといったの？　ケンチャン。カシマケンチャンジャナイヨ。(自－c男6－3)	○ワルモノジャ　ナイヨ。イイモン。(自－t男5－3) ○コドモノ　エージャ　ナイヨ。(小－成男4－3)	
	○「キノ　セイデスヨ」ッテユッタノ。(赤－y男5－7)	○コンドハ　アナタノ　バンデスヨ。(赤－p女5－2) ○ゴハンデスヨ。(神－柳男4－5)	○ナーチャンガネ　「クミコモウ　ゴサイデスヨ」ッテ。(赤－t女4－4) ○「ボクデスヨ。チッチャイヤギノ　ガラガラドンダ。」(神－渡女3－10)
過去形	○ベッドデ　ネタラ　アタシネ　イチバン　ウエダッタヨ。(自－A女6－5)		
		○〔きのうは〕オヤスミジャナカッタヨ。ダッテサー(小－海男4－3)	
よ　ね			
現在形		○アレ　タシカ　モモチャンダヨネ。(小－久女4－7)	
さ			
現在形		○コッチハ　オテンキシャマダ。(小－上男4－7)	
わ　い			
現在形		○「コレデ　オレハ　モリモリジュウデ　イチバンリッパナ　トラジャワイ。」(神－松女4－8)	
ね			
現在形		○アタシ　チョット　カゼギミネ。〔注〕形容詞かも。〕(赤－q女5－2) ○ニバン　ココダネ。そう。サンバン　ココダネ。そう。	

	○「キレイナ　ハナデスネ」ッテ　オオカミガ　ユッテ（赤－s女5－8）	（小－岡女4－8） ○セマイ　オウチダネ。（小－有男4－7）	
過去形			○オッキイ　ヤギノ　ガラガラドンダッタネ。（神－秋男3－11）〔注〕確認的用法〕
な			
現在形	○ニホンノデハ　トヨペットクラウンダナ。（赤－D男5－11） ○イチバン　サイショニネイチヲ　ツケテ　ヒョッコリヒョウタンジマダナ。（赤－s男6－6）	○コッチハ　ミギテダナ。左の方だね。コン？　コッチカ。（小－藤男4－9） ○イチバン　ナカヨシ　ナカオカ　ノブチャンダナ。（小－有男4－7） ○コレ　ナンダロウナ。（小－市男4－5）	
い			
現在形		○エートネー　ビー　ビーガタノ　バッチダイ。（小－森俊男4－6）	○「ダレダイ。オレノ　ハシヲ　ガタガタスルノハ。」（神－佐女3－7）
ぞ			
現在形	○「モウ　オッキインダカラエバリンボウダゾ。」（自－o女6－1）	○なにがでるんでおもしろくてみてるの？　カイブツダゾ。（小－上男4－7）	○「ライヨンダジョウ」ッテイッタノ。（小－加男4－1）
や			
現在形	○アノー　ネ　ドウダッケナー　ア，デンシャドオリジャナイヤ。（自－p女6－1）		
もん			
現在形	○ウチノ　オカアサンネ　ヨウチエンノ　センセイダモン。（赤－e男5－10） ○ダッテ　ソコノ　ウチダモーン。（赤－F男5－9）	○オンナト　チガウノ　パパダモン。（自－p男4－7） ○ダッテサー　ミチダモン。（神－井男5－0） ○ウサギ　カイジュウジャナイモン。（小－海男4－3）	○オバアチャンナンテ　トシヨリダモン。（小－神女4－1） ○ダッテ　コッチ　クルマダモン。（自－d男3－10）
過去形			○ライネン　（　）チャンヒバリダッタモン。（赤－u女3－7）
っけ			
現在形	○どんなまんがみてる？　オオカミダッケ。ん？　オオカミショウネン　ケンナンカ。（赤－w女6－2） ○エート　アトハ　アト　ナンダッケ。（自－A女6－5）	○アレガ　モモチャンダッケ。アレ　タシカ　モモチャンダヨネ。（小－久女4－7） ○ソレデ　ナンダッケ，ナンダッケ。（小－海男4－3）	○タニガワニ　ハシガ　アッテ　ココヲ　ワタラ　ワタルナンダッケ　ワタラナケレバワタ　ナンダッケ…　いいよ。みんなとばしちゃいな。（神－高男4－4）
過去形	○ターザンハ　クジ　ウンクジ　ナンプンゴロダッタッケ。（赤－u男6－5）	○アノネ　ドレダッタッケ？（神－敷男4－3） ○ショウナンデンシャト　ヨ	○アレ　アレ　ナンダッタケ，プールモ。（神－高男4－4） ○エト　ナンダッタッケ　パ

	○ソウシテネ……ト　アトネ　ナンダッタッケ。(赤－G男6－1)	コスカセント　ソレカラ　ナンダッタッケ　ナンダッタッケ　ナンダッタッケ，ワスレチャッタ。(神－井男5－0)	ンダルシェージンジャ　ナイ。(神－高男4－4)
っけな 現在形			○チッコイ　ヘヤッケナー。(神－寺男4－4)
	○ウント　チカラ　ナンダッケ　ナニカイジュウダッケナ(自－n男6－5)	○エート　ナンノ　オハナシダッケナー。(小－市男4－5)	○ソレカラ　ナンダッケナエート。(赤－t女4－4)
	○アト　ナンダッケナー。カメンノ　カイジュウ。(自－y男6－0)	○エート　ナンダッケナアレハ。(小－安男4－2)	
過去形		○エート　ナンダッタケナ。エート　シャラカナ。(小－横男4－4)	
か 現在形	○これはなんでしょう？　ネズミト　クマカ。(自－a男5－11)	○コレハ　ナニカナ？くま。クーマカ。(小－成男4－3)	
		○ントネ　ナンダカ　ワカンナイ。(小－志男4－2)	○コレ　ワカンナイナー，ナンダカ(小－福男4－2)
	○コレハ　チガウ。マジョノアカチャンジャナイカ。(自－b男6－0)		○ウントネ　コレジャナイカ。(神－鈴男3－6)
	○「オコシニ　ツケテンノハナンデスカ。」(自－o男6－3)	○ソン　トキ　アノ　エート「ダレデスカ」ッテ　アタルデショ。(小－久女4－7)	○トントンッテネ，「ダレデスカ」ッテネ　オテテデ　ヤッタノ。(小－矢女4－0)
過去形	○ソイカラ　アトネ　ナンダッタカ　ワカラナイ。(赤－－0女6－1)		
かよ 現在形			○マタ　オウチガ　デキテナイチョニ　ブタクンハ，…ホウジャナイカヨ。〔原文のまま〕(小－原女3－7)
かな 現在形	○ネコ　ネコカナ　コレ。(赤－f男6－3)	○コレハ　ヤギサンカナ。(赤－p女5－2)	○ヒヨコカナ。ちがうでしょう。(赤－f女4－2)
	○ユメカ　ユメカナ。(自－l男5－7)	○コレハ　ナニカナ。(小－成男4－3)	○ントネ　ドコカナ。(自－i男3－5)
過去形	○コレデ　オワリダッタカナ。(赤－o男6－2)	○エート　ナンノ　オハナシダッタカナ。(小－市男4－5)	
とさ 現在形		○アノネ　オミセヤサンゴッコダットサ。(小－成男4－3)	
の 現在形	○ユカチャンガ　オコリンボ	○ソコガ　ウチナノ。(小－	○ソコガネ　ユウコンチナノ。

	ウナノ。(自－o女6－1) ○ボクンチ スグ ソコナノ。(赤－R男5－11) ○おとうとさんいくつ？ サンサイナノ。(赤－f女5－9)	窪女4－8) ○モグラッテ ケロヨンノナカマナノ。(小－小島女4－2) ○コドモノ ミル ジカンナノ。(小－岡女4－8)	(神－折女4－3) ○クミコハネ ヒトリボッチナノ。(赤－t女4－4) ○ソイデ オワリナノ。(神－大男3－11)
	○アジャババハ オンナジャナイノ。オトコ。(自－l男5－7) ○ソシテネ ホントノ ハトジャ ナイノ。(自－t女6－4)	○モウ コドモノ ジカンジャ ナイノ。(小－永男4－4) ○ウルトラセブンてどんなおはなし？ エート マンガジャ ナイノ。ウントネー ゲゲゲノキタロウ マンガダケドネ ウルトラセブンテ(小－川男4－10)	○アカチャン ウマレッカラネ ヒロコ ヒトリジャ ナイノ。(神－佐女3－7)
過去形	○ソレガネー マエカラノオトモダチダッタノ。(赤－o女6－1)	○コレハ オモチャダッタノ。(神－遠男5－1)	○ソレハ ガラガラゴエダッタノ。(神－三男4－0)
	○アノコ イットウショウダッタノ。(赤－E女5－8) ○アノ ユメダッタノ。(赤－j女6－6)	○ダレダト オモッタラ ママラッタノ。(自－s男4－10) ○ミタラネ コウツウジコダッタノ。(小－押女5－1)	○アノネ オオキイ オシャカナダッタノ。(自－b女3－10) ○オキテ ミタラ ユメダッタノ。(神－寺男4－4)
	○ソノ オクサマハ マジョノ ウント アカチャンジャナカッタノ。(自－b男6－0)		
の よ			
現在形	○〔登場人物は〕アト ドウブツナノヨ。 ウサギヤ ウマサンネ。(赤－s女5－8)		
の ね			
現在形	○ドロンパッテ イウノモアメリカノ オバケナノネ。(赤－E女5－8) ○ヨウチエンニ カヨウ マエナノネ。(赤－o女6－1)		
過去形	○ソレガ オトコノコダッタノネ。(赤－E女5－8)		
ん だ			
現在形	○ソウイウ オハナシナンダ。(赤－e男5－10)	○ニチヨウビハ ヤスミナンダ。(自－p男4－7)	
ん だ よ			
現在形	○アアイウ ホンナンダヨ。〔ゆびさす〕(自－c男6－3)	○ホイクエンノ ユウチャント オンナジ ナマエナンダヨ。(神－永男4－1)	○ブルートハ ワルイ ヒトナンダヨ。(赤－q男4－1)
過去形	○ソレガ ワルモンノ ウント ハカセダッタンダヨ。(自－l男5－7)		

	○ボウヤタチガ　ミズンナカニ　イタカラ　ハイッタラタキノ　ミズダッタンダヨ。ナガサレチャッテネ(赤－w男6－3)		
んだよね			
現在形	○ソレガ　オワリノ　ホウナンダヨネ。ダカラ　ソノ　トキ(自－g女5－11) ○マジョノ　トモダチハサマジョジャ　ナインダヨネ。(自－b男6－0)		
過去形	○ムコウノ　ホイクエンノトキハネ　ツバメグミダッタンダヨネ。(自－A女6－5)		
んだぞ			
現在形	○「コノ　タクサンノ　シマウマハ　オレタチノ　ケライナンダゾ」ッテ　イッテネ,(赤－m女6－3)		
んだもん			
現在形		○ダッテ　ウチュウジンナンダモン。(小－小林男4－3)	○ダッテ　カオガサ　ライオンノ　カオジャ　ナインダモン。　ほんと？　フツウノカオナンダモン。(赤－d男4－2)
過去形	○ソノトキ　オタンジョウビダッタンダモン。(赤－i男6－2)		
んだって			
現在形	○ソイデ　オシマイナンダッテ。(赤－p男5－11)		○オカアチャン　ビョウキナンダッテ(神－狗女4－3)
過去形	○ソコヘ　ハイッテ　ミタラネ　シチニンノ　コビトノオウチダッタンダッテ。(赤－J女5－8)	○オトウサンハネ　トッテモツヨイ　ライオンダッタンダッテ。(赤－q女5－2)	
んです			
現在形		○アスコニ　ダンチ　アリマスネ。アスコノ　ウシロナンデス。サンジュウサンゴウカン。(赤－p女5－2)	
過去形		○ヤッパリ　ニセモノダッタノデス。(神－桑女4－10)	

2.3 接続助詞のついたもの

述語名詞に接続助詞がついたもの，および，終助詞と接続助詞がついたものは，つぎのようであった。

		かのしらで	がけのどに	んんだだかけらど
山だ	年長	○	○	○○
	年中	○	○	○
	年少	○	○	○
山な	年長	○	○	
	年中	○		
	年少			
山だった	年長	○	○○	
	年中	○ ○	○○	
	年少	○	○	
山じゃない	年長	○	○○	○
	年中	○		
	年少			
山じゃなかった	年長			
	年中			
	年少			
山です	年長	○		
	年中			
	年少			

「が」がつかわれず，「けど」が文末にもつかわれるなど，はなしことばの特徴があらわれている。

全体の傾向は，動詞や形容詞のばあいとおなじである。

種類	年長児	年中児	年少児
から 現在形	○ヨウサイノ センセイダカラネ イロンナ オヨウフクツクッテ クレル。(赤－p女6－2) ○ナンカ ヘンナ コエダカラ ワカンナイヨ。(赤－m男5－10) ○ダッテ マダ コドモダカラ。(赤－y男5－7) ○デモサ パパジャ ナイカラ オソインダ。(自－o女6－1) ○モウ オワカレデスカラ	○クビガ テツダカラ キレナイノ。(神－村男4－3) ○オウチ カエル ジカンダカラ オウチ バイバイッテオウチ カエッタノ。(神－師女4－11) ○イイ テンキダカラ ミズヲ マイテルノ。(神－関女5－0)	○ヨウチエンノ トナリダカラネ ムカイ コナイノ。(神－佐女3－7) ○サリーチャンテノハネ マホウツカイダカラ ダカラナンダッテネ ココ キチャウノ。(神－折女4－3) ○オンナノコダカラ。(赤－s女4－3)

	カエリマス。(赤－O女6－1)		
過去形	○オマツリノ ヒダッタカラタクサン オカネ ツカッタノ。(自－a男5－11) ○フジサン ノボッテカラネアメダッタカラネ ナンニモミエナカッタンダッテ。(自－e女5－7)	○ソノ ィヌ オンナダッタカラ アカンボ ウンダンダヨ。(小－篠男5－1) ○カメガ イットウダッタカラネー(赤－q女5－2)	○ナツヤスミダッタカラ。(赤－d男4－2) ○ワカンナク ナッチャッタ。ズイブン マエニ ヤッタカラ。ズイブン マエダッタカラ。(赤－d男4－2)
の で			
現在形	○ソシテネ トッテモ イイオドリナンデネ「アシタモマタ キテ オドッテ」イッチャッテ(赤－w男6－3)	○ニバンメノ オニイサンノクビガ テツナノデネー ウントネ ネ ネ ウント ミズヲ ナンバイデモ ノベルノ。(神－規男4－6) ○ロバクンガ ジブンガ メンタマジャ ナイノデ コウヤッテ カクスノ。(神－増女4－11)	
し			
過去形		○ウンドウカイハネ イットウダッタシ オユウギダッテジョウズダッタシ(赤－p女5－2)	
け ど			
現在形	○オトコノ ホンダケドモネスコシネ オンナラシイノガデテ クルノ。(赤－k女5－8) ○ニンゲンダケドネ ペンダントデ ピーテ ヤルトネ ドボットニ カワッチャウノ。(赤－n男6－2)	○オンナジ トコダケド コンド ウエマデ イカレンノ。(小－久女4－7) ○コッチハ ロウカダケド コッチハネ クツデ ア，アガル トコナノ。(小－窪女4－8)	○ダッテサ ボクニ オトモダチダケド ワカンナインダモノ。(赤－d男4－2)
(文末に使用)	○アタシノ ゴホンニハ ソイデ オシマイダケド。(赤－I女5－8) ○ソノ オンナノ ヒトモネソリャ マジョジャ ナイケドネ ソノ シトモ ピントヤットネ イロンナノ デキチャウノ。(自－A女6－5)	○オトウサンガ イナイ トキハ ママトカ オニイチャンダケド。(赤－p女5－2)	
過去形	○ウサギガネ ハジメネ カツ トロコダッタケドネ ウサギガ ネチャッタカラ カメガネ ハヤ イットウショウン ナッタノ。(赤－H女5－8)	○オトウサンネ ビョウキダッタケドネ チュウシャ イッテタラネ(神－渡男4－6)	
(文末に使用)	○なんのおはなしだった？タロウチャンノ オハナシダ		

かたちくずれ	ッタケド。(自－r女5－7)		○マダ ヨンサイケドネ モウスグ ア モウ ゴサイダ。(赤－t女4－4)
のに			
現在形	○キュウチャンガネ オンナオトコノコナノニ オンナノネ キモノ キテ デテ キタラネ(赤－o女6－1) ○オクサマハ マジョノ トモダチノ アカンボダッタン,マジョジャ ナイノニ。(自－－b男6－0)		
過去形	○シンセキノ ヒトダッタノニ ヒッコシシタノ。(自－a男5－11)	○アンマリ ヨゴレテ チマッタノデ ホントウハ クロイ ブチノ アル シロイ イヌダッタノニ シロイ ブチノ アル クロイ イヌニナッテ シマイマシタ。(神－規男4－6)	○ウサギガネ イチ ハジメネ イットウダッタノニネ カメサンガネ コンドネ イットウン ナルン。(小－神女4－1)
んだから			
現在形	○「オレハネ シマウマノオウサマナンダカラ」ッテネ(赤－m女6－3)	○コワク ナイモン，タッチャン オニイチャンナンダカラ。(神－島男4－0)	○おねえちゃん何年生？ マダ ヒマワリナンダカラ。ひまわりぐみ？(神－狗女4－3)
んだけど			
現在形	○ホントハ ニンゲンナンダケドネ アノネ ウントネ ロボットニ カワレルンダヨ。(自－p女6－1) ○アタシネ ナオラナイッテワケジャ ナインダケドネ オリタク ナカッタノ。(自g女5－11)		

第３章　連体形

名詞が名詞らしい用法で名詞を修飾するばあいには，連体格がつかわれる。したがって，述語形が名詞を修飾することは，動詞や形容詞のばあいよりはるかにすくない。

幼児のばあい，そのことがかなりはっきりしたかたちであらわれ，ひじょうに例がすくなかった。

	年長	年中	年少
山だった	○	○	
山じゃない	○	○	

問題例として「やすみだとき」といういいかたが年中児のひとりにあらわれた。このあやまりは，述語性という機能の性格が形式におよぼす影響の例として，貴重である。

種類	年長児	年中児	年少児
みとめの述語名詞 過去形	○マエノネ　オトモダチダッタネ　ソノ　シトガネ　ソノシトガネ　ウーント　アノートク　トキネ　アイニ　キテネ(赤－q男５－11)		○ウントネ　ビョウキダッタトキネ　ん　オバアチャントコニ　イカナカッタノ。(自－g女３－５)
うちけしの述語名詞 現在形	○カミジャ　ナイ　ニンギョウ，ヨンコ。(自－A女６－５) ○ニッポンジャ　ナイ　クニノ　シトナンダヨ。(自－g女５－11) ○アタシネ　ソレジャ　ナイヤツデネ(自－g女５－11)	○ココジャ　ナイネ　ヨウチエンニネ　アノネ　ウーントネ　ハタグミガ　イテネ(自g女５－０)	
問題例 山ダトキ		○ウント　ニチヨウビ　オヤオカアサン　オシゴト　オヤスミダ　トキネ　オトウサンモ　オシゴト　オヤスミダトキネ……ドウブツエンイクノ。(神－鎌女４－５)	

第4章　中止形

幼児の使用した中止形グループの語形は，つぎのとおりである。

	みとめ		うちけし	
		年長 年中 年少		年長 年中 年少
第一中止形			山じゃなく	○
第二中止形	山で	○ ○ ○	山じゃなくて 山じゃなくって	○ ○ ○ ○ ○ ○
例示形	山だったり	○	山でなかったり	

この表からわかるように，例示形やうちけしの中止形もつかわれていて，形容詞のばあいより，バライェティにとんでいる。

種類	年長児	年中児	年少児
中止形			
みとめ 山で	○ヨッチャンハサ　オトウトデネ　カワインダモノ。(赤－c男5－10) ○チビタハ　ハゲボウズデ　イッポンシカ　ケガ　ナイノ。(自－t男6－2) ○オウチガ　ヨンジュウキュウゴウカンデネ　ソレデネ　ヨンジュウハチゴウカンノ　マエ　トオッテネ(赤－f女5－9)	○コレガネ　ウントネ　オナカデ　コレガネ　テデネ　コレガネ　カオデネ　コレガネ　セーターヲ　キテンノ。(神－規男4－6) ○オカアサンタチモ　シログミデネ　マタ　シロガ　カッチャッタノ。(小－押女5－1) ○ソレデネ　モウ　オワリデネ　カエルノ。(神－遠男5－1)	○コッチハ　ヒダリデ　コッチハ　ミギ。(小－佐男4－3) ○コッチハ　オチャワン　モツ　ホウデ　コッチガ　オハシ　モツ　ホウ。(神－三男4－0) ○キョウ　アカデネ　ウントネ　キノウモ　アカ。(赤－a女3－10)
うちけし 山じゃなく		○アノ　ネズミジャ　ナクアノ　ニンゲンガ　ノゾイテンノ　アンデショウ。(自－u女5－5)	
山じゃなくて	○コレ　タヌキジャ　ナクテネズミガネ　ウーント　ココヘ　デテネ(赤－o男6－2)	○カボチャジャ　ナクテネ　ウーントネ　ハッパノ　フネガ　アッタカラネ(自－j女4－7)	○マグマタイシジャ　ナクテネ　ロボタントネ　オオカミショウネントネ　アト　シラナイ。(小－神女4－1)
山じゃなくって	○ラーメン　ア　ラーメンジャ　ナクッテネ　カレーライスガ　スキ。(自－b男6－0)	○オオキク　ナッテ　ノ，マダネ　ガッコウジャ　ナクッテ　モウ　ガッコウ　ナッタラ。(小－海男4－3)	○チャンネルジャ　ナクッテネ　コウイウネ　コウイウノマワス(神－三男4－0)
例示形			
みとめ	○ソノヒ　ドヨウビダッタリ		

カヨウビダッタリ　スルノ。（赤－ｆ女５－９）
○おままごとってどんなふうにしてあそぶ？ミーチャンガアカチャンダッタリ　コドモン　ナッタリ　オカアサン　ナッタリ　シタノ。（自－ｕ女６－５）

第5章　条件形とゆずり形

幼児の使用した述語名詞の条件形とゆずり形は，つぎのとおりである。

幼児の使用例 / みとめかた / 機能，ムード	みとめ	年年年長中少	うちけし	年年年長中少
条件形	山なら	○○	山でないなら	
	山だったなら		山でなかったなら	
	山だったら	○○○	山でなかったら	
	山だと	○	山でないと	○　○
	山であれば		山でなければ	○○○
	山であっては		山でなくては	○
ゆずり形	山でも	○	山でなくても	
	山だって	○○	山でなくたって	
	山であろうと		山でなかろうと	

名詞の条件形やゆずり形は，それがクローズの述語でないばあい，提題とりたてのニュアンスをおびる。とくに「山なら」「山でも」「山だって」などのばあい，コピュラ「なら」「でも」「だって」が，とりたて助詞的な性格をもつ傾向がある。

幼児の使用した動詞や形容詞に「－なら」型の条件形がなかったのに，名詞のばあいにでてきたのは，たぶんこのためであって，仮定的な用法の問題とは関係がないだろう。

しかし，うちけし語形がわりあいにつかわれている点では，形容詞よりも述語的なものとしてつかわれているのだとおもう。

種類	年長児	年中児	年少児
山なら	○オカアサンナラ　オコンモン。(自－p男5－6) ○オイシャサンナラ　ビョウキニ　カカッテモ　スグ　ジブンデ　ナオセルカラ。(赤－h女6－6) ○ウタナラ　シッテル。(赤－k女6－2)	○コウラクエンナラ　イッタコト　アルヨ。(小－長男4－6) ○テツジンノ　オハナシナラネ　シテ　クレルシネ(自－c男4－7) ○マイクナラ　コウスルンデショウ。(小－川男4－10)	
山だったら	○マダネ　カンジハ　オボエテナイケドネ　ヒラガナヤネ　カタカナダッタラ　オボエテルノ。(赤－J女5－8) ○どの自動車が　いちばんす	○モシカ　リス〔組〕ガ　アカダッタラネ　ソシタラ　アカノ　カチッテ　ヤンノ。(赤－u男5－6) ○アノネ　オヤスミダッタラ	○コレダケダッタラ　デキルヨ。(神－高男4－4) ○〔自転車〕ぼくだけでのる？ウーン　ウシロダッタラ　ウシロ　ノルン。(赤－e男4

	き？　ガイシャデ？　ガイシャダッタラ　ボク　サンダーバード。（赤－D男5－11）	ネー　ドッカヘ　イッタリスンノ。（赤－k女5－3）	－1）
山だと	○バスノ　シャソウサンダトネ　オカネヤ　キップガ　タクサン　タマルカラ。（赤－k女5－8） ○ガイシャダト　ホード　シボレー　サンダーバード　ソノグライ。（赤－D男5－11）		
山でないと・山じゃないと	○マダ　カエナイヨ，アトサン　サ　サンエンジャ　ナイト。（自－y男6－0）		○ウン　オカアサンデ　ナイト　マサエ　ワカンナイ。（自－b女3－10）
山じゃなけりゃ・山じゃなきゃ	○オトウチャンジャ　ナキャヨンデ　クレナイ。（自－w女6－5）	○コッチジャ　ナキャア　ワカラナイ。（神－増女4－11） ○デモ　ツマンナイモノ，マンガジャ　ナキャ。（自－h女4－7）	○クライ　トコジャ　ナケリャ　ヒカンナインダカラ。（神－宮男3－8）
山でなくちゃ			○ゴホンデ　ナクチャ。（小－原女3－7） ○ヨルネ　オジイチャンジャナクッチャ　オハナシシテクレナイ。（神－三男4－0）
山でも		○ウチノモ　コウ　イウ　ホン　アンモン。　コノ　ホンデモ。（自－s男4－10）	
山だって		○アノネ　オンガクケンキュウカイダッテ　ナンデモ　オウチデ　アノネ　オチゴトヤッテル。（小－成男4－3）	○オッキイ　カイジュウダッテネ　シュグネ　ホウチョウミタイニ　ミ　ミタイノデネコウ　ヤッテ　キッチャウ。（神－高男4－4）

第6章　形容詞派生のコピュラとくみあわさるもの

形容詞派生の当為コピュラとくみあわさったものとして，つぎのようなものがあった。

	年年年 長中少
山でいい	○
山でもいい	○○○
山だっていい	○
山ではいけない	○

うちけしはなかったが，形容詞のばあいよりは例がおおかった。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
山でいい	○コレデ　イイノ？(赤－r女5－10)		
山でもいい	○ヨウチエンデモ　イイ？(赤－a男5－9) ○ヨウチエンニ　イク　ミチナラ　ドコデモ　イイノ。(赤－b男6－5) ○月曜にしようか，きょうやめて。ドッチデモ　イイヨ。(赤－G男6－1)	○幼稚園てすき？　どういうとこいい？ドコデモ　イイ。(自－r女4－8)	○なにしてあそぶの？　ナンデモ　イイ。(小－岸男3－11)
山だっていい	○ナンダッテ　イイ。(自－m女6－4)		
山ではいけない		○アーオニ　ナッタラ　ワタロ。アカデハ　イケナイ。キイロハ　マーダダヨ。〔うた？〕(小－志男4－2)	

第7章　推量・比況のコピュラのついたもの

名詞に推量・比況のコピュラのついた形式については，幼児はつぎのようなものをつかった。

	年年年 長中少
山のよう	○
山みたい	○○○
山かもわからない	○

「山らしい」の例はなく，「山かもわからない」は1例だけであった。「山のよう」は，年少児のあるクラスで多量の例を得たけれど，これは，面接のまえの時間にきいたおはなしの復唱のなかであらわれた，みんなおなじ例ばかりなので，これも，しぜんなかたちでは，でにくいものとおもわれる。

結局，この種のものでは，「みたい」が圧倒的なつよさをもっているといってよいだろう。

コピュラ「みたい」は，「みたいだ」という第二形容詞型の活用形式をもっているはずなのだが，幼児の例には「みたい」という第一形容詞の型に活用させた例も多く，両者が互角にあらわれて，それぞれ，いろんな語形をとっていた。

種　類	年　長　児	年　中　児	年　少　児
よ う だ			○グリグリメダマハ　サラノヨウ。ツキデタ　ハナハ　ヒッカキボウノ　ヨウデチタ。（神－古男4－5）
みたいだ いいおわり形	○ミンナ　ニンゲン　ミタイダケドネ　チビタヤ　イヤミヤ　デカバントカ（自－t男6－2）		○ロビンテ　ピストル　モッテルノ。おとな？　コドモ？　コドモ　ミタイダヨ。（赤－n男3－7）
連体形	○ココニ　ヘンナ　プロペラミタイナ　シカクイノガ　ツイテ　イテネ。（赤－D男5－11） ○マジョハネ　ママ　ミタイナ　カッコウ　シテネ（赤－L女5－9）	○アマゾンって　しらない。なに？エートネ　ジャングルミタイナ　トコ。（小－川男4－10）	○イロノ　ツイテル　バッタ　ミタイナ　カタチノボク　ミツケタンダカラナ。（赤－d男4－2）
名詞形		○ホットケーキ　ミタイナノガ　デテキテ　タベチャッタノ。（小－覚女4－7） ○コレネ　クマガネ　ナンカキツネ　ミタイナノヲネ　オ	

副詞形		イカケテルノ。(小一筧女4－7)	
	○モケイデネ センソウ ミタイニ コウイウ フウニ。(赤－w男6－3)		
第一形容詞型			
いいおわり型			
山みたいの	○くわがたってどんなかっこうしてるの？ クワガタッテネ ハサミ ミタイノ。(赤－u男6－5)	○アノネ ケーキ ミタイノ。(小一筧女4－7)	
連体形			
山みたい	○ソイデネ ミイラ ミタイカッコ シテンノ。(赤－E女5－8) ○ココニ オヤマ ミタイトコ アンダヨネ。(自－A女6－5)	○オミミヲネ チ ミタイチガ ダシチャウ(小一樋男4－3)	
名詞形			
山みたいの	○コンナ オカマ ミタイノカブッテネ(赤－u男6－5) ○ソウイウノ ニンギョ ミタイノ デキテンノ。(赤－E女5－8)		○ココニ キイロイ オチチミタノナノ アル。(赤－d男4－2)
中止形			
山みたくって	○ユウエンチ ミタクッテネミズ エートネ エート シオミズノ プール。(赤－D男5－11)		
副詞形			
山みたい	○デンデンムシ ミタイサコウイウ トン ココガ トンガッテテ ナガッボソイノアルデショ。(自－B男5－7)		
山みたく	○アノネ スーパーマン ミタク ヤッテルノ。(自－D女5－11)		○テッポウ オクノ。ん？テッポウ ミタク。(赤－v女4－0)
わからない		○オカアサンカモ ワカラナイ。(神－伊男4－1)	

第８章　幼児と述語名詞の形態

以上みてきたことをとおして，幼児の述語名詞の形態の習得・使用状況について，つぎのことがいえるだろう。

1）　この年代の幼児は，述語名詞のいろいろなすがたを基本的に所有している。つまり，その基本的な諸形式と，その諸形式のもつ基本的な用法を，幼児は使用している。

2）　しかし，まだ，その全体をおおっているわけでなく，幼児資料にでてこない形式や用法もかなりあった。それでも，形容詞のばあいとくらべると，いろんな形式をよくつかっている。とくにうちけしの諸形式が形容詞のばあいよりよくつかわれている。

3）　条件形は動詞とくらべてもよくつかわれている。（たとえば「－なら」語形など。）しかし，名詞の条件形やゆずり形の性格は，格のとりたてのようなニュアンスをおびているので，幼児のこの方面での能力ののびは，曲用形式所有の問題にはいるのかもしれない。

4）　連体形や名詞形の使用はすくなかった。（名詞形はなし。）これは，述語名詞の連体形や名詞形が一般に従属節の述語としての機能をもつことがおおいのとかんがえあわせると，幼児の複合文構成能力のおくれという，統語論的な側面の発達の問題とかかわるとおもわれる。

5）　ていねい体の述語名詞は名のりのことばなどにあらわれていて，幼児の会話場面という制約のなかではあまりあらわれなくても，ていねい形式もつかえるのではないかとおもわれる。

6）　推量形のでかたがすくなかったが，これは，動詞や形容詞のばあいと同様である。

引 用 文 献

大久保愛「幼児の文構造の発達 － 3歳～6歳児の場合 － 」1973. 国立国語研究所
教育科学研究会東京国語部会・言語教育研究サークル「文法教育 － その内容と方法」1963 麦書房
鈴木重幸「現代日本語の動詞のテンス － 言いきりの述語に使われたばあい － 」1965,「ことばの研究第2集」国立国語研究所
鈴木重幸「日本語文法・形態論」1972 麦書房
鈴木康之「たちばとやりもらい」1969, 教育科学研究会文法講座プリント（未公刊）
高橋太郎「言語の表現機能と伝達効果の研究 III動詞の形態の分析」1968, 国立国語研究所年報19
高橋太郎「すがたともくろみ」1969, 教育科学研究会文法講座プリント（未公刊）
高橋太郎「意志形「しよう」（「しよう」「しまい」「しましょう」「しますまい」「せむ」）についての諸問題」1970, 言語学研究会発表プリント（未公刊）
高橋太郎「連体形動詞のもつ統語論的な機能と形態論的な性格の関係」1974,「教育国語39号」麦書房
新川忠「副詞」1974－a,「教育国語38号」麦書房
新川忠「形容詞」1974－b,「教育国語39号」麦書房
松下大三郎「標準日本文法」1924 紀元社
明星学園・国語部「にっぽんご4の上」1968 麦書房
吉川武時「現代日本語動詞のアスペクトの研究」1973, Monash University "Linguistic Communications 9", Melbourne

昭和 50 年 2 月

国 立 国 語 研 究 所

東京都北区西が丘3丁目9番14号
電 話 東 京 (900) 3 1 1 1 (代表)

UDC 809.56－55－053.4
NDC 815.5

本 書 の 市 販 品 発 行 所
〔〒162〕東京都新宿区納戸町40 ☎(03)260－5 2 8 1
株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2	言語生活の実態 －白河市および付近の農村における－	〃	〃
3	現代語の助詞・助動詞 －用法と実例－	〃	700円
4	婦人雑誌の用語 －現代語の語彙調査－	〃	500円
5	地域社会の言語生活 －鶴岡における実態調査－	〃	品切れ
6	少年と新聞 －小学生・中学生の新聞への接近と理解－	〃	180円
7	入門期の言語能力	〃	品切れ
8	談話語の実態	〃	〃
9	読みの実験的研究 －音読にあらわれた読みあやまりの分析－	〃	〃
10	低学年の読み書き能力	〃	〃
11	敬語と敬語意識	〃	〃
12	総合雑誌の用語（前編） －現代語の語彙調査－	〃	〃
13	総合雑誌の用語（後編） －現代語の語彙調査－	〃	〃
14	中学生の読み書き能力	〃	400円
15	明治初期の新聞の用語	〃	品切れ
16	日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17	高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18	話しことばの文型 (1) －対話資料による研究－	〃	800円
19	総合雑誌の用字	〃	品切れ
20	同音語の研究	〃	〃
21	現代雑誌九十種の用語用字 (1) －総記および語彙表－	〃	1,000円
22	現代雑誌九十種の用語用字 (2) －漢字表－	〃	1,000円
23	話しことばの文型 (2) －独話資料による研究－	〃	品切れ
24	横組の字形に関する研究	〃	〃
25	現代雑誌九十種の用語用字 (3) －分析－	〃	1,000円
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程 －北海道における親子三代のことば－	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	750円
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本言語地図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本言語地図 (2)	〃	〃
30-3	日本言語地図 (3)	〃	〃
30-4	日本言語地図 (4)	〃	8,000円
30-5	日本言語地図 (5)	〃	9,000円
30-6	日本言語地図 (6)	〃	
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	450円

32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) －親族語彙と社会構造－	秀英出版刊	250円
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究（II） －新聞の用語用字調査の処理組織－	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) －マキ・マケと親族呼称－	〃	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	1,300円
38	電子計算機による新聞の語彙調査（II）	〃	2,800円
39	電子計算機による国語研究（III）	〃	700円
40	送りがな意識の調査	〃	1,500円
41	待遇表現の実態 －松江24時間調査資料から－	〃	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査（III）	〃	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	〃	5,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	3,000円
45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究（IV）	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3)	〃	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査（IV）	〃	3,000円
49	電子計算機による国語研究（V）	〃	900円
50	幼児の文構造の発達 －3～6才児の場合－	〃	1,000円
51	電子計算機による国語研究（VI）	〃	1,000円
52	地域社会の言語生活 －鶴岡における20年前との比較－	〃	1,800円
53	言語使用の変遷 (1) －福島県北部地域の面接調査－	〃	2,500円
54	電子計算機による国語研究（VII）	〃	
55	幼児語の形態論的な分析 －動詞，形容詞，述語名詞－	〃	

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目（昭和17～24年）	秀英出版刊	45円
2	語彙調査 －現代新聞用語の一例－	〃	品切れ
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	秀英出版刊	300円
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	品切れ
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,400円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査（中間報告）	〃	500円
9	牛店雑談 安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	750円
3	ことばの研究 第3集	〃	品切れ
4	ことばの研究 第4集	〃	1,300円
5	ことばの研究 第5集	〃	1,300円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ
2	昭和25年度	〃

3	昭和26年度	160円
4	昭和27年度	160円
5	昭和28年度	240円
6	昭和29年度	200円
7	昭和30年度	品切れ
8	昭和31年度	〃
9	昭和32年度	〃
10	昭和33年度	〃
11	昭和34年度	〃
12	昭和35年度	350円
13	昭和36年度	160円
14	昭和37年度	220円
15	昭和38年度	250円
16	昭和39年度	品切れ
17	昭和40年度	250円
18	昭和41年度	300円
19	昭和42年度	300円
20	昭和43年度	品切れ
21	昭和44年度	〃
22	昭和45年度	400円
23	昭和46年度	450円
24	昭和47年度	450円
25	昭和48年度	500円

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	品切れ
昭和30年版	〃
昭和31年版	〃
昭和32年版	〃
昭和33年版	〃
昭和34年版	〃
昭和35年版	〃
昭和36年版	800円
昭和37年版	品切れ
昭和38年版	〃
昭和39年版	980円
昭和40年版	1,100円
昭和41年版	1,100円
昭和42年版	1,100円
昭和43年版	品切れ
昭和44年版	1,500円
昭和45年版	1,500円
昭和46年版	2,000円
昭和47年版	2,200円
昭和48年版	2,700円
昭和49年版	3,800円

高校生と新聞	国立国語研究所 日本新聞協会	共編	秀英出版刊　280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所	共著	金沢書店刊　品切れ

A MORPHOLOGICAL ANALYSIS OF VERBS, ADJECTIVES AND PREDICATIVE NOUNS IN CHILDREN'S SPEECH FROM 3 TO 6

CONTENTS

Part One : Outline of research

Part Two : Verbs in children's speech
1. The system of Japanese verbs
2. Finite forms
3. Adnominal forms
4. Nominal forms
5. Continuitive forms
6. Adverbial forms
7. Conditional forms
8. Concessional forms
9. Voice
10. Donatory
11. Aspect
12. Grammatically derived adjectives
13. Complex verb phrases
14. Phrases with verb and should-be copula
15. Phrases with verb and may-be copula
16. Forms with special focus
17. Morphological features of children's verbs

Part Three : Adjectives in children's speech
1. The system of Japanese adjectives
2. Finite forms
3. Adnominal forms
4. Nominal forms
5. Continuitive forms
6. Conditional and concessional forms
7. Grammatically derived adjectives
8. Complex verb phrases
9. Phrases with adjective and copula
10. Forms with special focus
11. Morphological features of children's adjectives

Part Four : Predicative nouns in children's speech
1. The system of Japanese predicative nouns
2. Finite forms
3. Adnominal forms
4. Continuitive forms
5. Conditional and concessional forms
6. Phrases with noun and should-be copula
7. Phrases with noun and may-be copula
8. Morphological features of children's predicative nouns

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE
3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO
1975